

平成 28 年度

植物防疫年報

三重県病虫害防除所

三重県内で発生が目立った病害虫

ハスモンヨトウ

(病害虫発生予報注意報第3号、平成28年8月31日発表)



写真1 ハスモンヨトウ幼虫



写真2 ハスモンヨトウ卵塊



写真3
ダイズの食害状況



写真4
ダイズの白変葉

目 次

I	病虫害防除所の組織と業務	1
1.	病虫害防除所の業務内容	1
2.	病虫害防除所の組織図	1
II	病虫害防除員の設置及び活動状況	4
1.	病虫害防除員の配置	4
2.	病虫害防除員の活動状況	5
III	病虫害発生予察に関する業務	6
1.	病虫害発生予察の対象作物及び有害動植物	6
(1)	指定有害動植物名	6
(2)	指定外有害動植物名	6
2.	病虫害発生予察の調査圃場	7
(1)	県予察圃場	7
(2)	予察灯・トラップ	7
(3)	その他の調査圃場	7
(4)	ミバエ類等侵入警戒調査圃場	10
(5)	火傷病侵入警戒調査圃場	10
(6)	調査地点図	11
3.	作物別の病虫害発生状況	12
(1)	水稲	12
(2)	麦類	15
(3)	大豆	16
(4)	果樹	19
(5)	茶	24
(6)	野菜	26
(7)	全作物一覧	27
4.	病虫害の発生面積と防除面積	31
5.	発行された予察情報	34
(1)	発生予察情報の一覧	34
(2)	予報	35
(3)	注意報	84
(4)	技術情報	86
IV	事業関係の試験成績	91
1.	診断対策	91
(1)	灰色かび病の薬剤感受性検定	91
(2)	ミカンハダニの薬剤感受性検定	98

V	農薬の指導に関する業務	99
1.	農薬危害防止対策	99
	(1) 農薬危害防止運動の実施	99
	(2) 農薬安全使用講習会の開催状況	99
	(3) ゴルフ場の調査点検実施状況	100
	(4) ゴルフ場におけるコガネムシ類発生状況	101
2.	産業用無人ヘリコプターによる防除	104
VI	各種データ	105
1.	トラップ等データ	105
	(1) 予察灯	105
	(2) フェロモントラップ	118
	(3) ウメ輪紋ウイルス (PPV) に関する調査	121
	(4) キウイフルーツかいよう病 Psa3 系統に関する調査	122
	(5) ミバエ類等侵入警戒調査	123
	(6) 火傷病侵入警戒調査	124
2.	巡回等データ	125
	(1) 水稲	125
	(2) 麦類	138
	(3) 大豆	140
	(4) 果樹	142
	(5) 茶	168
	(6) 野菜	177
3.	気象データ	190
	(1) 気象概況	190
	(2) 旬別気象表	191
	(3) 気象グラフ	192

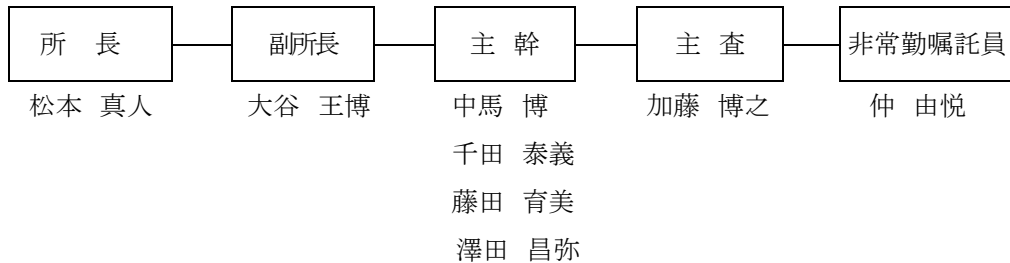
I 病虫害防除所の組織と業務

1. 病虫害防除所の業務内容

植物防疫法関係	発生予察業務	病虫害発生事業に関すること 病虫害発生予察情報の発行に関すること
	防除指導業務	病虫害防除の企画・調査・指導に関すること 病虫害防除員に関すること 航空防除に関すること
農薬取締法関係	農薬安全対策業務	農薬適正使用啓発・登録情報に関すること 農薬使用者・取扱者の指導・取締に関すること ゴルフ場の農薬安全使用指導等に関すること 農薬管理指導士に関すること

2. 病虫害防除所の組織図

(1) 事務の体制



発生予察従事職員

農業研究所	農産物安全安心研究課	主幹研究員	西野 実
	茶業研究室	主査研究員	田中 千晴
	伊賀農業研究室	主幹研究員	近藤 宏哉
	紀南果樹研究室	研究員	橋本 真帆

(2) 発生予察の体制

所外からの情報 → 病虫害防除所

ア. 調査依頼

発生予察従事職員

・農業研究所 4人

病虫害防除員

・市町 29人

・共済 7人

・広域 7人

予察灯調査委託

・県予察灯 3人

ア. 調査・研究

・県予察圃場

・地区予察圃場

・巡回調査圃場

・侵入警戒調査圃場

イ. 検討

・所内検討会

・三重県病虫害

発生予察警報

発令検討会等

イ. 情報検討

病虫害発生予察情報会議

・農産物安全課

・病虫害防除所

・中央・地域農業改良普及センター

・農業研究所

・農業共済組合連合会・その他関係機関

ウ. 情報交換

植物防疫関係諸会議

・農林水産省関連

・日本植物防疫協会(JPP)関連

予察用の主な機器類 ()は導入年度

・予察灯 6台(H16、21、22、23、24、28)

・人工気象器 1台(H7)

・低温恒温器 1台(S62)

・光学顕微鏡 1台(S61)

・実体顕微鏡 1台(S61)

・乾燥器 1台(S61)

→ 情報の発信

ア. 情報提供先等

	県内					県外	
	農業者	防除員	農業団体	市町	県機関	国機関	他県
予報	AD E	AB	AB	A	A	AC	C
技術情報	E	AB	AB	A	A	AC	C
報告						AC	

イ. 情報の内容

予報:発生予報、注意報、警報、特殊報

技術情報:防除に関する情報

報告:現況報告、年次報告

ウ. 発信の方法

A:eメール、ファックス

B:郵送、運搬

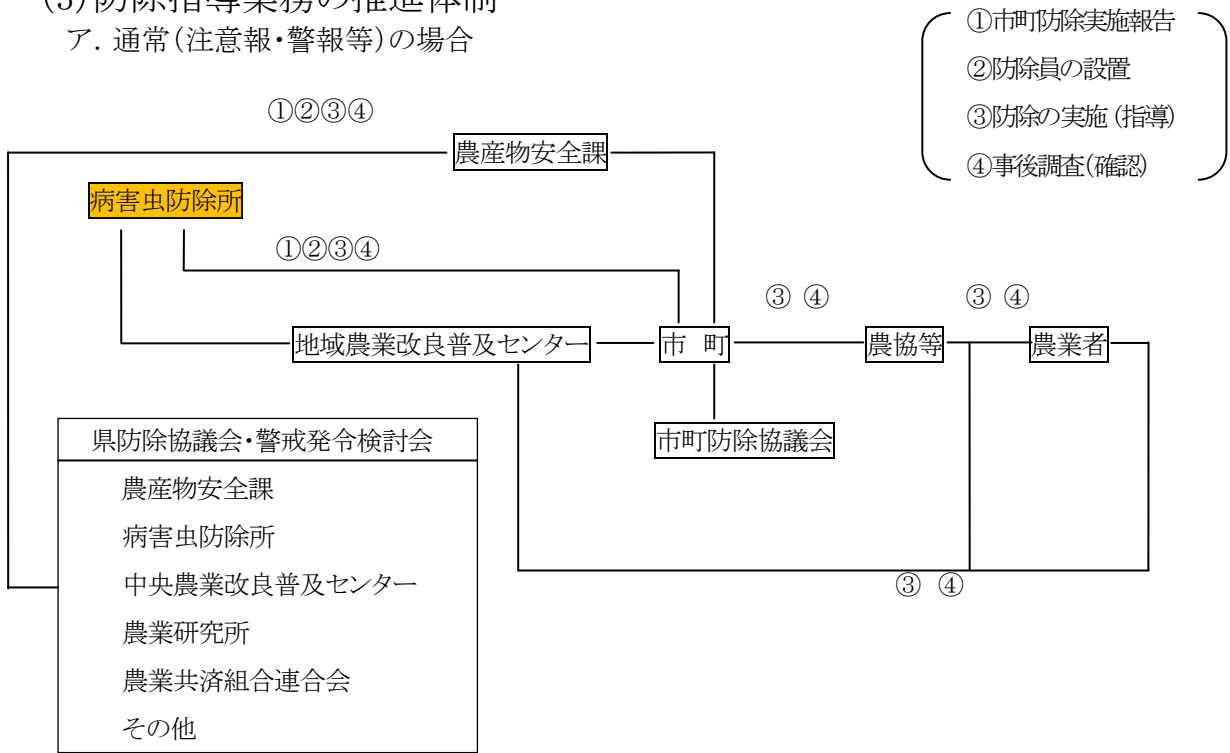
C:JPP-NET(植物防疫情報総合ネットワーク)および発生予察集計プログラム(農林水産省)

D:報道機関(農産物安全室・病虫害防除所)

E:ホームページ

(3) 防除指導業務の推進体制

ア. 通常(注意報・警報等)の場合

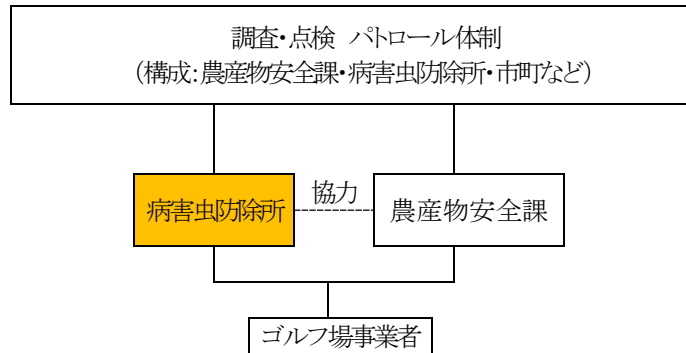


イ. 緊急(緊急防除・防除勧告)の場合

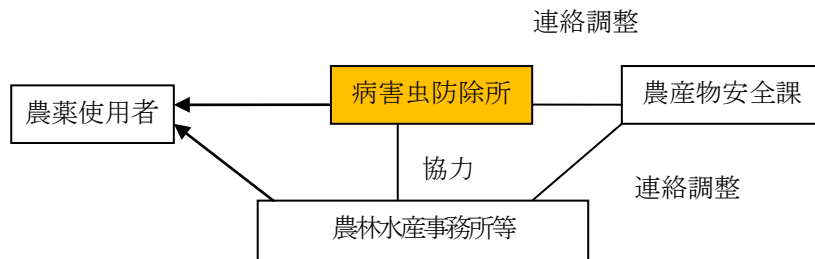
国から植物防疫法第17条による緊急防除(侵入病虫害など)や第30条による防除勧告(防除が未実施・不適切など)を受けた場合、農産物安全課は「三重県緊急防除対策会議」を組織し、速やかに防除を実施する。

(4) 農薬安全対策の推進

ア. ゴルフ場の農薬安全対策



イ. 農薬使用者の監視指導



Ⅱ 病虫害防除員の設置及び活動状況

1. 病虫害防除員の配置

(1) 配置状況(所属別地域別配置人数)

地区	市町	農業共済組合等	広域	合計
桑名	4	1	1	6
四日市鈴鹿	6	1	1	8
津	1	1	1	3
松阪	4	1	1	6
伊勢志摩	7	1	1	9
伊賀	2	1	1	4
紀州	5	1	1	7
合計	29	7	7	43

(2) 病虫害防除員名簿

①市町関係(29名)

市町名	所属	氏名	市町名	所属	氏名
桑名市	農林水産課	大橋 佑衣	伊勢市	農林水産課	中西 勇介
いなべ市	農林振興課	小林 孝明	玉城町	産業振興課	木村 豪
木曾岬町	産業課	伊藤 麻美	南伊勢町	水産農林課	田中 啓介
東員町	産業課	齋藤 嵩仁	大紀町	農林課	中井 隆浩
四日市市	農水振興課	神戸 佑佳	度会町	産業振興課	中村 朱里
菰野町	観光産業課	岩本 忠士	鳥羽市	農水商工課	清水 弘光
朝日町	産業建設課	高重 陽嗣	志摩市	農林課	里中 亮太
川越町	産業建設課	早川 隆三	伊賀市	農林振興課	橋本 友香梨
鈴鹿市	農林水産課	米川 梨香	名張市	農林資源室	井ノ上 教昭
亀山市	農政室	福井 雅代	尾鷲市	木のまち推進課	梅本 久美子
津市	農林水産政策課	高橋 葵	紀北町	農林水産課	上村 健一
松阪市	農水振興課	西 洋平	熊野市	農業振興課	宮本 瑛文
明和町	農水商工課	丹合 信隆	御浜町	産業建設課	瀬古 勝信
多気町	農林課	吉田 拓未	紀宝町	産業建設課	福嶋 孝顕
大台町	産業課	石神 佳弘			

②農業共済組合、農業共済事務組合関係(7名)

組合、事務組合名	氏名
桑員農業共済組合	伊藤 浩樹
三泗鈴亀農業共済事務組合	山際 健介
津市農林水産部農業共済室	新家 孝明
松阪飯多農業共済事務組合	伊藤 知也
伊勢地域農業共済事務組合	田畑 訓彦
伊賀市・名張市広域行政事務組合	川瀬 聡
東紀州農業共済事務組合	田中 宏育

③広域関係(8名)

担当地域名	氏名
桑員地域	水谷 重一
鈴亀地域	早川 喬
津市地域	河野 満
松阪飯多地域	小林 雅彦
伊勢地域	古崎 和義
伊賀地域	谷口 雄
東紀州地域	菊山 竜二

2. 病虫害防除員の活動状況

(1) 主な活動内容

①防除指導

水稻等の共同・空中防除の打ち合わせや薬剤散布に必要な応じて立ち会い、適切な広報活動及び防除指導を行った。また、病虫害防除所から発表された予報・注意報等の病虫害発生予察情報の広報を適宜行った。

②病虫害発生状況調査

管内の巡回調査を行い、水稻、麦、大豆、野菜等の病虫害発生状況の把握に努めた。また、広域病虫害防除員は担当地域の巡回調査で農家に対して聞き取り調査を行った。

③農薬安全使用指導

広報誌への掲載等を通じて農薬の適正使用の啓発に努めた。

④関係機関との打ち合わせ

共同防除、空中防除、防除歴作成等のため、JAや農業共済、農業改良普及センター等と適宜連携を図った。

⑤講習会・協議会

病虫害防除所が主催した植物防疫技術研修会等に参加し、最新の技術と情報の収集に努めた。

(2) 活動実績

(一人当たり平均、単位:時間)

防除指導	病虫害発生 状況調査	農薬安全 使用指導	関係機関との打 ち合わせ	講習会 協議会	その他	合計
14.5	31.9	3.1	6.1	5.6	4.6	65.5

Ⅲ 病虫害発生予察に関する業務

1. 病虫害発生予察の対象作物及び有害動植物

(1) 指定有害動植物名(植物防疫法 22 条) (延 109 種)

区分	作物名	対象病虫害名
普通作物	イネ	いもち病、紋枯病、稲こじ病、縞葉枯病、ばか苗病、もみ枯細菌病、斑点米カメムシ類(アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、イネカメムシ、クモヘリカメムシ、トゲシラホシカメムシ、ホソハリカメムシ、ミナミアオカメムシ)、イネミズゾウムシ、ツマグロヨコバイ、セジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカ、ニカメイガ、コブノメイガ、フタオビコヤガ
	ムギ	うどんこ病、赤かび病
	ダイズ	アブラムシ類、ハスモンヨトウ、吸実性カメムシ類(アオクサカメムシ、イチモンジカメムシ、プチヒゲカメムシ、ホソハリカメムシ、ミナミアオカメムシ)
果樹	カンキツ	そうか病、黒点病、かいよう病、ハダニ類(ミカンハダニ)、カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)、アブラムシ類(ミカンクロアブラムシ、ユキヤナギアブラムシ、ワタアブラムシ)
	カキ	炭疽病、カキノヘタムシガ、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)、カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)、アザミウマ類(カキクダアザミウマ)、カイガラムシ類(クワコナカイガラムシ)
	ナシ	黒星病、シンクイムシ類(ナシヒメシクイ)、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)、ハダニ類(カンザワハダニ、ナミハダニ)、カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)、アブラムシ類(ナシノアブラムシ、ナシミドリオオアブラムシ、モモアカアブラムシ)
	ブドウ	べと病、晩腐病
茶	チャ	炭疽病、ハダニ類(カンザワハダニ)、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)、チャノホソガ
野菜	トマト	疫病、灰色かび病、葉かび病、アブラムシ類(モモアカアブラムシ、ワタアブラムシ)、ハスモンヨトウ、コナジラミ類(オンシツコナジラミ、タバココナジラミ)、オオタバコガ
	ハクサイ	アブラムシ類(モモアカアブラムシ、ニセダイコンアブラムシ)、コナガ、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、オオタバコガ、シロイチモジヨトウ
	キャベツ	黒腐病、菌核病、コナガ、アブラムシ類(モモアカアブラムシ、ニセダイコンアブラムシ、ダイコンアブラムシ)、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、オオタバコガ
	ネギ	さび病、黒斑病、べと病、アブラムシ類(ネギアブラムシ)、アザミウマ類(ネギアザミウマ)、シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ
	イチゴ	灰色かび病、うどんこ病、炭疽病、アブラムシ類(ワタアブラムシ)、ハスモンヨトウ、アザミウマ類、ハダニ類(カンザワハダニ、ナミハダニ)、オオタバコガ

(2) 指定外有害動植物名(植物防疫法第 31 条) (延 62 種)

区分	作物名	対象病虫害名
普通作物	イネ	白葉枯病、苗立枯病、萎縮病、イネドロオイムシ、イネクロカメムシ、イチモンジセセリ、アワヨトウ、イナゴ類、イネシンガレセンチュウ
	ムギ	さび病類、縞萎縮病、黒穂病類、ムギアカタマバエ、アブラムシ類
	ダイズ	紫斑病、コガネムシ類(マメコガネ、ヒメコガネ、ドウガネブイブイ)、シロイチモジマダラメイガ
果樹	カンキツ	褐色腐敗病、ヤノネカイガラムシ、チャノキイロアザミウマ、ミカンハモグリガ、アカマルカイガラムシ、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)
	カキ	うどんこ病
	ナシ	赤星病、うどんこ病、輪紋病、クワコナカイガラムシ、アブラムシ類
	ブドウ	黒とう病、チャノキイロアザミウマ、クワコナカイガラムシ、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)
	ウメ	黒星病、かいよう病、アブラムシ類、ウメシロカイガラムシ
茶	チャ	もち病、輪斑病、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ、ツマグロアオカスミカメ、クワシロカイガラムシ、ヨモギエダシヤク
野菜	トマト	黄化葉巻病、ハモグリバエ類、すすかび病、タバコガ類(オオタバコガを除く)
	ハクサイ	軟腐病、白斑病、べと病、モンシロチョウ
	キャベツ	根こぶ病、モンシロチョウ
	ネギ	黒斑病、ネギハモグリバエ、ネギコガ、ヨトウムシ類

2. 病虫害発生予察の調査圃場

農作物の栽培地帯における病虫害の発生及び被害を的確に予想し、その地帯の防除作業の実施に寄与するために、県予察圃場、地区予察圃場、巡回調査圃場、侵入調査圃場を設置し、調査を実施する。

(1) 県予察圃場 (3 地点 7 圃場)

作目	設置場所	設置数	備考
イネ	農業研究所	1	コシヒカリ
カンキツ	紀南果樹研究室	1	紀南果樹研究室担当
チャ	茶業研究室	1	茶業研究室担当
秋冬ハクサイ	農業研究所	1	
冬キャベツ、春キャベツ	〃	2	
ネギ	〃	1	

(2) 予察灯・トラップ (10 地点 24 箇所)

作目	設置場所	設置数	備考
予察灯	農業研究所	2	イネ、畑作物
	紀南果樹研究室	1	カンキツ
	伊賀農業研究室	1	イネ
	紀北町前山	1	イネ
	御浜町上野	1	イネ
フェロモントラップ	農業研究所	13	ニカメイガ(水田)、ハスモンヨトウ(畑)、コナガ(畑)、ネギコガ(畑)、チャノコカクモンハマキ(ナシ園)、チャハマキ(ナシ園)、ナシヒメシンクイ(ナシ園)、シロイチモジヨトウ(畑)、オオタバコガ(畑)、チャバネアオカメムシ、ヒメコガネ、マメコガネ、ドウガネブイブイ
	林業研究所	2	チャバネアオカメムシ(場内・山林内)
	津市大里窪田町	1	チャバネアオカメムシ
	多気町矢田	1	チャバネアオカメムシ
	玉城町宮古	1	チャバネアオカメムシ

(3) その他の調査圃場 (地区予察圃場 41 地点 41 圃場、巡回圃場 140 地点 368 圃場) 地点数は重複有り

県予察圃場の他に、地区予察圃場と巡回調査圃場で調査を行っている。

地区予察圃場は、農作物の中心地帯に農作物の種類ごとに設置した。この圃場における調査は、その地帯における病虫害の発生状況を把握するとともに、病虫害の発生に関与する各種の条件がどのように影響したかを検討する資料を得るために行なう。

巡回調査圃場は、病虫害の発生が類似した地点ごとに任意に抽出した圃場、あるいは地帯区分せずに系統抽出等によって抽出した圃場について定量的観察を行うとともに、管内を巡回して定性的観察を行うために設置する。以下の表中で、地区予察圃場の地名は太字で示してある。

- ① イネ 59 地点 236 圃場(地区予察圃場 19 地点 19 圃場＝19 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 59 地点 217 圃場＝40 地点各 4 圃場＋地区予察圃場 19 地点併置の各 3 圃場)

地区	設置場所
桑名	いなべ市北勢町阿下喜 いなべ市大安町高柳、いなべ市藤原町川合、桑名市坂井、桑名市多度町小山、桑名市長島町平方、東員町瀬古泉、木曾岬町小林
四日市鈴鹿	菰野町竹成、亀山市山下町、四日市市下海老町、鈴鹿市矢橋町、鈴鹿市御菌町 四日市市高角町、四日市市山田町、四日市市水沢野田町、四日市市茂福、亀山市太森町、鈴鹿市石薬師町、鈴鹿市津賀町
津	津市安濃町草生、津市安東町、津市一志町井生 津市芸濃町北神山、津市雲出本郷町、津市大里窪田町、津市美里町家所、津市戸木町、津市白山町川口
松阪	松阪市美濃田町、多気町兄国、明和町坂本 松阪市嬉野下之庄町、松阪市藤之木町、松阪市清水町、松阪市西黒部町、多気町朝柄、明和町明星
伊勢志摩	伊勢市円座町、玉城町蚊野、志摩市磯部町下之郷 伊勢市上地町、伊勢市西豊浜町、伊勢市楠部町、伊勢市小俣町相合、度会町牧戸、鳥羽市松尾町、南伊勢町泉
伊賀	伊賀市大野木、伊賀市甲野 伊賀市羽根、伊賀市岡田、伊賀市中柘植、伊賀市馬田、名張市東田原
紀州	紀北町島原、熊野市飛鳥町 御浜町下市木、紀宝町大里

- ② 28 年産コムギ 9 地点 36 圃場(巡回調査圃場 9 地点 36 圃場＝9 地点各 4 圃場)

地区	設置場所	地区	設置場所
桑名	いなべ市大安町片樋	松阪	松阪市藤之木町、多気町兄国
四日市鈴鹿	菰野町池底、鈴鹿市下大久保町	伊勢志摩	伊勢市西豊浜町
津	津市殿村	伊賀	伊賀市西之澤、伊賀市畑村

- ③ ダイズ 8 地点 32 圃場(巡回調査圃場 8 地点 32 圃場＝8 地点各 4 圃場)

地区	設置場所	地区	設置場所
桑名	いなべ市大安町大井田	松阪	松阪市藤之木町、松阪市保津町
四日市鈴鹿	四日市市江村町、鈴鹿市下大久保町	伊賀	伊賀市木興町、伊賀市千戸
津	津市白山町川口		

- ④ カンキツ 12 地点 13 圃場(地区予察圃場 2 地点 2 圃場=2 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 10 地点 11 圃場=9 地点各 9 圃場+1 地点 2 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
桑名	桑名市多度町小山(1)	伊勢志摩	南伊勢町船越(1)、五ヶ所浦(1)、泉(1)
津	津市大里窪田町(1)	紀州	紀北町海野(1)、熊野市久生屋町(1)、御浜町下市木(1)・阿田和・中立(2)、紀宝町大里(1)
松阪	多気町五桂(1)、松阪市小阿坂町(1)		

- ⑤ カキ 2 地点 4 圃場(地区予察圃場 2 地点 2 圃場=2 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 2 地点 2 圃場=地区予察圃場 2 地点併置の各 1 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
松阪	松阪市嬉野川北町(2)	伊勢志摩	玉城町蚊野(2)

- ⑥ ナシ 6 地点 7 圃場(地区予察圃場 3 地点 3 圃場=3 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 3 地点 4 圃場=2 地点各 1 圃場+1 地点 2 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
四日市鈴鹿	四日市市下海老町(1)	伊勢志摩	玉城町富岡(1)
津	津市久居小野辺町(1)、津市香良洲町(1)	伊賀	伊賀市羽根(2)
松阪	松阪市笹川町(1)		

- ⑦ ブドウ 5 地点 8 圃場(地区予察圃場 2 地点 2 圃場=2 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 5 地点 6 圃場=2 地点各 1 圃場+1 地点 2 圃場+地区予察圃場 2 地点併置の各 1 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
津	津市久居明神町(1)	伊賀	伊賀市森寺(2)、伊賀市上之庄(2)、名張市下小波田(2)
伊勢志摩	玉城町勝田(1)		

- ⑧ ウメ 4 地点 4 圃場(巡回調査圃場 4 地点 4 圃場=4 地点各 1 圃場)

地区	設置場所	地区	設置場所
津	津市片田田中町	紀州	御浜町中立、紀宝町大里
伊勢志摩	南伊勢町船越		

- ⑨ チャ 6 地点 18 圃場(地区予察圃場 3 地点 3 圃場=3 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 6 地点 15 圃場=2 地点各 3 圃場+1 地点 2 圃場+地区予察圃場 3 地点併置の 7 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
四日市鈴鹿	四日市市水沢町(3)、鈴鹿市山本町(4)、亀山市太森町(3)	伊勢志摩	度会町棚橋・牧戸(2)
松阪	大台町柝原(3) 松阪市飯南町粥見(3)		

⑩ 野菜 40 地点 51 圃場(地区予察圃場 10 地点 10 圃場=10 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 34 地点 41 圃場
=33 地点 40 圃場+地区予察圃場 1 地点併設の 1 圃場) 表中の(数字)は圃場数

野菜名	地区	設置場所	地区予察圃場	巡回調査圃場
冬春トマト	桑名 四日市鈴鹿 松阪 伊勢志摩	木曾岬町見入(1)、 木曾岬町源緑輪中 (1)、桑名市長島町(1) 四日市市貝家町(1) 松阪市嬉野一志町(1)、明和町佐田(1) 伊勢市小俣町相合(1)	1 地点 1 圃場	6 地点 6 圃場
秋冬ハクサイ	四日市鈴鹿 津 松阪	四日市市貝家町 (1)、四日市市下海老町(2)、菰野町池底(1)、 鈴鹿市国分町 (2) 津市一志町(2) 多気町丹生(1)、明和町志貴(1)	2 地点 2 圃場	6 地点 8 圃場
冬キャベツ	四日市鈴鹿 津 松阪 伊勢志摩	菰野町池底 (1)、四日市市下海老町(1)、四日市市貝家町(1)、鈴鹿市国府町(2) 津市芸濃町 (2)、津市久居野口町(1)、津市新家町(1) 松阪市嬉野森本町(1) 玉城町岡出(1)	3 地点 3 圃場	12 地点 14 圃場
春キャベツ	四日市鈴鹿 津	四日市市平尾町(1)、菰野町池底(1) 津市川方町 (2)、津市新家町(2)		
ネギ	松阪 伊勢	明和町川尻(2) 伊勢市東豊浜町 (4)	1 地点 1 圃場	2 地点 5 圃場
冬春イチゴ	津 松阪 伊勢志摩	津市芸濃町椋本(1)、津市一志町石橋(1) 松阪市藤之木町 (1)、松阪市曾原町(1)、松阪市嬉野権現前町(1)、 松阪市新開町(1) 玉城町勝田 (1)、玉城町岩出(1)、伊勢市小俣町相合(1)、鳥羽市堅 神町(1)、志摩市磯部町栗木広(1)	3 地点 3 圃場	8 地点 8 圃場

(4)ミバエ類等侵入警戒調査圃場(6 地点)

果樹等に多大の被害をもたらすミバエ類の侵入警戒のために誘引トラップを設置する(4~10 月)。

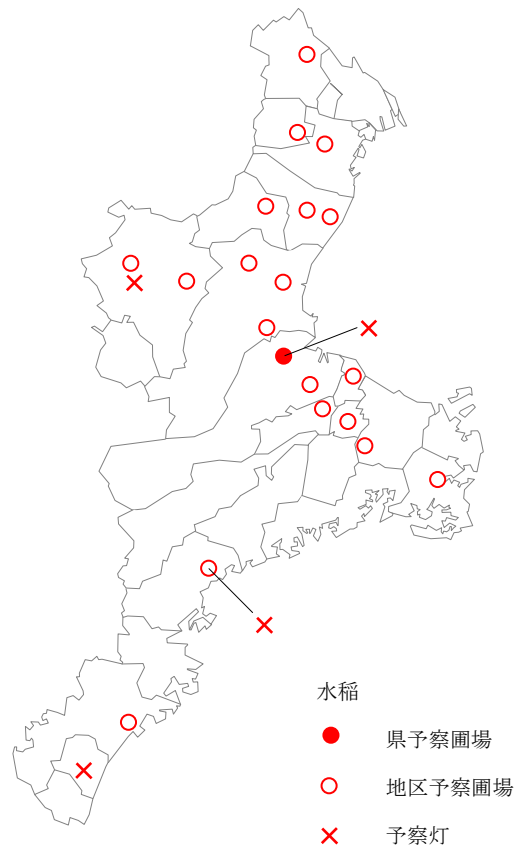
地区	設置場所	ウリミバエ・ミカンコミバエ種群 (ユーゲルア D8)	チチュウカイミバエ (メドフライコール)
桑名	桑名市多度町小山	○	○
津	津市大里窪田町	○	○
松阪	多気町五桂	○	○
伊勢志摩	南伊勢町船越	○	○
紀州	紀北町海野	○	○
	御浜町志原(紀南果樹研究室)	○	○

(5)火傷病侵入警戒調査圃場(7 地点)

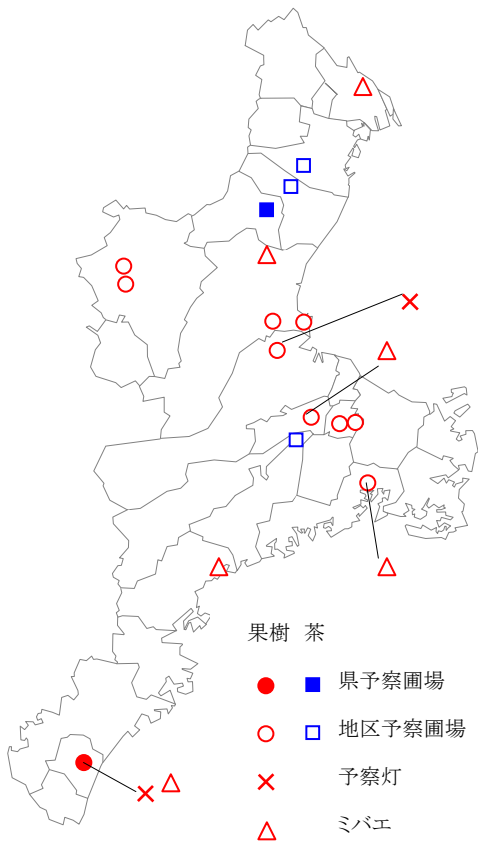
寒冷地のリンゴ等に多大の被害をもたらす火傷病の侵入警戒のために巡回調査を実施する(4~9 月)。

調査樹	地区	設置場所
日本ナシ	四日市鈴鹿	四日市市下海老町
	津	津市久居小野辺町、津市香良洲町
	松阪	松阪市笹川町
	伊勢	玉城町富岡
	伊賀	伊賀市羽根
カナメモチ	四日市鈴鹿	鈴鹿市高塚町

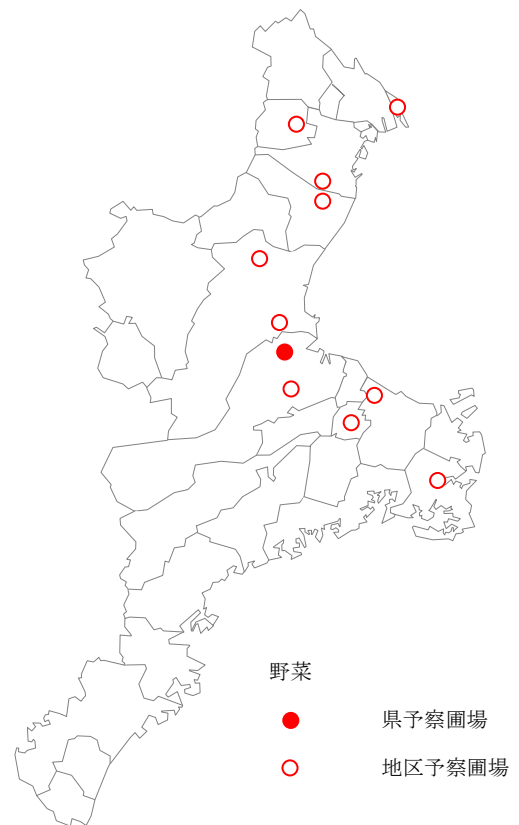
(6) 調査地点図



- 水稻
- 県予察圃場
 - 地区予察圃場
 - × 予察灯



- 果樹 茶
- 県予察圃場
 - 地区予察圃場
 - 予察灯
 - △ ミバエ



- 野菜
- 県予察圃場
 - 地区予察圃場

3. 作物別の病虫害発生状況

(1) 水稲

a 生育状況

(a) 育苗期

県内 21 育苗施設における調査では、苗立枯病、細菌性苗腐敗症、いもち病の発生は認められなかったが、ばか苗病の発生が認められた。コシヒカリでは、ばか苗病の発病箱率が 6 年間で最も高かった。

(b) 移植～活着期

5 月は温暖多照で推移し、活着～初期生育は順調であった。

(c) 分けつ期

田植え以降、5 月の気温が高めで推移し、日照量も多かったため、水稲の初期生育は順調であった。

6 月、梅雨に入ってから日照量は減少し、上旬の気温は平年より低かったものの、中旬以降は並から高めに推移しており、水稲の生育は例年よりも 2 日程度早かった。

各地域普及センターが設置している水稲生育基準田の調査結果では、5 月下旬～6 月上旬までのコシヒカリの生育状況は、昨年の同時期に比べて葉齢の進展は遅く、草丈、一株茎数はやや下回っていた。葉齢の進み方はやや早かった。葉色はやや濃い状況で推移した。

(d) 幼穂形成期～出穂期

生育基準田の調査結果では、出穂期、成熟期は前年よりも 2～3 日早かった。

(e) 登熟期

生育基準田の調査結果では、稈長はやや長く、穂長は前年と大きな差はなかったが、穂数は前年よりやや少なく、単位面積当たりの粒数はやや少なかった。登熟期の日照が多かったことから登熟歩合は高くなった。千粒重は前年並みであった。精玄米重は前年よりも多かった。

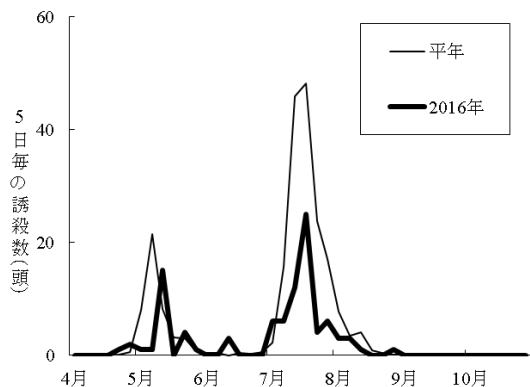
(f) 作柄

収量は 522kg/10a、作況指数 105 とやや良であった。コシヒカリの 1 等米比率は 65.7% (うるち米全体 65.5%) と昨年(41.1% (43.7%))を上回っている。

b 病虫害の発生状況

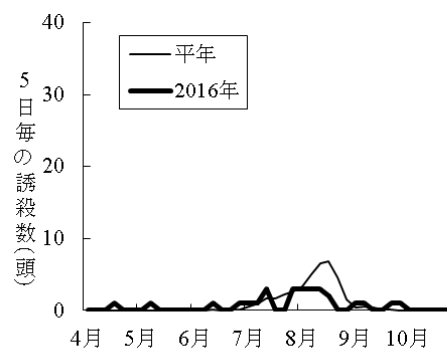
(a) 予察灯での誘殺状況(水田は 60 ワット白熱灯、畑地は 100 ワット水銀灯)

・イネミズゾウムシ



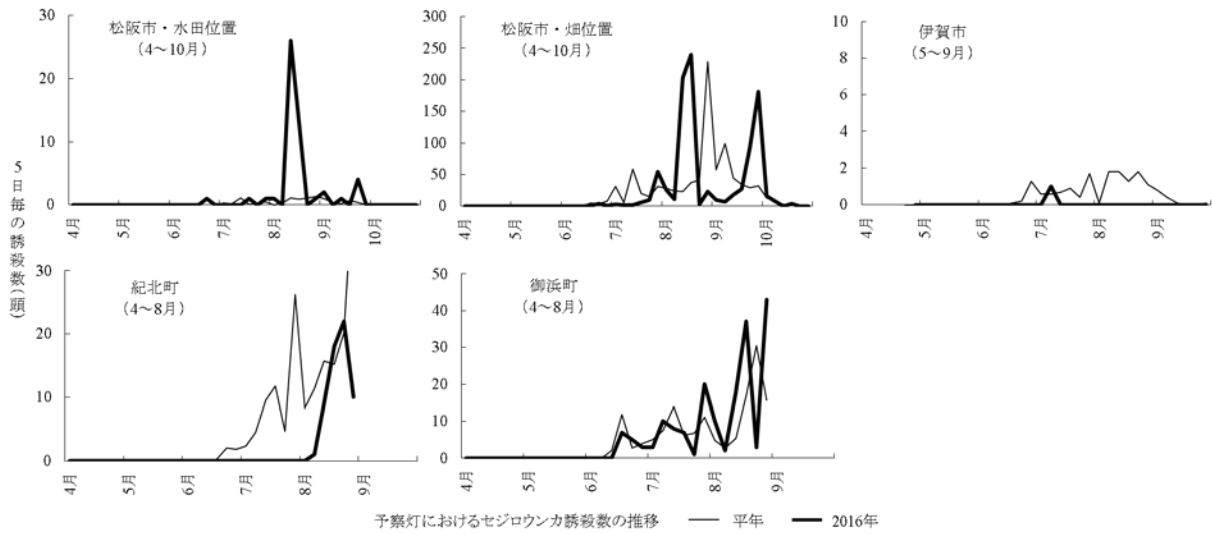
予察灯におけるイネミズゾウムシ誘殺数の推移(松阪市)

・フタオビコヤガ

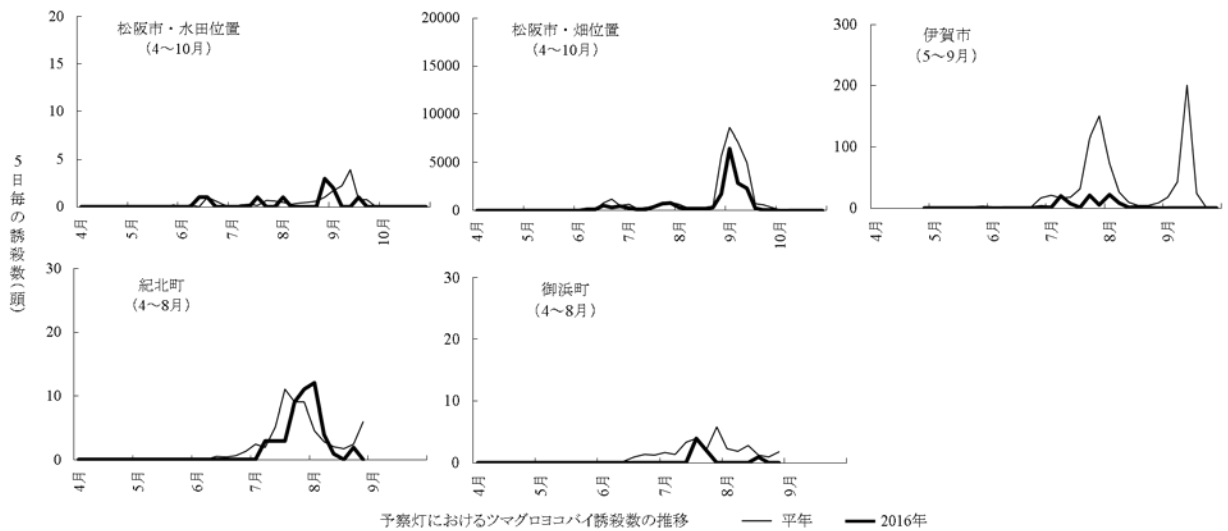


予察灯におけるフタオビコヤガ誘殺数の推移(松阪市)

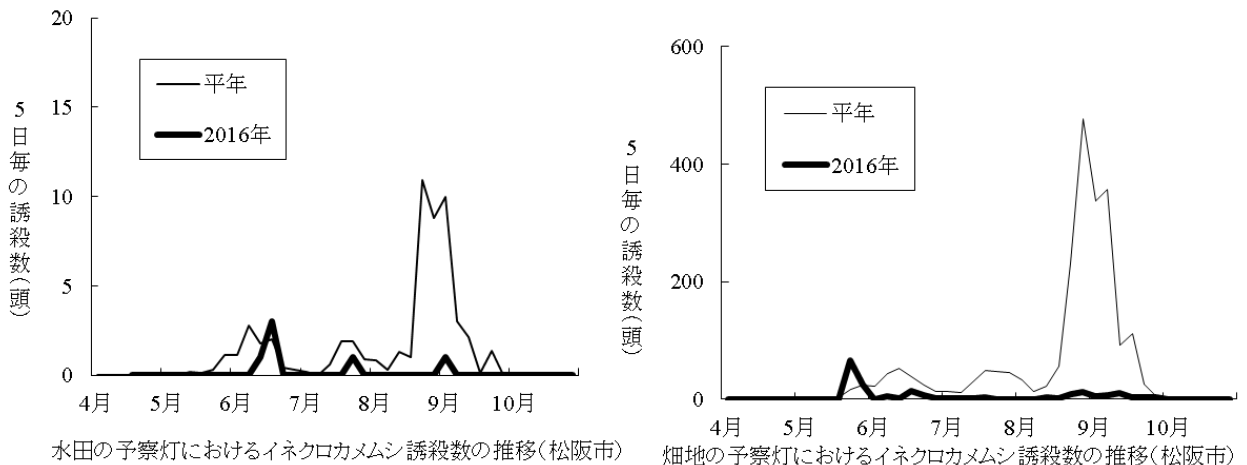
・セジロウシ



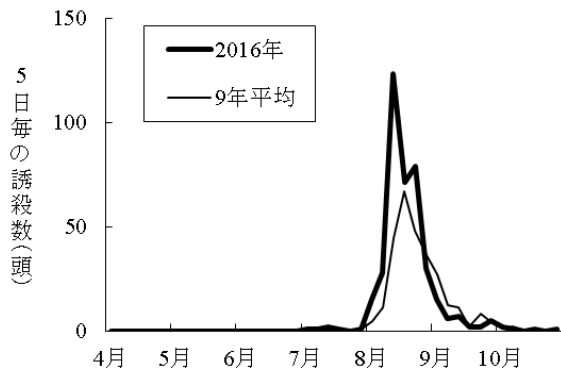
・ツマグロヨコバイ



・イネクロカメムシ

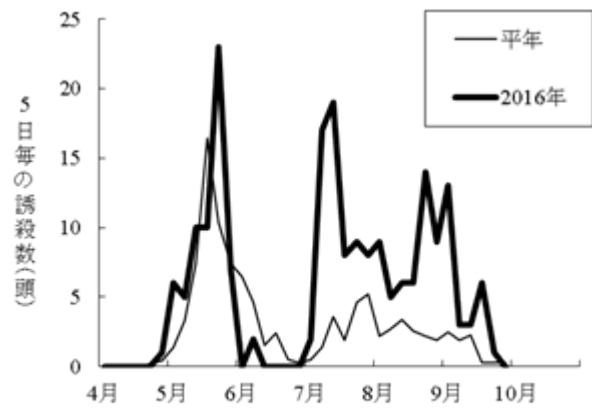


・クモヘリカメムシ



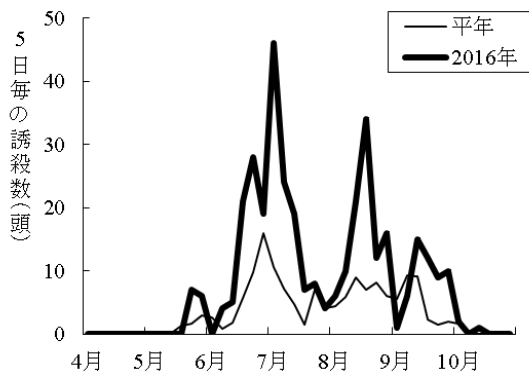
畑地の予察灯におけるクモヘリカメムシ誘殺数の推移(松阪市)

・ニカメイガ



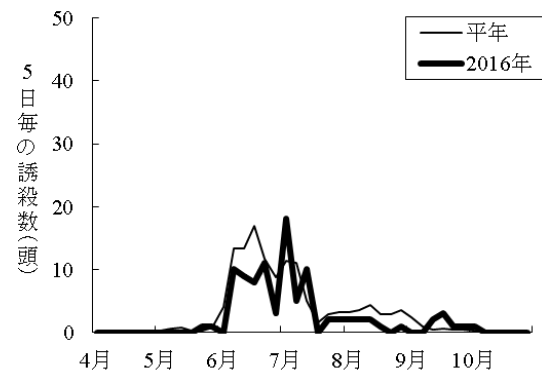
予察灯におけるニカメイガ誘殺数の推移(松阪市)

・アサジカスミカメ



予察灯におけるアサジカスミカメ誘殺数の推移(松阪市)

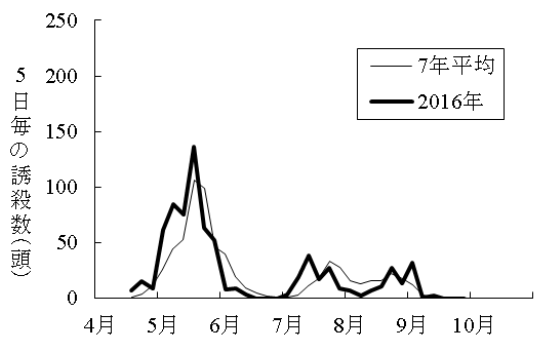
・アカヒゲホソドリカスミカメ



予察灯におけるアカヒゲホソドリカスミカメ誘殺数の推移(松阪市)

(b) フェロモントラップでの誘殺状況

・ニカメイガ



フェロモントラップによるニカメイガ誘殺数の推移(松阪市)

(2) 麦類(28年産)

a 生育状況

(a) 播種期

播種準備は、10月の好天により順調に進んだ。10月下旬から播種作業が開始され、11月上旬までに50%を終えた。中旬の降雨で中休みとなったが、11月下旬～12月で一部を除き、おおむね完了した。

(b) 生育期

1月上旬まで気温は高めで推移し、降雨もあったため11月上旬までに播種された麦の生育は例年になく早まった。1月中～下旬に寒波が襲来し、生育進度は停滞したが、2月に入って以降は暖冬傾向で、出穂期は例年よりも1週間から2週間早くなった。1月中下旬の寒波により一部で凍霜害が認められた。

(c) 出穂期

開花期に降雨が多かったこともあり、近年発生が少なかった赤かび病の発生が一部のほ場で認められた。

開花期以降も気温は高く推移し、収穫時期は例年よりもかなり早くなった。

(d) 登熟期

同じ地域内でも11月中旬の播種作業の中休みにより、播種時期の早いものと遅いものが混在し、収穫時期に差が出た。また、同一ほ場内において1月中下旬の寒波の影響と思われる成熟期のバラつき(軽微な凍霜害の影響)が認められた。

収穫は、例年よりも5日から8日程度早く、オオムギは5月18日頃から、コムギは5月23日頃から始まった。等級麦の集荷量は前年対比91.0%、規格外を含めた集荷量は前年対比95.3%であった。

オオムギの収量は234kg/10a(平年295kg/10a)とやや低収であった。コムギの収量は227kg/10a(平年259kg/10a)と平年並であった。

品質は、コムギ、オオムギとも27年産よりも悪くなっている銘柄が目立った。

b 病害虫の発生状況

コムギ縞萎縮病は「タマイズミ」の作付地域では発生したが、病徴は4月中にマスクングされた。耐病性品種の作付が進められたため、県全体としての発生量は少なかった。

赤かび病については、1)4月上中旬の高温多湿に推移した影響で発病が懸念され、2)防除適期の天候が目まぐるしく変化したため、雨天の合間に防除を実施する状況となった。防除が実施できなかったところでは、発生量が高くなったが、県下でみると、注意喚起による適期防除の実施により、発生量は少なく抑えられた。

(3) 大豆

a 生育状況

(a) 播種期

播種は6月下旬から始まった。7月に入り播種が本格化したが、7月第2半旬の降雨で一部播き直しがあった。7月第3半旬の好天で一気に播種が進んだ。一部は8月以降の播種となったが多くが適期の播種となった。

(b) 生育期

7月第3半旬以降好天が続き、中耕培土作業が順調に行われた。

8月中旬までは降雨が少なく干ばつの影響が懸念されたが、開花が始まるころから降雨があり、生育は順調であった。

9月に入ってから降雨が多く、排水の悪いほ場では湿害が認められた。台風16号の影響で、一部で倒伏、冠水の被害があった。

(c) 成熟期

9月中旬から10月上旬にかけて日照量が非常に少なく、子実の肥大に影響を及ぼした。

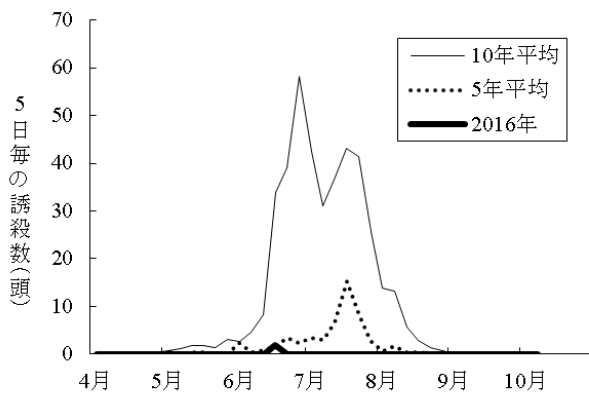
9月から10月にかけて雨が多かったことから、中南勢の防除ができなかった一部で吸実性カメムシによる青立ちや不稔による減収が認められた。

生育量はここ数年の中では最も良かったが、日照不足により粒肥大が悪く、吸実性カメムシ類の被害もあり減収した。

収量は87kg/10a(平年115kg/10a)と、前年同様に低収であった。一等比率は36%(平年39.4%)、大粒比率は58%(平年59.1%)と、前年を下回ったものの平年並であった。

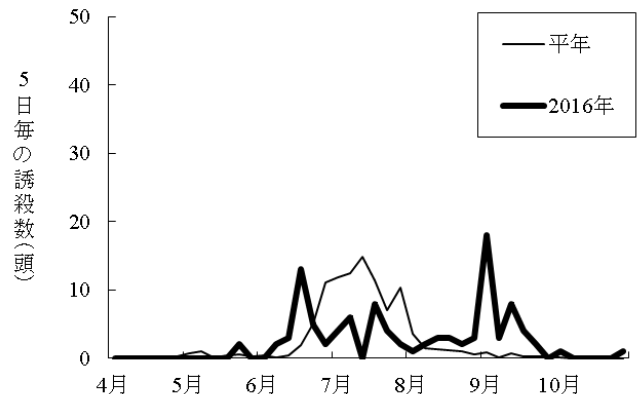
b 病害虫の発生状況

・アオクサカメムシ



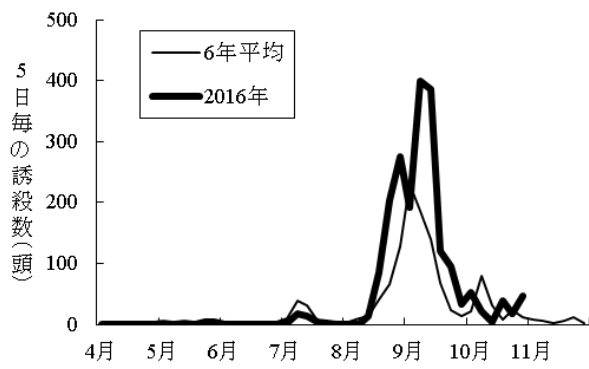
予察灯におけるアオクサカメムシ誘殺数の推移(松阪市)

・イチモンジカメムシ

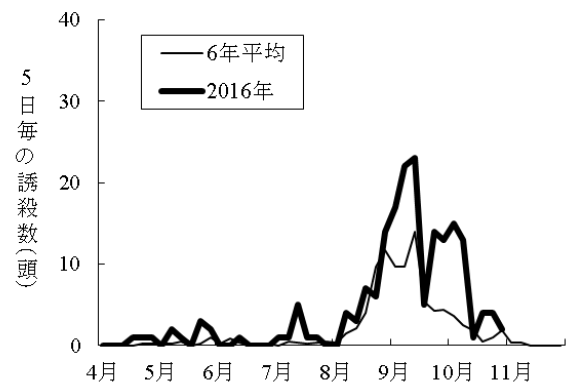


予察灯におけるイチモンジカメムシ誘殺数の推移(松阪市)

・ミナミアオカメムシ

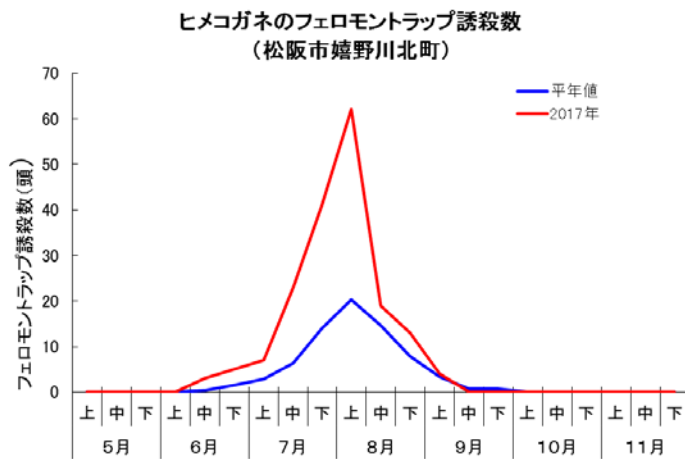


畑地の予察灯におけるミナミアオカメムシ誘殺数の推移(松阪市)

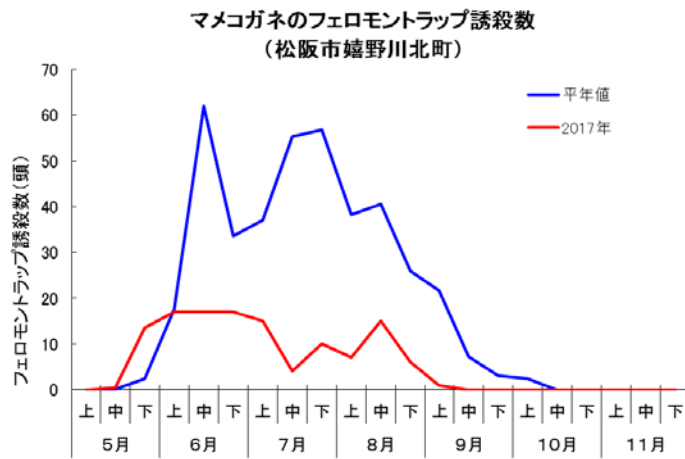


水田の予察灯におけるミナミアオカメムシ誘殺数の推移(松阪市)

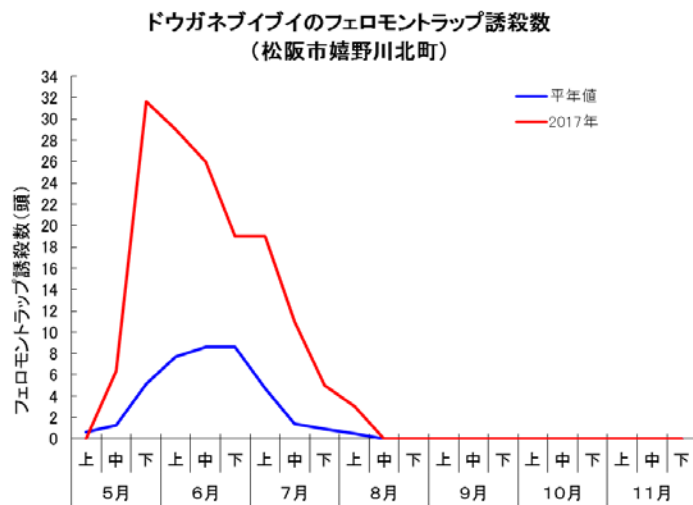
・ヒメコガネ



・マメコガネ



・ドウガネブイブイ



(4) 果樹

①生育状況

ア カンキツ

- ・発芽期は、平年に比べて極早生温州では2日、早生温州では3日遅かった。
- ・開花盛期は、平年に比べて極早生温州、早生温州ともに4日早かった。
- ・着花量は、極早生温州、早生温州ともにやや多、普通温州ではバラツキはあるものの全体ではやや多であった。
- ・果実発育は、横径が極早生温州は1.7mm 平年より大きく、早生温州は4.4mm 平年より小さかった。
- ・果実品質は、糖度については、極早生温州は平年と同じ、早生温州は平年より1.4度高くなった。クエン酸については、極早生・早生温州ともに平年並みだった。

イ ナシ(幸水)

- ・開花盛期は平年より1日早い、4月14日であった。開花後は気温が高く、結実は良好な年であった。収穫盛期は平年より2日早く、8月17日であった。
- ・果実の成長は良好であり、収穫期における果実は平年より大きくなったが、6月の降雨が平年より多く、糖度はやや低い傾向であった。

ウ カキ(前川次郎)

- ・4月下旬から5月上旬にかけて気温が高く、開花盛期は6日程度早くなり、5月15日であった。
- ・着蕾数は平年より多く、生理落果はやや多かった。
- ・生育後半の気温が高く推移し、着色が遅れ、収穫盛期は平年より18日遅い、11月29日であった。
- ・果実品質は、平年と比較して糖度は高く、果重は平年並みであった。

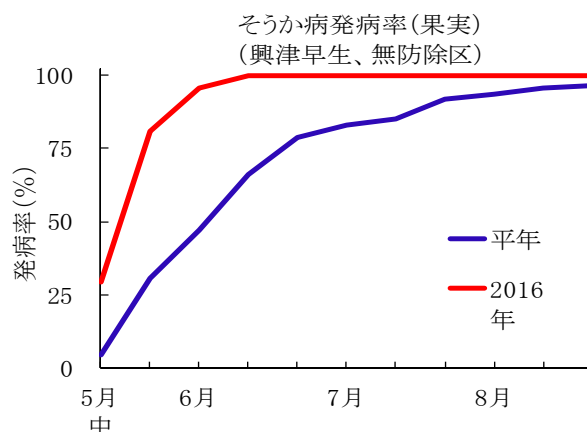
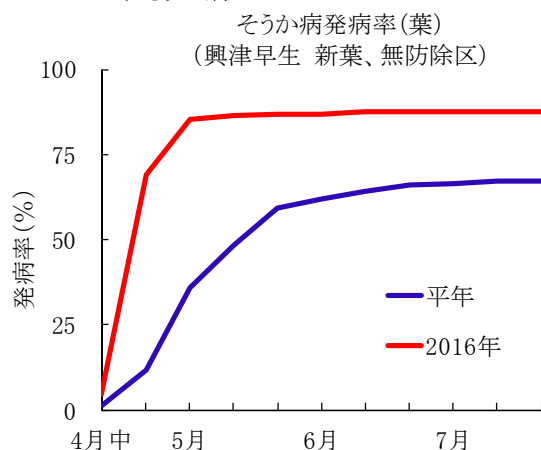
エ ブドウ(巨峰)

- ・発芽期は露地栽培で平年並みで、その後も前年のような生育初期の低温障害の影響も無く、展葉期、開花盛期もほぼ平年並みで推移した。有核栽培の結実は良好であった。
- ・梅雨の時期は降水量が多くなったが、収穫期は加温ハウスでは影響は無く、平年より4日、雨よけハウスで6日早くなった。その後、8月下旬は台風の影響もあり降水量が多く天候が安定しなかったため、露地栽培では収穫盛は平年より遅れた。果実品質は平年と比較して糖度、果粒重とも同程度であった。

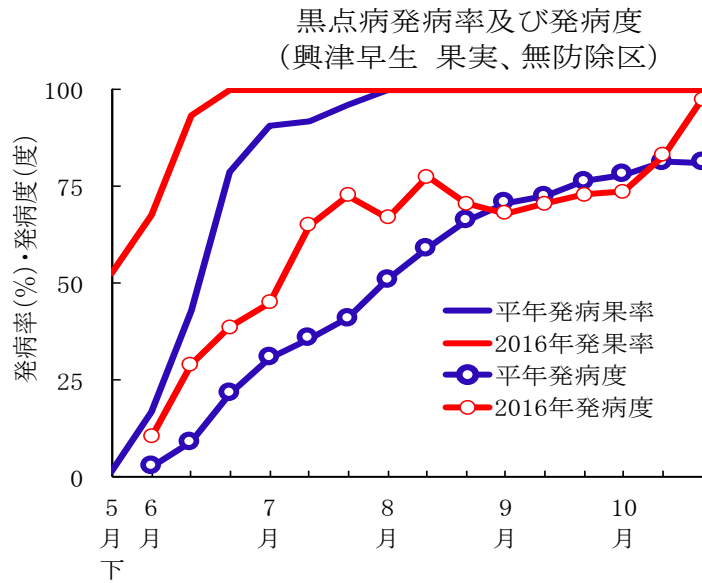
②病害虫の発生状況

ア カンキツ(御浜町 紀南果樹研究室)

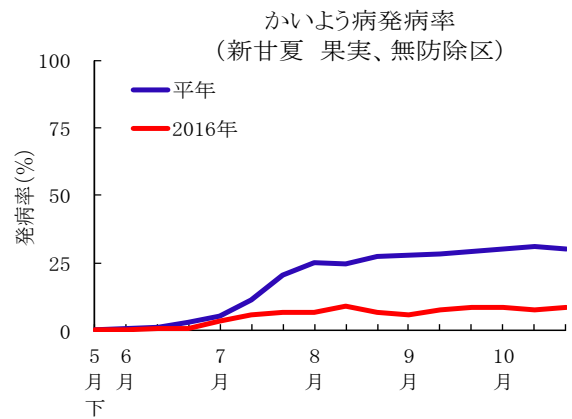
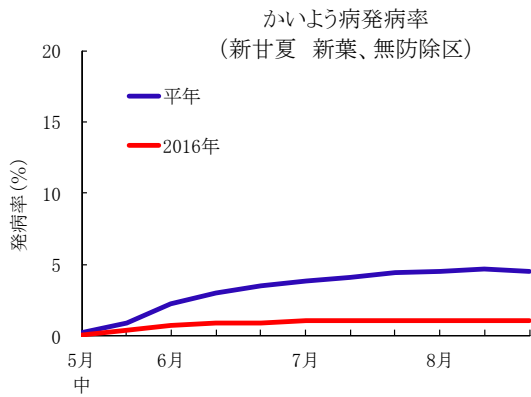
ア) そうか病



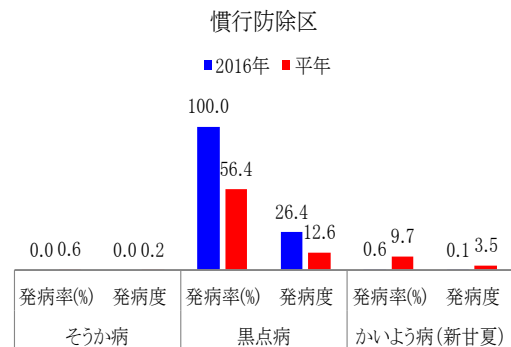
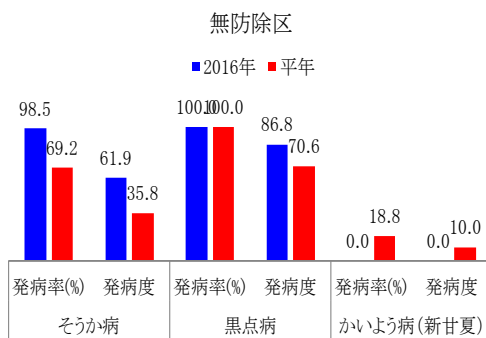
イ) 黒点病



ウ) かいよう病

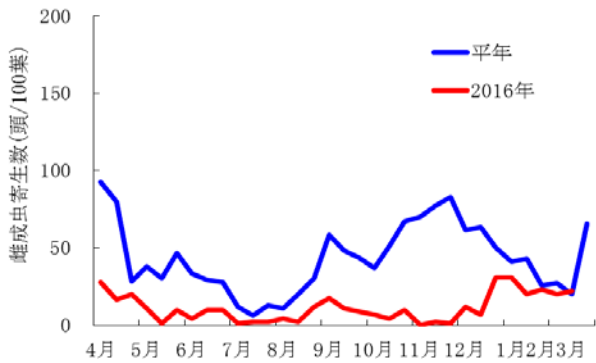


エ) 収穫果実(外観果実調査)

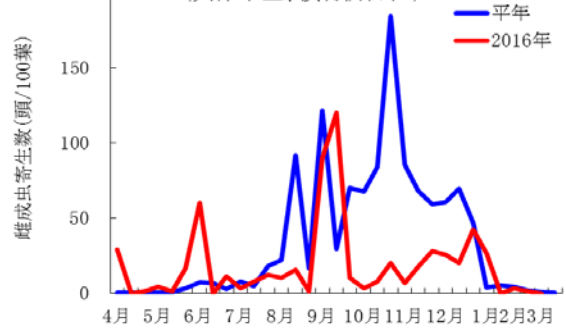


オ)ミカンハダニ

ミカンハダニ(葉)発生消長(無防除区)

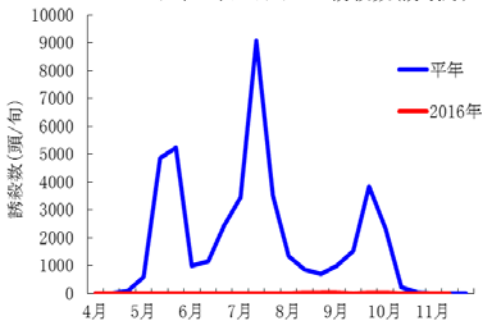


ミカンハダニ(葉)発生消長
(興津早生、慣行防除区)

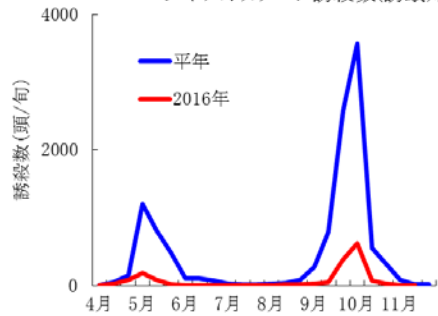


カ)カメムシ類の予察灯への飛来状況

チャバネアオカメムシ誘殺数(誘蛾灯)

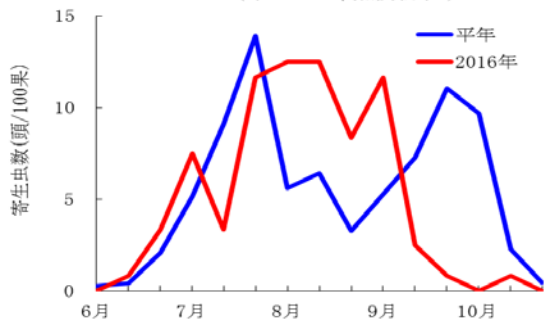


ツヤアオカメムシ誘殺数(誘蛾灯)

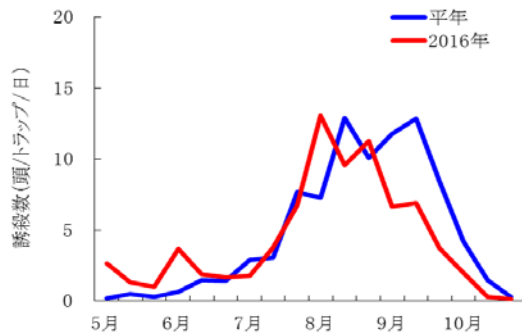


キ)チャノキイロアザミウマ

チャノキイロアザミウマ果実寄生虫数
(ネーブル、無防除区)

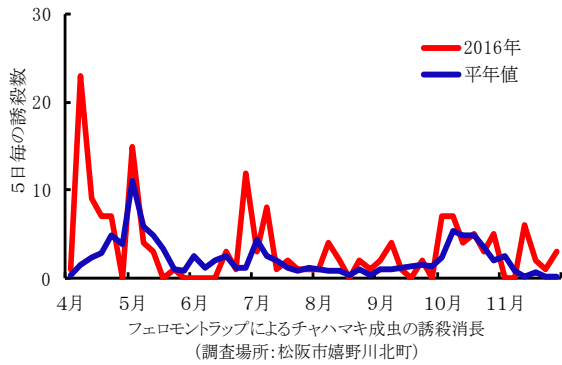
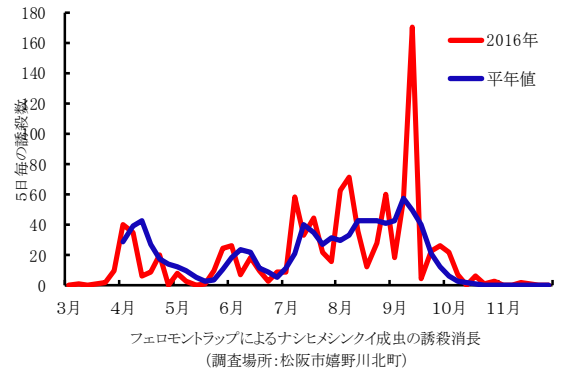
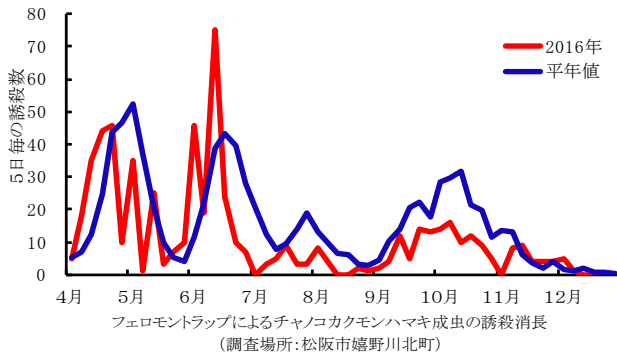


チャノキイロアザミウマ 粘着トラップ誘殺数
(ネーブル、無防除区)

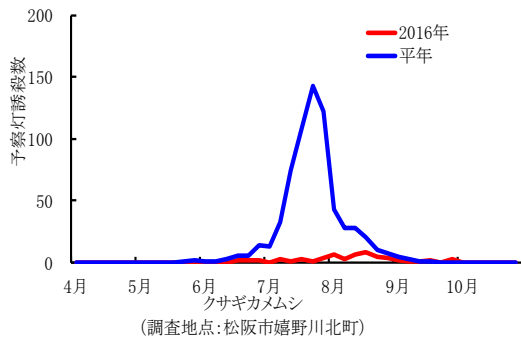
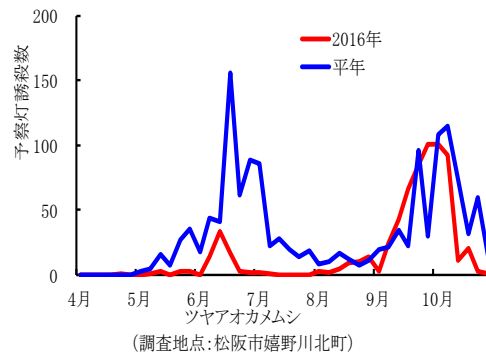
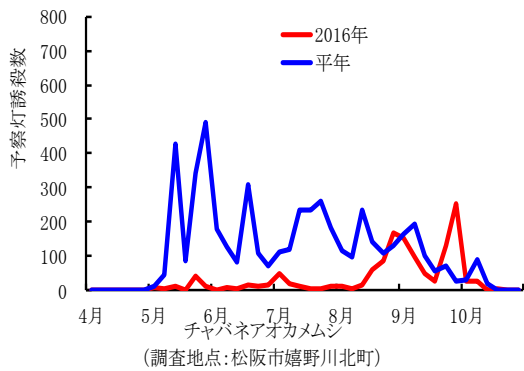


イ ナシ

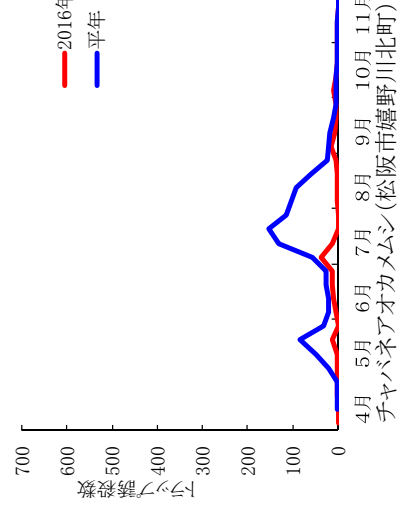
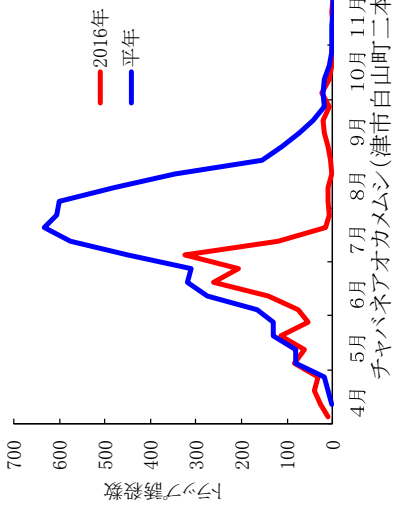
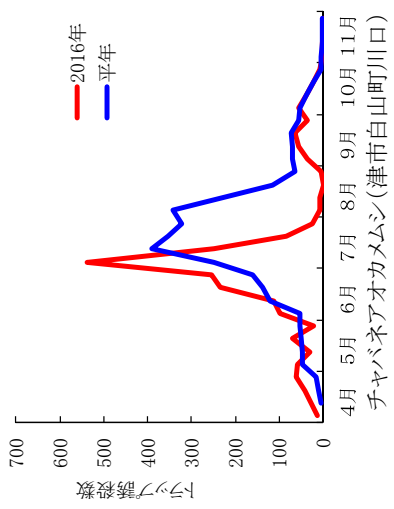
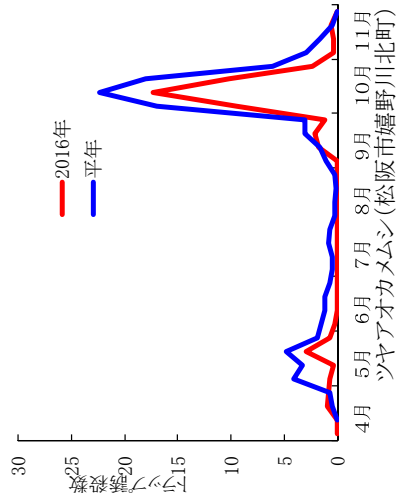
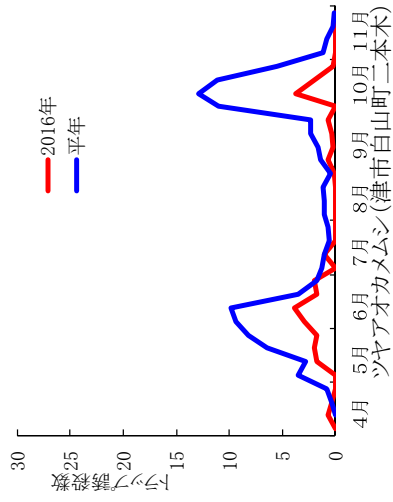
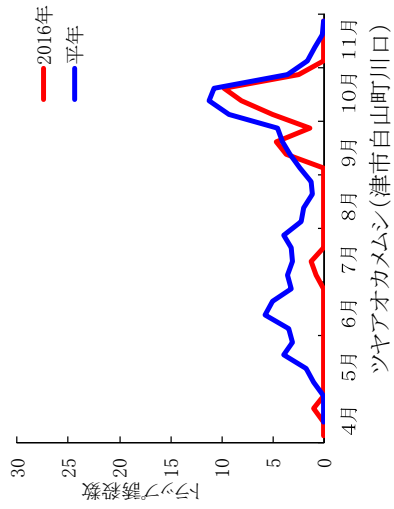
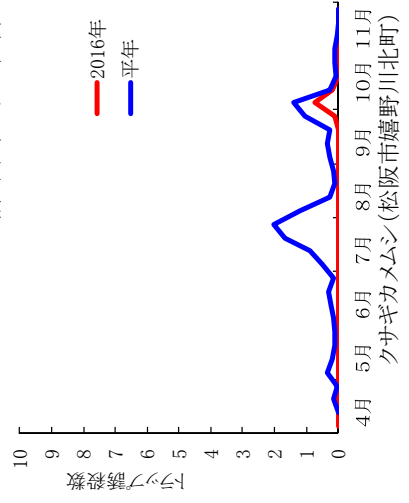
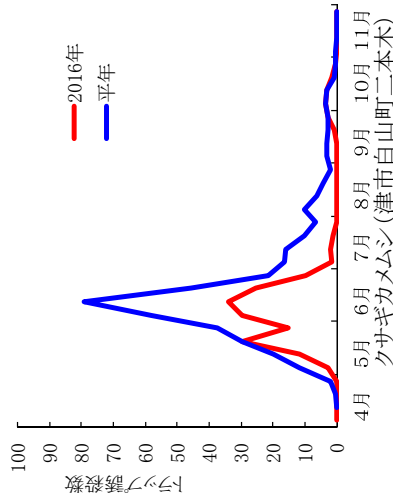
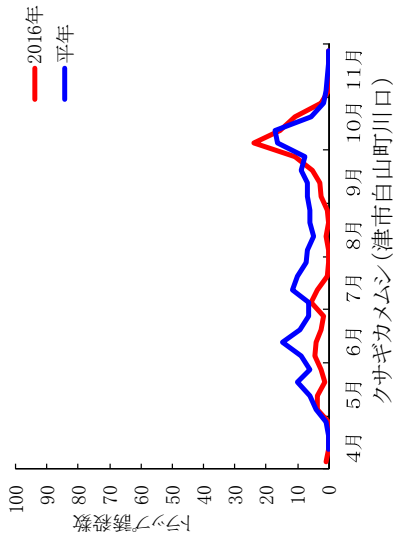
ア)フェロモントラップでの誘殺状況(松阪市嬉野川北町 病害虫防除所)



イ)カメムシ類の予察灯への飛来状況(松阪市嬉野川北町 病害虫防除所)



ウ 果樹カメムシ類フェロモントラップ



(5) 茶

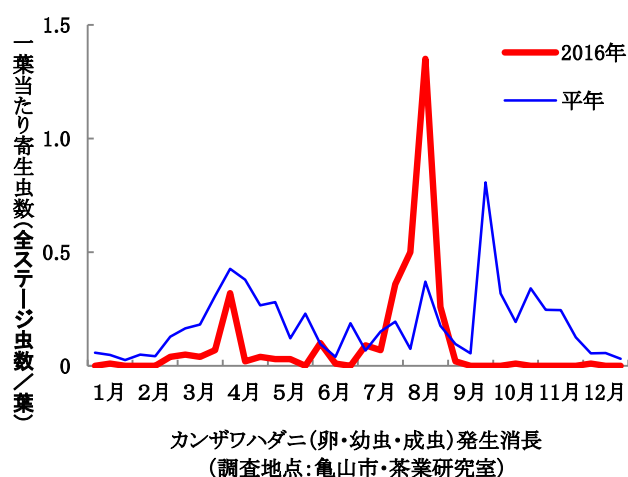
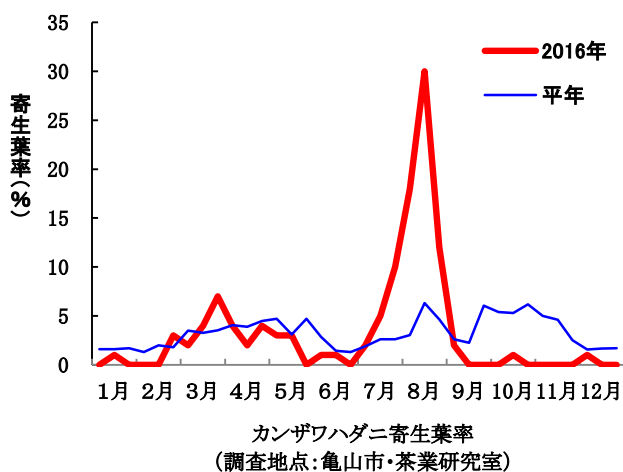
①生育状況

- ・ 3月上旬～4月下旬の気温は平年並～高く推移し、一番茶芽の生育は良好であった。摘採期は5月上旬と平年並に比べて3～4日早く、収量は前年比120%と増収となった。二番茶収量は、平年並であった。

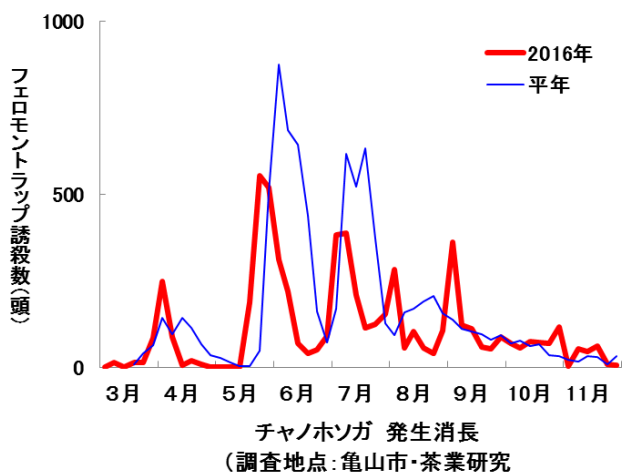
②病害虫発生状況

- ・ 炭疽病は4月～6月は平年並であったが、7月以降は2番茶の残葉や生育の早かった3番茶への発生が多くなった。輪斑病は一部の地域で発生量はやや多く見られたものの、期間を通じて平年並に推移した。もち病は期間を通じて平年並に少発生で推移した。
- ・ カンザワハダニは4月下旬から増加し5月上旬には急増した園地も見られたが、天敵の増加により抑制された。6月以降は少発生傾向で推移した。チャノコカクモンハマキは越冬量がやや多く4月から5月の気温も高かったことから、越冬世代から第3世代成虫の飛来時期は早く、飛来数は平年よりも多かった。チャノホソガは期間を通じて平年よりやや少なく推移した。チャノミドリヒメヨコバイは4月～5月上旬は平年並であったが、5月中旬から増加し始め、以後はやや多い発生量で推移した。チャノキイロアザミウマは全体的にはやや少～平年並で推移したが、7月にはやや多発生した。クワシロカイガラムシの発生時期は、第1世代・第2世代幼虫孵化最盛期は早く、発生量は平年並であった。

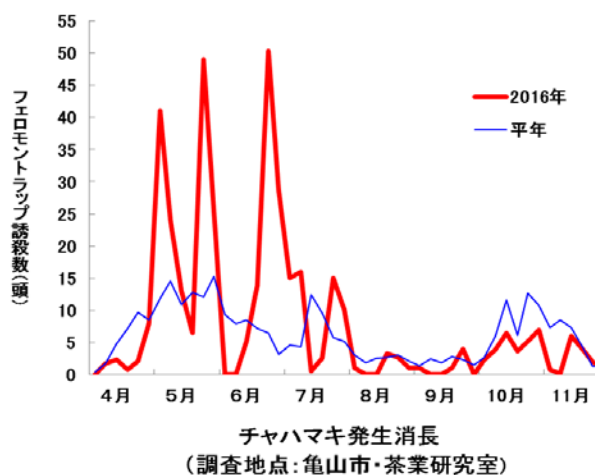
ア) カンザワハダニ



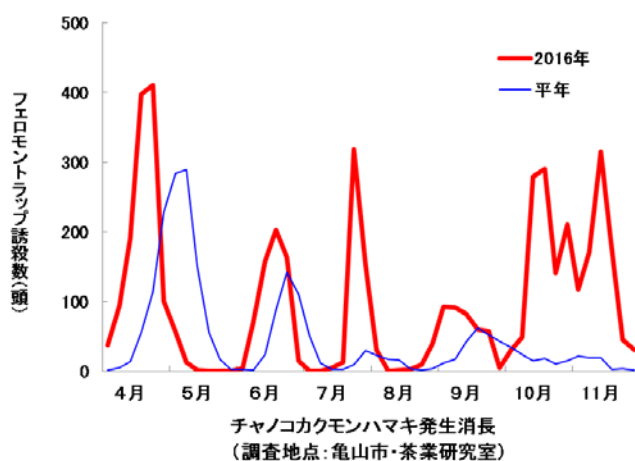
イ) チャノホソガ



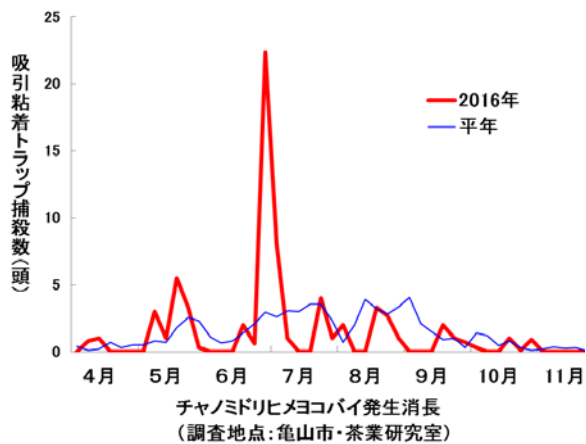
ウ) チャハマキ



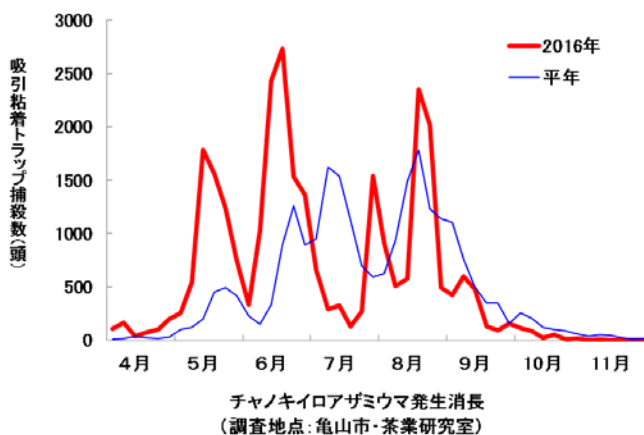
エ) チャノコカクモンハマキ



オ) チャノミドリヒメコバイ



カ) チャノキイロアザミウマ

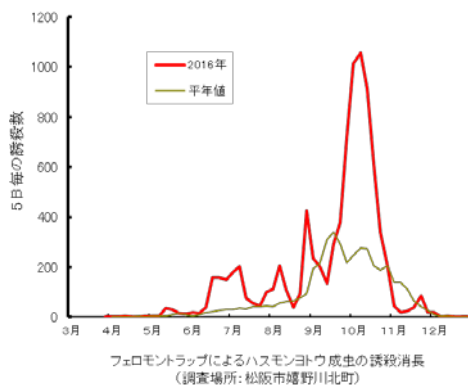
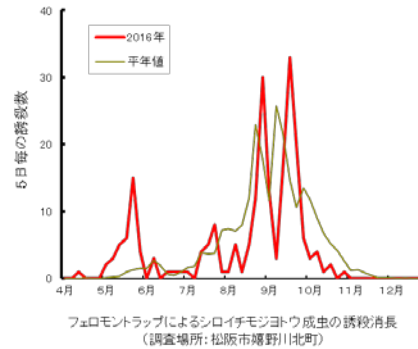
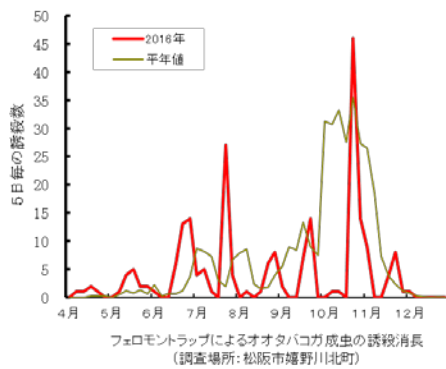
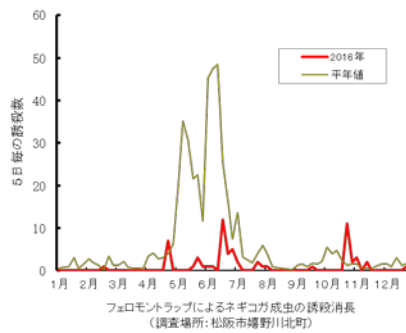
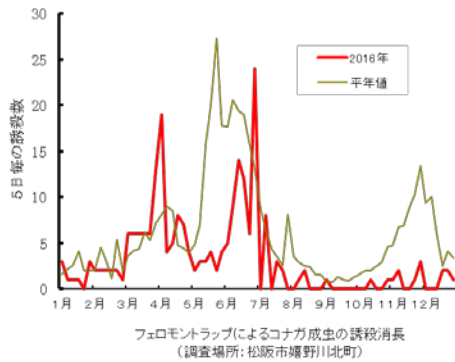


(6) 野菜

a 生育及び病害虫の発生状況

- ・トマトでは、春先に圃場によっては灰色かび病が果実で発生が見られた。また、年末にはすすかび病の発生が一部ほ場で発生が多く見られた。
- ・キャベツ、ハクサイなどの露地野菜では、全般的に病害の発生は少なく経過したが、キャベツでは、早期にハスモンヨトウの被害が見られ、また、ハクサイでは一部ほ場で軟腐病の多発ほ場が確認された。
- ・ネギでは、ネギアザミウマ、ネギハモグリバエは、年間を通じていずれもやや多い発生が認められた。
- ・イチゴでは、4月にアザミウマ類が多く確認された。9月には、ハスモンヨトウの被害が多く見られ、年末には灰色かび病が果実で多く確認された。また、近年、発生は少ないが菌核病が果実で発生したほ場が一部で確認された。

b フェロモントラップ



(7) 全作物一覧

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
イネ (早期)	葉いもち	6月中旬～8月上旬 前年:少 前年:少	発生量:少 前年:少	育苗期間中および置き苗での発生なし。7月上旬の発生面積、発病程度はともに昨年より少なかった。一部地域では、激発した。	感染好適条件は6月中旬から下旬にかけて、広域で繰り返し出現したが、箱施用や本田防除による予防が行われたこと、前年の穂いもちの発生が少く感染源の持ち込みが少なかったこと、感染好適条件出現後の高温多湿で推移したこと等の要因で発生が抑えられた。	箱施用もしくは本田防除が行われた。病害虫防除技術情報第3号(6月23日発表)、病害虫発生予察注意報第1号(7月21日発表)による注意喚起を行った。
	穂いもち	7月下旬～8月下旬 前年:少 前年:少	発生量:やや少 前年:並	発生面積、発病率ともに昨年並に少ない状況であった。	葉いもちにおける上位葉進展率が高いことから穂いもちの発生が懸念されたが、晴天が続いたため、発生量は少なく抑えられた。一部の圃場では葉いもちが上位葉へ進展し、穂いもちが発生した。	被害の恐れのある圃場では本田防除が行われた。病害虫発生予察注意報第1号(7月21日発表)による注意喚起を行った。
	紋枯病	7月～8月 前年:少 前年:少	発生量:少 前年:やや少	7月上旬、8月上旬ともに発生面積、発病率、発病度は昨年より少なかった。	夏期は高温で推移したが、過繁茂でなかったため、高温多湿条件とならずに、病勢の進展が抑えられたと思われる。	被害の恐れのある圃場では本田防除が行われた。
	斑点米カメムシ類	6月～9月 前年:少 前年:少	発生量:やや多 前年:やや少	5月にはコムギやイネ科雑草で発生が確認され、7月まで畦畔雑草での発生が確認された。周辺より出穂の早かった圃場では、ホソハラカメムシ、クモハラカメムシ等が多発した。平年は早期水稲では発生が少ないミナミアオカメムシが散見された。	越冬世代成虫が多かったことに加え、天候が高温少雨で推移したため、活動及び増殖に好適な環境となり、発生がやや多くなったと思われる。	畦畔の雑草管理は良好であったが、一部の圃場では畦畔の雑草管理が行き届いていなかった。被害の恐れのある圃場では本田防除が行われた。病害虫発生予察注意報第2号(7月21日発表)による注意喚起を行った。
	イネミズウムシ	5月～6月 前年:少 前年:少	発生量:並 前年:やや多	移植後の5～6月における越冬世代成虫の発生量は昨年並であった。8月上旬における第一世代成虫の発生量は少なかった。	昨年夏の越冬成虫量は昨年並、第一世代の発生量はやや少であった。近年の過剰な高温によって発生密度は抑制されたと考えられる。	被害の恐れのある圃場では箱施用が行われた。
	ツマグロヨコバイ	6月～9月 前年:少 前年:少	発生量:並 前年:並	6～8月にかけて発生面積、払い落とし虫数ともに昨年並に推移した。	7月の前線や低気圧に伴う強風で増加が抑えられた。	本種を主目的とした防除は行われていない。
	セジロウカ	6月～9月 前年:少 前年:少	発生量:並 前年:やや多	発生量は、7月まで少なく、8月には昨年並に推移した。	7月中旬まで飛来量が少なかった。	被害の恐れのある圃場では箱施用または本田防除が行われた。
	トビイロウカ	7月～9月 前年:少 前年:少	発生量:並 前年:並	昨年と同様に発生は確認されなかった。	飛来量が少なく、本田での発生はほとんどなかった。	本種を対象とした防除は行われていない。
	ヒメトビウカ	6月～9月 前年:少 前年:少	発生量:並 前年:やや多	6～7月にかけて発生面積・発生量はやや多かったが、8月は昨年並と少く推移した。	7月の前線や低気圧に伴う強風で増加が抑えられた。	綿葉枯病の発生がなく、本種を対象とした防除は行われていない。
	ニカメイガ	6月～8月 前年:少 前年:少	発生量:やや多 前年:多	多くの地域で発生がみられ、一部の圃場では被害が散見された。	近年増加傾向にあり、本年は発生がやや多となった。	例年被害の出る地域では、必要に応じて防除が行われた。
	コブノメイガ	7月～9月 前年:少 前年:少	発生量:少 前年:並	7、8月ともに発生量は昨年並に少なかった。	飛来量が少なく、本田での発生量は少なかった。	発生が多い圃場では本田防除が行われた。
	白葉枯病	8月 前年:少 前年:少	発生量:並 前年:並	白葉枯病に弱い品種では発生が確認された。	強風を伴う降雨が少なく、感染の機会が少なかった。	例年被害の出る地域では、必要に応じて防除が行われた。
	もみ枯細菌病 (細菌性苗腐敗症)	4月中旬～5月上旬、8月 前年:少 前年:少	発生量:並 前年:並	育苗期間中に一部で発生があったが、昨年並に少ない状況であった。	採種圃において対策が徹底され、健全な種子が供給された。	種子消毒で防除した。
	苗立枯病	4月中旬～5月上旬 前年:少 前年:少	発生量:並 前年:並	育苗期間中に一部でリゾプス、フザリウムが発生があったが、全体としては昨年並に少ない状況であった。	育苗期間の気温は不安定であったが、適切に管理された。	床土消毒で防除した。
	ばか苗病	4月中旬～5月上旬、7月 前年:少 前年:少	発生量:並 前年:やや多	育苗期間、本田ともに発生が確認された。	発生施設および発生圃場では、保菌種子の混入があり、かつ温湯による種子消毒の操作に不備があったと考えられる。	種子消毒で防除した。採種圃および周辺圃場では対策を徹底し、育苗施設巡回において種子消毒や育苗管理の状況を確認した。
	綿葉枯病	前年:少 前年:少	発生量:並 前年:並	発生は確認されていない。	例年、発生は確認されていない。	本病害を対象とした防除は行われていない。
	萎縮病	前年:少 前年:少	発生量:並 前年:並	発生は確認されていない。	例年、発生は確認されていない。	本病害を対象とした防除は行われていない。
	イネドロオイムシ	5月中旬～7月上旬 前年:少 前年:少	発生量:やや多 前年:やや多	発生量はやや多であるが、例年被害は少ない。一部地域では発生が目立つ圃場があった。	例年の発生変動の範囲内である。	被害の恐れのある圃場では箱施用または本田防除が行われた。
	イネクロカメムシ	5月中旬～9月 前年:少 前年:少	発生量:少 前年:やや少	一部地域では6月上旬頃から発生が確認されたが、被害は少なかった。	一時期被害が多発したが、近年は落ち着いた傾向にある。	例年被害の出る地域では、箱施用もしくは本田防除が行われた。
	イチモンジセセリ	7月～8月 前年:少 前年:少	発生量:やや多 前年:やや多	7～8月の発生量はやや多であった。	夏期に高温少雨で推移したため、広範囲で発生したが、過度の高温によって発生密度は抑制されたと考えられる。	本種を対象とした防除は行われていない。
アワトク	7月～8月 前年:少 前年:少	発生量:少 前年:やや少	発生はみられたが、被害はなかった。	近年増加傾向にあったが、本年は発生が少なく被害はなかった。	本種を対象とした防除は行われていない。	
フタオビコヤガ	7月～8月 前年:少 前年:少	発生量:並 前年:並	6月上旬から発生がやや多く確認されたが、7～8月の発生量は昨年並であった。	夏期に高温少雨で推移したため、広範囲で発生したが、過度の高温によって発生密度は抑制されたと考えられる。	本種を対象とした防除は行われていない。	
イナゴ類	6月～9月 前年:少 前年:少	発生量:やや多 前年:並	6月から圃場内、畦畔ともに発生が目立ち、8月まで多い状態で推移したが、被害はなかった。	近年増加傾向にあり、本年も発生量は多く推移した。	本種を対象とした防除は行われていない。	
イネシガラセンチュウ	前年:少 前年:少	発生量:並 前年:並	発生はほとんどなかった。	種子更新・種子消毒が徹底された。	種子消毒で防除した。	
小麦	うどんこ病	4月～5月 前年:少 前年:少	発生量:並 前年:並	一部地域では発生が散見された。	近年ほとんど発生を確認していなかったが、本年確認した。昨年並に少ない状況であった。	本病を主な対象とした防除は行われていないが、発生地域では、防除を実施した。
	赤かび病	5月～6月 前年:少 前年:少	発生量:並 前年:並	発生圃場率は昨年より高かったが、発病率は昨年より少く抑えられた。	例年より生育進捗が早く開花時期も早まる傾向であった。開花前の4月上旬は高温多湿に推移し、感染の機会が高く発病が懸念された。防除適期の天候は目まぐるしく変化し、雨天の間に防除を実施する状況となった。防除が実施できなかったところでは、発生量が多かったが、県全体でみると、注意喚起による適期防除の実施により、発生量は少く抑えられた。	開花期の薬剤防除を実施した。病害虫防除技術情報第1号(4月5日発表)による注意喚起を行った。
	さび病類	4月～6月上旬 前年:少 前年:少	発生量:並 前年:並	一部地域では発生が散見された。	近年ほとんど発生を確認していなかったが、本年確認した。昨年並に少ない状況であった。	本病を対象とした防除は行われていない。
	綿萎縮病	4月～5月 前年:少 前年:少	発生量:やや少 前年:やや少	一部の品種では発生したが、4月中にはマスキングされた。	耐病性品種の作付が増えた。罹病性品種では極端な早播きを避けたほか、感染の機会があったものの健全な生育を維持することで、昨年よりも発生が抑えられた。	耐病性品種・播種時期・施肥管理など耕種防除を組み合わせて対応した。
	黒穂病類	5月～6月 前年:少 前年:少	発生量:並 前年:並	発生はほとんどなかった。	種子更新により、健全な種子が使用されているため、ほとんど発生はない。	本病を対象とした防除は行われていない。
	ムギアカタマハエ	5月～6月 前年:少 前年:少	発生量:並 前年:並	発生はほとんどなかった。	連作圃場では発生があるがわずかである。	連作回避で防除した圃場が多い。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	アブラムシ類	4月～6月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	5月上旬の発生量は平年並であったが、被害はなかった。	例年の発生変動の範囲内である。	本種を対象とした防除は行われていない。
大豆	アブラムシ類	8月～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	平年並に発生量はやや少なく推移した。	例年の発生変動の範囲内である。	本種を対象とした防除は行われていない。
	ハスモンヨトウ	8月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	8月上旬から白変葉が地域によっては多く見られた。9月以降も圃場内での発生量は引き続き多かったが、薬剤防除された地域では防除効果が現われた。	天候等の気象要因で薬剤防除が実施できなかった地域では発生量は多く推移したが、薬剤防除が実施された地域では防除効果が現われた。	集団化された圃場では、発生量に応じて無人ヘリまたは乗用散布機で防除を実施した。病害虫防除技術情報第5号(8月16日発表)、病害虫発生予察注意報第3号(8月31日発表)による注意喚起を行った。
	吸実性カメムシ類	8月～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	9月上旬から圃場内で発生、伊勢平坦地では主にシナミアオカメムシが確認された。	近年シナミアオカメムシが分布拡大し、発生量が増加した。早期水稲の収穫に伴ってダイズへ飛来が集中した。	集団化された圃場では、発生量に応じて無人ヘリまたは乗用散布機で防除を実施した。病害虫防除技術情報第6号(9月16日発表)による注意喚起を行った。
	紫斑病		平年：やや少 前年：やや少	紫斑病の発生量はやや少なかった。	前年に紫斑病が多発した地域では、巡回を実施して薬剤散布を徹底した。	健全種子の使用、種子消毒の実施。集団化された圃場では、無人ヘリまたは乗用散布機で防除を実施した。
	コガネムシ類	8月～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	圃場での発生は確認されたが、平年並に少なく推移した。	フェロモントラップの状況から今年の発生量は、平年並に少なかったと思われる。	本種を対象とした防除は行われていない。
	シロイチモジマダラメイガ		平年：やや多 前年：多	食害による被害粒の発生量はやや多かった。	降雨の影響等で適期に薬剤防除を行なうことが困難であったためと考えられる。	適期防除を行なうことが困難であった。
かんきつ	そうか病	春葉 4～7月 平年：やや早い 前年：並 果実 5～9月 平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	春葉での初発は4月11日でやや早く、果実では5月16日と平年並だった。春葉では発生量のピークである4月頃をとりえて平年並としたその後は少なく推移した。果実では期間を通じて平年並に少ない発生であった。	3月中旬～下旬は晴天が多かったが、4月上旬は多雨で日照不足だったため、春葉での初発時期が早まったと考えられる。一方、4月中旬～5月は天候も回復し発生が抑えられた。	イミベンコナゾール剤、ジチアンノル剤等による発芽期防除が実施されている。
	黒点病	果実 5月～ 平年：やや早い 前年：並	平年：並 前年：やや少	果実での初発は5月中旬でやや早かった(県予察圃)。一般圃場では概ね適切に防除できており、発生は夏場を中心に少なく推移した。	6月は降雨が多かったが、梅雨後半の7月上旬は晴れの日が多く発生は抑制された。	初期感染時期から降水量に応じてマンゼブ剤、マンネブ剤、ポリカーバマート剤等による防除が実施された。
	かいよう病	春葉 5～9月 平年：並 前年：やや早い 果実 6～9月 平年：並 前年：やや早い	平年：並 前年：やや多	温州みかんでは期間を通じて発生量は平年並に少なかった。中晩柑では春葉のピーク時(7月)をとりえて平年並としたがそれ以外は、果実とも発生量は比較的少なかった。巡回圃場における7月上旬の春葉発病率は7.7%(平年8.7%)、発病度は3.9(平年3.4)だった。	中晩柑では銅剤による防除により数年前から発生が抑制されているが、このことが期間全体で発生が抑えられた大きな要因と考えられる。ただし7月の発生は6月中旬の降雨により助長されたと考えられる。	中晩柑類では定期的に銅剤による防除が実施された。また、降雨の前後にも銅剤等による防除が実施された。
	ミカンハダニ	4月～ 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	一部の地域で発生はやや多く見られたものの、期間を通じて比較的少ない状況だった。	発生が増加する6月中下旬に雨が多かったこと、その後の高温、8月下旬の多雨、9月20日の台風16号の影響により、発生が抑制されたと考えられる。	マシン油乳剤を主体とした防除が実施されているが、多発時にはアセキシル剤、シフルメフェン剤、シエノピラフェン・ピリダベン剤等による防除が実施された。
	ハマキムシ類	5月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	防除が的確に行われ、発生が抑制された。	アラニカルブ剤等による防除が実施された。
	褐色腐敗病	8月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	9月時点での発生は平年並に少ない。	8月下旬～9月には平年を上回る降雨があり、春から夏にかけては平年並に少なく推移した。	マンゼブ剤、シアゾファミド剤等で防除が実施された。
	ヤノネカイガラムシ	第1世代 4～7月 第2世代 7～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	近年発生量は少ないが、局所的に発生が見られる圃場もある。	マシン油乳剤、DMTP剤等による防除が実施された。
	チャノキアザミウマ	5月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて平年並で推移した。	防除が的確に行われ、発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤、クロルフェニル剤等による防除が実施された。
	アブラムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並で推移した。	防除が的確に行われ、発生が抑制された。	幼木を中心に、アセタミプリド剤、チアトキサム剤による防除が実施された。
	ミカンハモグリガ	5～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	期間を通じて発生量は平年並で推移した。	例年、被害は中晩柑で夏秋梢の発生が多い圃場や、幼木園、高接樹等を中心には発生しているが、的確な管理、防除が行われた結果、平年並で推移した。	幼木を中心に、アセタミプリド剤、チアトキサム剤による防除が実施された。
	アカマルカイガラムシ	第1世代 5～6月 第2世代 7～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移したが、秋明け以降はやや多かった。	秋の発生以降周期的に降雨があり、一部で防除ができなかった。	マシン油剤、DMTP剤、プロプロフェン剤、ネオニコチノイド剤等による防除が実施された。
かき	カキノヘタムシガ	7月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて平年並に少なく推移した。	例年発生は少ない。	ネオニコチノイド剤、アラニカルブ剤、プロチオホス剤等による防除が実施された。
	ハマキムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	例年発生は少ない。	IGR剤、フェンプロパトリン剤等による防除が実施された。
	炭疽病	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	例年発生は少ない。	マンゼブ剤、イミノクタジン剤等による防除が実施された。
	うどんこ病	5月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	梅雨明け後の防除により発生が抑制された。	石灰硫黄合剤、テブコナゾール剤、イミノクタジン剤等による防除が実施された。
	カキクダアザミウマ	5月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	近年、典型的な被害の発生は、ほとんど見られない。発生密度そのものが低いと考えられる。	本害虫を対象とした防除は通常実施されていない。
	フジコナガイガラムシ	6月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	4月の多雨により、初期の発生が少なく、適期の薬剤防除により発生が抑制された。	ジノテラン剤、DMTP剤、プロチオホス剤等による防除が実施された。
なし	黒星病	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	5～7月はやや多い状況で推移した。	4～5月は気温が高かったものの、昨年度の発生もやや多かったこと、春先の降水量が多かったことが発生を助長したと考えられる。その後6月～7月上旬にかけて雨が続いたため7月ごろまではやや多い状況が続いた。	発病初期には罹病部の除去が行われた。また、ストロビリン系剤、DMI剤、ジチアンノル剤等による防除が実施された。一部では地域でまとまって、交信攪乱剤の設置が行われた。
	ナンヒメシクイ	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	フェロモントラップ(松阪市)では9月に誘殺数が増したが一般圃場における発生量は平年並であった。	場内トラップでは無処理区があるため発生が防ぎきれない。一般圃場では薬剤防除によって発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤、チオジカルブ剤等による防除が実施された。一部では地域でまとまって、交信攪乱剤の設置が行われた。
	ハマキムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	チャノコカクモンハマキのフェロモントラップ(松阪市)では4～6月の誘殺数が平年よりやや早かった。チャノハマキの4月の誘殺数も多かったが、発生量は平年並で	冬期が比較的温暖であったため、害虫の活動開始時期が早まったと考えられる。	ネオニコチノイド剤、MEP剤等による防除が実施された。地域でまとまって、交信攪乱剤の設置が行われた。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要	
	ハダニ類	4～9月 平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は概ね平年並で推移した。	発生が増える6月中旬下旬に雨が多かったこととその後的高温、および8月上旬の高温および8月下旬の多雨、9月20日の台風16号の影響により、発生が抑制されたと	エトキサゾール剤、ビフェナゼート剤、ミルベメクテン剤等による防除が実施された。	
	赤星病	4～6月 平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	近年、被害の発生は、放任園地以外ではほとんど見られない。	DMI剤、マンゼブ剤等による防除が実施された。	
	うどんこ病	5～9月 平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	9月に局所的に発生はあったものの、期間を通じて発生量は概ね平年並で推移した。	梅雨後の防除と8月下旬の大雨により発生が抑制された。一部発生があったのは幸水と豊水の間の防除未実施(害虫の発生が少なかったため)によるもの。	イミノクタジン剤、EBI剤等による防除が実施された。	
	輪紋病	5～8月 平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	例年発生は少なく、病原菌密度そのものが低いと考えられる。	DMI剤等の散布や休眠期のチオファネートメチルベクト剤塗布による防除が実施された。	
	アブラムシ類	4～9月 平年：一 前年：一	平年：並 前年：やや多	期間を通じて発生量は平年並で推移した。	4月下旬の多雨と的確な防除により、発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤等による防除が実施された。	
	クワコナガイガラシ	5～9月 平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	初期の発生が少なく、梅雨明け後に適期防除ができた。	DMTP剤、ピリフルキナゾン剤等による防除が実施された。	
	ぶどう	べと病	6～9月 平年：一 前年：一	平年：並 前年：やや多	期間を通じて発生量はやや少～平年並で推移した。	6月は降水量も多めだったが、7月は雨続かなかつたこと、適期防除により発生は抑制された。	シアゾファミド剤、ストロビルリン系剤、銅剤等による防除が実施された。
ハマキムシ類		4～9月 平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	適期の薬剤防除などにより多発に至らなかったと考えられる。	ダイアジン剤等による防除が実施された。	
晚腐病		6～9月 平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	9月に入り一部地域で多発したが、期間を通じて発生量は平年並で推移した。	一部で多発した園地もあるが適期防除により発生は概ね抑制された。	アゾキシストロビン剤、マンゼブ剤等による防除が実施された。	
黒とう病		4～9月 平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	放任園地付近で発生が見られる。発生密度そのものは低いと考えられる。	イミベンコナゾール剤、ベニミル剤、トリフルミゾール剤、マンゼブ剤等による防除が実施された。	
チャノキイロアザミウマ		5～9月 平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	初期の発生が少なく、適期の薬剤防除により発生が抑制された。	アセフェート剤、バルメトリン剤等による防除が実施された。	
クワコナガイガラシ		4～9月 平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	初期の発生が少なく、適期の薬剤防除により発生が抑制された。	DMTP剤、ダイアジン剤による防除が実施された。	
果樹共通		カメムシ類	4～9月 平年：一 前年：一	平年：やや少 前年：少	越冬成虫の量が少なかったため7月まではやや少なく推移した。新成虫の世代となつても発生量は急増することはない。	越冬量が少なく、スギ・ヒノキ葉着生量が少なく新世代の増殖量が抑制されたと考えられる。	飛来が確認された園地では、ネオニコチノイド剤、合成ピレスロイド剤、MEP剤等による防除が実施された。
茶	炭疽病	4月～10月 平年：一 前年：一	平年：やや多 前年：やや多	病斑葉数は、4月～6月は平年並であった。7月以降は2番茶の残葉や生育の早かった3番茶への発生が多くなった。	6月中旬から7月下旬および8月上旬から9月下旬にかけてのまとまった雨や台風による降雨により感染好適となり多発傾向で推移したと考えられる。	アゾキシストロビン剤、EBI剤等による防除が行われた。	
	もち病	4月～8月 平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	一部の地域で発生量はやや多であったが、期間を通じて平年並に推移した。	各茶期摘採後の刈り整枝の励行が近年の少発生の要因と考えられる。	アゾキシストロビン剤、EBI剤等による防除が行われた。	
	輪斑病	4月～9月 平年：一 前年：一	平年：並 前年：やや少	一部の地域で発生量はやや多であったが、期間を通じて平年並に推移した。	7月中旬～8月中旬の小雨により発生が抑制されたが、8月下旬以降の降雨により一部の地域で発生が助長されたと考えられる。	アゾキシストロビン剤等による防除が行われた。	
	カンザワハダニ	4月～11月 平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：少	4月下旬から増加し、5月上旬には急増した園地も見られたが、天敵の増加により抑制された。6月以降は少発傾向で推移した。	天敵が増加したこと、二番茶摘取後に刈下がおこなわれたこと、6月中旬～7月上旬および8月上旬から9月下旬のまとまった降雨や7月中旬および8月上旬から中旬の高温など発生に適した条件でなかったと考えられる。	エトキサゾール剤、シフルメフェン剤、ピフルブド剤等による防除が行われた。	
	チャノコカクモンハマキ	4月～10月 平年：やや早 前年：並	平年：やや多 前年：並	越冬世代から第3世代成虫の飛来時期は早く、飛来数は平年よりも多かった。	越冬量がやや多く、4月から5月の気温も高かったことから、平年より早く飛来し発生量も多かった。また、越冬世代成虫の防除適期が1番茶摘採後半と重なったため十分な防除が行えなかったことが、第1世代成虫以降の発生に繋がったと考えられる。	エマメクテン安臭 香酸塩剤、メキシフェノジド剤等による防除が行われた。	
	チャハマキ	4月～10月 平年：並 前年：やや遅	平年：やや多 前年：並	発生時期は平年並であった。発生量は第1世代と第2世代で多く、その後は平年並で推移した。	期間を通じて気温が高かつたうえに、5月中旬～6月上旬の小雨により発生が促された。	エマメクテン安臭 香酸塩剤、メキシフェノジド剤等による防除が行われた。	
	チャノホソガ	4月～9月 平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	期間を通じて平年よりやや少～少なく推移した。	ここ数年発生が少なく推移しているが、5月の高温が発生を抑制したと考えられる。	ミルベメクテン剤、フルベンジアミド剤等による防除がなされた。	
	チャノミドリヒメコバイ	4月～10月 平年：並 前年：やや遅	平年：やや多 前年：並	4月～5月上旬は平年並であったが、5月中旬から増加し始め、以後はやや多い発生量で推移した。	5月中旬～6月上旬の高温少雨により発生が促された。	ピリフルキナゾン剤、ジアフェンチウロン剤等による防除が行われた。	
	チャノキイロアザミウマ	4月～10月 平年：早 前年：早	平年：並 前年：並	全体的には平年並～やや少で推移したが、7月にはやや多発生した。	4月上旬～5月上旬、6月中旬～7月上旬、8月下旬～9月下旬のまとまった降雨により発生が抑えられたと考えられる。	ピリフルキナゾン剤、ジアフェンチウロン剤等による防除が行われた。	
	ツマグロアオカミカメ	4月～9月 平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	期間を通じて平年並に推移した。	隣接地に雑草が多い圃場に発生がみられた。	ピリフルキナゾン剤、ジアフェンチウロン剤等による防除が行われた。	
	クワシロカイガラシ	第1世代(5月) 平年：早 前年：やや早 第2世代(7月) 平年：早 前年：早	平年：並 前年：並	第1世代幼虫の孵化最盛期は5月第3半旬、第2世代幼虫は7月第3半旬と早かった。発生量は平年並であった。	第1世代は、被覆時期のため通常は防除は実施されない。第3世代の防除も孵化最盛日のばらつきが大きいため行われない。被覆栽培の拡大と乗用摘採機の普及が発生拡大を促していると考えられる。	第1、第2幼虫孵化期を中心にピリフルキナゾン剤、フェンピロキシメート・プロフェジン剤による防除が行われた。 病害虫防除技術情報第2号(5月16日)および第4号(7月6日)発表。	
	ヨモギエダシヤク	6月～9月 平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	期間を通じて平年並に少発生で推移した。	多発要因はなく、平年並に少ない発生にとどまった。	メキシフェノジド剤等による防除が行われた。	
	冬番トマト	疫病	4月～5月 10月～3月	平年：並 前年：並 平年：並 前年：並	全般的に平年並に少なかった。	例年、ほとんど発生は見られない。	発生圃場では薬剤による防除がなされた。
		灰色かび病	4～6月 10月～3月	平年：平年並 前年：やや多 平年：やや少 前年：平年並	発生は、4～5月に果実において平年より多い発生であったが、葉は平年より少ない発生となった。冬期間は、発生は全体的に少なかった。	換気等によるハウス内環境の改善などがなされた。	薬剤耐性菌発生に配慮した防除がなされた。
		アブラムシ類	4月～6月 9月～3月	平年：並 前年：並 平年：並 前年：並	期間を通じて発生は平年並に少なかった。	例年ほとんど発生は見られない。	コナジラミ類の侵入を阻止する防虫ネットの設置や薬剤防除により、同時防除された。
		ハスモンヨトウ	9月～10月	平年：並 前年：並	期間を通じて発生は平年並みに少なかった。	防虫ネットの設置により侵入を防いでいる。	発生圃場では薬剤による防除がなされた。 病害虫防除技術情報第14号(9月18日)発表。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	葉かび病	4月～6月 10月～3月	平年:並 前年:並 前年:並	発生は一部圃場であり、偏りが認められたが、期間を通しての発生は平年並であった。	近年、葉かび病抵抗性品種の導入が進んでいるため、発生は少ない。しかし、葉かび病の防除圧が減っているため、すすかび病の発生は増加している。	発生圃場では薬剤による防除がなされた。抵抗性品種導入圃場では、抵抗性を打破する新レースの出現に注意する必要がある。
	黄化葉巻病	4月～6月 9月～3月	平年:並 前年:並 前年:並	期間を通しての発生は平年並で、一部は場で発生がある程度である。	コナジラミ類の侵入を阻止する防虫ネットの設置による感染が回避され、多発する圃場は少なくなっている。	防虫ネットの設置や発病株の除去などが行われている。
	ハモグリバエ類	4月～6月 9月～3月	平年:並 前年:少 前年:少	期間を通して発生量は平年並みに少なかった。	防虫ネットの設置により侵入を防いでいるため、多発する圃場は少なくなっている。	発生圃場では薬剤による防除が行われた。
	コナジラミ類	4月～6月 9月～3月	平年:並 前年:並 前年:並	一部圃場で成虫の生息が確認されたが、全体的に発生は平年並であった。一部圃場で発生が見られたが、春期(4～6月)は全般的に平年よりやや少なかった。	防虫ネットの設置により侵入を防いでいるため、多発する圃場は少なくなっている。	防虫ネットの設置による物理的防除や薬剤による防除が行われた。
	オオタバコガ	9月～11月	平年:並 前年:並	場内フェロモントラップ誘殺数は、4～12月で218頭、平年375頭と平年に比べて少なかった。	コナジラミ類の侵入を阻止するネットの設置により回避されている。	発生圃場では薬剤による防除が行われた。
秋冬ハクサイ	アブラムシ類	9月～11月	平年:並 前年:並	一般圃場における発生は平年並である。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期の灌水処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	コナガ	9月～12月	平年:やや少 前年:やや少	一部圃場で発生が見られたが、全体的に発生は平年並に少なかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。近年、秋の発生量は少ない傾向である。	育苗期の灌水処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	ハスモンヨトウ	9月～11月	平年:多 前年:並	フェロモントラップ(松阪市嬉野川北町)誘殺数は、3月から12月までで、8676頭が誘殺され、これは平年4306頭の約2倍である。	初発生時期が平年より早かったため、発生量も多くなった。	育苗期灌水処理などの薬剤による防除が行われた。病害虫防除技術情報第14号(9月18日)発表。
	軟腐病	9月～11月	平年:やや多 前年:少	発生は一部は場でやや多かった。	湿田に作付けたほ場で特に多かった。	早期収穫、薬剤による防除がなされた。
	白斑病	9月～12月	平年:やや少 前年:少	発生は平年より少なかった。	防除により発生は抑えられた。	薬剤による防除がなされた。
	べと病	9月～12月	平年:並 前年:少	発生は平年並であった。	例年ほとんど発生は見られない。	薬剤による防除がなされた。
	ヨトウガ	9月～11月	平年:並 前年:やや少	発生は平年並であった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌水処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	モンシロチョウ	9月～11月	平年:並 前年:やや少	発生は平年並であった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌水処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	黒腐病	10月～12月	平年:並 前年:やや少	発生は平年より少なかった。	初期防除により発生は抑制された。	薬剤による防除がなされた。
冬キャベツ	菌核病	11月～12月	平年:並 前年:並	発生は平年並に少なかった。	畑地圃場で多い傾向が見られた。	被害株の早期撤去などが行われた。
	コナガ	9月～12月	平年:並 前年:やや少	発生は平年並であった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。近年、秋の発生量は少ない傾向である。	育苗期の灌水処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	アブラムシ類	9月～11月	平年:並 前年:やや少	発生は平年並であった。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期灌水処理などの薬剤による防除が行われた。
	ハスモンヨトウ	9月～11月	平年:多 前年:並	フェロモントラップ(松阪市嬉野川北町)誘殺数は、3月から12月までで、8676頭が誘殺され、これは平年4306頭の約2倍である。	初発生時期が平年より早かったため、発生量も多くなった。	育苗期灌水処理などの薬剤による防除が行われた。病害虫防除技術情報第14号(9月18日)発表。
	根こぶ病	11月～2月	平年:並 前年:並	目立った発生は確認されなかった。	例年発生は少なく、畑地圃場の一部で発生が認められる程度である。	発生圃場では定植前に薬剤による防除が行われた。
	モンシロチョウ	9月～11月	平年:並 前年:少	発生は平年並であった。	防除により発生は抑制された。	発生圃場では薬剤による防除が行われた。
	ヨトウガ	9月～11月	平年:並 前年:やや少	発生は平年よりやや少なかった。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期灌水処理などの薬剤による防除が行われた。
	菌核病	4月～5月 3月	平年:並 前年:並 前年:並	発生は平年並であった。	畑地圃場で多い傾向が見られた。	被害株の早期撤去などが行われた。
	根こぶ病	4月～5月	平年:並 前年:並	全体的に発生は平年並であった。	例年発生は少なく、畑地圃場の一部で発生が確認される程度である。	定植前の薬剤による防除、発病株の除去等が行われた。近年、耐病性品種の導入が進んでいる。
春キャベツ	コナガ	4月～5月 12月～3月	平年:やや少 前年:並 前年:並	一部圃場で発生が見られたが、全体的に発生は平年並に少なかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌水処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	モンシロチョウ	4月～5月	平年:やや少 前年:並	発生量は平年より少なかった。	防除により抑制されており、例年発生は少ない。	育苗期灌水処理などの薬剤による防除が行われた。
	アブラムシ類	4月～5月 12月～3月	平年:並 前年:やや少 前年:並 前年:やや少	期間を通して発生は平年並にやや少なかった。	防除により発生は抑制された。	薬剤による防除が行われた。
	さび病	4月～5月 10月～3月	平年:やや少 前年:並 前年:やや少 前年:並	発生は平年より少なかった。	防除により発生は抑制された。	薬剤による防除が行われた。
	アブラムシ類	5月～11月	平年:並 前年:並	期間を通して発生は平年並に少なかった。	例年ほとんど発生は見られない。	薬剤による防除が行われた。
秋冬ネギ	黒斑病	6月～11月	平年:並 前年:並	発生は平年並に少なかった。	葉ネギではほとんど発生は見られない。	薬剤による防除が行われた。
	ネギハモグリバエ	5月～11月	平年:やや多 前年:並	期間を通して平年よりやや多かった。	ネギアザミウマは長年のネギの産地では期間を通して発生が見られている。	薬剤による防除が行われた。
	ネギアザミウマ	5月～11月	平年:並 前年:やや少	やや多～やや少を繰り返し、期間を通して平均すると発生は並である。	防除により発生は抑制された期間があった。	薬剤による防除が行われた。
	ネギコガ	8月～12月	平年:並 前年:並	発生は平年並に少なかった。	例年、ほとんど発生は見られない。	発生圃場では薬剤による防除が行われた。
	シロイチモジヨトウ	8月～12月	平年:やや多 前年:やや少	4～12月中のフェロモントラップ(松阪市嬉野川北町)誘殺数は217頭(平年268.1頭)と平年よりやや少なかったが、被害量はやや多かった。	初期防除の遅れが原因と推察される。	薬剤による防除が行われた。
	灰色かび病	4月 12月～3月	平年:やや多 前年:並 前年:やや多 前年:並	4月の発生はやや多であった。3月以降増加し、発生は平年よりやや多かった。果実での発病果が多かった。	防除の遅れなどによりいったん多発すると防除困難となり、発生が多くなった。	薬剤による防除、発病部位の除去などが行われた。
	アブラムシ類	6月～3月	平年:並 前年:やや少	目立った発生はなく、発生量は平年並であった。	防除効果が高い薬剤が普及し、多発する圃場は減少している。	薬剤による防除が行われた。
	ハスモンヨトウ	8月～11月	平年:多 前年:並	フェロモントラップ(松阪市嬉野川北町)誘殺数は、3月から12月までで、8676頭が誘殺され、これは平年4306頭の約2倍である。	初発生時期が平年より早かったため、発生量も多くなった。	育苗期灌水処理などの薬剤による防除が行われた。病害虫防除技術情報第14号(9月18日)発表。
冬春イチゴ	うどんこ病	6月～3月	平年:並 前年:並	巡回調査では、定植当初、発生量はやや少であったが、その後平年並で推移した。11月に薬剤防除で抑制されたが、その他の期間では発生量は平年並であった。	防除により発生は抑制された。	くん蒸器等による薬剤防除がなされた。
	炭疽病	6月～11月	平年:並 前年:並	育苗時に圃場によっては多発したが、定植後は平年並で推移した。	主力品種は罹病性の「産産」であるが、近年は果育成の抵抗性品種「かおり野」の導入が進んでいる。	薬剤による予防防除、発病を軽減する育苗方法の導入(雨よけ育苗、底面給水等)、抵抗性品種(かおり野)の導入、発病株の除去等が行われた。
	アザミウマ類	4月 3月	平年:やや少 前年:やや少 前年:並	発生は平年よりやや少なかった。	密度上昇による被害拡大がないよう、早期発見に努めている。	薬剤による防除が行われた。
	ハダニ類	6月～3月	平年:やや少 前年:やや多	定植時からやや少なく、その後も少ない状況は維持された。3月以降、気温が上昇するとともに増加傾向が見られた。	定植時に少ない状況であることが重要であるとみられる。	薬剤による防除がなされた。薬剤感受性の低い品種(カブリダニ)や気門封鎖剤を組み合わせさせた防除を実施している。

4. 病害虫の発生面積と防除面積

農作物名	作付面積 ha	病害虫名	程 度 別 発 生 面 積 ha					防除面積 ha	
			甚	多	中	少	計	実面積	延面積
イネ (早期水稲)	26220	葉いもち				3333	3333	9020	9020
		穂いもち				667	667	10200	13208
		紋枯病				2555	2555	10200	13208
		イネミズゾウムシ			448	9188	9636	7787	7787
		セジロウンカ				3889	3889	7794	11145
		トビイロウンカ				0	0	7794	11145
		ヒメトビウンカ				8444	8444	7794	11145
		ツマグロヨコバイ				9999	9999	7794	11145
		ニカメイチュウ第1世代				5999	5999	165	165
		ニカメイチュウ第2世代				5111	5111	0	0
		斑点米カメムシ類			2222	8666	10888	12035	15525
		コブノメイガ				222	222	0	0
		苗立枯病				0	0	26220	26220
		ばか苗病				111	111	26220	26220
		籾枯細菌病				8	8		
		籾枯細菌病(種子消毒)						26220	26220
		縮葉枯病					0	0	0
		白葉枯病				65	65	0	0
		萎縮病					0		
		イネシンガレセンチュウ				3	3		
		イネシンガレセンチュウ(種子消毒)						26220	26220
		イネドロオイムシ				778	778	0	0
		イネクロカメムシ				1000	1000	129	129
フタオビコヤガ				4333	4333	0	0		
イチモンジセセリ				222	222	0	0		
アワヨトウ				0	0	0	0		
イネ (普通期 水稲)	1380	葉いもち				175	175	475	475
		穂いもち				115	115	537	695
		紋枯病				345	345	537	695
		イネミズゾウムシ			24	484	507	410	410
		セジロウンカ				115	115	410	587
		トビイロウンカ				0	0	410	587
		ヒメトビウンカ				0	0	410	587
		ツマグロヨコバイ				690	690	410	587
		ニカメイチュウ第1世代				316	316	9	9
		ニカメイチュウ第2世代				460	460	0	0
		斑点米カメムシ類				575	575	633	817
		コブノメイガ				12	12	0	0
		苗立枯病				0	0	1380	1380
		ばか苗病				6	6	1380	1380
		もみ枯細菌病					0		
		もみ枯細菌病(種子消毒)						1380	1380
		縮葉枯病					0	0	0
		白葉枯病				0	0	0	0
		萎縮病					0	0	0
		イネシンガレセンチュウ					0		
		イネシンガレセンチュウ(種子消毒)						1380	1380
		イネドロオイムシ				41	41	0	0
		イネクロカメムシ				53	53	7	7
フタオビコヤガ				228	228	4	4		
イチモンジセセリ				12	12	0	0		
アワヨトウ				0	0	0	0		
コムギ 28年産	6500	さび病類				34	34	0	0
		うどんこ病				98	98	0	0
		赤かび病				3250	3250	6500	6500

農作物名	作付面積 ha	病害虫名	程 度 別 発 生 面 積 ha					防除面積 ha		
			甚	多	中	少	計	実面積	延面積	
(コムギ続き)		黒穂病類					0	0	0	0
		縞萎縮病				0	0	0	0	0
		アブラムシ類				0	0	0	0	0
		ムギアカタマバエ				0	0	0	0	0
ダイズ	4470	ハスモンヨトウ		140	140	3632	3911	3326	3326	
		吸実性カメムシ類			419	1397	1816	1247	1309	
		紫斑病				1	1	4157	8314	
		アブラムシ類				0	0	0	0	
		コガネムシ類				279	279	0	0	
		シロイチモジマダラメイガ				84	84	0	0	
カンキツ	1624	そうか病			7	237	244	1,462	2,923	
		黒点病		12	375	1,074	1,462	1,462	6,943	
		かいよう病			8	284	292	1,462	3,654	
		ヤノネカイガラムシ				49	49	1,462	2,558	
		ミカンハダニ		1	239	328	568	1,462	4,750	
		カメムシ類				162	162	1,462	1,462	
		チャノキイロアザミウマ			2	729	731	1,462	5,846	
		ミカンハモグリガ			5	190	195	1,462	1,462	
		アブラムシ類				195	195	1,462	731	
ナシ	155	黒星病		1	17	52	70	147	1,950	
		赤星病				23	23	147	515	
		うどんこ病				39	39	147	166	
		輪紋病				11	11	147	884	
		ハダニ類			1	25	26	147	442	
		カメムシ類			4	19	23	147	147	
カキ	432	炭疽病				17	17	302	1,285	
		うどんこ病				26	26	302	1,588	
		カキノヘタムシガ				30	30	302	680	
		カメムシ類		1	14	28	43	302	302	
ブドウ	118	べと病			3	50	53	112	897	
		黒とう病				15	15	112	785	
		チャノキイロアザミウマ				7	7	112	411	
		晩腐病			1	29	30	112	524	
チャ	2780	炭疽病			93	685	778	2419	5807	
		もち病				139	139	1501	2252	
		輪斑病			9	436	445	2502	2780	
		チャノコカクモンハマキ		124	190	1076	1390	2439	4389	
		チャハマキ			17	817	834	1668	2166	
		チャノホソガ			19	1482	1501	2341	4780	
		チャノミドリヒメヨコバイ		1	24	1754	1779	2341	4780	
		カンザワハダニ		13	50	1049	1112	2419	7400	
		チャノキイロアザミウマ		21	162	1346	1529	2439	8291	
		ツマグロアオカスミカメ				639	639	1946	1946	
		クワシロカイガラムシ		5	127	1536	1668	2224	3114	
ヨモギエダシヤク			2	554	556	1390	1668			
冬春トマト	65	疫病				6	6	65	130	
		灰色かび病			5	50	55	65	585	
		アブラムシ類				7	7	65	130	
秋冬ハクサイ	192	軟腐病			3	5	8	80	80	
		白斑病				7	7	156	156	
		べと病				4	4	157	157	
		アブラムシ類				50	50	176	176	
		ヨトウガ			4	28	32	150	220	
		コナガ				8	8	120	156	
冬キャベツ	218	黒腐病				5	5	133	264	
		菌核病				5	5	133	133	
		モンシロチョウ				30	30	133	264	
		コナガ				12	12	133	264	

農作物名	作付面積 ha	病害虫名	程 度 別 発 生 面 積 ha					防除面積 ha	
			甚	多	中	少	計	実面積	延面積
(冬キャベツ続き)		ヨトウガ			1	32	33	133	264
		ハスモンヨトウ			1	44	45	199	199
		アブラムシ類				32	32	133	264
春キャベツ	143	菌核病		1	3	20	24	132	132
		モンシロチョウ				9	9	132	260
		コナガ				7	7	132	260
		アブラムシ類				25	25	132	260
秋冬ネギ	167	さび病				14	14	36	52
		黒斑病				10	10	20	20
		アブラムシ類				12	12	20	20
		ネギハモグリバエ			5	38	43	152	310
		ネギアザミウマ			4	40	44	152	310
		ネギコガ				11	11	36	36
冬春イチゴ	75	炭疽病				31	31	75	525
		灰色かび病				29	29	75	300
		うどんこ病				17	17	75	150
		アブラムシ類				12	12	75	300
		ハダニ類			3	31	36	75	450
		ハスモンヨトウ			10	12	22	75	75

5. 発行された予察情報

(1) 発生予察情報の一覧

発生予報	第1号 4月21日	第2号 5月25日	第3号 6月23日	第4号 7月21日	第5号 8月25日	第6号 10月20日	第7号 3月23日
------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	---------------	--------------

	病害虫名	対象作物
注意報第1号 平成28年7月21日	イネいもち病(葉いもち・穂いもち)	イネ
注意報第2号 平成28年7月21日	斑点米カメムシ類	イネ
注意報第3号 平成28年8月31日	ハスモンヨトウ	ダイズ、野菜類(アブラナ科野菜など)、花き類(シクラメン、キクなど)

	病害虫名	対象作物
技術情報第1号 平成28年4月5日	コムギ赤かび病	コムギ
技術情報第2号 平成28年5月16日	クワシロカイガラムシ	チャ
技術情報第3号 平成28年6月23日	イネいもち病(葉いもち)	イネ
技術情報第4号 平成28年7月6日	クワシロカイガラムシ	チャ
技術情報第5号 平成28年8月16日	ハスモンヨトウ	ダイズ、野菜類、花き類
技術情報第6号 平成28年9月16日	吸実性カメムシ類	ダイズ
技術情報第7号 平成28年10月11日	ハスモンヨトウ	野菜類、花き類
技術情報第8号 平成28年11月24日	イネいもち病(QoI 剤耐性)	イネ(飼料用水稻含む)

(2) 予報

平成 28 年度

病害虫発生予報第 1 号

平成 28 年 4 月 21 日

三重県病害虫防除所

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

目次

	ページ
1. 向こう 1 か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	6
4. 予察項目の見方	10
5. 気象のデータ	11
6. おしらせ	13

1. 向こう 1 か月の予報と対策

1) 作物

イネでは、イネミズゾウムシの発生時期は**やや早**、発生量は**平年並**と予想されます。常発圃場では、箱施用剤による予防を行ってください。

コムギでは、赤かび病の発生量は**平年並**と予想されます。開花期から乳熟期にかけて感染するので、開花始めから開花盛期が防除適期です。開花前の防除は効果が劣るので注意してください。

2) 果樹

カンキツでは、そうか病、かいよう病(中晩柑)の発生量は**やや多**と予想されます。そうか病は発芽期の防除を実施することで、その後の発生を抑えることができます。かいよう病(中晩柑)では、越冬病斑が見られる圃場では新葉や幼果へと感染していくので、初期の予防散布がポイントです。かいよう病(温州みかん)は**平年並**、ミカンハダニの発生量は**少**と予想されます。

ナシでは、黒星病、赤星病、ハダニ類、アブラムシ類の発生量は**平年並**と予想されます。

果樹共通では、果樹カメムシ類の発生量は**やや少**と予想されます。

3) 茶

チャでは、カンザワハダニ、チャノコカクモンハマキの発生量は**やや多**と予想されます。カンザワハダニ多発圃場は一番茶摘採後に防除してください。チャノコカクモンハマキの防除適期は例年 5 月中下旬です。

チャノホソガ、チャノキイロアザミウマ、クワシロカイガラムシの発生量は**平年並**と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、ハダニ類の発生は**やや多**と予想されます。ほ場の発生状況の確認に努め、早期に防除を行ってください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

1

三重県病害虫防除所

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活動の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	発生消長の一例				
								4月	5月			
イネ	イネミズゾウムシ	やや早	平年並	小	普通	下旬	上旬	中旬	下旬	1) 近年、実害は少ないので、移植後の発生状況に応じて防除してください。 2) 常発圃場では、箱施用剤による予防を行ってください。		
コムギ	赤かび病	—	平年並	小	普通	感染	発病			1) 病害虫防除技術情報第 1 号(4 月 5 日発表)。 2) 開花期から乳熟期にかけて感染するので、開花最盛期が防除適期です。開花前の薬剤散布は防除効果が劣ります。 3) 出穂および開花状況を把握し、適期防除を行ってください。 4) 曇雨天が続くと被害は増加するので天候の推移に注意し、曇天または降雨が続く場合は追加防除を行ってください。		
カンキツ	そうか病	—	やや多	小	普通	葉枝の発病				1) 県予察圃(御浜町)の春葉での初発は 4 月 11 日(平年 4 月 17 日)と早い状況です。 2) 発芽期の防除を実施することで、その後の発生を抑えることができます。 3) 新葉に病斑が見られる圃場では、その後果実へ感染しますので、幼果期の防除を計画してください。		
	かいよう病	—	温州平年並 中晩柑やや多	温州小 中晩柑中	温州低 中晩柑普通	発病密度				1) 越冬病斑が見られる圃場では、新葉や幼果へと感染していくので、初期の予防散布がポイントです。 2) 越冬病斑が多い圃場では、伝染源となる発病葉及び発病枝は除去し、圃場外で処分してください。 3) 3~4 月に防除を実施していない圃場では、5 月に防除を実施してください。		
	ミカンハダニ	—	少	小	低	成ダニ密度				1) 冬期にマシン油乳剤を散布していない圃場では、新梢伸長期に急増することがあるので注意してください。 2) 発生量は圃場によるばらつきがあるので、発生状況をよく観察してください。 3) 成虫が 1 葉当たり 0.5~1.0 頭になったら防除を計画してください。		

2

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
						4月		5月		
						下旬	上旬	中旬	下旬	
ナシ	黒星病	—	平年並	小	普通					1) 昨年の発生が多かった圃場では、天気予報の降雨の情報に注意し、防除適期を逃さないようにしてください。 2) 発病が確認されたら追加防除を行ってください。
	赤星病	—	平年並	小	普通					1) カイツカイブキ等の枝葉に生成された病原菌が飛散して、ナシに感染します。 2) 病原菌は雨中の風によって飛散し、主に降雨中に感染します。
	ハダニ類	—	平年並	小	普通					1) 発生が見られる圃場では、低密度のうちに防除してください。
	アブラムシ類	—	平年並	小	普通					1) アブラムシ類は初期の寄生を見つけることが重要です。 2) 寄生葉付近はアリが活発に活動しているので、アブラムシ発見の目安になります。
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	小	低					1) 本年は越冬量が少なく、初夏までの圃場への飛来はやや少ないと考えられます。 2) 山林に近い圃場や過去に多数飛来があった圃場では、飛来に注意してください。 3) 果樹カメムシ類は、4月はウメ、5月はナシ、ビワ、モモに飛来します。 4) 防除は圃場及び圃場周辺(街灯への夜間飛来など)への果樹カメムシ類の飛来を確認して行ってください。 5) 一旦飛来すると連続して飛来することが多いので、防除実施後も注意してください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
						4月		5月		
						下旬	上旬	中旬	下旬	
チャ	カンザワハダニ	—	やや多	中	普通					1) 一番茶摘採後圃場を確認して、多発状況であれば防除してください。 2) 葉裏に生息していますので、葉裏に十分かかる様に薬剤をていねいに散布してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。 4) 天敵への影響の小さい薬剤を選択してください。
	チャノホソガ	—	平年並	小	普通					1) 新芽に産卵します。萌芽が早かったため、若齢幼虫の多発が認められた圃場では防除しましょう。 2) 病害虫防除所のホームページにフェロモントラップ誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	小	低					1) 新芽の葉柄基部や未展開葉の内側などを吸汁加害します。 2) 新芽の伸長と共に発生量が増加します。 3) 有効積算温度による予測式(4月19日現在)では、第1世代成虫発生盛期は5月第6半旬頃です。 4) チャ以外にも果樹類、サクラ、イヌマキなども発生源となるので、これらの植物が付近にある場合は発生に注意しましょう。
	クワシロカイガラムシ	—	平年並	中	普通					1) 有効積算温度による予測式では、孵化最盛日は平年並で防除適期は5月第5半旬頃と予想されます。 2) 天敵保護のために、天敵への影響が小さい薬剤を選択してください。 3) 孵化時期に散水により枝幹を濡らすことで歩行型幼虫の固着を防ぐ効果があります。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項
			発生量 平年比	発生量 程度		4月		5月		
						下旬	中旬	下旬	中旬	
チャ	チャノコカクモンハマキ	—	やや多	小	普通					1) 幼虫は孵化数日後に葉を2~3枚綴るようになるので、葉が効きにくくなります。孵化直後の若齢幼虫を対象に防除してください。 2) 例年、越冬世代成虫の発生最盛期は5月第2半旬です。この7~15日後の幼虫孵化期(5月中下旬頃)が防除適期です。 3) 本年度は気温が高いためか活動が早くなっていると思われます。病害虫防除所のホームページにフェロモントラップ誘殺状況を掲載しているので参考にしてください。
イチゴ	ハダニ類	—	やや多	中	普通					1) 圃場によって発生にばらつきがあります。こまめに圃場を観察し、発生状況を確認してください。 2) 葉液がかりやすくなるよう、不要な下葉を除去し、葉裏にもかかるよう丁寧に散布してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいため、同一系統薬剤の連用は避けてください。 4) 薬剤散布の際は、収穫前日数と総使用回数を遵守するとともに、天敵やミツバチに対する影響も十分考慮して、薬剤の選択を行ってください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	イネミズノウムシ	やや早	平年並	要因 1) 1か月予報(4月14日発表)によると、移植時期にあたる4月第4週から5月第1週の気温は高い予想(発生時期-) 2) 4月14日現在における有効積算気温(発育零点13.8℃)は、20.5日度(平年7.5日度)と高(発生時期-) 3) 予察灯(4月第1半旬~第3半旬)では、未飛来(平年5月1日初飛来)と平年並(発生時期土) 4) 予察灯(昨年7月第1半旬~9月第2半旬)では、誘殺数は91頭(平年170.2頭)とやや少(-) 5) 巡回調査圃場(昨年8月)では、発生圃場率9.1%(平年12.1%)と平年並、払い落とし虫数0.1頭(平年0.7頭)とやや少(土) 考察: 今後の気象条件から、発生時期はやや早と考えます。また、昨年の予察灯および巡回調査結果から、越冬成虫の予想発生量は平年並と考えます。
コムギ	赤かび病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(4月14日発表)によると、開花期にあたる予報期間(4月16日~5月15日)の前半は気温がかなり高くなり、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が少ない予想(+) 2) 作況試験田(11月13日播種・品種あやひかり・松阪市)では、出穂期は4月2日(平年4月12日)と早い(-) 3) 一般圃場では、生育は進んでおり、播種時期の遅い圃場を除き、ばらつきはあるものの出穂期は2週間程度早い(-) 考察: 今後の気象条件、作況試験田、一般圃場の状況から、予想発生量は平年並と考えます。
カンキツ	そうか病	—	やや多	要因 1) 1か月予報(4月14日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想(+) 2) 県予察圃(4月12日)では、新葉での初発日4月11日(平年4月17日)と早、発病率は4.5%(平年1.1%)とやや多(+) 3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、旧葉発病度0(平年0.0)と平年並に少(土) 4) 一般圃場では、発生量はやや多(+) 考察: 今後の気象条件および県予察圃、一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや多と考えます。
	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 やや多	要因 1) 1か月予報(4月14日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想(+) 2) 県予察圃(中晩柑類3月下旬)では、越冬病斑の発病率28.7%(平年25.5%)と平年並(土) 3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、温州みかんでは旧葉発病度0(平年0.1)と平年並、中晩柑類では旧葉発病度1.4(平年5.1)とやや少(-) 4) 一般圃場では、発生量は平年よりやや多(+) 考察: 今後の気象条件および県予察圃、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は温州みかんでは平年並、中晩柑類ではやや多と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	—	少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月14日発表)によると、気温は高く降水量は多い予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃(4月中旬)では、100葉当り雌成虫寄生頭数は、無防除区16.7頭(平年79.9頭)とやや少、慣行防除区0頭(平年0.3頭)と平年並に少 (—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、寄生葉率1.4%(平年7.0%)と少、寄生虫数/葉は0.03頭(平年0.26頭)と少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少～平年並(概してやや少) (—)</p> <p>考察: 現状の発生量は少と考えられ、大きな増加の要因はないことから、予想発生量は少と考えます。</p>
ナシ	黒星病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月14日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(4月第2週)では、発病芽率0%(9年平均0%)と平年並に少の傾向 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並に少 (±)</p> <p>考察: 巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	赤星病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月14日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(4月第2週)では、発病葉率0%(6年平均0%)と平年並に少の傾向 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並に少 (±)</p> <p>考察: 巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ハダニ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月14日発表)によると、気温は高く降水量は多い予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(4月第2週)では、寄生葉率0%(6年平均0%)と平年並に少の傾向 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並に少 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並に少ないと考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	アブラムシ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月14日発表)によると、気温は高く降水量は多い予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(4月第2週)では、寄生枝率0%(8年平均0.3%)と少の傾向 (—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(御浜町4月1日～10日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ2頭(平年4.6頭)とやや少、ツヤアオカメムシ9頭(平年5.9頭)とやや多 (±)</p> <p>2) 予察灯(畑・松阪市4月第1半旬～第3半旬)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ0頭(平年0頭)、ツヤアオカメムシ0頭(平年0頭)といずれも平年並 (±)</p> <p>3) 県予察圃フェロモントラップ(御浜町4月1～10日)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は4頭(平年1.8頭)とやや多、ツヤアオカメムシ0頭(平年0.5頭)と平年並 (±)</p> <p>4) フェロモントラップ(4月1～16日)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口)26頭(平年3.4頭)と多、中間地(津市白山町二本木)26頭(平年0.7頭)と多、平坦地(松阪市嬉野川北町)0頭(平年0.2頭)と平年並 (±)</p> <p>5) 昨年度のフェロモントラップ(平成27年10月1～31日)ではチャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口)113頭(平年107.4頭)と平年並、中間地(津市白山町二本木)33頭(平年45.8頭)とやや少、平坦地(松阪市嬉野川北町)15頭(平年9.5頭)とやや多 (±)</p> <p>6) チャバネアオカメムシの越冬量は、0頭/地点(平年3.2頭)と少、クサギカメムシの越冬量は、14.5頭/地点(平年72.2頭)と少 (—)</p> <p>7) 巡回調査圃場(4月第2週)では、カンキツ圃場への飛来は未確認 (±)</p> <p>考察: 昨年度秋以降の越冬世代の発生量はやや少～平年並と考えられ、越冬量も少ないことから、今後の圃場への飛来数の予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャ	カンザワハダニ	—	やや多
	チャノホソガ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月14日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、気温は高く、降水量は多い予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃では、萌芽日は4月4日(平年4月10日)と早、初飛来は3月7日(平年3月19日)と早、フェロモントラップ(3月第3半旬～4月第2半旬)では誘殺数453頭(平年357.2頭)とやや多 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、萌芽への産卵は未確認 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	要因 1) 1か月予報(4月14日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、気温は高く、降水量は多い予想 (±) 2) 県予察圃(4月第1～第2半旬)では、吸引粘着トラップ捕殺数 274 頭(平年 26.7 頭)と多 (+) 3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、叩き落とし虫数 0.5 頭(平年 2.6 頭)と少 (—) 4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察: 一般圃場の状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。
	クワシロカイガラムシ	—	平年並	要因 1) 1か月予報(4月14日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、気温は高く、降水量は多い予想 (±) 2) 巡回調査圃場(4月第2週)では、雌成虫寄生株率 10.4%(平年 16.6%)と平年並 (±) 3) 一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	チャノコカクモンハマキ	—	やや多	要因 1) 1か月予報(4月14日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、気温は高く、降水量は多い予想 (±) 2) 県予察圃フェロモントラップ(4月第1～第2半旬)では、誘殺数 130 頭(平年 6.8 頭)と多 (+) 3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、ハマキムシ類巻葉数 0.7 枚/m ² (平年 0.4 枚/m ²)とやや多 (+) 4) 一般圃場では、ハマキムシ類の発生量は平年並 (±) 考察: 県予察圃および巡回調査の状況を重視して、予想発生量はやや多と考えます。
イチゴ	ハダニ類	—	やや多	要因 1) 1か月予報(4月14日発表)によると、期間の前半は気温がかなり高くなる予想 (+) 2) 巡回調査圃場(4月第2週)では、寄生株率 10.7%(平年 14.7%)とやや少、寄生程度 6.4%(平年 7.7%)と平年並(±) 3) 一般圃場では、発生量はやや少～やや多(概してやや多) (+) 考察: 現状の発生量は平年並と考えられるが、今後の気象条件および一般圃場の状況を重視して、予想発生量はやや多と考えます。

4. 予察項目の見方

1) 「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比): 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早	やや早	平年並					やや遅	遅					

発生量(平年比): 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並		やや多	多

発生量(程度): 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」「平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比): 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例: 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項: 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

(±): 平年並の要因

(+): 発生量増加または発生時期遅延の要因

(-): 発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方1か月予報(平成28年4月14日 名古屋地方気象台発表)

東海地方の向こう1か月は、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。平均気温は高く、降水量は多い見込みです。

1週目 4月16日～ 22日	低気圧と高気圧が交互にとおり、天気は数日の周期で変わると見られます。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 2.1日・4.3日
2週目 4月23日～ 29日	天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。	同 2.0日・4.3日
3～4週目 4月30日～ 5月13日	天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。	同 4.7日・8.0日

東海地方週間天気予報(平成28年4月20日10時30分 名古屋地方気象台発表)

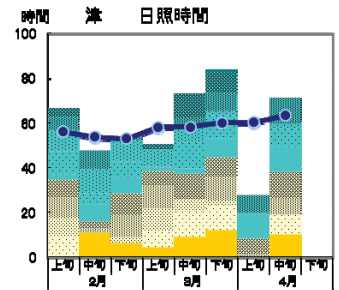
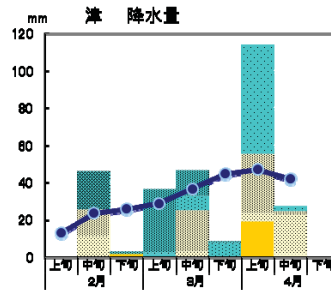
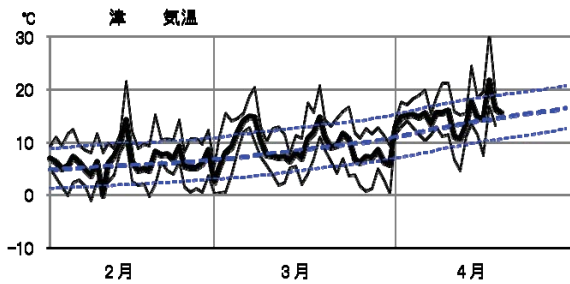
予報期間 4月21日～4月27日

向こう一週間は、低気圧や前線の影響で雲が広がりやすく、21日と期間の終わりに雨が降る見込みです。

最高気温と最低気温はともに平年並か平年より高いでしょう。

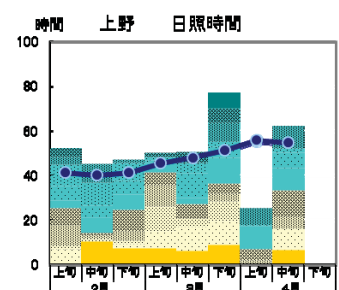
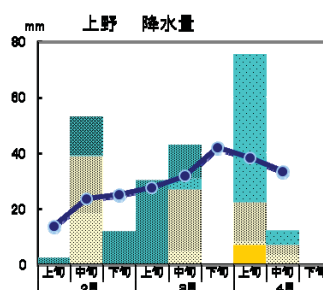
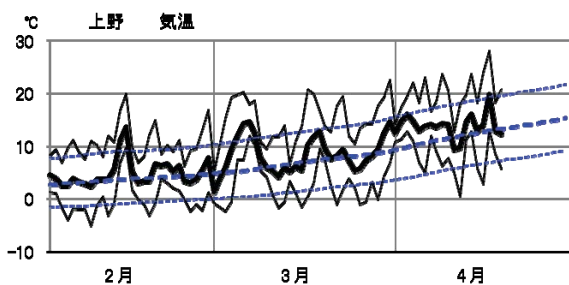
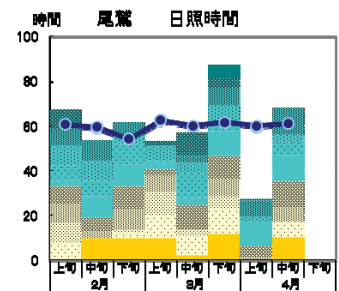
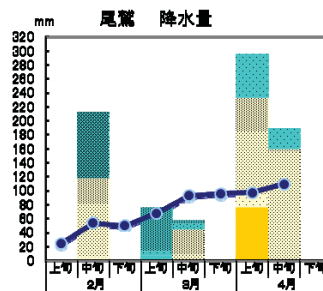
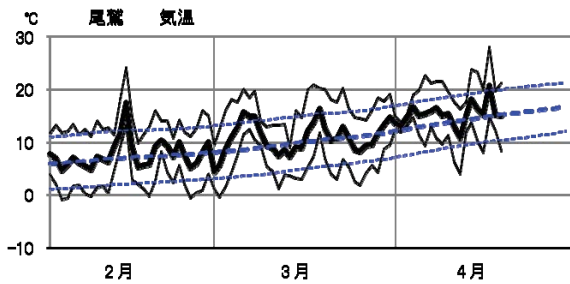
降水量は、平年並か平年より多い見込みです。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/ctrn/index.php> から作成) (4月19日まで)



11

三重県病害虫防除所



凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 平年平均
 - - - 平年最高
 - - - 平年最低

凡例

12

40

凡例

12

三重県病害虫防除所

6. おしらせ (前回と異なる項目には **NEW** の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

第1回 4月21日(今回)	第2回 5月26日(木)
第3回 6月23日(木)	第4回 7月21日(木)
第5回 8月25日(木)	第6回 10月20日(木)
第7回 3月23日(木)	

3) 利用方法

全部または一部をコピーして閲覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書 **NEW**

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000625689.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気付きにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産物安全課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

平成 28 年度
病害虫発生予報第 2 号
平成 28 年 5 月 25 日
三重県病害虫防除所
515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530
TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568
ホームページ<http://www.mate.pref.mie.lg.jp/bojyosyo/>

目次

	ページ
1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	7
4. 予察項目の見方	12
5. 気象のデータ	13
6. おしらせ	15

1. 向こう1か月の予報と対策

1) 作物

イネでは、葉いもちの発生時期は平年並、発生量は平年並と予想されます。イネクロカメムシの発生量はやや少、イネミズゾウムシの発生時期はやや遅、発生量はやや少と予想されます。

2) 果樹

カンキツでは、そうか病、黒点病、かいよう病(温州みかん)の発生量は平年並と予想されます。かいよう病(中晩柑)、ミカンハダニ、チャノキイロアザミウマの発生量はやや少と予想されます。

ナシでは、黒星病の発生量はやや多と予想されます。発病が認められる場合は速やかに防除を実施してください。ハダニ類の発生量は平年並と予想されます。

ブドウでは、べと病の発生量は平年並と予想されます。

果樹共通では、カメムシ類の発生量はやや少と予想されます。

3) 茶

チャでは、チャノホソガ、チャノミドリメコバヤ、チャノキイロアザミウマの発生量はやや多と予想されます。防除適期を逃さないよう防除してください。

炭疽病、もち病、カンザワハダニの発生量は平年並と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、うどんこ病、炭疽病の発生量は平年並と予想されます。

ネギでは、ネギコガの発生量は平年並と予想されます。

野菜共通では、コナガの発生量は平年並と予想されます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		5月		6月		
						発生量	程度	下旬	中旬	
イネ	葉いもち	平年並	平年並	小	普通					<ol style="list-style-type: none"> 1) 浦植用置き苗は発生源となるので、速やかに除去し、枯死させてください。 2) 本田粒剤による予防は、初発前に行ってください。 3) いもち病発生予測支援システム(プラスタム)において、感染好適条件の現れた7~10日後に初発が予測されます。 4) プラスタムの最新情報は、病害虫防除所ホームページで随時更新しています。
	イネクロカメムシ	-	やや少	小	普通					<ol style="list-style-type: none"> 1) 常発地で薬剤散布する場合は、越冬成虫の発生量がピークになる6月下旬に実施してください。
	イネミズウムシ	やや遅	やや少	小	低					<ol style="list-style-type: none"> 1) 株当たり0.5頭以上の成虫が発生していれば、防除してください。
カンキツ	そとか病	-	平年並	小	普通					<ol style="list-style-type: none"> 1) 梅雨明けまで幼果に感染します。 2) 6月以降は新芽や幼果の病斑から二次感染するので、予防散布が重要です。
	黒点病	-	平年並	小	普通					<ol style="list-style-type: none"> 1) 生理落果盛期~後期に予防散布を実施してください。 2) 上記薬剤散布後、積算で200mm以上の降雨があったら次の防除を実施してください。 3) 枯枝が伝染源です。梅雨時期の枯枝発生に注意し、樹冠内や圃場内の枯枝を除去して下さい。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		5月		6月		
						発生量	程度	下旬	中旬	
カンキツ	かいはう病	-	温州平年並 中晩柑やや少	温州小 中晩柑小	温州低 中晩柑普通					<ol style="list-style-type: none"> 1) 旧葉で越冬病斑が見られる圃場では、感染を助長する降雨等の気象条件に注意し、ボルドー剤による予防防除を実施してください。 2) 越冬病斑が見られない圃場でも、本病に弱い品種(カラ、セミールなど)では、幼果への感染防止対策として予防散布を実施してください。 3) 中晩柑類では、梅雨期頃から10月中下旬頃まで果実への感染が起こります。
	ミカンハダニ	-	やや少	中	普通					<ol style="list-style-type: none"> 1) 梅雨期は薬剤散布のタイミングが取りにくい時期です。マシン油乳剤等を有効に利用する散布を計画して下さい。 2) 発生密度が高い圃場では、散布ムラのないように十分に薬剤散布してください。 3) 薬剤抵抗性発達を回避するため、同一系統薬剤使用は年1回としてください。
	チャノキイロアザミマ	-	やや少	小	普通					<ol style="list-style-type: none"> 1) 別年被害の多い圃場では、6月上旬~中旬に防除し、その後は30日間隔を目安に次回防除を行ってください。
ナシ	黒星病	-	やや多	中	普通					<ol style="list-style-type: none"> 1) 圃場内をよく観察し、発病が認められる場合は速やかに防除を実施してください。 2) 発病葉は発見次第取り除き、圃場外へ持ち出して処分してください。 3) 薬剤耐性菌を生ずる恐れがあるため同一系統薬剤の連用を避けてください。
	ハダニ類	-	平年並	小	普通					<ol style="list-style-type: none"> 1) 防除の目安は成虫の1葉当り寄生頭数が1頭以上の時です。 2) 薬剤抵抗性発達を回避するため、同一系統薬剤使用は年1回としてください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		5月		6月		
						発生時期	発生量	下旬	下旬	
ブドウ	べと病	-	平年並	小	普通	発生密度				<ol style="list-style-type: none"> 雨が続きと急激に発生が広がります。降雨が予想される時は、早めに予防散布を行ってください。 葉裏をよく観察し、病斑を認めたら直ちに防除を実施してください。 被害葉、被害果穂は発見次第取り除き、圃場外に持ち出し処分してください。
果樹共通	カメムシ類	-	やや少	小	低		チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ		<ol style="list-style-type: none"> 降雨がなく気温の高い夜に飛来が多いので、夜間の街灯に注意したり圃場を見回るなどして、早期発見に努めてください。 山林に近い圃場では特に注意が必要です。 薬剤散布はカメムシ類の飛来を確認してから実施してください。 夕刻から活発に飛翔するので朝夕の薬剤散布が効果的です。 合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布すると、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので注意してください。
チャ	炭疽病	-	平年並	小	普通	発病	感染	発病		<ol style="list-style-type: none"> 気温が25前後で降雨時間が長く湿潤であると多発します。 6月上旬頃の気象によっては感染が助長されるので注意してください。 旧葉に病斑葉が多いところでは注意してください。 開葉初期に防除してください。
	もち病	-	平年並	小	低	発病	感染	発病		<ol style="list-style-type: none"> 気温が低い(15-22)と多発します。 山間地など日陰になりやすいところでは、降雨により感染が多くなります。 萌芽期が防除適期です。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		5月		6月		
						発生時期	発生量	下旬	下旬	
チャ	カンザワハダニ	-	平年並	中	普通	雌ダニ密度				<ol style="list-style-type: none"> 世代交代が早く、急増することがあるので、発生密度の低い時期に防除してください。 葉裏に生息していますので丁寧に散布してください。 天敵への影響の小さい薬剤を選択してください。 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。
	チャノソガ	-	やや多	中	普通	成虫密度				<ol style="list-style-type: none"> 防除適期は孵化直後の潜葉期(幼虫による絵描き状態)です。 成虫の飛来状況と新芽への産卵状況(水滴状の卵)に注意してください。 成虫の飛来状況は、防除所ホームページを参考にしてください。
	チャノミドリヒメヨコバイ	-	やや多	中	普通	成虫密度				<ol style="list-style-type: none"> 成虫で越冬し、新芽の伸長とともに発生が増加します。 新芽を加害し、先端から褐変して落葉することもあります。 二番茶の萌芽期～開葉初期に防除してください。
	チャノキイロアザミマ	-	やや多	小	低	成虫密度				<ol style="list-style-type: none"> 成虫で越冬し、新芽の葉裏に産卵し、加害します。 二番茶の萌芽前～開葉初期に防除してください。
イチゴ	うどんこ病	-	平年並	中	普通		親株			<ol style="list-style-type: none"> 今後1か月は感染しやすい時期です。圃場をよく観察し、早期発見に努め、発病葉は適切に処分してください。 育苗圃で発生が多いと本圃でも多発するため、親株の時期から薬剤防除を徹底し、健全苗を育成してください。特にハウスで発生が多くなる傾向があるので注意して下さい。 薬剤耐性菌を生ずる恐れがあるため、同一系統薬剤の連用は避けてください。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量		要防除 圃場率 平年比	発生活消の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		5月		6月		
						下旬	中旬	下旬	中旬	
イチゴ	炭疽病	-	平年並	中	普通					1) 高温・多湿条件で発生しやすいため、今後の梅雨・高温期にかけては注意が必要です。 2) 薬剤による予防防除を徹底してください。 3) 罹病株は感染源となります。見つけ次第速やかに除去し、圃場外に持ち出して処分してください。 4) 水滴の跳ね返りによって病原菌が広がります。灌水時は、跳ね返った水滴が茎葉に当たらないよう注意してください。
ネギ	ネギコガ	-	平年並	小	普通					1) 春から秋にかけて4~5回発生します。 2) 幼虫が葉の内部に潜り、表皮を残して食害するため、潜入防止のための早期防除が重要です。
野菜共通	コナガ	-	平年並	中	普通					1) 近年、大きな被害は見られませんが、繁殖力が旺盛なアブラナ科野菜の重要害虫です。 2) 中・老齢幼虫は殺虫効果が低くなるので、若齢のうちに防除してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用は避けてください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	葉いもち	平年並	平年並	要因 1) 11月予報(5月19日発表)によると、期間の前半の天気は数日の周期で変わり、後半は平年に比べ曇りや雨の日が多い予想(発生時期±、発生量±) 2) 巡回調査圃場(5月第2週)では、置き苗での発生率0%(5年平均0%)、本田での発生圃場率0%(5年平均0%)と、平年並に少ない傾向(-) 3) 一般圃場では、発生量は平年並に無~少(±) 考察：今後の気象条件から予想発生時期は平年並、今後の気象条件、巡回調査結果、一般圃場での発生状況から予想発生量は平年並と考えます。
	イネクロカメムシ	-	やや少	要因 1) 予察灯(松阪市 昨年8月第2半旬~10月第6半旬)では、誘殺数は水田位置1頭(平年38.8頭)と少、畑位置564頭(平年2,009.1頭)と少(-) 考察：予察灯の状況から越冬成虫数は少ないと考えられるため、予想発生量はやや少と考えます。
	イネミズウムシ	やや遅	やや少	要因 1) 予察灯(松阪市 4月第1半旬~5月第3半旬)では、越冬成虫の最盛日は5月13日(平年5月7日)とやや遅、誘殺数は20頭(平年38.6頭)とやや少(発生時期+、発生量-) 2) 巡回調査圃場(5月第2週)では、発生圃場率36.8%(平年62.3%)と少、被害株率10.8%(平年24.1%)と少、株当り虫数0.03頭(平年0.05頭)と少(-) 3) 一般圃場では、発生量は無~やや少(概して少)(-) 考察：予察灯の状況から幼虫の予想発生時期はやや遅、予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや少と考えます。
カンキツ	そうか病	-	平年並	要因 1) 11月予報(5月19日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並が多い予想(+) 2) 県予察圃(5月16日、無防除)では、新葉発病率86.5%(平年48.5%)と多、発病率29.2%(平年4.3%)と多(+) 3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、旧葉発病率0(平年0.04)と平年並(±) 4) 一般圃場での発生量は、紀州地域ではやや多いものの全体的には平年並(±) 考察：巡回調査圃場および一般圃場での発生状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	黒点病	-	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報(5月19日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並が多い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃では、昨年10月下旬の果実発病度は92.6(平年81.0)で多 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場では、昨年10月上旬の果実発病度11.8(平年18.7)と少 (-)</p> <p>4) 感染源となる枯枝は平年並 (±)</p> <p>考察: 平年と比べて大きな増減の要因はなく、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	かいよう病	-	温州 平年並 中晩柑 やや少	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報(5月19日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並が多い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃(5月中旬、新甘夏、無防除)では、新葉発病率0%(平年0.2%)と平年並 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、旧葉発病率は温州みかんでは0%(平年0.2%)と平年並、中晩柑類では7.7%(平年9.4%)とやや少 (-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少 (-)</p> <p>考察: 温州みかんでは、現状の発生量は平年並に少ないと考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。中晩柑類では、現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	ミカンハダニ	-	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報(5月19日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並が多い予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃(5月16日)では、100葉当り寄生頭数は、無防除区1.1頭(平年30.5頭)と少、慣行防除区1.1頭(平年0.8頭)とやや多 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、旧葉寄生率1.08%(平年10.7%)と少、寄生頭数0.02頭/葉(平年0.82頭/葉)と少 (-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少 (-)</p> <p>考察: 一般圃場の発生状況を重視して、予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャノキイロアザミマ	-	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報(5月19日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並が多い予想 (±)</p> <p>2) 一般圃場では、発生量はやや少 (-)</p> <p>考察: 一般圃場の発生状況を重視して、予想発生量はやや少と考えます。</p>
ナシ	黒星病	-	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報(5月19日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並が多い予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(5月第2週)では、発病葉率0.63%(平年0.3%)と多 (+)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや多 (+)</p> <p>考察: 一般圃場の発生状況を重視して現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ナシ	ハダニ類	-	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報(5月19日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並が多い予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(5月第2週)では、寄生葉率0%(平年0.04%)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 一般圃場の発生状況を重視して現状の発生量は平年並に少ないと考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
ブドウ	べと病	-	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報(5月19日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並が多い予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(5月第2週)では、発病葉率は0%(平年0%)と平年並 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並に少ないと考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
果樹共通	カメムシ類	-	やや少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(御浜町5月1日~10日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ5頭(平年595.6頭)と少、ツヤアオカメムシ181頭(平年1,203.4頭)と少 (-)</p> <p>2) 予察灯(細 松阪市5月1日~15日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ23頭(平年482.8頭)と少、ツヤアオカメムシ4頭(平年23.3頭)と少 (-)</p> <p>3) フェロモントラップ(5月1日~18日)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は、山地(津市白山町川口)で94頭(平年144頭)と少、中間地(津市白山町二本木)で152頭(平年291頭)と少、平坦地(松阪市嬬野川北町)で4頭(平年154頭)と少 (-)</p> <p>4) 巡回調査圃場(5月第2週、カンキツ圃場)では、叩き落とし虫数0頭(平年0.2頭)と少 (-)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量はやや少 (-)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
チャ	炭疽病	-	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報(5月19日発表)によると、期間の前半の天気は数日の周期で変わり後半は平年に比べ曇りや雨の日が多く、気温は高い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃(一番茶期)では、発生は未確認 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、新葉発病葉数0葉/m²(平年0.13葉/m²)と平年並 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	もち病	-	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報 (5月19日発表)によると、期間の前半の天気は数日の周期で変わり、後半は平年に比べ曇りや雨の日が多く、気温は高い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃 (一番茶期)では、発生は未確認 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場 (5月第2週)では、新葉発病枚数0枚 (平年0枚)と平年並 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	カンザワハダニ	-	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報 (5月19日発表)によると、期間の前半の天気は数日の周期で変わり、後半は平年に比べ曇りや雨の日が多く、気温は高い予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃 (5月中旬)では、寄生頭数0.03頭/葉 (平年0.12頭/葉)と少、寄生葉率3.0% (平年3.1%)と平年並 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場 (5月第2週)では、発生圃場率56.3% (平年30.0%)と多、寄生葉率4.9% (平年4.8%)と平年並、寄生頭数0.15頭/葉 (平年0.1頭/葉)とやや多 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察：一般圃場の状況を重視して予想発生量は平年並と考えます。</p>
	チャノホソガ	-	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報 (5月19日発表)によると、期間の前半の天気は数日の周期で変わり、後半は平年に比べ曇りや雨の日が多く、気温は高い予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃 (4月第5半旬~5月第4半旬)では、フェロモントラップ誘殺数196頭 (平年160.0頭)と多 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場 (5月第2週)では、巻葉数0.6枚/m² (5年平均0.02枚/m²)と多の傾向 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察：現状の発生量は平年並と考えられますが、県予察圃および巡回調査圃場での発生状況を重視して予想発生量はやや多と考えます。</p>
	チャノミドリヒメヨコバイ	-	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報 (5月19日発表)によると、期間の前半の天気は数日の周期で変わり、後半は平年に比べ曇りや雨の日が多く、気温は高い予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃 (4月第5半旬~5月第4半旬)では、吸引粘着トラップ捕殺数10頭 (平年4.6頭)と多 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場 (5月第2週)では、叩き落とし虫数2.3頭 (平年0.8頭)と多 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察：現状の発生量は平年並と考えられますが、県予察圃および巡回調査圃場での発生状況を重視して予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノキイロアザミマ	-	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報 (5月19日発表)によると、期間の前半の天気は数日の周期で変わり、後半は平年に比べ曇りや雨の日が多く、気温は高い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃 (4月第5半旬~5月第4半旬)では、吸引粘着トラップ捕殺数4,435頭 (平年924.7頭)と多 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場 (5月第2週)では、叩き落とし虫数0.4頭 (平年4.2頭)と少 (-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察：現状の発生量は平年並と考えられますが、県予察圃での発生状況を重視して、予想発生量はやや多と考えます。</p>
イチゴ	うどんこ病	-	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報 (5月19日発表)によると、期間の前半の天気は数日の周期で変わり、後半は平年に比べ曇りや雨の日が多く、気温が高い予想 (+)</p> <p>2) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	炭疽病	-	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報 (5月19日発表)によると、期間の前半の天気は数日の周期で変わり、後半は平年に比べ曇りや雨の日が多く、気温が高い予想 (+)</p> <p>2) 一般圃場では、発生量は平年並に少 (±)</p> <p>考察：現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
ネギ	ネギコガ	-	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報 (5月19日発表)によると、期間の前半の天気は数日の周期で変わり、後半は平年に比べ曇りや雨の日が多く、気温が高い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ (4月第5半旬~5月第4半旬)では、誘殺数1頭 (平年117.9頭)と少 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場 (5月第2週)では、被害葉率0% (平年0.1%)と平年並に少 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並に少 (±)</p> <p>考察：現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
野菜共通	コナガ	-	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1) 月予報 (5月19日発表)によると、平年に比べ気温は高く、降水量は平年並が多い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ (4月第5半旬~5月第4半旬)では、誘殺数23頭 (平年55.8頭)と平年並 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少~やや少 (概してやや少) (-)</p> <p>考察：現状の発生量はやや少と考えられますが、気象条件を考慮して、予想発生量は平年並と考えます。</p>

4. 予察項目の見方

1) 作物別の状況の見方

発生時期 (平年比) : 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早	やや早	平年並					やや遅	遅					

発生量 (平年比) : 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

発生量 (程度) : 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量 (平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」「平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率 (平年比) : 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例 : 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項 : 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2) 発生時期・発生量 (平年比) の予察根拠の見方

- (±) 平年並の要因
- (+) 発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-) 発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方1か月予報 (平成28年5月19日 名古屋地方気象台発表)

東海地方の向こう1か月の平均気温は高く、降水量は平年並または多い見込みです。日照時間は平年並または少ない見込みです。

1週目 5月21日~27日	期間の前半は高気圧に覆われておおむね晴れますが、後半は前線や湿った気流の影響で雲が広がりやすく、雨の降る日があるでしょう	津の降水日数・晴れ日数の平年値 2.1日 4.1日
2週目 5月28日~6月3日	天気は数日の周期で変わっていくでしょう	同 1.9日 4.1日
3~4週目 6月4日~17日	低気圧や前線の影響で、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。	同 4.8日 6.7日

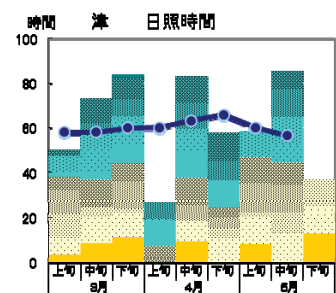
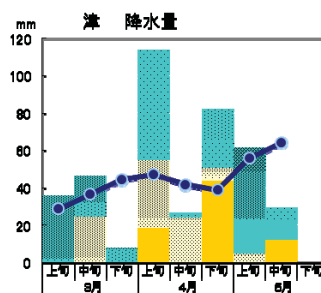
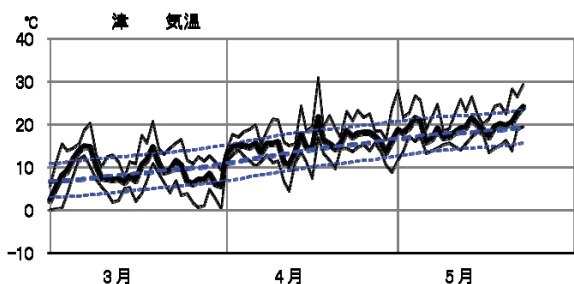
東海地方週間天気予報 (平成28年5月24日 10時30分 名古屋地方気象台発表)

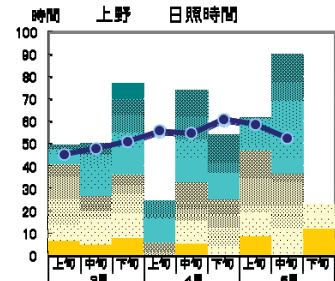
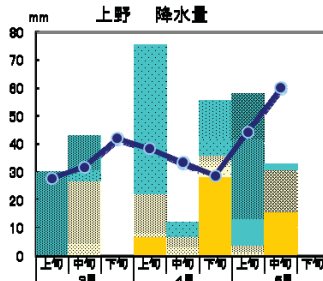
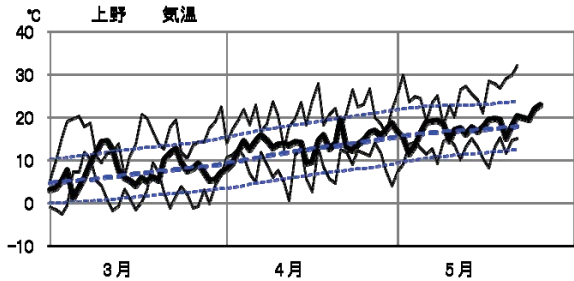
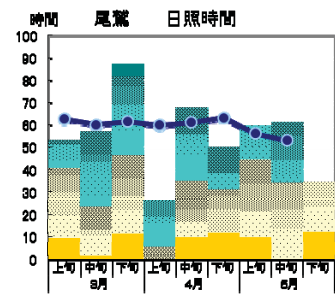
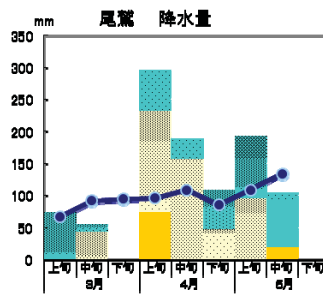
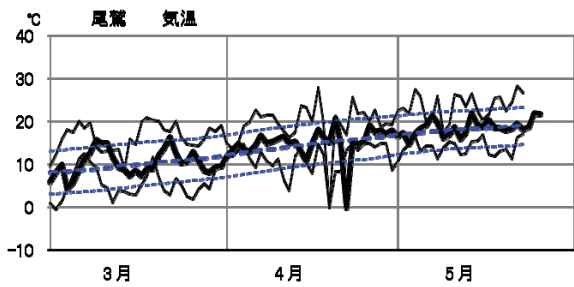
予報期間 5月25日~5月31日

向こう1週間は、前線や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、期間のはじめには雨の降る日がありますが、期間の中頃には高気圧に覆われて晴れる日もある見込みです。

最高気温と最低気温はともに、平年並か平年より高いでしょう
降水量は、平年並の見込みです。

気象の日別推移 (気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/ctrn/index.php> から作成) (5月23日まで)





凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 平年平均
 - - - 平年最高
 - - - 平年最低

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 ● 旬平年値

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 ● 旬平年値

6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、発生量程度を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- 第1回 4月21日(木)
- 第2回 5月25日(水)(今回)
- 第3回 6月23日(木)
- 第4回 7月21日(木)
- 第5回 8月25日(木)
- 第6回 10月20日(木)
- 第7回 3月23日(木)

3) 利用方法

全部または一部をコピーして閲覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000625689.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという掲載通知を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農業登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農業登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農業登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農業登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) PM (総合的病害虫 雑草管理) 実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産物安全課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

1. 向こう 1 か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	8
4. 予察項目の見方	15
5. 気象のデータ	16
6. お知らせ	18

1. 向こう 1 か月の予報と対策

1) 作物

イネでは、葉いもち、白葉枯病、斑点米カメムシ類、イネクロカメムシ、ツマグロヨコバエの発生量は平年並と予想されます。穂いもち、紋枯病の発生時期はやや早、発生量は平年並と予想されます。セジロウンカの発生時期および発生量は平年並と予想されます。

2) 果樹

カンキツでは、黒点病、かいよう病(温州みかん)、ミカンハダニ、チャノキイロアザミウマの発生量は平年並と予想されます。そうか病、かいよう病(中晩柑)の発生量はやや少と予想されます。

ナシでは、黒星病の発生量はやや多と予想されます。発病が確認される圃場ではすみやかに防除を計画してください。ハダニ類の発生量は平年並と予想されます。

ブドウでは、べと病の発生量は平年並と予想されます。

果樹共通では、果樹カメムシ類の発生量はやや少と予想されます。

3) 茶

チャでは、炭疽病、チャノミドリヒメヨコバエ、チャノキイロアザミウマ、チャノコカクモンハマキの発生量は平年並と予想されます。クワシロカイガラムシの発生時期は早、発生量は平年並と予想されます。カンザワハダニ、チャノホソガの発生量はやや少と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、うどんこ病、炭疽病、ハダニ類の発生量は平年並と予想されます。

ネギでは、ネギコガの発生量はやや少と予想されます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

2. 作物別の状況


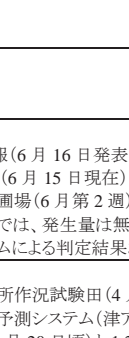
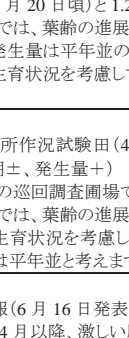

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	発生消長の一例				
								6月	7月			
						下旬	中旬	下旬				
イネ	葉いもち	—	平年並	中	普通					1) 圃場を見回り、早期発見、早期防除に努めてください。 2) 補植用置き苗は発生源となるので、速やかに取り除いてください。 3) いもち病発生予測支援システム(プラスタム)によると、6月下旬以降、本田で発病が確認され始めると予想されます。 4) 雨天が続く可能性があるため、天気予報を参考にしながら、雨の合間を見計らって防除してください。		
	穂いもち	やや早	平年並	中	普通					1) 上位葉の葉いもち病斑が伝染源となります。 2) 圃場および周辺圃場での葉いもちの発生状況に注意してください。 3) 薬剤散布は出穂始めから穂揃い期に予防的に行ってください。		
	紋枯病	やや早	平年並	小	普通					1) 幼穂形成期頃(穂肥時期)から発生が目立つようになります。 2) 水面に近い茎から茎へ感染します。薬剤散布によって病斑の上位葉への進展を阻止してください。		
	白葉枯病	—	平年並	小	低					1) 深水、冠水、台風によって感染や発病が助長されます。 2) 常発地では台風直後に薬剤散布をしましょう。予防的な薬剤散布は効果が高いです。 3) 「みえのゆめ」は耐病性の弱い品種なので注意してください。		
	斑点米カメムシ類	—	平年並	小	普通					1) 畦畔などのイネ科雑草で増殖します。草刈りをこまめに行い、イネ科雑草の穂がつかないように管理してください。 2) 水田内で雑草が多発すると、水田への侵入を助長するため、早めに除去しましょう。 3) 草刈りは出穂 10 日前までに行いましょう。出穂直前および出穂後の草刈りは、水田への侵入を助長するおそれがあります。		

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		6月	7月			
						発生量	下旬	中旬	下旬	
イネ	イネクロカメムシ	—	平年並	小	普通		1) 常発地で薬剤散布する場合は、越冬成虫の発生量がピークとなる6月下旬に実施してください。 2) 日中は株元に潜んでいるので、夕方や曇天の日に薬剤散布を行うと効果的です。			
	ツマグロヨコバイ	—	平年並	中	低		1) 当面、防除が必要な密度には達しないと思われます。			
	セジロウンカ	平年並	平年並	小	低		1) 例年、被害の発生はごく局所的であるため、多飛来が認められた場合は、病害虫防除技術情報で臨時発表します。			
カンキツ	そうか病	—	やや少	小	普通		1) 常発圃場や昨年多発した圃場、幼木園、高接ぎ更新園の温州みかんでは、発生に注意してください。 2) 果実への感染は梅雨末期頃までといわれています。			
	黒点病	—	平年並	小	普通		1) 枯枝が伝染源です。梅雨時期の枯枝発生に注意し、樹冠内や圃場内の枯枝を除去してください。 2) 薬剤散布は前回の散布後に積算降水量が200～300mmに達した時を目安に実施してください。			

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		6月	7月			
						発生量	下旬	中旬	下旬	
カンキツ	かいよう病	—	温州平年並 中晩柑やや少	温州小 中晩柑小	温州低 中晩柑普通		1) 降雨があると急速に感染が広がるので、発生圃場では雨の合間に防除してください。 2) 発病枝葉、果実は、見つけ次第剪除し処分してください。 3) 幼木や高接樹ではミカンハモグリガの被害部に発病しやすいので、ミカンハモグリガの防除を実施してください。 4) 中晩柑類では、梅雨時期から10月中下旬頃まで果実への感染が起きます。			
	ミカンハダニ	—	平年並	中	普通		1) 発生密度が高くなると防除が困難になります。1 葉当りの雌成虫発生数が0.5～1.0 頭程度を目安に防除してください。 2) 薬剤は葉裏にもかかるように散布してください。 3) 同一系統薬剤の連用は避けてください。			
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	中	普通		1) 寄生果率10%を目安に防除してください。 2) 7月になり果実肥大が進むと果頂部で加害します。 3) 圃場周辺のイヌマキ・サンゴジュ等が発生源となります。			
ナシ	黒星病	—	やや多	中	普通		1) 発病果及び発病葉は除去して、圃場外に持ち出し処分してください。 2) 発病が確認される圃場では、すみやかに防除を計画してください。 3) 薬剤散布を実施するときは薬剤をていねいに散布し、同一系統薬剤の連用を避けてください。			
	ハダニ類	—	平年並	中	普通		1) 1 葉当り寄生数が1～2 頭で防除を実施してください。 2) 7～8 月に密度が高くなります。徒長枝での発生にも注意してください。 3) 同一系統薬剤の連用は避けてください。			

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	6月			7月	
								下旬	中旬		下旬	中旬
ブドウ	べと病	—	平年並	小	普通					1) 降雨が連続すると病徴が急速に進展するので、葉裏に病斑を認めたら直ちに薬剤を散布してください。 2) 降雨の合間に防除を計画してください。 3) 被害葉及び被害落葉は感染源となるので圃場外に持ち出して処分してください。 4) 同一系統薬剤の連用を避けてください。		
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	小	普通					1) 7月後半以降で飛来数が増加する可能性がありますので注意が必要です。 2) ナシ(無袋栽培)、カキでまとまった飛来を確認したら、防除を実施してください。 3) 中山間地や以前多発したことがある地域では、圃場への飛来に注意してください。		
チャ	炭疽病	—	平年並	中	普通					1) 旧葉の病斑が感染源です。新葉の展葉までに毛茸の脱落部分から感染します。 2) 新芽の1葉期前後に感染し易く、潜伏期間の15~20日を経て発病します。 3) 二番茶摘葉後に整剪枝を行うことによって、発生が抑制できます。		
	カンザワハダニ	—	やや少	小	普通					1) 葉裏に産卵するので、丁寧に散布してください。 2) 天敵が増加する時期なので、天敵に影響の少ない薬剤を選択してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので同一系統の薬剤の連用は避けてください。		
	チャノホソガ	—	やや少	小	普通					1) 年間6~7世代発生します。 2) 防除適期は孵化直後の潜葉期(絵描き状態)です。 3) 二番茶期にジアミド系薬剤を使用した場合は、7月以降は他の系統の薬剤を使用してください。		

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	6月			7月	
								下旬	中旬		下旬	中旬
チャ	チャノミドリヒメヨコバイ	—	平年並	小	普通					1) 年間5~8回発生し、新芽を加害します。葉先が褐変し、ひどくなると落葉します。 2) 萌芽前~開葉初期に防除してください。		
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	中	普通					1) 年間7~8回発生し、新芽を加害します。萌芽初期に芽の芯から加害し、条痕となります。 2) 萌芽前~開葉初期に防除してください。		
	クワシロカイガラムシ	早	平年並	小	普通					1) 病害虫防除技術情報第2号(5月16日発表) 2) 年3回発生します。孵化最盛期の2~5日後が防除適期です。 3) 有効積算温度による発生活消長予測式では、第2世代幼虫の孵化最盛期は平年より早いと予測されます。 4) 歩行型幼虫の発生状況をルーペ等で実際に確認して防除してください。 5) 孵化最盛日を挟んだ2週間程度の断続的な散水により幼虫の固着を防ぐことができます。 6) 天敵に影響の少ない薬剤を選択してください。		
	チャノコカクモンハマキ	—	平年並	小	普通					1) 年間4世代発生します。防除適期は誘殺ピークの7~15日後です。 2) 病害虫防除所ホームページにフェロモントラップの誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。 3) 交信かく乱剤をまとまった面積に実施することにより、次世代以降の密度を下げるすることができます。 4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため同一系統の薬剤の連用は避けてください。		

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
			発生量 平年比	発生量 程度		6月		7月		
						下旬	中旬	下旬	中旬	
イチゴ	うどんこ病	—	平年並	中	普通					1) 育苗期の防除を徹底してください。 2) 薬剤防除は予防散布に努めます。葉裏から発生しやすいので、葉液が葉裏に十分かかるよう丁寧に散布してください。 3) 発病を認めたときは、集中的に散布して感染拡大を防いでください。
	炭疽病	—	平年並	中	普通					1) 病原菌は高温多湿条件を好み、梅雨時期以降に発生が多くなるため、十分な注意が必要です。 2) 病原菌(胞子)を含む水の跳ね返りで感染が拡大します。頭上灌水は避け、株を濡らさないようにしてください。 3) 発病株は感染源となるため、周辺株を含めて直ちに除去し、処分してください。 4) 薬剤防除は、葉液が株元まで十分かかるよう丁寧に散布してください。
	ハダニ類	—	平年並	小	普通					1) 作物残渣から歩行によって移動します。葉かき後の残渣は圃場外に持ち出し、速やかに処分してください。 2) 多発すると防除が困難になります。早期発見に努め、発生初期に防除を行ってください。 3) 散布は葉裏を中心に丁寧に行ってください。 4) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用は避けてください。
ネギ	ネギコガ	—	やや少	小	普通					1) 春から秋にかけて4~5回発生します。 2) 幼虫は葉の内部に潜り、表皮を残して食害します。潜入防止のため、発生初期から防除を行うことが重要です。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	葉いもち	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月16日発表)によると、天気は平年に比べ曇りや雨の日が少なく、気温は高い予想(—)</p> <p>2) プラスタム(6月15日現在)によると、感染好適条件は6月5、8、14日に、一部地域で出現(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、本田における発生圃場率0%(平年0%)と平年並に少(±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は無~少であり、一部地域の普通期育苗で確認(±)</p> <p>考察: プラスタムによる判定結果および今後の気象条件を重視して、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	穂いもち	やや早	平年並	<p>要因</p> <p>1) 農業研究所作況試験田(4月25日移植コシヒカリ、移植50日目)によると、葉齢の進展は平年並(発生時期±)</p> <p>2) 水稻生育予測システム(津アメダスデータ、4月25日移植コシヒカリ、6月17日現在)によると、予想出穂期は7月19日頃(平年7月20日頃)と1.2日早い予想(発生時期—)</p> <p>3) 一般圃場では、葉齢の進展はやや早い傾向(発生時期—)</p> <p>4) 葉いもち発生量は平年並の予想(±)</p> <p>考察: 水稻の生育状況を考慮して予想発生時期はやや早、葉いもちの予想発生量を考慮して、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	紋枯病	やや早	平年並	<p>要因</p> <p>1) 農業研究所作況試験田(4月25日移植コシヒカリ、移植50日目)によると、葉齢の進展は平年並、茎数はやや多(発生時期±、発生量+)</p> <p>2) 昨年8月の巡回調査圃場では、発生圃場率22.5%(平年29.2%)とやや少、発病度1.5(平年2.0)とやや少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、葉齢の進展はやや早、茎数はやや多(発生時期—、発生量+)</p> <p>考察: 水稻の生育状況を考慮して予想発生時期はやや早、同様に水稻の生育状況と感染源となる越冬菌核量を考慮して、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	白葉枯病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月16日発表)によると、天気は平年に比べ曇りや雨の日が少なく、気温は高い予想(—)</p> <p>2) 県内では4月以降、激しい風を伴う大雨はなし(—)</p> <p>考察: これまでのところ、激しい風雨による冠水の機会は少ないため、予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	斑点米カメムシ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(4月第1半旬～6月第3半旬)では、誘殺数はアカスジカスミカメ22頭(平年11.1頭)とやや多、アカヒゲホソミドリカスミカメ21頭(平年33.9頭)と平年並(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、畦畔イネ科雑草すくい取りによる発生地点率および成幼虫数は、ホソハリカメムシで6.9%(平年9.1%)と平年並に少、0.1頭(平年0.2頭)と平年並に少、クモヘリカメムシで0%(平年0.2%)と平年並に少、0頭(平年0.01頭)と平年並に少、シラホシカメムシ類で1.7%(平年5.7%)と少、0.02頭(平年0.1頭)と少、アカスジカスミカメで29.3%(平年34.9%)とやや少、1.8頭(平年2.0頭)とやや少(—)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果から、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	イネクロカメムシ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(4月第1半旬～6月第3半旬)では、誘殺数は水田位置4頭(平年7.4頭)と平年並、畑位置96頭(平年166.3頭)とやや少(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発生圃場率0.8%(平年3.7%)と少、25株当たり成虫数0頭(平年0.02頭)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～やや少(概して平年並に少)(±)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ツマグロヨコバイ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(4月第1半旬～6月第2半旬)では、誘殺数は松阪市・水田位置0頭(平年0.5頭)、伊賀市0頭(平年0頭)、紀北町0頭(平年0頭)、御浜町0頭(平年0頭)とそれぞれ平年並に少、松阪市・畑位置121頭(9年平均45.4頭)と多い傾向(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、払い落とし成幼虫数0.4頭(平年0.2頭)と多(+)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無(概して平年並に少)(±)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	セジロウンカ	平年並	平年並	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(県内4か所)では、6月10日現在、未飛来(松阪市・平年初飛来7月9日、昨年初飛来7月1日)(発生時期±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、払い落とし成虫数は0頭(平年0.003頭)と平年並に少(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無(±)</p> <p>4) ウンカ飛来状況(JPP-NET)によると、九州では6月中旬まで多飛来は無(—)</p> <p>考察: これまでの飛来状況から発生時期は平年並、現在の飛来状況から当面は密度が大きく上昇することはないと予想されるため、予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	そうか病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月16日発表)によると、天気は平年に比べ曇りや雨の日が少なく、気温は高い予想(—)</p> <p>2) 県予察圃(6月中旬、無防除)では、春葉発病率87.5%(平年64.3%)と多、発病率100%(平年66.1%)と多(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、春葉発病度0.03(平年0.07)とやや少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少～やや少(概してやや少)(—)</p> <p>考察: 巡回調査結果、一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	黒点病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月16日発表)によると、天気は平年に比べ曇りや雨の日が少なく、気温は高い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(6月中旬、無防除)では、果実発病率93.3%(平年42.9%)と多(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、春葉発病度0(平年1.2)と少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並(±)</p> <p>5) 感染源となる枯枝量は平年並(±)</p> <p>考察: 一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月16日発表)によると、天気は平年に比べ曇りや雨の日が少なく、気温は高い予想(—)</p> <p>2) 県予察圃(中晩柑)における果実での初発は、6月8日(平年6月7日)と平年並(±)</p> <p>3) 県予察圃(6月中旬、新甘夏、無防除)では、春葉発病率0.9%(平年3.0%)と少、発病率0.8%(平年1.0%)とやや少(—)</p> <p>4) 巡回調査圃場(6月第2週)では、春葉発病率は温州みかんでは0%(平年0.2%)と平年並、中晩柑では1.7%(平年3.1%)と少(—)</p> <p>5) 中晩柑類の一般圃場での発生量は少(—)</p> <p>考察: 温州みかんでは、現状の発生量は平年並に少ないと考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。中晩柑類では、現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	ミカンハダニ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 県予察圃(5月下旬～6月中旬)では、寄生頭数は無防除区24.4頭/100葉(平年109.1頭/100葉)と少、慣行防除区76.7頭/100葉(平年17.4頭/100葉)と多(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、春葉寄生率12.3%(平年10.8%)とやや多、寄生頭数0.94頭/葉(平年0.36頭/葉)と多(+)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少～やや多(概して平年並)(±)</p> <p>考察: 一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 県予察圃黄色粘着トラップ(6月上旬、無防除)では、誘殺数 3.7 頭/日(平年 0.6 頭/日)と多 (+)</p> <p>2) 県予察圃(6月中旬、無防除)では、寄生虫数 0.8 頭/100 果(平年 0.4 頭/100 果)と多 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、被害果率 0%(平年 0.5%)と平年並 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少~平年並(概して平年並) (±)</p> <p>考察: 巡回調査結果および一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
ナシ	黒星病	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月16日発表)によると、天気は平年に比べ曇りや雨の日が少なく、気温は高い予想 (-)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発病葉率 1.1%(平年 2.2%)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや多 (+)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>
	ハダニ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月16日発表)によると、天気は平年に比べ曇りや雨の日が少なく、気温は高い予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、寄生葉率 0%(平年 0.02%)と平年並、寄生頭数 0 頭/葉(平年 0.00 頭/葉)と平年並(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや少 (-)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
ブドウ	べと病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月16日発表)によると、天気は平年に比べ曇りや雨の日が少なく、気温は高い予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発病葉率 0%(平年 0.05%)と平年並 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(御浜町:5月21日~6月10日)では、誘殺数はツヤアオカメムシは 12 頭(平年 585 頭)と少、チャバネアオカメムシは 10 頭(平年 6,215 頭)と少 (-)</p> <p>2) 予察灯(畑・松阪市:5月16日~6月15日)では、誘殺数はツヤアオカメムシ 54 頭(平年 72 頭)と少、チャバネアオカメムシ 64 頭(平年 1,300 頭)と少 (-)</p> <p>3) フェロモントラップ(5月17日~6月8日)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は、平坦地(松阪市嬉野川北町)で 16 頭(平年 135 頭)と少、中間地(津市白山町二本木)で 245 頭(平年 424 頭)と少、山地(津市白山町川口)で 187 頭(平年 155 頭)とやや多 (+)</p> <p>4) 巡回調査圃場(6月第2週、カンキツ圃場)では、叩き落としまたは見取り調査による飛来は 0 頭(平年 0.07 頭)と少 (-)</p> <p>考察: 現状の発生量は少と考えられるが、フェロモントラップの山地での調査結果を考慮し、予想発生量はやや少と考えます。</p>
	炭疽病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月16日発表)によると、天気は平年に比べ曇りや雨の日が少なく、気温は高い予想 (-)</p> <p>2) 県予察圃(一番茶期)では、発病葉数 0 枚/m²(平年 0 枚/m²)と平年並 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発生圃場率 11.1%(平年 9.3%)と平年並、新葉発病葉数 0.1 枚/m²(平年 0.3 枚/m²)と平年並 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	カンザワハダニ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月16日発表)によると、天気は平年に比べ曇りや雨の日が少なく、気温は高い予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃(6月上旬)では、寄生頭数 0.10 頭/葉(平年 0.10 頭/葉)と平年並、寄生葉率 1.0%(平年 2.9%)と少 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発生圃場率 27.8%(平年 31.8%)とやや少、寄生葉率 0.8%(平年 4.4%)と少、寄生頭数 0.01 頭/葉(平年 0.11 頭/葉)と少 (-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少 (-)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
チャ	チャノホソガ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月16日発表)によると、天気は平年に比べ曇りや雨の日が少なく、気温は高い予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(5月第4半旬~6月第3半旬)では、誘殺数 1,862 頭(平年 2,759 頭)と少 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、巻葉数 0.4 枚/m²(平年 0.2 枚/m²)と多 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少 (-)</p> <p>考察: 一般圃場の発生状況を重視して、予想発生量はやや少と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノミドリヒメコバエ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月16日発表)によると、天気は平年に比べ曇りや雨の日が少なく、気温は高い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃吸引粘着トラップ(5月第4半旬~6月第3半旬)では、捕殺数9頭(平年9.3頭)と平年並 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、叩き落とし虫数5.8頭(平年1.3頭)と多 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 県予察圃および一般圃場の状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月16日発表)によると、天気は平年に比べ曇りや雨の日が少なく、気温は高い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃吸引粘着トラップ(5月第4半旬~6月第3半旬)では、捕殺数7,337頭(平年2,080.5頭)と多 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、叩き落とし虫数8.8頭(平年10.9頭)と平年並 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少 (-)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられるが、県予察圃の状況を考慮して、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	クロシロカイガラムシ	早	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月16日発表)によると、天気は平年に比べ曇りや雨の日が少なく、気温は高い予想 (-)</p> <p>2) 有効積算温度による予測式では、第2世代幼虫孵化最盛日は7月13日頃(平年7月23日頃) (発生時期-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、雌寄生株率2.1%(平年8.3%)と少、雄繭発生度6.7(平年2.6)と多 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 発生時期;早、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	チャノコカクモンハマキ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月16日発表)によると、天気は平年に比べ曇りや雨の日が少なく、気温は高い予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(5月第4半旬~6月第3半旬)では、誘殺数232頭(平年102.5頭)と多 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、ハマキムシ類巻葉数2.0枚/m²(平年0.2枚/m²)と多 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、ハマキムシ類の発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 一般圃場の発生状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。</p>
イチゴ	うどんこ病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月16日発表)によると、天気は平年に比べ曇りや雨の日が少なく、気温は高い予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発病株率0%(平年8.4%)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少~やや多(概して平年並) (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イチゴ	炭疽病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月16日発表)によると、天気は平年に比べ曇りや雨の日が少なく、気温は高い予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発病株率0%(平年0%)と平年並に少 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は、平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ハダニ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月16日発表)によると、天気は平年に比べ曇りや雨の日が少なく、気温は高い予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、寄生株率3.6%(平年8.5%)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
ネギ	ネギコガ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月16日発表)によると、天気は平年に比べ曇りや雨の日が少なく、気温は高い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(5月第5半旬~6月第3半旬)では、誘殺数は6頭(平年175.6頭)と少 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、被害葉率0%(平年0.3%)と平年並に少 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>

4. 予察項目の見方

1) 「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早	やや早	平年並					やや遅	遅					

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」「平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

(±)：平年並の要因

(+)：発生量増加または発生時期遅延の要因

(-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方1か月予報(平成28年6月16日 名古屋地方気象台発表)

東海地方の向こう1ヶ月間は、平年に比べ曇りや雨の日が少なく、平均気温は高い見込みです。日照時間は、平年並または多い見込みです。

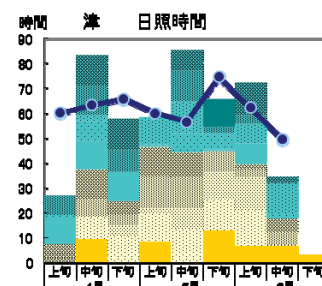
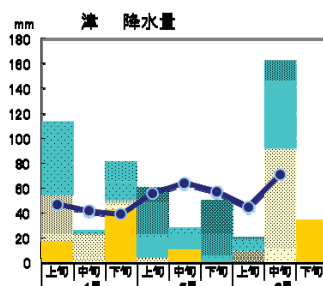
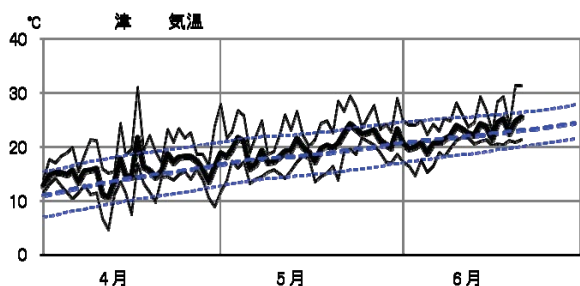
1週目 6月18日～24日	はじめは高気圧に覆われて晴れる日もありますが、梅雨前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多い見込みです。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 3.2日・2.6日
2週目 6月25日～7月1日	太平洋高気圧の強まる時期があり、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。	同 3.1日・2.5日
3～4週目 7月2日～15日	梅雨前線や低気圧の影響を受けやすく、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。	同 5.6日・5.8日

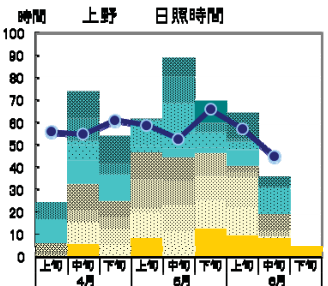
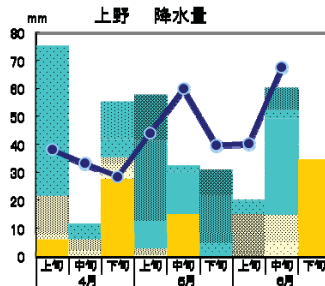
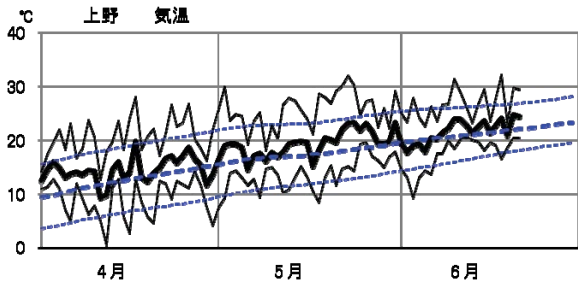
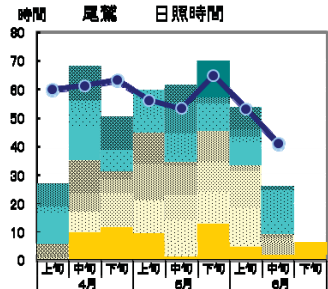
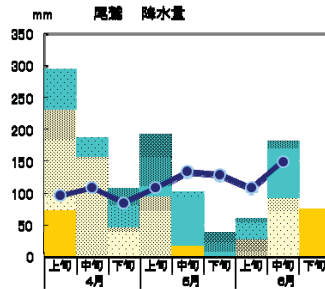
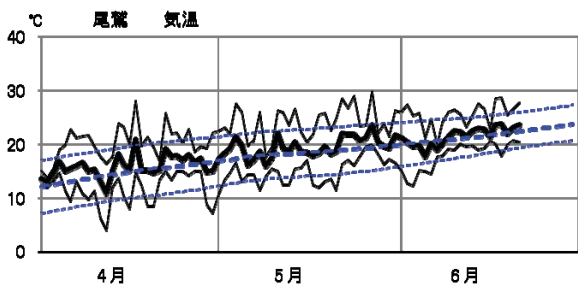
東海地方週間天気予報(平成28年6月22日10時30分 名古屋地方気象台発表)

予報期間 6月23日～6月29日

向こう1週間は、梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。最高気温と最低気温はともに、平年並みか平年より高い見込みです。降水量は、平年並か平年より多い見込みです。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> から作成) (6月21日まで)





凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - 平年平均
 - - 平年最高
 - - 平年最低

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 ● 旬平年値

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 ● 旬平年値

6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のない・非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

- 本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。
- 第1回 4月21日(木)(済み) 第2回 5月25日(水)(済み)
- 第3回 6月23日(木)(今回) 第4回 7月21日(木)
- 第5回 8月25日(木) 第6回 10月20日(木)
- 第7回 3月23日(木)

3) 利用方法

全部または一部をコピーして閲覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。
 病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000625689.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産物安全課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

三重県病害虫防除所

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

目次

1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	7
4. 予察項目の見方	13
5. 気象のデータ	14
6. おしらせ	16

1. 向こう1か月の予報と対策

1) 作物

イネでは、穂いもち、斑点米カメムシ類の発生量は**やや多**と予想されます。発生状況に応じて薬剤防除をしてください。白葉枯病、トビイロウンカの発生量は**平年並**と予想されます。紋枯病、イネクロカメムシ、ツマグロヨコバイ、セジロウンカの発生量は**やや少**と予想されます。

ダイズでは、ハスモンヨトウの発生量は**やや多**と予想されます。発生状況に応じて薬剤防除をしてください。紫斑病、コガネムシ類の発生量は**平年並**と予想されます。吸実性カメムシ類の発生量は**やや少**と予想されます。

2) 果樹

カンキツでは、黒点病、かいよう病(温州、中晩柑)、チャノキイロアザミウマの発生量は**平年並**と予想されます。ミカンハダニの発生量は**やや少**と予想されます。

果樹共通では、カメムシ類の発生量は**平年並**と予想されます。

3) 茶

チャでは、炭疽病、チャノミドリヒメコバエ、チャノキイロアザミウマの発生量は**やや多**と予想されます。炭疽病は1葉展開期に、チャノミドリヒメコバエ、チャノキイロアザミウマは開葉初期に防除してください。チャノコカクモンハマキの発生量は**平年並**、カンザワハダニの発生量は**やや少**と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、炭疽病の発生量は**平年並**と予想されます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活動の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		7月		8月		
						下旬	中旬	下旬	中旬	
イネ	穂いもち	—	やや多	大	高					1) 病害虫防除技術情報第3号(6月23日発表)。 2) 葉いもちが上位葉で発生している圃場では、感染の恐れがあります。発生状況に注意してください。 3) これから出穂期となる圃場において、薬剤散布する場合は、出穂始めから穂揃い期に実施してください。
	紋枯病	—	やや少	中	低					1) 高温多湿条件で発病が助長されます。 2) 多肥、過繁茂の圃場では発生しやすくなります。 3) 薬剤散布は出穂7~10日前に実施してください。
	白葉枯病	—	平年並	小	低					1) 常発地では、台風や集中豪雨の遭遇直後に薬剤散布してください。 2) 「みえのゆめ」は耐病性の弱い品種なので注意が必要です。
	斑点米カメムシ類	—	やや多	中	普通					1) 薬剤散布は穂揃い期に実施してください。広域での一斉防除が効果的です。 2) 中山間など山沿いの地域では、穂揃い期防除の7~10日後に2回目の防除をしてください。 3) 平坦地域においても、防除後に発生が確認された場合は、2回目の防除を実施してください。 4) 周囲よりも出穂の早い水田および遅い水田では、被害が集中するので防除を徹底してください。
	イネクロカメムシ	—	やや少	小	低					1) 発生圃場では、今後出すくみ穂や白穂被害が目立つようになります。 2) 常発地で薬剤散布する場合は、株元までかかるように行ってください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		7月		8月		
						発生量	程度	下旬	下旬	
イネ	ツマグロヨコバイ	—	やや少	中	低					1) 9月上旬までに収穫する圃場では、実害はほとんどありません
	セジロウンカ	—	やや少	小	低					1) 本年は多飛来がありません。
	トビイロウンカ	—	平年並	小	低					1) 本年は多飛来がありません。
ダイズ	紫斑病	—	平年並	小	普通					1) これから播種する圃場では、種子消毒を徹底してください。 2) 莢が形成され始めたら、薬剤散布をしてください。
	コガネムシ類	—	平年並	中	普通					1) 通常は防除の必要はありませんが、多発する場合は加害初期に防除してください。 2) ヒメコガネとドウガネブイブイは夜行性の種のため、夕方に薬剤散布すると効果的です。
	ハスモンヨトウ	—	やや多	中	普通					1) 白変葉を目印に早期発見に努め、若齢幼虫期に防除して下さい。 2) 発生量が急増することがありますので、防除所ホームページにおいて、フェロモントラップでの誘殺状況に注意してください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		7月		8月		
						発生量	程度	下旬	下旬	
ダイズ	吸実性カメムシ類	—	やや少	中	普通					1) 近年、ミナミアオカメムシによる被害粒の多発や、青立ち症状が増加しています。 2) 薬剤散布は、9月中旬(開花20日後・莢伸長期)と10月上旬(開花40日後・子実肥大中期)の2回散布が効果的です。 3) 遅くとも、9月下旬(開花30日後・子実肥大初期)までに1回目の薬剤散布をしてください。 4) 移動性が高いため、広域一斉防除が効果的です。 5) エチプロール剤およびジノテフラン剤は、ミナミアオカメムシの殺虫効果が高いことが確認されています。
カンキツ	黒点病	—	平年並	小	普通					1) 薬剤散布を定期的実施し、8月下旬まで感染防止に努めてください。 2) 梅雨明け後は感染源となる枯枝が増加するので、切除に努めてください。 3) 薬剤散布後、積算で200mm以上の降雨があれば2回目の防除を実施してください。
	かいよう病	—	温州平年並 中晩柑平年並	温州小 中晩柑中	温州低 中晩柑普通					1) 果実・夏枝に病斑が見られる圃場では、発病した枝・葉・果実を除去し、薬剤防除を行ってください。 2) 防風対策に努め、台風の影響が予想される場合には、直前に防除してください。 3) 高接樹や幼木については、ミカンハモグリガの防除も徹底してください。
	ミカンハダニ	—	やや少	中	普通					1) 1葉当たりの雌成虫寄生数が0.5~1.0頭程度を目安に防除してください。 2) 高温により活動が停滞する時期ですが、圃場での発生状況をよく確認し、多発している場合は防除してください。 3) 薬剤散布は葉裏にかかると、丁寧に散布してください。 4) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統の薬剤の連用を避けてください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項	
			平年比	平年比		程度	7月		8月		
							下旬	中旬	下旬		中旬
カンキツ	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	中	普通					1) 寄生果率 10%になった時を防除の目安にしてください。 2) 7月以降は寄生部位が果頂部に移ります。	
果樹共通	カメムシ類	—	平年並	中	普通					1) 圃場内を観察し、飛来が認められたら防除を実施してください。 2) 圃場(特にナシ、カキ)によっては局所的に飛来してきます。過去に発生が多かった圃場周辺では注意してください。 3) ナシ、ブドウの有袋栽培では、袋と果実が密着すると袋の上から加害されることがあります。	
チャ	炭疽病	—	やや多	中	普通					1) 刈り遅れや旧葉に病斑が多い圃場では注意してください。 2) 新芽の1葉展開期に防除してください。 3) 感染好適温度は25℃～27℃です。 4) 整枝による病斑葉の刈り落としも防除効果があります。ただし、葉層の確保充実も考慮してください。 5) 耐性菌が出現しやすいため同一系統の薬剤の連用は避けてください。	
	カンザワハダニ	—	やや少	小	普通					1) 年間10世代程発生します。 2) 夏季の30℃以上の高温条件下では、発生が抑制されます。 3) 発生が少なければ防除の必要はありません。 4) 抵抗性の発達を避けるため、同一系統の薬剤の連用は避けてください。	
	チャノミドリヒメヨコバイ	—	やや多	中	普通					1) 年間8世代程発生します。新芽の先が褐変し、ひどいときは落葉します。 2) 晴天が続くと発生が多くなります。 3) 新芽の開葉初期に防除してください。 4) 一斉防除が効果的です。 5) 幼虫は葉裏に生息するので丁寧に防除してください。	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項	
			平年比	平年比		程度	7月		8月		
							下旬	中旬	下旬		中旬
チャ	チャノキイロアザミウマ	—	やや多	中	普通					1) 年間8世代程発生します。新芽の先が褐変し、ひどいときは落葉します。 2) 晴天が続くと発生が多くなります。 3) 新芽の開葉前～開葉初期に防除してください。 4) 一斉防除が効果的です。 5) チャ以外にイヌマキやサクラでも発生するので、これらが圃場周辺にある場合は注意してください。	
	チャノコカクモンハマキ	—	平年並	小	普通					1) 第2世代成虫発生時期は、平年に比べて半月ほど早くなると予想されます。 2) 若齢幼虫期に防除してください。防除適期は成虫発生ピークから7日～10日後頃です。 3) 病害虫防除所ホームページにフェロモントラップ誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。	
イチゴ	炭疽病	—	平年並	中	普通					1) 発病株は感染源となるため、周辺株も含めて速やかに除去し、圃場外に持ち出して適切に処分してください。 2) 薬剤による予防防除を徹底してください。降雨、台風等の前後は特に重点的に防除してください。 3) 耐性菌が出現しやすいため同一系統薬剤の連用は避けてください。 4) 病原菌を含む水滴の跳ね返りによって感染が拡大します。水滴が跳ね返らないよう、丁寧に灌水を行ってください。	

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	穂いもち	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月14日発表)によると、平年に比べ晴れの日が少ない予想 (+)</p> <p>2) 梅雨前線や低気圧の影響により、7月9～13日に大雨に遭遇 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、葉いもちの発生圃場率12.7%(平年23.6%)と少、発病度0.6(平年2.3)と少、発病株における上位葉への進展率14.9%(平年1.6%)と多 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、葉いもちの発生量は少～やや多(概してやや少)。一部地域では多発を確認 (±)</p> <p>考察: 今後の気象条件、巡回調査結果の上位葉への進展率を重視して、予想発生量はやや多と考えます。</p>
	紋枯病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月14日発表)によると、平年に比べ晴れの日が少なく、気温は平年並か高い予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第2週)では、発生圃場率5.1%(平年7.4%)と少、発病株率0.3%(平年1.0%)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して少) (-)</p> <p>考察: 現状の発生量は少と考えられますが、今後の気象条件を考慮して、予想発生量はやや少と考えます。</p>
	白葉枯病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 梅雨前線や低気圧の影響により、7月9～13日に大雨に遭遇 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第2週)では、発生圃場率0%(平年0%)と平年並に少 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して少) (-)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	斑点米カメムシ類	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月14日発表)によると、気温は平年並か高い予想 (+)</p> <p>2) 予察灯(松阪市・6月第1半旬～6月第6半旬)では、誘殺数はアカスジカメムシ77頭(平年36.6頭)と多、アカヒゲホソミドリカメムシ41頭(平年68.2頭)とやや少、クモヘリカメムシ0頭(平年0.1頭)とやや少 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、圃場内および畦畔イネ科雑草すくい取りによる、中型種(ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカメムシ類)の発生地点率16.9%(平年32.7%)と少、すくい取り成虫数0.8頭(平年1.3頭)と少、微小種(アカスジカメムシ)の発生地点率2.5%(平年30.0%)と少、すくい取り成虫数0.04頭(平年3.5頭)と少であるが、クモヘリカメムシの発生地点率9.3%(平年6.6%)、すくい取り成虫数0.68頭(平年0.49頭)と多 (+)</p> <p>4) 広域病害虫防除員調査(7月2日～11日)では、ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカメムシ類のすくい取り成虫数がそれぞれ、0.78頭(平年0.28頭)、1.16頭(平年0.14頭)、0.08頭(平年0.06頭)と多 (+)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は少～やや多(概してやや少) (-)</p> <p>考察: 今後の気象条件、巡回調査結果を重視して、予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	イネクロカメムシ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(松阪市・4月第1半旬～7月第1半旬)では、誘殺数は水田位置5頭(平年10.3頭)と少、畑位置119頭(平年254.2頭)と少 (-)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第2週)では、発生圃場率3.8%(平年22.3%)と少、被害株率0.3%(平年3.1%)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～平年並(概してやや少) (-)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや少と考えます。</p>
	ツマグロヨコバイ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(6月第1半旬～6月第6半旬)では、誘殺数は松阪市・水田位置2頭(平年0.9頭)と多、松阪市・畑位置1,545頭(9年平均2,568.6頭)とやや少の傾向、伊賀市3頭(平年20.6頭)と少、紀北町0頭(平年3.1頭)と少、御浜町0頭(平年3.9頭)と少 (-)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第2週)では、発生圃場率38.1%(平年29.8%)とやや多、払い落とし成虫数2.0頭(平年2.5頭)とやや少 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～やや少(概して平年並に少) (±)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや少と考えます。</p>
	セジロウンカ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(5月第1半旬～6月第6半旬)では、誘殺数は松阪市・水田位置1頭(平年0.9頭)と平年並、松阪市・畑位置6頭(9年平均16.9頭)とやや少の傾向、伊賀市0頭(平年1.6頭)と少、紀北町0頭(平年4.0頭)と少、御浜町15頭(平年20.6頭)と平年並 (-)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第2週)では、紀州地域では、発生圃場率31.3%(平年31.7%)と平年並、払い落とし成虫数0.4頭(平年1.3頭)とやや少、県全体では、発生圃場率3.0%(平年5.1%)とやや少、払い落とし成虫数0.04頭(平年0.6頭)とやや少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して平年並に少) (±)</p> <p>4) 九州各県の病害虫防除所情報では、7月上旬まで多飛来の報告はなし (-)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況、他県の飛来状況から、予想発生量はやや少と考えます。</p>
	トビイロウンカ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(5月第1半旬～6月第6半旬)では、4か所ともに未飛来(平年7月上旬まで未飛来) (-)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第2週)では、発生圃場率0%(平年0.1%)と平年並に少、払い落とし成虫数0頭(平年0.2頭)と平年並に少 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して平年並に少) (±)</p> <p>4) 九州各県の病害虫防除所情報では、7月上旬まで多飛来の報告はなし (-)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況、他県の飛来状況から、予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ダイズ	紫斑病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(7月14日発表)によると、平年に比べ晴れの日が少なく、気温は平年並か高い予想 (±) 2) 巡回調査圃場(昨年11月)では、紫斑粒の発生率0.3%(平年0.4%)と平年並 (±) 考察: 今後の気象条件、昨年の紫斑粒発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。
	コガネムシ類	—	平年並	要因 1) 予察灯(松阪市・4月第1半旬～7月第2半旬)では、誘殺数はドウガネブイブイ186頭(平年198.3頭)と平年並、ヒメコガネ39頭(平年47.8頭)と平年並 (±) 2) 県予察圃フェロモントラップ(5月上旬～7月上旬)では、誘殺数はマメコガネ80頭(平年154.5頭)とやや少、ドウガネブイブイ131頭(平年27.8頭)と多、ヒメコガネ15頭(平年4.1頭)と多 (+) 3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して少) (—) 考察: 予察灯、フェロモントラップの誘殺状況、一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます
	ハスモンヨトウ	—	やや多	要因 1) 県予察圃フェロモントラップ(6月第4半旬～7月第2半旬)では、誘殺数は853頭(平年146.8頭)と多 (+) 2) 一般圃場では、発生量は無～少(概して少) (—) 考察: フェロモントラップの誘殺状況を重視して、予想発生量はやや多と考えます。
	吸実性カメムシ類	—	やや少	要因 1) 予察灯(松阪市・6月第1半旬～6月第6半旬)では、誘殺数はイチモンジカメムシ23頭(平年7.9頭)と多、ミナミアオカメムシ水田位置1頭(6年平均1.7頭)と平年並の傾向、畑位置1頭(9年平均11.6頭)と少の傾向、クサギカメムシ6頭(平年29.6頭)と少 (—) 考察: 予察灯の誘殺状況から、予想発生量はやや少と考えます。
カンキツ	黒点病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(7月14日発表)によると、平年に比べ晴れの日が少なく、降水量は平年並の予想 (+) 2) 県予察圃(7月上旬)では、果実発病度45.0(平年30.8)と多 (+) 3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、果実発病度0(平年1.6)と少 (—) 4) 一般圃場では、発生量は少～やや少(概してやや少) (—) 5) 感染源となる枯枝は平年並 (±) 考察: 一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量はやや少と考えられますが、今後の気象要因を考慮して予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 平年並	要因 1) 1か月予報(7月14日発表)によると、平年に比べ晴れの日が少なく、降水量は平年並の予想 (±) 2) 県予察圃(7月上旬、新甘夏)では、発病率1.1%(平年3.8%)と少、発病率3.3%(平年5.1%)とやや少 (—) 3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、温州みかんは発病率0%(平年0.2%)と平年並、発病率0%(平年0.06%)とやや少、中晩柑は発病率7.7%(平年8.7%)と平年並、発病率0.3%(平年2.5%)と平年並 (温州±、中晩柑±) 4) 一般圃場では、発生量は少～やや少(概してやや少) (—) 考察: 温州みかんでは現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。中晩柑類では現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	ミカンハダニ	—	やや少	要因 1) 1か月予報(7月14日発表)によると、気温は平年並か高い予想、降水量は平年並の予想 (±) 2) 県予察圃(7月上旬)では、100葉当り寄生頭数は無防除区で1.1頭(平年12.2頭)と少、慣行防除区で3.3頭(平年7.7頭)とやや少 (—) 3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、新葉における寄生率2.6%(平年9.5%)と少、寄生頭数0.06頭/葉(平年0.38頭/葉)と少 (—) 4) 一般圃場では、発生量はやや少～平年並(概してやや少) (—) 考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	要因 1) 県予察圃黄色粘着トラップ(6月下旬)では、誘殺数1.7頭/日(平年1.4頭/日)とやや多 (+) 2) 県予察圃(7月上旬)では、100果当り寄生虫数7.5頭(平年5.2頭)とやや多 (+) 3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、被害率0.2%(平年1.0%)と平年並 (±) 4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察: 一般圃場での発生状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
果樹 共通	カメムシ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(御浜町:7月1日～7月10日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ10頭(平年3,444.3頭)と少、ツヤアオカメムシ0頭(平年22.3頭)と少 (—)</p> <p>2) 予察灯(畑・松阪市:6月第3半旬～7月第2半旬)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ110頭(平年799.3頭)と少、ツヤアオカメムシ59頭(平年455.6頭)と少、クサギカメムシ9頭(平年145.7頭)と少 (—)</p> <p>3) フェロモントラップ(6月第2週～7月第1週)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口)で1,138頭(平年671.5頭)と多、中間地(津市白山町二本木)で933頭(平年1,357.3頭)と少、平坦地(松阪市嬉野川北町)で72頭(平年130.28頭)とやや少 (—)</p> <p>4) 巡回調査圃場(7月第2週)では、カンキツ圃場での叩き落とし虫数0頭(平年0.03頭)と少、カキ圃場での被害果率0%(平年0.9%)と少 (—)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は少 (—)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられますが、山地でのフェロモントラップの誘殺数が増加していることから予想発生量は平年並と考えます。</p>
	炭疽病	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1ヶ月予報(7月14日発表)によると、平年に比べ晴れの日が少なく、気温は平年並か高い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃では、二番茶期の病葉数1.2枚/m²(9年平均0.5枚/m²)と多の傾向 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、発病葉数0.6枚/m²(平年3.1枚/m²)と少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられるが、気象条件や県予察圃の結果を考慮して予想発生量はやや多と考えます。</p>
	カンザワハダニ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1ヶ月予報(7月14日発表)によると、平年に比べ晴れの日が少なく、気温は平年並か高い予想 (—)</p> <p>2) 県予察圃(7月上旬)では、寄生葉率2%(平年1.9%)と平年並、寄生頭数0.09頭/葉(平年0.07頭/葉)と平年並 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、寄生葉率1.0%(平年0.2%)と多、寄生頭数0.01頭/葉(平年0.01頭/葉)と平年並 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少 (—)</p> <p>考察: 一般圃場の発生量を重視して、予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャノミドリヒメヨコバイ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1ヶ月予報(7月14日発表)によると、平年に比べ晴れの日が少なく、気温は平年並か高い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃吸引粘着トラップ(6月第3半旬～7月第2半旬)では、捕殺数34頭(平年12.9頭)と多 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、叩き落とし虫数1.2頭(平年2.3頭)とやや少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は多 (+)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノキイロアザミウマ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1ヶ月予報(7月14日発表)によると、平年に比べ晴れの日が少なく、気温は平年並か高い予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃吸引粘着トラップ(6月第3半旬～7月第2半旬)では、捕殺数9,021頭(平年5,958.2頭)と多 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、叩き落とし虫数10.7頭(平年20.0頭)と少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや多 (+)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>
	チャノコカクモンハマキ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1ヶ月予報(7月14日発表)によると、平年に比べ晴れの日が少なく、気温は平年並か高い予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(6月第3半旬～7月第2半旬)では、誘殺数538頭(平年425.9頭)とやや多 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、ハマキムシ類巻葉数0.1枚/m²(平年0.4枚/m²)とやや少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、ハマキムシ類の発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
イチゴ	炭疽病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1ヶ月予報(7月14日発表)によると、平年に比べ晴れの日が少なく、気温は平年並か高い予想 (+)</p> <p>2) 梅雨前線や低気圧の影響により、7月9～13日に大雨に遭遇するとともに気温が高く推移 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第2週、親株)では、発病株率0.2%(平年0.3%)と平年並 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概してやや少) (—)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられるが、気象要因による今後の増加を考慮して予想発生量は平年並と考えます。</p>

4. 予察項目の見方

1) 「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早	やや早	平年並					やや遅	遅					

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

- (±)：平年並の要因
- (+)：発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方1か月予報(平成28年7月14日 名古屋地方気象台発表)

東海地方の向こう1ヶ月間は、平年に比べ晴れの日が少なく、平均気温は平年並または高い見込みです。日照時間は、平年並または少ない見込みです。

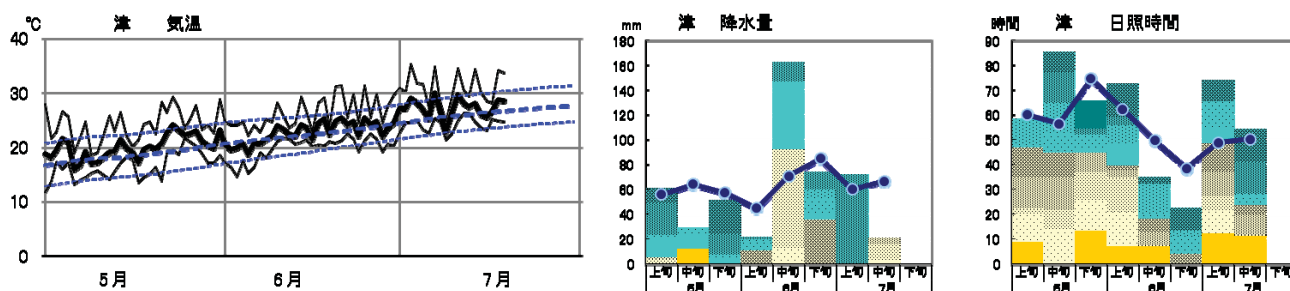
1週目 7月16日～ 22日	低気圧や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、雨の降る日があるでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 2.5日・3.8日
2週目 7月23日～ 29日	前線や気圧の谷の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。	同 2.1日・4.5日
3～4週目 7月30日～ 8月12日	太平洋高気圧に覆われ、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	同 3.9日・9.5日

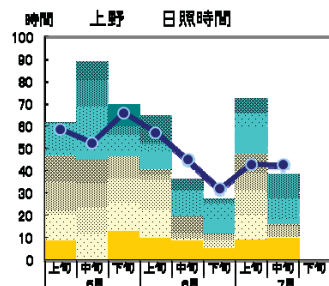
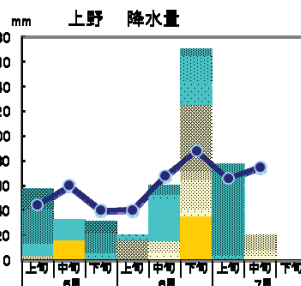
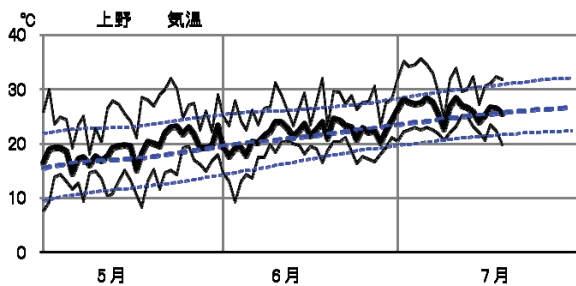
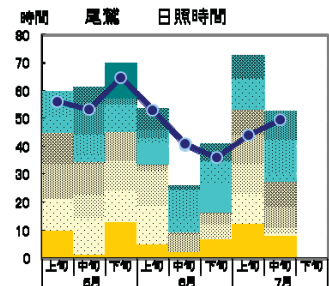
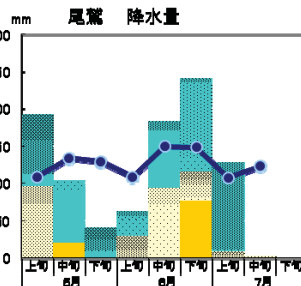
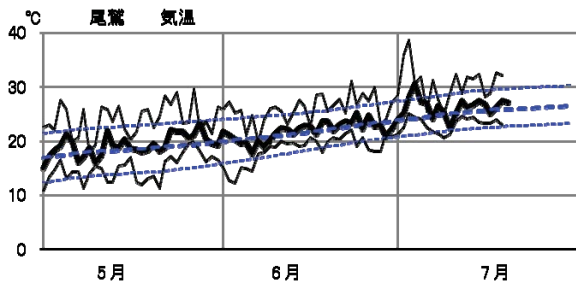
東海地方週間天気予報(平成28年7月20日10時30分 名古屋地方気象台発表)

予報期間 7月21日～7月27日

向こう1週間は、気圧の谷や湿った空気の影響で雲が広がりやすいでしょう。最高気温と最低気温はともに、平年並か平年より低い見込みです。降水量は、平年より少ないでしょう。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> から作成) (7月19日まで)





凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 年平均
 - - - 年最高
 - - - 年最低

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 ● 旬平均値

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 ● 旬平均値

6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- 第1回 4月21日(木) (済み) 第2回 5月25日(水) (済み)
- 第3回 6月23日(木) (済み) 第4回 7月21日(木) (今回)
- 第5回 8月25日(木) 第6回 10月20日(木)
- 第7回 3月23日(木)

3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000625689.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご利用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産物安全課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

三重県病害虫防除所

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

目次

1. 向こう 1 か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	6
4. 予察項目の見方	11
5. 気象のデータ	12
6. おしらせ	14

1. 向こう 1 か月の予報と対策

1) 作物

イネ(普通期)では、斑点米カメムシ類の発生量は多と予想されます。周辺圃場の収穫状況に注意しながら、薬剤散布を行ってください。トビイロウンカの発生量は平年並、ツマグロヨコバイの発生量はやや少と予想されます。

ダイズでは、ハスモンヨトウ、吸蜜性カメムシ類の発生量はやや多と予想されます。ハスモンヨトウは、若齢幼虫期に薬剤散布を行ってください。吸蜜性カメムシ類は、今後増加する可能性もありますので圃場周辺の状況に注意してください。薬剤散布は莢伸長期および子実肥大中期の 2 回散布を行うとより効果的です。

2) 果樹

カンキツでは、黒点病、かいよう病(温州、中晩柑)、チャノキイロアザミウマの発生量は平年並と予想されます。ミカンハダニの発生量はやや少と予想されます。

果樹共通では、カメムシ類の発生量はやや少と予想されます。

3) 茶

チャでは、炭疽病の発生量は多と予想されます。防除適期は新芽 1 葉期です。三番茶芽を摘採しない圃場では多発に注意してください。クワシロカイガラムシの発生時期は早、発生量は平年並、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマの発生量は平年並、カンザワハダニの発生量はやや少、チャノホソガの発生時期は早、発生量は少と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、炭疽病の発生量は平年並と予想されます。

ネギでは、シロイチモジヨトウの発生量は平年並と予想されます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	8月				
								下旬	中旬		下旬	下旬
イネ(普通期)	斑点米カメムシ類	—	多	大	高	被害量 				1) 病害虫発生予察注意報第 2 号(7 月 21 日発表) 2) 周辺圃場で収穫作業がある時は、侵入に注意してください。 3) 薬剤散布は穂揃い期に実施してください。 4) 防除後も水田への侵入が確認される場合は、穂揃い期防除の 7~10 日後に 2 回目の防除をしてください。 5) 薬剤散布する場合は、周辺圃場の収穫状況を考慮してください。		
	ツマグロヨコバイ	—	やや少	中	低	成虫密度 				1) 発生量がやや少ないので、実害は少ないと思われます。		
	トビイロウンカ	—	平年並	小	低	成虫密度 				1) 多飛来が確認されていないので、防除の必要はありません。		
ダイズ	ハスモンヨトウ	—	やや多	中	普通	被害量 				1) 病害虫防除技術情報第 5 号(8 月 16 日発表) 2) 一部の圃場では、既に発生が確認されています。圃場を見回り、白変葉を目印として、早期発見、早期防除に努めてください。 3) 薬剤散布は若齢幼虫期に行ってください。		

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		8月		9月		
						平年比	平年比	下旬	下旬	
ダイズ	吸実性カメムシ類	—	やや多	中	普通					<ol style="list-style-type: none"> 1) 近年、ミナミアオカメムシによる被害粒の多発や、青立ち症状が増加しています。 2) 薬剤散布は、9月中旬(開花20日後・莢伸長期)と10月上旬(開花40日後・子実肥大中期)の2回散布が効果的です。 3) 1回散布の場合は、9月下旬頃(開花30日後・子実肥大初期)に散布してください。 4) 移動性が高いため、広域一斉防除が効果的です。 5) エチプロール剤およびジノテフラン剤は、ミナミアオカメムシの殺虫効果が高いことが確認されています。
カンキツ	黒点病	—	平年並	中	普通					<ol style="list-style-type: none"> 1) 乾燥が続くと樹勢の衰弱により枯枝が増加します。感染源となる枯枝の除去に努めてください。 2) 9月は後期感染の時期なので、果実への感染防止に努めてください。
	かいよう病	—	温州平年並 中晩柑平年並	温州小 中晩柑中	温州低 中晩柑普通					<ol style="list-style-type: none"> 1) 発病した夏秋梢や果実等の除去に努めてください。 2) 防風対策を行うとともに、台風の接近が予想される場合は防除をしてください。 3) 高接樹や幼木については、ミカンハモグリガの防除も実施してください。
	ミカンハダニ	—	やや少	中	普通					<ol style="list-style-type: none"> 1) 秋になって急増することがあるので、発生状況をよく観察してください。 2) 1葉当たりの雌成虫寄生数が0.5~1.0頭程度を目安に防除してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用を避けてください。
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	中	普通					<ol style="list-style-type: none"> 1) この時期の被害発生部位は果頂部で、果実肥大が緩慢になり被害が判りにくくなるため、丁寧な観察が必要です。 2) イヌマキ、サンゴジュ等の防風垣に隣接した樹で、被害が多くなることがあります。

3

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		8月		9月		
						平年比	平年比	下旬	下旬	
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	小	低					<ol style="list-style-type: none"> 1) 例年飛来が多く見られる圃場では、圃場内の観察をきめ細かく行ってください。 2) 大雨、強風などの後に、急に圃場へ多数飛来することがあります。カンキツやカキ圃場等では、発生状況に十分に注意してください。 3) ナシ、ブドウの有袋栽培では、袋と果実が密着すると、袋の上から加害されることがあるので注意してください。
チャ	炭疽病	—	多	大	高					<ol style="list-style-type: none"> 1) 防除適期は新芽1葉期です。三番茶芽を摘採しない圃場では、多発に注意してください。 2) 感染好適温度は25℃~27℃です。 3) 三番茶期から秋番茶期にかけて増加します。 4) 降雨が続くと感染しやすくなります。降雨の前は予防剤で、降雨の後には治療剤で防除してください。 5) 治療剤(EBI剤など)は耐性菌が出現しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。
	カンザワハダニ	—	やや少	小	普通					<ol style="list-style-type: none"> 1) 年間10世代程発生します。現状は、旧葉裏に生息しています。 2) 夏季の30℃以上の高温条件下では、発生が抑制されます。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。
	チャノホソガ(第4世代幼虫)	早	少	小	低					<ol style="list-style-type: none"> 1) 新芽開葉初期の孵化幼虫(潜葉期、絵描き状態)を対象に防除してください。 2) 本年の発生時期は、昨年同様平年より早くなっていますので注意してください。 3) 病害虫防除所のホームページにてフェロモントラップによる誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。
	チャノミドリヒメコバエ	—	平年並	小	普通					<ol style="list-style-type: none"> 1) 年間8世代程発生します。 2) 新芽の先が褐変し、ひどいときは落葉します。 3) 晴天が続くと発生が多くなります。 4) 秋芽の開葉初期に防除してください。 5) 幼虫は葉裏に生息するので丁寧に防除してください。

4

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項
			年平均	程度		8月		9月		
						下旬	中旬	下旬	中旬	
チャ	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	中	普通					1) 年間 8 世代程発生します。 2) 萌芽初期に新芽の基部から加害し、条痕となります。 3) 晴天が続くと発生が多くなります。 4) 秋芽の萌芽期～開葉初期に防除してください。
	クワシロカイガラムシ	早	平年並	小	普通					1) 病害虫防除技術情報第 4 号(7 月 6 日発表) 2) 有効積算温度による予測式(8 月 23 日予測)では幼虫孵化最盛日は早(予測日は予報根拠を参照)と予想されます。 3) 防除適期は孵化最盛日から 2～4 日後頃です。 4) この時期はばらつきが大きくなるため圃場で幼虫の孵化を確認してから防除してください。 5) 天敵に影響の少ない薬剤を選択してください。
イチゴ	炭疽病	—	平年並	中	普通					1) 発病株は感染源となるため、周辺株も含めて速やかに除去し、圃場外に持ち出して適切に処分してください。 2) 病原菌を含む水滴の跳ね返りによって感染が拡大します。水滴が跳ね返らないよう丁寧に灌水を行ってください。 3) 薬剤による予防防除を徹底してください。葉かき作業後や降雨、台風等の前後は特に重点的に防除してください。 4) 薬剤耐性菌を生ずる恐れがあるため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
ネギ	シロイチモジヨトウ	—	平年並	中	普通					1) 幼虫の発生は 8～10 月に多くなります。 2) 幼虫は老齢になるに従って薬剤の効果が低下します。早期発見に努め、若齢のうちに防除してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ(普通期)	斑点米カメムシ類	—	多	要因 1) 予察灯(8 月第 1 半旬～第 3 半旬・松阪市)では、クモヘリカメムシ誘殺数は水田位置で 20 頭(平年 3.6 頭)と多、畑位置で 166 頭(9 年平均 59.9 頭)と多の傾向、ミナミアオカメムシ誘殺数は水田位置で 7 頭(6 年平均 4.0 頭)と多の傾向、畑位置で 16 頭(9 年平均 18.2 頭)と平年並の傾向 (+) 2) 巡回調査圃場(8 月第 1 週)では、発生圃場率 41.5%(平年 36.8%)とやや多、すくい取り虫数 1.0 頭(平年 1.7 頭)と平年並 (+) 3) 一般圃場では、発生量はやや少～多(概してやや多) (+) 考察: 予察灯、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量は多と考えます。
	ツマグロヨコバイ	—	やや少	要因 1) 予察灯(7 月第 3 半旬～8 月第 2 半旬・松阪市)では、誘殺数は水田位置で 2 頭(平年 2.5 頭)とやや少、畑位置で 2,438 頭(9 年平均 2,975.4 頭)と平年並の傾向 (±) 2) 巡回調査圃場(8 月第 1 週)では、発生圃場率 35.8%(平年 35.8%)と平年並、払い落とし成虫数 6.0 頭(平年 6.0 頭)と平年並、すくい取り虫数 4.8 頭(平年 19.2 頭)と少 (—) 3) 一般圃場では、発生量は無～平年並(概してやや少) (—) 考察: 予察灯、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや少と考えます。
	トビイロウンカ	—	平年並	要因 1) 予察灯(5 月第 1 半旬～8 月第 3 半旬)では、松阪市で 0 頭(平年 0.4 頭)と平年並 (±) 2) 巡回調査圃場(8 月第 1 週)では、発生圃場率 0%(平年 0.2%)と平年並に少、払い落とし成虫数 0 頭(平年 0.1 頭)と平年並 (±) 3) 一般圃場では、発生量は無～平年並(概して平年並) (±) 考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
ダイズ	ハスモンヨトウ	—	やや多	要因 1) フェロモントラップ(7 月第 5 半旬～8 月第 3 半旬)では、松阪市嬉野川北町で 574 頭(平年 247.3 頭)と多 (+) 2) 巡回調査圃場(8 月第 1 週)では、葉食害度 0.8(平年 0.1)と多、1a 当り白変か所数 2.6 か所(平年 0.2 か所)と多 (+) 3) 一般圃場では、発生量は無～平年並(概してやや少) (—) 考察: フェロモントラップ、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや多と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ダイズ	吸実性カメムシ類	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(8月第1半旬～第3半旬・松阪市)では、誘殺数はミナミアオカメムシ水田位置7頭(6年平均4.0頭)と多の傾向、畑位置16頭(9年平均18.2頭)と平年並の傾向、イチモンジカメムシ6頭(6年平均6.3頭)と平年並、ホソヘリカメムシ12頭(7年平均37.0頭)とやや少の傾向 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(8月第1週)では、25株当り寄生虫数0頭(6年平均0.1頭)と平年並 (±)</p> <p>3) 水稲巡回調査圃場(8月第1週)では、発生圃場率2.1%(6年平均1.9%)とやや多の傾向、すくい取り虫数0.04頭(6年平均0.04頭)と平年並の傾向 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、水稲巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや多と考えます。</p>
カンキツ	黒点病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並が多い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃(8月中旬、無防除)では、果実発病度77.4(6年平均58.9)と多 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、果実発病度0.3(6年平均6.7)と少 (-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少 (-)</p> <p>5) 感染源となる枯枝の量はやや多 (+)</p> <p>考察: 現状の発生量は少と考えられるが、気象要因および枯枝量を考慮して予想発生量は平年並と考えます。</p>
	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並が多い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃(8月中旬、新甘夏、無防除)では、発病率1.1%(6年平均4.6%)と少、発病率9.2%(6年平均24.7%)と少 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)のうち、温州みかんでは春葉発病度0(6年平均0.2)と平年並、果実発病度0(6年平均0.04)と平年並 (±)</p> <p>4) 巡回調査圃場(8月第1週)のうち、中晩柑では春葉発病度2.7(6年平均2.9)と平年並、果実発病度0.7(6年平均4.4)と平年並 (±)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は少～やや少(概してやや少) (-)</p> <p>考察: 温州みかんでは、現状の発生量は平年並に少ないと考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。中晩柑では、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並が多い予想 (-)</p> <p>2) 県予察圃(8月中旬)では、100葉当り寄生頭数は無防除区2.2頭(6年平均20.4頭)と少、慣行防除区15.6頭(6年平均92.0頭)と少 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、春葉における寄生率2.0%(6年平均7.2%)と少、寄生虫数0.07頭/葉(6年平均0.33頭/葉)と平年並 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少～平年並(概してやや少) (-)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して、予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並が多い予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(8月上旬)では、誘殺数13.0頭/日(6年平均7.3頭)と多 (+)</p> <p>3) 県予察圃(8月中旬、無防除)では、100果当り寄生虫数12.5頭(6年平均6.4頭)と多 (+)</p> <p>4) 巡回調査圃場(8月第1週)では、被害率1.4%(6年平均1.1%)とやや多 (+)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。</p>
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(御浜町:8月上旬)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ8頭(6年平均1329頭)と少、ツヤアオカメムシ4頭(6年平均24.8頭)と少 (-)</p> <p>2) 予察灯(松阪市:7月21日～8月15日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ44頭(6年平均889頭)と少、ツヤアオカメムシ10頭(6年平均67.6頭)と少 (-)</p> <p>3) フェロモントラップ(7月17日～8月16日)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口)で122.3頭(6年平均1,246.2頭)と少、中間地(津市白山町二本木)で43.7頭(6年平均2,321.9頭)と少、平場地(松阪市嬉野川北町)で1頭(6年平均467.4頭)と少 (-)</p> <p>4) 巡回調査圃場(8月第1週)では、ナシ(無袋栽培)での被害率0.0%(6年平均1.4%)と少、カキでの被害率0%(6年平均0.7%)と少 (-)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量はやや少 (-)</p> <p>考察: 予察灯、フェロモントラップ、巡回調査の結果を重視して、予想発生量はやや少と考えます。</p>
チャ	炭疽病	—	多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並が多い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃では、三番茶期の病葉数3.3枚/m²(9年平均1.2枚/m²)と多の傾向 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、発病率0.2枚/m²(6年平均1.6枚/m²)と少 (-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は多 (+)</p> <p>考察: 県予察圃および一般圃場の状況を重視して、予想発生量は多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	カンザワハダニ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想(—)</p> <p>2) 県予察圃(8月中旬)では、寄生葉率30.0%(平年6.3%)と多、寄生頭数1.35頭/葉(平年0.37頭/葉)と多(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、寄生葉率0.4%(平年1.5%)と少、寄生頭数0.01頭/葉(平年0.03頭/葉)と少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察: 現状の発生量は少と考えられるが、今後の増加を考慮して予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャノホソガ (第4世代幼虫)	早	少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃では、第3世代成虫のフェロモントラップ誘殺ピークは8月第1半旬(平年8月第5半旬)と早(発生時期—)</p> <p>3) 県予察圃フェロモントラップ(7月第5半旬~8月第4半旬)では、誘殺数776頭(平年1,113.3頭)とやや少(—)</p> <p>4) 巡回調査圃場(8月第1週)では、巻葉数0枚/m²(平年1.4枚/m²)と少(—)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察: 発生時期は早、現状の発生量は少と考えられ、引き続き予想発生量は少と考えます。</p>
	チャノミドリヒメコバエ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想(—)</p> <p>2) 県予察圃吸引粘着トラップ(7月第5半旬~8月第4半旬)では、捕殺数10頭(平年15.5頭)と少(—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、叩き落とし虫数0.6頭(平年1.1頭)と少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや多(+)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや多と考えられるが、気象要因等を考慮して予想発生量は平年並と考えます。</p>
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃吸引粘着トラップ(7月第5半旬~8月第4半旬)では、捕殺数6,167頭(平年6,027.8頭)と平年並(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、叩き落とし虫数4.6頭(平年8.3頭)と少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少(—)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられるが、県予察圃の状況を考慮して予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	クワシロカイガラムシ	早	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想(—)</p> <p>2) 有効積算温度による発生消長予測式(8月23日予測)では、第3世代幼虫孵化最盛予測日は四日市市8月27日(平年9月4日)と早、亀山市8月27日(平年9月4日)と早、松阪市粥見では8月30日(平年9月7日)と早(発生時期—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、雄雌寄生株率9.6%(平年4.8%)と多、雌成虫寄生株率1.7%(平年8.1%)と少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並(±)</p> <p>考察: 発生消長予測式から、予想発生時期は早と考えます。現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
イチゴ	炭疽病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(8月第1週、育苗床)では、発病株率0%(平年0.67%)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、やや少~平年並(概して平年並)(±)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられるが、気象要因による今後の増加を考慮して、予想発生量は平年並と考えます。</p>
ネギ	シロイチモジヨトウ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想(+)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(松阪市:7月第4半旬~8月第3半旬)では、誘殺数は21頭(平年36.9頭)と少(—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週、育苗床)では、被害株率0.3%(平年1.08%)と少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、少(—)</p> <p>考察: 現状の発生量は少と考えられるが、今後、発生のピークとなることから、気象要因を考慮して予想発生量は平年並と考えます。</p>

4. 予察項目の見方

1) 「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6
評価	早	やや早		平年並				やや遅		遅			

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並		やや多	多

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

- (±)：平年並の要因
- (+)：発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

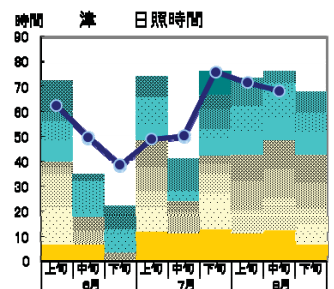
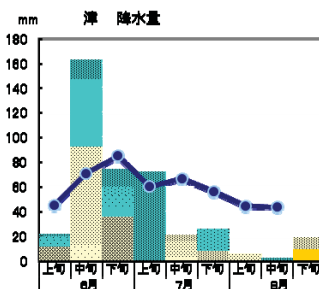
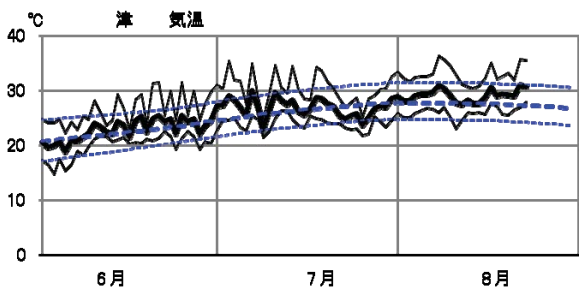
東海地方1か月予報(平成28年8月18日 名古屋地方気象台発表)

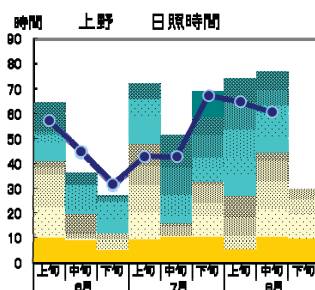
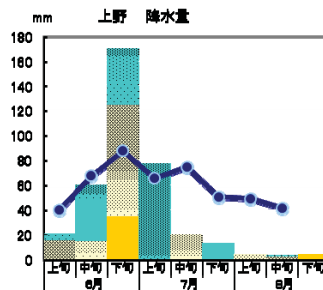
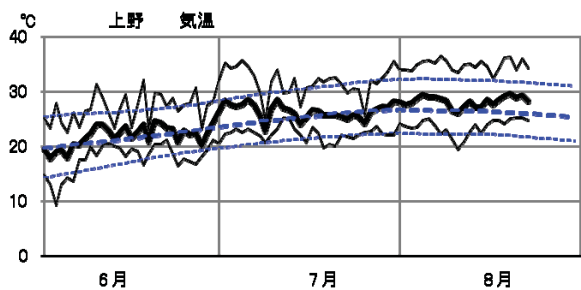
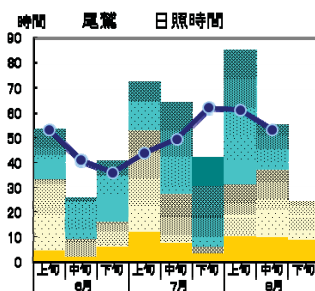
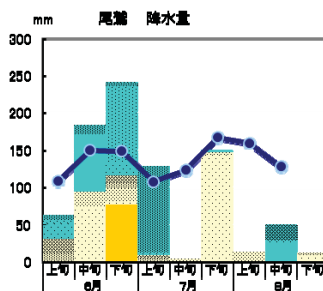
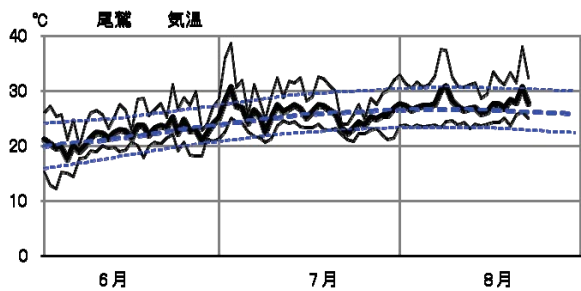
1週目 8月20日～26日	気圧の谷や湿った気流の影響で雲が広がりやすく、雨の降る日があるでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 1.9日・4.6日
2週目 8月27日～9月2日	低気圧と高気圧が交互にとおり、天気は数日の周期で変わります。湿った気流の影響で、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。	同 1.9日・4.5日
3～4週目 9月3日～16日	低気圧と高気圧が交互にとおり、天気は数日の周期で変わります。気圧の谷や湿った気流の影響で平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。	同 4.7日・7.9日

東海地方週間天気予報(平成28年8月24日 10時35分 名古屋地方気象台発表)

予報期間 8月25日～8月31日
向こう1週間は、台風第10号や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、期間の後半は雨が降るでしょう。
最高気温は、期間のはじめは平年並か平年より高いですが、その後は平年並か平年より低いでしょう。
最低気温は、平年より高いでしょう。
降水量は、平年より多い見込みです。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> から作成) (8月23日まで)





凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 平年平均
 - - - 平年最高
 - - - 平年最低

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 — 旬平年値

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 — 旬平年値

13

三重県病害虫防除所

6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- 第1回 4月21日(木) (済み) 第2回 5月25日(水) (済み)
- 第3回 6月23日(木) (済み) 第4回 7月21日(木) (済み)
- 第5回 8月25日(木) (今回) 第6回 10月20日(木)
- 第7回 3月23日(木)

3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000625689.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご利用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産物安全課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

14

三重県病害虫防除所

1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	5
4. 予察項目の見方	8
5. 気象のデータ	9
6. お知らせ	11

1. 向こう1か月の予報と対策

1) 果樹

カンキツでは、ミカンハダニの発生量はやや少と予想されます。

ネギでは、シロイチモジヨトウの発生量は平年並、ネギコガの発生量は少と予想されます。

2) 茶

チャでは、カンザワハダニの発生量は少と予想されます。

野菜共通では、ハスモンヨトウの発生量は多と予想されます。今後の発生状況に注意し、適期防除に努めて下さい。コナガの発生量はやや少と予想されます。

3) 野菜

トマトでは、疫病の発生量は平年並と予想されます。

イチゴでは、炭疽病の発生量は平年並、うどんこ病、ハダニ類の発生量はやや少と予想されます。

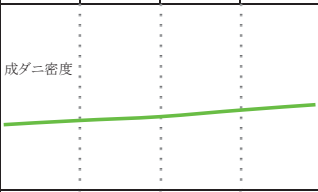
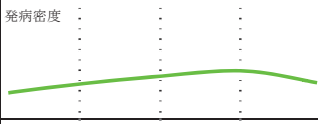
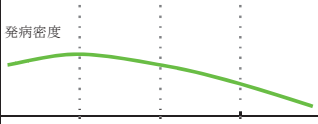
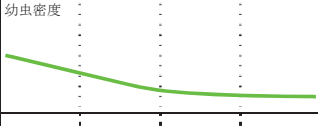
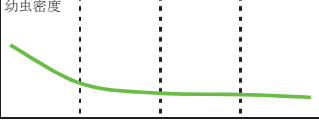
ハクサイでは、白斑病の発生量は少と予想されます。

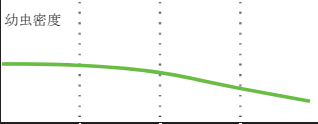

キャベツでは、黒腐病の発生量は少と予想されます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用して下さい。

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	11月				
								下旬	中旬		下旬	下旬
カンキツ	ミカンハダニ	—	やや少	中	普通					1) 1葉当りのハダニ成虫数が、0.5～1.0頭程度を目安に防除してください。 2) 中晩柑類で袋かけをする品種では、作業前に必ず発生状況を確認し、必要に応じて防除を行ってください。 3) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。		
チャ	カンザワハダニ	—	少	小	低					1) 薬剤がかかりにくい葉裏に生息しているので、丁寧に薬剤散布してください。 2) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。		
トマト	疫病	—	平年並	小	普通					1) 病徴の進展が非常に早いので、初発生を確認した場合には集中的に薬剤散布をしてください。 2) 20℃ぐらいの温度で多湿条件の時に発生が多くなります。 3) 病原菌は被害植物の残渣とともに土中に残り、伝染源となります。発病株は圃場外に持ち出し処分してください。		
イチゴ	うどんこ病	—	やや少	小	普通					1) ビニールの被覆後、発生が増加します。 2) 予防防除に重点をおいて薬剤散布をしてください。 3) 発病を認めたときは、葉裏に葉液がかかるよう、下葉を除去して丁寧に防除してください。		
	炭疽病	—	平年並	小	普通					1) 感染した苗は、本圃定植後に発病します。 2) 発病株は除去し、圃場外へ持ち出して適切に処分してください。		

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		10月	11月			
						下旬	上旬	中旬	下旬	
イチゴ	ハダニ類	—	やや少	小	普通	成ダニ密度				1) 天敵を利用する場合は、発生密度の低いうちに導入し、農薬は天敵への影響を考慮して使用してください。 2) 薬剤防除では、発生を確認したら、できるだけ早期に防除してください。 3) 薬剤をかかりやすくするため下葉を除去し、葉裏までしっかりと散布してください。 4) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
	ハクサイ	—	少	小	低	発病密度				1) 秋から初冬にかけて、雨が多いと多発する傾向があります。 2) 肥料切れすると発病を助長します。 3) 発病初期の薬剤防除を徹底してください。
キャベツ	黒腐病	—	少	小	低	発病密度				1) 土壌中の病原菌が雨滴で葉に飛散し、感染します。大雨後や特に冠水したときは、速やかに薬剤防除をしてください。 2) 発病株は翌年の伝染源となるので、圃場外に持ち出して処分してください。
ネギ	ネギコガ	—	少	小	低	幼虫密度				1) 幼虫が葉の内部に潜るので、潜入防止のため、発生初期から防除をしてください。
	シロイチモジヨトウ	—	平年並	中	普通	幼虫密度				1) 若齢幼虫から葉の内部に侵入し、内側から表皮を残して食害します。 2) 老齢幼虫ほど薬剤の効果が劣るので、若齢幼虫のうちに防除してください。 3) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		10月	11月			
						下旬	上旬	中旬	下旬	
野菜共通	コナガ	—	やや少	小	低	幼虫密度				1) 冬でも生育を続けて加害します。 2) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
	ハスモンヨトウ	—	多	大～甚	高	幼虫密度				1) 老齢幼虫は防除効果が劣るので、若齢幼虫のうちに防除を行ってください。 2) 新芽部を食害されると、生育や収量への影響が大きいため、適期防除に努めてください。 3) 施設ではハウスのパイプや換気口周辺などの資材にも産卵するので、注意してください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月13日発表)によると、平年に比べ気温が高く降水量は平年並か多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(10月上旬)では、100葉当り寄生頭数は無防除区6.7頭(平年36.9頭)と少、慣行防除区3.3頭(平年67.6頭)と少(—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(10月第2週)では、寄生葉率1.7%(平年5.1%)と少、寄生頭数0.03頭/葉(平年0.12頭/葉)と少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少(—)</p> <p>考察:現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
チャ	カンザワハダニ	—	少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月13日発表)によると、平年に比べ気温が高く降水量は平年並か多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(10月上旬)では、寄生葉率0%(平年5.4%)と少、寄生頭数0頭/m²(平年0.32頭/m²)と少(—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(10月第2週)では、寄生葉率0.2%(平年1.1%)と少、寄生頭数0.00頭/葉(平年0.02頭/葉)と少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察:現状の発生量は少と考えられ、引き続き予想発生量は少と考えます。</p>
トマト	疫病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 巡回調査圃場(10月第2週)では、発病株率0%(平年0%)と平年並に少(±)</p> <p>2) 一般圃場では、発生量は平年並に少(±)</p> <p>考察:現状の発生量は平年並に少ないと考えられ、大きな増加要因がないので、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
イチゴ	うどんこ病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月13日発表)によると、平年に比べ気温が高く降水量は平年並か多い予想(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第2週)では、発病株率0%(平年0.3%)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少～やや少(概してやや少)(—)</p> <p>考察:現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	炭疽病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月13日発表)によると、平年に比べ気温が高く降水量は平年並か多い予想(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第2週)では、発病株率0.5%(平年0.3%)と平年並(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並～やや多(概して平年並)(±)</p> <p>考察:現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イチゴ	ハダニ類	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月13日発表)によると、平年に比べ気温が高く降水量は平年並か多い予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第2週)では、寄生株率0%(平年7.8%)と少、発生程度0(平年2.8)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概してやや少)(—)</p> <p>考察:現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
ハクサイ	白斑病	—	少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月13日発表)によると、平年に比べ気温が高く降水量は平年並か多い予想(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第2週)では、発病株率0%(平年4.9%)、発病度0(平年1.3)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察:現状の発生量は少と考えられ、引き続き予想発生量は少と考えます。</p>
キャベツ	黒腐病	—	少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月13日発表)によると、平年に比べ気温が高く降水量は平年並か多い予想(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第2週)では、発病株率0%(平年0.3%)、発病度0(平年0.08)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少～やや少(概して少)(—)</p> <p>考察:現状の発生量は少と考えられ、引き続き予想発生量は少と考えます。</p>
ネギ	ネギコガ	—	少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月13日発表)によると、平年に比べ気温が高く降水量は平年並か多い予想(+)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(9月第6半旬～10月第2半旬)では、誘殺数0頭(平年11.5頭)と少(—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(10月第2週)では、被害葉率0%(平年0.1%)と少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察:現状の発生量は少と考えられ、引き続き予想発生量は少と考えます。</p>
	シロイチモジヨトウ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月13日発表)によると、平年に比べ気温が高く降水量は平年並か多い予想(+)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(9月第6半旬～10月第2半旬)では、誘殺数13頭(平年34.3頭)と少(—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(10月第2週)では、被害葉率1.4%(平年2.3%)とやや少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並(±)</p> <p>考察:一般圃場の発生量を重視し、予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
野菜 共通	コナガ	—	やや少	要因 1) 1か月予報(10月13日発表)によると、平年に比べ気温が高く降水量は平年並か多い予想 (+) 2) 県予察圃フェロモントラップ(9月第6半旬～10月第2半旬)では、誘殺数0頭(平年4.9頭)と少 (-) 3) 巡回調査圃場(10月第2週)では、ハクサイの寄生株率0%(平年0.2%)と平年並、キャベツの寄生株率0.2%(平年1.5%)と少、株当たり虫数0.00頭/株(平年0.02頭/株)と少 (±) 4) 一般圃場では、発生量は少～やや少(概してやや少) (-) 考察:現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	ハスモンヨトウ	—	多	要因 1) 1か月予報(10月13日発表)によると、平年に比べ気温が高く降水量は平年並か多い予想 (+) 2) 県予察圃フェロモントラップ(9月第6半旬～10月第2半旬)では、誘殺数2,787頭(平年737.9頭)と多 (+) 3) 巡回調査圃場(10月第2週)では、イチゴの寄生株率6.2%(平年2.0%)と多、ハクサイの寄生株率0.9%(平年0.6%)とやや多、キャベツの寄生株率7.4%(平年4.4%)とやや多 (+) 4) 一般圃場では、発生量は多 (+) 考察:現状の発生量は多と考えられ、引き続き予想発生量は多と考えます。

4. 予察項目の見方

1) 「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比): 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6
評価	早	やや早		平年並				やや遅		遅			

発生量(平年比): 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並		やや多	多

発生量(程度): 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」「平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比): 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例: 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項: 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

(±): 平年並の要因

(+): 発生量増加または発生時期遅延の要因

(-): 発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方1か月予報(平成28年10月13日 名古屋地方気象台発表)

東海地方の向こう1ヶ月は、天気は数日の周期で変わりますが、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。平均気温は高く、降水量は平年並または多い見込みです。

1週目 10月15日～ 21日	高気圧に覆われて晴れる日が多いですが、期間の中頃は低気圧や前線の影響で雨の降る日があるでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 1.8日・4.3日
2週目 10月22日～ 28日	高気圧と低気圧が交互に通り、天気は数日の周期で変わるでしょう。平年と同様に晴れの日が多い見込みです。	同
3～4週目 10月29日～ 11月11日	高気圧と低気圧が交互に通り、天気は数日の周期で変わるでしょう。平年と同様に晴れの日が多い見込みです。	同

東海地方週間天気予報(平成28年10月19日10時30分 名古屋地方気象台発表)

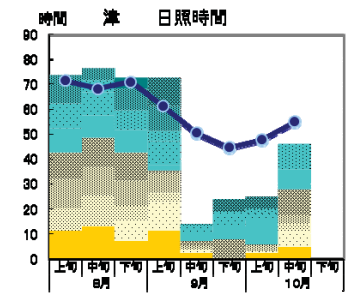
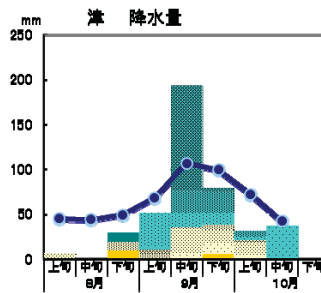
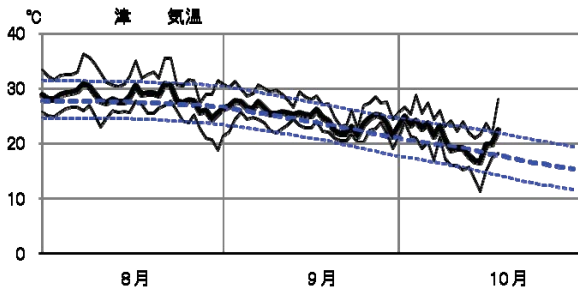
予報期間 10月20日～10月26日

向こう1週間は、期間の前半は高気圧に覆われて晴れますが、後半は前線や湿った気流の影響で雲が広がりやすいでしょう。

最高気温と最低気温はともに、平年並か平年より高く、期間のはじめは平年よりかなり高い日もある見込みです。

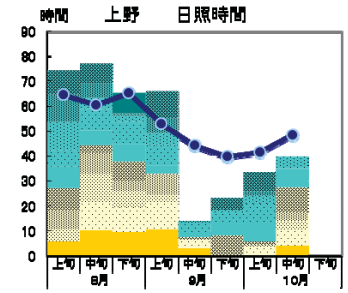
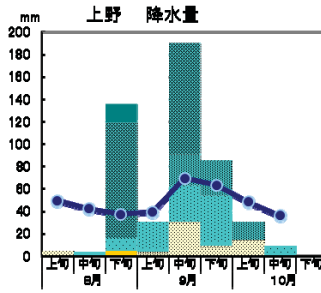
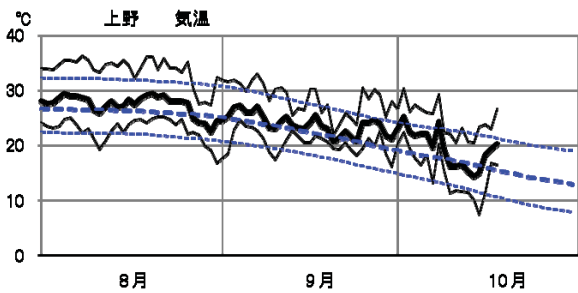
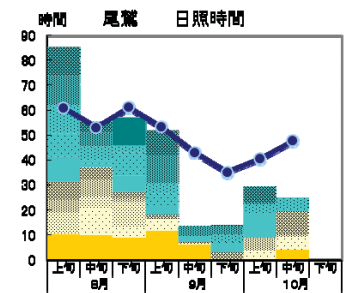
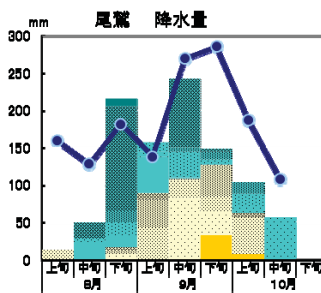
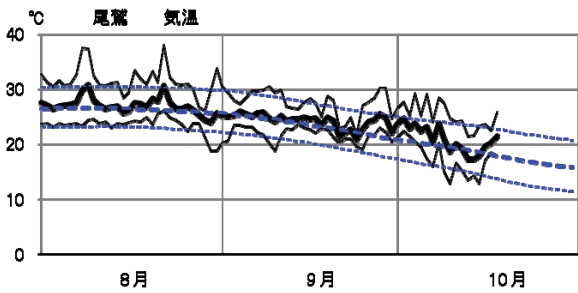
降水量は、平年より少ないでしょう。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/ctrn/index.php> から作成) (10月18日まで)



9

三重県病害虫防除所



凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 平年平均
 - - - 平年最高
 - - - 平年最低

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 — 旬平年値

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 — 旬平年値

10

三重県病害虫防除所

6. お知らせ (前回と異なる項目には **NEW** の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- 第1回 4月21日(木)(済み) 第2回 5月25日(水)(済み)
- 第3回 6月23日(木)(済み) 第4回 7月21日(木)(済み)
- 第5回 8月25日(木)(済み) 第6回 10月20日(木)(今回)
- 第7回 3月23日(木)

3) 利用方法

全部または一部をコピーして閲覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000625689.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産物安全課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

11

三重県病害虫防除所

平成 28 年度

病害虫発生予報第 7 号

平成 29 年 3 月 23 日

三重県病害虫防除所

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530
TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568
ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

目次

	ページ
1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	5
4. 予察項目の見方	8
5. 気象のデータ	9
6. お知らせ	11

1. 向こう1か月の予報と対策

1) 作物

イネ(注1)では、イネミズゾウムシの発生量は**やや少**と予想されます。

コムギ(注2)では、赤かび病の発生量は**平年並**と予想されます。

注1:4月中旬までに移植する圃場を対象。

注2:11月上旬までに播種した圃場を対象。

2) 果樹

カンキツでは、そうか病、かいよう病(温州みかん)、ミカンハダニの発生量は**平年並**と予想されます。かいよう病(中晩柑)の発生量は**やや少**と予想されます。

ナシでは、黒星病、赤星病の発生量は**平年並**と予想されます。

3) 茶

チャでは、カンザワハダニの発生量は**やや少**と予想されます。チャノホソガの発生時期は**遅**と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、ハダニ類の発生量は**やや多**と予想されます。今後の発生状況に注意し、早期防除に務めてください。灰色かび病、うどんこ病の発生量は**平年並**と予想されます。

キャベツでは、菌核病の発生量は**平年並**と予想されます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
			発生時期	発生量		3月	4月			
							下旬	中旬	下旬	
イネ	イネミズゾウムシ	—	やや少	小	普通				成虫誘殺数	<ul style="list-style-type: none"> 1) 近年、実害は少ないので、移植後の発生状況に応じて防除してください。 2) 常発圃場では、箱施用剤による予防を行ってください。
コムギ	赤かび病	—	平年並	小	普通				出穂期 開花期 感染 発病	<ul style="list-style-type: none"> 1) 圃場ごとに出穂及び開花状況を把握し、開花始めから開花盛期に予防散布してください。 2) 防除所ホームページの「コムギ赤かび病・防除情報」において、出穂期および防除適期の予測(随時更新)を公開しています。
カンキツ	そうか病	—	平年並	小	普通				葉枝の発病 発芽	<ul style="list-style-type: none"> 1) 昨年に果実での発病がみられた圃場では、発芽期防除を実施してください。 2) 春葉が感染する期間は発芽直後から伸長停止期までです。 3) 越冬病斑の見られる枝葉は剪除して、圃場より持ち出して処分してください。
	かいよう病	—	温州平年並 中晩柑やや少	温州小 中晩柑小	温州低 中晩柑低				発病密度	<ul style="list-style-type: none"> 1) 越冬病斑が認められる中晩柑圃場では、発芽前防除を実施してください。 2) 夏秋梢等の発病枝葉は早く剪除し、圃場より持ち出してください。 3) ボルドー液とマシン油乳剤の近接散布による薬害に注意してください。
	ミカンハダニ	—	平年並	中	普通				成ダニ密度	<ul style="list-style-type: none"> 1) 成虫が1葉当り1頭前後になったら防除してください。 2) マシン油乳剤を散布していない圃場や現在発生が認められる圃場では、今後の増加に注意してください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
			発生時期	発生量		3月	4月			
							下旬	中旬	下旬	
ナシ	黒星病	—	平年並	小	普通				発病密度	<ul style="list-style-type: none"> 1) りん片や新梢基部に発病が確認されたら、すぐに防除を実施してください。なお、発病したりん片は、基部から切除して圃場外で処分してください。 2) 例年発生が多い圃場では、早くから樹体の観察を怠らないようにしてください。
	赤星病	—	平年並	小	普通				ピクシムン類の冬孢子発芽	<ul style="list-style-type: none"> 1) 赤星病の防除時期は、黒星病の防除適期と重なります。 2) 特に開花期前後の防除が重要なので、各薬剤の特性を理解して両方に登録のある薬剤を使用してください。
チャ	カンザワハダニ	—	やや少	小	普通				成ダニ密度	<ul style="list-style-type: none"> 1) 2月下旬～3月上旬に産卵します。 2) 裾葉裏に生息しているので、薬剤が付着するよう丁寧に散布してください。 3) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統の薬剤使用は年1回に止めてください。
	チャノホソガ	遅	—	—	—				成虫密度	<ul style="list-style-type: none"> 1) 新芽の葉裏に産卵します。 2) 萌芽は例年4月上旬です。萌芽後は新芽への産卵や幼虫発生に注意してください。
イチゴ	灰色かび病	—	平年並	小	普通				発病密度	<ul style="list-style-type: none"> 1) 病勢が進行すると防除が困難になります。圃場をよく観察し、早期発見・早期防除に努めてください。 2) 20℃前後の温度と多湿条件で発生が多くなります。ハウス内の温度・湿度管理に注意してください。 3) 発病部位は伝染源となるため、こまめに取り除いて圃場外に持ち出し適切に処分してください。 4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用は避けてください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		3月		4月		
						下旬	下旬	中旬	下旬	
イチゴ	うどんこ病	—	平年並	中	普通					1) 軟弱徒長すると発生が多くなります。適切な温湿度管理、灌水管理に努めてください。 2) 発病部位は伝染源となるため、見つけ次第速やかに取り除いてください。 3) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
	ハダニ類	—	やや多	中	高					1) 葉液がかかりやすくなるよう下葉を除去し、葉裏までしっかりと散布してください。 2) 薬剤抵抗性が発達しやすいため、同一系統薬剤の連用は避けてください。また、抵抗性の発達しにくい気門封鎖剤や天敵製剤を活用してください。 3) 薬剤散布では、天敵やミツバチに対する影響も十分考慮して薬剤の選択を行ってください。
キャベツ	菌核病	—	平年並	小	普通					1) 発病株は伝染源となるため、菌核が形成される前に抜き取って圃場外へ持ち出し、処分してください。 2) 葉の傷口や生育の衰えた下葉から病原菌が感染し、結球期頃から発生が目立ち始めます。結球初期の予防散布を基本としてください。 3) 薬剤散布は、初発部位である株元を中心に丁寧に行ってください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	イネミズゾウムシ	—	やや少	要因 1) 3か月予報(2月24日発表)によると、4月の気温は平年並の予想(±) 2) 予察灯(昨年7月第1半旬～9月第2半旬)では、誘殺数は67頭(平年164.5頭)と少(—) 3) 巡回調査圃場(昨年8月)では、発生圃場率4.2%(平年12.1%)と少、払い落とし虫数0.1頭(平年0.5頭)と少(—) 考察: 昨年の予察灯と巡回調査の結果から、越冬成虫の予想発生量は少ないと考えますが、今後の気象条件を加味し、やや少と考えます。
コムギ	赤かび病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(3月16日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多い予想(—) 2) 農業研究所作況試験田(11月10日播種・あやひかり)によると、葉齢の進展は平年並(±) 3) 生育予測システム(11月10日播種・あやひかり・津。気温の設定3月平年並、4月やや高い。3月16日現在)によると、予想出穂期は4月13日頃(平年4月13日)と平年並(±) 考察: 今後の気象条件および現在の生育状況から、予想発生量は平年並と考えます。
カンキツ	そうか病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(3月16日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多い予想(±) 2) 県予察圃(無防除圃場)では、昨年7月下旬の春葉発病率87.5%(平年67.4%)と平年並(±) 3) 巡回調査圃場(3月第2週)では、旧葉(昨年の春葉)における発病度は0(平年0.0)と平年並に少(±) 4) 一般圃場では、発生量は平年並に少(±) 考察: 県予察圃、巡回調査圃場、一般圃場の状況から、予想発生量は平年並と考えます。
	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 やや少	要因 1) 1か月予報(3月16日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多い予想(±) 2) 県予察圃(無防除圃場、中晩柑、2月14日調査)では、越冬病斑の発病率35.0%(平年28.9%)とやや多、発病度11.9(平年6.1)と多(+) 3) 巡回調査圃場(3月第2週)では、温州みかん旧葉での発病率0.6%(平年0.2%)とやや多、発病度0.11(平年0.04)とやや多、中晩柑類旧葉での発病率5.0%(平年9.4%)とやや少、発病度1.3(平年4.6)とやや少(±) 4) 一般圃場では、発生量は温州みかんで平年並に少、中晩柑類でやや少～平年並(概してやや少)(—) 考察: 温州みかんでは、現状の発生量は平年並に少ないと考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。中晩柑類では、現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月16日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多い予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃(3月上旬)では、寄生頭数は無防除区 0.22 頭/葉(平年 0.20 頭/葉)と平年並、慣行防除区 0 頭/葉(平年 0.01 頭/葉)と平年並 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(3月第2週)では、寄生頭数 0.28 頭/葉(平年 0.15 頭/葉)とやや多、寄生率率 3.7%(平年 5.1%)と平年並 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概して平年並) (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ナシ	黒星病	—	平年並
	赤星病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月16日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多い予想 (±)</p> <p>2) 一般圃場では、昨年春の発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 昨年の一般圃場の発生状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。</p>
チャ	カンザワハダニ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月16日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多い予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃(3月上旬)では、寄生率率 0%(平年 3.3%)と少、寄生頭数 0 頭/葉(平年 0.15 頭/葉)と少 (—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(3月第2週)では、発生圃場率 22.2%(平年 32.9%)と少、寄生率率 0.8%(平年 1.4%)と少、寄生頭数 0.02 頭/葉(平年 0.03 頭/葉)とやや少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 県予察圃、巡回調査圃場、一般圃場の状況から、予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャノホソガ	遅	—	<p>要因</p> <p>1) 県予察圃フェロモントラップでは、3月22日時点で飛来は未確認(平年の初飛来は3月17日) (発生時期+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(3月第2週)では、成虫は未確認 (発生時期±)</p> <p>考察: フェロモントラップ調査結果を重視して予想発生時期は遅いと考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イチゴ	灰色かび病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月16日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多い予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(3月第2週)では、発病株率 0%(平年 3.2%)と少、発病果率 0.9%(平年 0.5%)と多 (+)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概して平年並) (±)</p> <p>考察: 一般圃場での状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	うどんこ病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月16日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多い予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(3月第2週)では、発病株率 0.0%(平年 0.3%)と平年並、発病果率 0.0%(平年 0.03%)と平年並 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並に少 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ハダニ類	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月16日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多い予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(3月第2週)では、寄生株率 12.9%(平年 18.0%)とやや少、発生程度 7.0%(平年 8.2%)と平年並 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並～多(概してやや多) (+)</p> <p>考察: 一般圃場での状況を重視して、現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>
キャベツ	菌核病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月16日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多い予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(3月第2週)では、発病株率 0.3%(平年 0.5%)とやや少 (—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概して平年並) (±)</p> <p>考察: 一般圃場での状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

4. 予察項目の見方

1) 「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早	やや早	平年並					やや遅	遅					

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

(±)：平年並の要因

(+)：発生量増加または発生時期遅延の要因

(-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方1か月予報(平成29年3月16日 名古屋地方気象台発表)

東海地方の向こう1ヶ月は、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。平均気温は平年並または低く、降水量は少ない見込みです。日照時間は、平年並または多い見込みです。

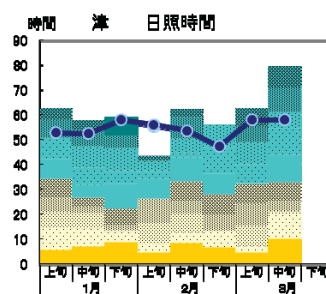
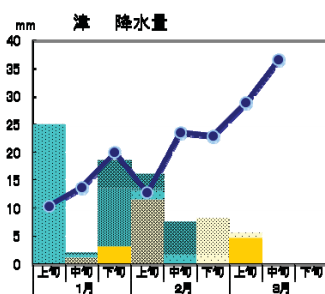
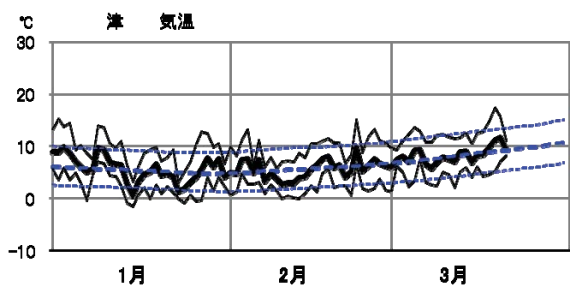
1週目 3月18日～ 24日	高気圧に覆われて平年に比べ晴れる日が多いですが、期間の中頃は気圧の谷の影響で雨の降る所があるでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 2.4日・4.1日
2週目 3月25日～ 31日	平年と同様に、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われて晴れる日が多いでしょう。	同 2.4日・4.0日
3～4週目 4月1日～ 14日	平年と同様に、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われて晴れる日が多いでしょう。	同 4.4日・8.5日

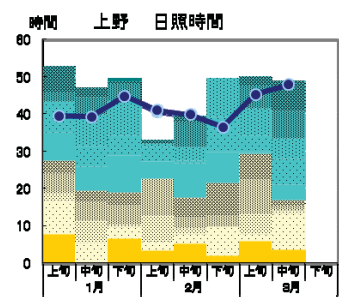
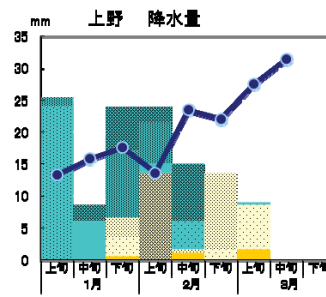
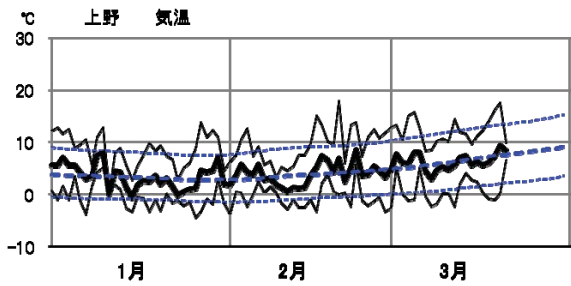
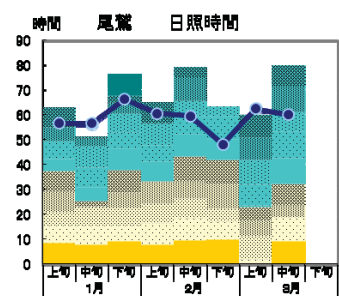
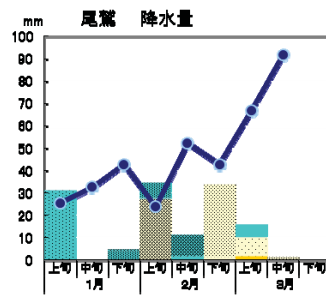
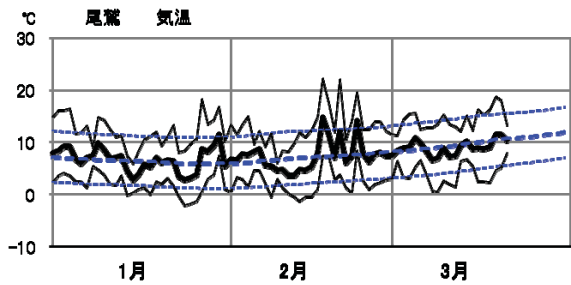
東海地方週間天気予報(平成29年3月22日 10時30分 名古屋地方気象台発表)

予報期間 3月23日～3月29日

向こう1週間は、期間の中頃までは気圧の谷の影響で曇り日が多いでしょう。期間の終わりは高気圧に覆われて晴れる所が多い見込みです。最高気温と最低気温はともに平年並か平年より低いでしょう。降水量は、平年より少ない見込みです。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> から作成) (3月21日まで)





凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 平年平均
 - - - 平年最高
 - - - 平年最低

凡例
 ■ 31日
 ■■■■■ 旬10日目
 ■■■■■ 旬9日目
 ■■■■■ 旬8日目
 ■■■■■ 旬7日目
 ■■■■■ 旬6日目
 ■■■■■ 旬5日目
 ■■■■■ 旬4日目
 ■■■■■ 旬3日目
 ■■■■■ 旬2日目
 ■■■■■ 旬1日目
 ■■■■■ 旬平年値

凡例
 ■ 31日
 ■■■■■ 旬10日目
 ■■■■■ 旬9日目
 ■■■■■ 旬8日目
 ■■■■■ 旬7日目
 ■■■■■ 旬6日目
 ■■■■■ 旬5日目
 ■■■■■ 旬4日目
 ■■■■■ 旬3日目
 ■■■■■ 旬2日目
 ■■■■■ 旬1日目
 ■■■■■ 旬平年値

10

三重県病害虫防除所

6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 NEW

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 第1回 4月21日(木)(済み) | 第2回 5月25日(水)(済み) |
| 第3回 6月23日(木)(済み) | 第4回 7月21日(木)(済み) |
| 第5回 8月25日(木)(済み) | 第6回 10月20日(木)(済み) |
| 第7回 3月23日(木)(今回) | |

3) 利用方法 NEW

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書 NEW

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000625689.pdf>

5) メール配信サービス NEW

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産物安全課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

11

三重県病害虫防除所

病害虫発生予察注意報第2号

平成28年7月21日
三重県病害虫防除所

1. 対象作物 : 水稲
2. 対象病害虫名 : 斑点米カメムシ類(クモヘリカメムシ、ホンハリカメムシ等)
3. 発生地域 : 県内全域
4. 発生時期 : 7月中旬～8月中旬
5. 予想発生量 : やや多～多

6. 注意報発令の根拠

- 1) 巡回調査圃場(7月第2週)では、圃場内および畦畔イネ科雑草すくい取りによる、中型種(クモヘリカメムシ、ホンハリカメムシ、シラホシカメムシ類)の発生地点率16.9%(平成32.7%)、すくい取り成幼虫数0.81頭(平成1.26頭)と少ない状況でした。また、微小種(アカスジカメムシ)の発生地点率2.5%(平成30.0%)すくい取り成幼虫数0.04頭(平成3.5頭)と中型種と同様、少ない状況でした。しかしながら、クモヘリカメムシの発生地点率9.3%(平成6.6%)、すくい取り成幼虫数0.68頭(平成0.49頭)と発生が多く注意が必要です。クモヘリカメムシは、水田外のイネ科雑草群落を発生源とし、出穂後に水田に侵入して増殖することが知られており、成幼虫が吸汁加害すると不稔や斑点米を引き起こします。
- 2) 広域病害虫防除員調査(7月2日～11日)では、クモヘリカメムシ、ホンハリカメムシ、シラホシカメムシ類のすくい取り成幼虫数が、それぞれ、1.16頭(平成0.14頭)、0.78頭(平成0.28頭)、0.08頭(平成0.06頭)と多い状況でした。また、アカスジカメムシ成虫の活動が確認されました。
- 3) 1か月予報(7月14日・名古屋地方気象台発表)によると、気温は平年並か高い見込みです。斑点米カメムシ類の増殖に助長的です。

7. 防除上の注意事項

- 1) 薬剤防除は穂揃い期に実施しましょう。斑点米カメムシ類は移動性が高いため、広域での一斉防除が効果的です。
- 2) 水田内での増殖を防ぐため、防除後も水田への侵入が確認される場合は、穂揃い期防除の7～10日後(追加防除を実施してください)。
- 3) 周囲よりも出穂の早い水田では、被害が集中するので防除を徹底しましょう。
- 4) 出穂直前および出穂後の草刈りは、斑点米カメムシ類を水田内へ追い込み、加害を助長するので避けましょう。やむを得ず出穂前後に草刈りを行う場合は、水田の薬剤防除に合わせ実施しましょう。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください！

病害虫発生予察注意報第1号

平成28年7月21日
三重県病害虫防除所

1. 対象作物 : 水稲
2. 対象病害虫名 : いもち病(葉いもち・穂いもち)
3. 発生地域 : 県内全域
4. 発生時期 : 7月中旬～8月中旬
5. 予想発生量 : やや多～多

6. 注意報発令の根拠

- 1) 巡回調査圃場(7月第2週)では、葉いもちの発生圃場率12.7%(平成23.6%)、発病度0.6(平成2.3)と少ないながらも圃場で発生が認められました。しかしながら、発病株における上位葉への病斑進展率は14.9%(平成1.6%)と、平年に比べて上位葉での発病が多くなっています。
 - 2) いもち病発生予測支援システム(プラスタム)によると、6月中旬以降、県内の広い範囲でおよそ10日間隔で感染好適条件が出現し、引き続き注意が必要な状況です。
 - 3) 1か月予報(7月14日・名古屋地方気象台発表)によると、平年に比べ晴れの日が少くない見込みです。既に葉いもちを発病している圃場では、上位葉に病斑が進展する可能性があります。
- #### 7. 防除上の注意事項
- 1) 葉いもちが発生している圃場では、出穂前に葉いもち防除を徹底しましょう。
 - 2) 穂いもち防除は予防散布が原則です。出穂期から穂揃期に薬剤散布しましょう。
 - 3) 雨天が続き可能性があるため、天気予報を参考にしながら、雨の合間を見計らって防除を行いましょう。
 - 4) 追加防除を行う場合は、農薬使用回数に注意しましょう。薬剤の選定は最寄りの農協等にご相談ください。
 - 5) 薬剤散布をする時は周囲に飛散しないよう注意しましょう。
 - 6) 飼料用水稲などの普通期水稲は、これから最も葉色が濃くなり、発病しやすい時期となるので注意しましょう。
 - 7) Qol剤(ストロビリン系殺菌剤)の使用は最大年1回とし、耐性菌の発生を未然に防ぎましょう。
 - 8) Qol剤を使用したにもかかわらず、すり込み症状などの発病があれば、病害虫防除所、農業研究所、農業改良普及センターや農協等へ速やかにご連絡ください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください！

病害虫発生予察注意報第3号

平成 28 年 8 月 31 日
三重県病害虫防除所

1. 対象作物 : ダイズ、野菜類(アブラナ科野菜など)、花き類(シクラメン、キクなど)
2. 対象病害虫名 : ハスモンヨトウ
3. 発生地域 : 県内全域
4. 発生時期 : 9月上旬～10月下旬
5. 予想発生量 : 多

6. 注意報発令の根拠

- (1) 県予察圃(松阪市湊野川北町)におけるフェロモントラップ誘殺数は、7月第6半旬～8月第5半旬では663頭(平年3479頭)と多い状況です(図)。
- (2) ダイズの巡回調査圃場(8月第1週)では、葉食害度0.8(平年0.1)、1a当り白変か所数2.6か所(平年0.2か所)と多い状況でした。
- (3) 1か月予報(8月25日・名古屋地方気象台発表)によると、気温は平年に比べ高い予想です。ハスモンヨトウの増殖に助長的です。

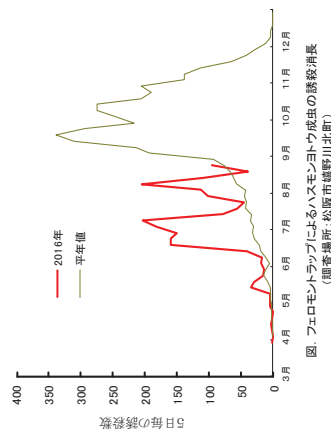


図. フェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫の誘殺消長
(調査圃場:松阪市湊野川北町)

7. 防除上の注意事項

- (1) 老齢になるに従って薬剤の効果が劣ります。若齢幼虫のうちに防除してください。
- (2) 多発すると被害が分散し、防除が困難になるので、早期防除に努めてください。
- (3) 施設では、施設内に産卵させないように開口部に防虫ネットを張るなど、成虫の侵入を防止してください。
- (4) ダイズでは、圃場をこまめに見回り、白変葉(若齢幼虫群の食害によるカスリ状となった葉)等の発生に注意を払い、初期防除に努めてください。
- (5) 野菜類や花き類では、圃場をこまめに見回って早期発見に努め、速やかに防除してください。
- (6) 画像等の参照先 : <http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000650033.pdf>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください！

病害虫防除技術情報第 2号

平成 28 年 5 月 16 日
三重県病害虫防除所

クワシロカイガラムシの発生時期がかなり早くなっています。

- 1 対象作物：チャ
 - 2 対象病害虫名：クワシロカイガラムシ
 - 3 発生時期：早い
 - 4 発生状況：平年並
- 1) 1) か月予報(5月12日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平均気温は高い見込みです。
 - 2) 有効積算温度による予測式(5月15日)では、発生時期は平年より早いと予想されます(表)。
 - 3) 本年4月の巡回調査圃場では、雌成虫寄生株率 10.4%(平年 16.6%)と平年並の状況でした。
 - 4) 一般圃場(4月)では、発生量は平年並でした。

5 防除対策

- 1) 防除適期は幼虫孵化最盛日の2日後から3日程度です。歩行型幼虫が固着して白色のロゾ物質に覆われると薬剤の効果が著しく低下します。
- 2) 実際の孵化状況に関する情報や、圃場の孵化状況をルーベ等で確認して適期に防除しましょう
- 3) 薬液を十分用意して、樹冠内の枝幹にかかるように丁寧に散布してください。
- 4) 防除の実施にあたっては、周辺の一番茶未摘採園へのドリフトに十分注意して行ってください。
- 5) 孵化最盛日の前後2週間程度、断続的な灌水により常時枝幹を濡らすことで幼虫の固着を防ぐ効果があじます。

表 有効積算温度による第一世代幼虫孵化最盛予測日

年度	地点	予測日	亀山実測	防除適期
H27	亀山	-	5月14日	-
H28	四日市	5月14日	-	5月16～18日
	亀山	5月13日	-	5月15～17日
	朝見	5月14日	-	5月16～18日
平年(8年平均)			5月18日	

特に温暖な地域では、上記の予測より早まっている場合があります。その場合は、第二世代幼虫孵化期に防除を行ってください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第 1 号

平成 28 年 4 月 5 日
三重県病害虫防除所

コムギ赤かび病の防除は、開花始めから開花盛期に行いましょう！

出穂および開花状況とともに、今後の天候に注意してください！

1. 対象作物：コムギ
 2. 対象病害虫名：コムギ赤かび病
 3. 生育状況と出穂期の予測
- 本年のコムギの生育は冬場や春先の気温がやや高く推移したことから、出穂期は平年に比べてやや早く、開花始めは伊勢平野で4月中下旬以降となる見込みですが、**播種の早い圃場では、生育進捗が早まっています**。圃場の観察を行いつつ、早めに防除の準備をしてください。
- 1 か月予報(3月31日・名古屋地方気象台発表)によると、向こう1か月の気温は高い見込みです。また、低気圧や前線の影響で、向こう1か月の日照時間が少なく、降水量は多い見込みです。出穂および開花状況とともに、今後の天候にも注意してください。

4. 防除対策

- 1) 防除適期は開花始めから開花盛期です。開花前の薬剤散布は防除効果が劣ります。
 - 2) 下葉の予測を目安として、播種時期ごとに出穂および開花状況を把握し、薬剤散布を行ってください。
- コムギの開花は出穂期の約7～10日後ですが、播種時期の遅い圃場では、開花までの日数が短くなる可能性があります。
- (3) 薬剤散布後も、開花期以後に降雨が続き、気温が高く推移した場合は追加防除を行います。

表 コムギの出穂期予測および防除適期予測

播種日 H27年	伊勢平野部		伊賀地域 タマイズミ			
	あやひかり・さとのそら	ニシノカオリ	出穂期	防除適期		
11/10	4/10	4/16～4/25	3/30	4/11～4/20	4/14	4/22～5/1
11/20	4/16	4/21～4/30	4/12	4/19～4/28	4/23	4/30～5/9
11/30	4/20	4/25～5/4	4/19	4/25～5/4	4/30	5/5～5/14
12/10	4/22	4/26～5/5	4/22	4/28～5/7	—	—

生育予測システム ver.2.2(三重県農業研究所)により出穂期および開花盛期を推定(331 現在)。

開花盛期の3日前を開花始期、開花始期から10日間を防除適期とした。
伊勢平野部は津、伊賀地域は上野アタダス気温データから算出。気温データ入力最終日以降は、平年値('01～'10)による予測。気温設定:3～4月1やや高い、5月1平年並。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病虫害防除技術情報第 3 号

平成 28 年 6 月 23 日
三重県病虫害防除所

葉いもちの早期発見・早期防除に努めましょう！

- 対象作物： イネ
- 対象病虫害名： いもち病 (葉いもち)
- 発生状況と今後の予測
巡回調査圃場 (6月第2週) では、発生圃場率0% (平年0.0%) と平年並でした。
いもち病発生予測支援システム(プラスタム)によると、6月5日に北勢地域で感染好適条件が現れ、以降、数地域で感染好適条件が現われました(表)。
昨年、初期防除未実施と考えられる圃場において、多発生状態が確認されています(図1、図2)。
1か月予報 (6月16日・名古屋地方気象台発表) によると、平年に比べ曇りや雨の日が少なく、気温は高くなる予想ですが、注意が必要です。
4. いもち病発生予測支援システム(プラスタム)について
気象庁のアメダスの気象データをもとに、水稻のいもち病菌の感染に好適な条件を判定するシステムです。黒丸 (●) で示される感染好適日から7~10日で葉いもちが発生するとされています。

平成28年	桑名	四日市	亀山	津	上野	朝見	小保	南伊勢	鳥羽	紀伊長島	尾鷲	龍野新鹿	新宮
6/01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/05	●	●	◎	◎	◎	(5)	-	(5)	(7)	-	(6)	-	(8)
6/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/08	●	△	△	△	(6)	(8)	△	△	△	△	△	△	(5)
6/09	-	-	(6)	(8)	(8)	-	△	△	△	◎	△	-	(8)
6/10	-	-	-	-	-	-	-	-	(9)	△	-	-	-
6/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/13	(6)	(5)	-	-	(7)	-	(5)	(5)	(5)	-	-	-	-
6/14	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-
6/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/16	●	(6)	-	-	-	(6)	(7)	●	(6)	(9)	(8)	(8)	(8)
6/17	●	(5)	-	-	(5)	-	-	-	-	-	-	-	-
6/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/19	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-
6/20	-	-	(6)	(8)	●	-	-	(7)	(8)	(8)	(8)	(6)	(6)
6/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

- : 好適条件 (いもち病発生的好条件が全て満たされた。)
- ◎ : 準好適条件 (湿潤時間の平均気温が比較的低いが湿潤時間10時間以上)
- : 準好適条件 (湿潤時間の平均気温は15~25℃でないが湿潤時間10時間以上)
- ▲ : 準好適条件 (前5日の平均気温は25℃以上だが湿潤時間10時間以上)
- △ : 準好適条件 (前5日の平均気温は20℃未満だが湿潤時間10時間以上)
- () : 好適条件は満たされなかったが、湿潤時間が5時間以上 (数値は湿潤時間)
- : 好適条件・準好適条件は満たされなかった。



図 2. 多発生圃場全景 (2015 年 7 月 8 日撮影)



図 1. 多発生圃場における発病株の状況 (2015 年 7 月 8 日撮影)

5. 防除対策

- (1) 補植用の置き苗は発生源となるので、速やかに取り除いてください。
- (2) 圃場を見回り、早期発見、早期防除に努めましょう。
- (3) 葉いもち対象予防剤(散布適期)を使用したにもかかわらず、すり込み症状等の重篤な発病の場合は、(4) QoI 剤 (ストロビルリン系殺菌剤) を使用したにもかかわらず、すり込み症状等の重篤な発病の場合は、病虫害防除所、農業研究所、農業改良普及センターや、関係団体へ速やかにご連絡ください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第5号

平成 28 年 8 月 16 日
三重県病害虫防除所

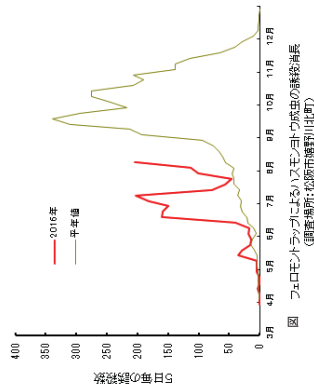
ハスモンヨトウの発生に注意しましょう！

1. 対象作物： ダイズ、野菜類（イチゴ、トマト、アブラナ科野菜など）、花き類（キクなど）
2. 対象病害虫名： ハスモンヨトウ
3. 発生状況と今後の予測

県予察圃（松阪市嬉野川北町）におけるフェロモントラップ誘殺数は、7月第3半旬～8月第2半旬では599頭（平年262.1頭）と多い状況です（図）。

1か月予報（8月11日・名古屋地方気象台発表）によると、平年に比べ晴れの日が多く、気温が高く、降水量は平年並の予想です。

このような状況から、ハスモンヨトウの発生に好適な条件であると考えられるため、注意が必要です。



（写真）ハスモンヨトウ幼虫（左図）、ダイズの食害状況（中央図）、ダイズの白変葉（右図）

4. 防除対策

- (1) 老齢になるに従って薬剤の効果が劣ります。若齢幼虫のうちに防除してください。
- (2) 多発すると防除が困難になるので、早期防除に努めてください。
- (3) 施設では、開口部に防虫ネットを張って、成虫の侵入や産卵を防止してください。
- (4) ダイズでは、圃場をこまめに見回り、白変葉等の発生に注意を払い、初期防除に努めてください。
- (5) 野菜類では、育苗期や定植直後に発生すると被害が大きいため、こまめに見回り、発生初期の防除に努めてください。
- (6) 花き類では、生長点付近や花蕾を加害されると商品価値がなくなるので、早期発見に努め、登録のある農薬で防除してください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第4号

平成 28 年 7 月 6 日
三重県病害虫防除所

クワシロカイガラムシ第2世代幼虫を防除しましょう

1. 対象作物： チャ
2. 対象病害虫名： クワシロカイガラムシ第2世代幼虫
3. 発生状況
有効積算温度による第2世代幼虫孵化最盛予測日（7月4日予測）は、四日市では7月15日（平年7月22日）、亀山市では7月15日（平年7月23日）、松阪市飯南町粥見では7月18日（平年7月26日）と予想されます（表）。

4. 防除対策

- (1) 孵化最盛日から2日～4日後頃が防除適期です。枝幹につく歩行型幼虫を確認して防除してください。
- (2) この時期は土着天敵の活動が盛んになる時期ですので、天敵に影響の小さい薬剤を選択してください。

表 クワシロカイガラムシ第2世代幼虫孵化最盛予測日と防除適期（7月4日予測）

	孵化最盛予測日	平年比（日）	防除適期
四日市	7月15日	-7	7月17～19日
亀山	7月15日	-8	7月17～19日
粥見	7月18日	-8	7月20～22日

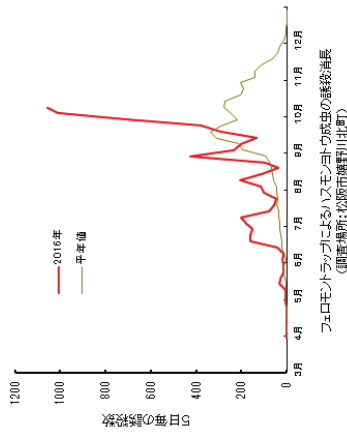
農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第7号

平成28年10月11日
三重県病害虫防除所

ハスモンヨトウの発生は、依然多い状況が続いています。

1. 対象作物：野菜類及び花き類
2. 対象病害虫名：ハスモンヨトウ
3. 発生地域：県内全域
4. 発生程度：多い
5. 発生状況
 - 1) 県予察圃（松阪市嬉野川北町）におけるフェロモントラップ誘殺数（9月第6半旬～10月第2半旬）は、2,787頭（平均737.9頭）と多い状況で（図）、今後、圃場での幼虫発生量が増加すると予想されます。
 - 2) 巡回調査圃場（10月第2週）では、キャベツで寄生株率7.4%（平年4.4%）、被害葉率4.2%（平年1.0%）と平年に比べて多い状況です。



6. 防除対策

- 1) 幼虫の発生量は圃場によって異なるため、ほ場での発生状況をよく確認してください。
- 2) 施設では、ハウスパイプや換気口周辺などの資材にも産卵します。その場合、孵化幼虫は比較的広い範囲に落下、分散するため、発生の確認が遅れることがあるので注意してください。
- 3) 薬剤防除の防除適期は若齢幼虫期です。老齢幼虫に対する防除効果は劣ることがあります。
- 4) 薬剤防除するときは葉裏にかかると、丁寧に散布してください。
- 5) 施設内に成虫が侵入できないように、防虫ネットを張るなどの対策をとってください。
- 6) ハスモンヨトウ以外のチョウ目害虫の発生についても注意をしてください。

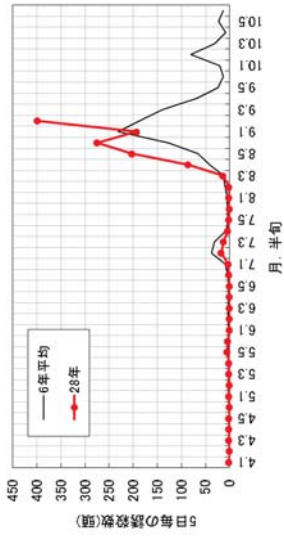
農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第6号

平成28年9月16日
三重県病害虫防除所

ダイズにおける吸害性カメムシ類の発生に注意しましょう！

1. 対象作物：ダイズ
2. 対象病害虫名：吸害性カメムシ類
(ミナミアオカメムシ、イチモンジカメムシ、ホソヘリカメムシ)
3. 発生状況と今後の予測
近年、伊勢平野地域ではミナミアオカメムシの発生が急増しており、ダイズの被害粒（子実の萎縮、変形、変色）や、青立ち症状の発生が著しく増加しています。
巡回調査（9月第2週）では、発生圃場率28.1%（平年22.3%）、寄生株率2.1%（平年1.8%）、寄生虫数0.8頭/25株（平年1.3頭/25株）と平年よりやや多い状況です。
また、松阪市設置の予察灯では、イチモンジカメムシおよびホソヘリカメムシの誘殺数は、平年並程度の状況ですが、ミナミアオカメムシの誘殺数は、8月第3半旬～9月第2半旬では1,170頭（6年平均666.0頭）と多い状況です（図）。
1か月予報（9月15日・名古屋地方気象台発表）によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。また、気温は高く、降水量は平年並が多い見込みです。



4. 防除対策

- 1) 薬剤散布は、①莢伸長期（開花20日後）と、②子実肥大中期（開花40日後）の2回散布を基本としてください。
- 2) 莢伸長期から子実肥大中期に生育している圃場では、吸害性カメムシ類が集中するおそれがあり、注意が必要です。
- 3) 2回散布ができない場合は、子実肥大初期（開花30日後）に薬剤散布してください。
- 4) 吸害性カメムシ類は移動性が高いため、無人ヘリなどによる広域一斉防除が効果的です。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第8号

平成28年11月24日
三重県病害虫防除所

QoI剤(ストロビリリン系殺菌剤)耐性イネいもち病菌が、本年も県内の一部圃場で確認されました。QoI剤を適切に使用するとともに、いもち病の基本的な防除対策を徹底しましょう。

表1 イネいもち病を対象としたQoI剤 ※最大年1回の使用としましょう。

殺菌剤のグループ	耐性菌の発生リスク	有効成分名	商品名の例
菌11 (QoI剤)	高	アキキシストロビン	アミスター
		オキサリプロリン	オリブライト、イモチエース、イモチミン、オリブトップ
		オリサストロビン	風

表2 イネいもち病を対象としたQoI剤以外の農薬 ※耐性菌の発生を防ぐため、作用機構の異なるグループでのローテーションで使用しましょう。

殺菌剤のグループ	耐性菌の発生リスク	有効成分名	商品名の例
菌16.1	耐性菌未発生	フサライド	ラフサイド
		ピロキロン	コラトップ
		トリシクラゾール	ビーム、ラテラ
菌16.3	耐性菌未発生	トルプロコルブ	サンブラス、ゴウカツ
菌P2 (抵抗性誘導剤)	耐性菌未発生	プロベナゾール	オリゼメート、Dr.オリゼ、ビルダー、ジャッジ
		チアジニル	プライダット、アブライ
菌P3 (抵抗性誘導剤)	耐性菌未発生	インクアニル	スタウト、ルーチン、ツイインターボ
		フェリムゾン	(フサライドとの混合剤) プララン、(トリシクラゾールとの混合剤) ノンブラス
菌U14	耐性菌未発生	IBP(イプロベンホス)	キタジンプ
		インプロチオラン	アジワン、(ピロキロンとの混合剤) ビカビカ、フジトップ
菌6	低～中	カスガマイシン	カスミン、(トリシクラゾールとの混合剤) ダブルカット
菌24	中	ベンニル	ベンレート
		チオファネートメチル	トップジンM

FRA C Code List (2016年4月現在)による分類

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

- 対象作物： 水稲（飼料用米を含む）
対象病害虫名： イネいもち病
- 三重県におけるQoI剤耐性イネいもち病菌のモニタリング調査結果と発生状況
三重県農業研究所では、平成28年6月から8月に県内の19市町から採取したイネいもち病菌591菌株に対して、薬剤添加培地での感受性検定によるモニタリング調査を行いました。その結果、2菌株でQoI剤耐性イネいもち病菌（以下、耐性菌）が確認されました。
昨年度は3地点において7病斑の耐性菌が、本年度は1地点において1病斑の耐性菌が確認された状況から、県内での耐性菌の発生は、一部の圃場、地域ごととまっとうり、QoI剤（表1）のいもち病防除効果は低下していないものと判断されます。
耐性菌は三重県以外ではこれまでに、九州地方から東海地方にかけての14府県（山口県、島根県、愛媛県、福岡県、佐賀県、大分県、宮崎県、熊本県、岡山県、兵庫県、鳥取県、京都府、滋賀県、岐阜県）と東北地方2県（秋田県、宮城県）で発生が確認されています。
今後の対策として、耐性菌をまん延させないためにQoI剤を適切に使用するとともに、いもち病の基本的な防除対策を再度徹底しましょう。
- イネいもち病防除におけるQoI剤耐性イネいもち病菌の発生を防ぐための注意点
(1) QoI剤（表1）の使用は最大年1回までとし、採種圃場での使用禁止を再度徹底しましょう。
(2) 長期持続型QoI剤の育苗箱処理は、耐性菌の選抜を高める要因の一つとして考えられています。作用機構の異なる薬剤とのローテーションで使用するか、耐性菌の発生リスクが低い薬剤を選択しましょう（表2）。
(3) QoI剤を本田で使用する場合、多剤時の使用を避け、葉いもちに対しては初発前あるいは発生前期に、穂いもちに対しては薬剤の使用適期に散布しましょう。
(4) いもち病防除の基本となる防除対策を再度徹底しましょう（種子更新を行い、健全な種子を使用する、塩水選や種子消毒を確実に、伝染源となるわらや籾を育苗ハウス内に放置しない、補種用の置き苗は早めに処分するなど）。
(5) 以上の取り組みを地域一体となって実施しましょう。
(6) QoI剤で防除したにもかかわらず、効果が著しく低かった場合は、病害虫防除所、農業研究所、農業改良普及センターや関係団体へ御連絡ください。

IV 事業関係の試験成績

1. 診断対策

(1) 灰色かび病の薬剤感受性検定

担当： 農業研究所農産物安全安心研究課

調査作物： トマト、イチゴ、キュウリ、ナス

FRAC コード	農薬名	検定結果	検定方法	防除効果	備考
2	イブロジオン剤 (ジカルボキシイミド系)	中程度耐性菌 20.7% 感受性菌 79.3%	5ppmの薬剤を添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、20℃48時間培養後に菌そう生育があれば中程度耐性菌、無処理比80%以上の菌そう生育があれば高度耐性菌として判定した。	感受性菌が多いものの中程度耐性菌が検出されたので、防除には注意が必要である。	7地域48地点における果実・茎・葉の標微部から分離した188菌株の検定結果
12	フルジオキソニル剤 (フェニルピロール系)	感受性菌率 100%	0.2ppmの薬剤を添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、20℃48時間培養後に菌そう生育の有無により判定した。	全ての菌株が感受性菌であったことから、防除効果は高いと考えられた。	
11	アゾキシストロビン剤 (QoI-殺菌剤)	耐性菌 49.2% 感受性菌 50.8%	100ppmの薬剤とSHAM1mMを添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、20℃72時間培養後の菌糸生育抑制率80%未満の菌株を耐性菌として判定した。	感受性菌と同程度耐性菌が検出されたので、防除には注意が必要である。	7地域48地点における果実・茎・葉の標微部から分離した187菌株の検定結果
11	ピリベンカルブ剤 (QoI-殺菌剤)	耐性菌 4.8% 弱耐性菌 44.4% 感受性菌 50.8%	アゾキシストロビン剤耐性菌であり、かつピリベンカルブ100ppmとSHAM1mMを添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、20℃72時間培養後の菌糸生育抑制率80%未満の菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満を耐性菌、アゾキシストロビンの菌糸生育抑制率50%未満を弱耐性菌とした。	耐性菌、弱耐性菌が検出されたことから、防除には注意が必要である。	
9	メバニピリム剤 (アニリノピリミジン系)	耐性菌 2.1% 感受性菌 87.8% 再検定 10.1%	3ppmの薬剤を添加したFGA培地に、供試菌株の孢子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20℃4日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。	わずかに耐性菌が確認されたが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	7地域48地点における果実・茎・葉の標微部から分離した189菌株の検定結果
17	フェンヘキサミド剤 (ヒドロキシアニリド系)	耐性菌 0.5% 感受性菌 86.2% 再検定 13.2%	1ppmの薬剤を添加したFGA培地に、供試菌株の孢子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20℃4日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。	わずかに耐性菌が確認されたが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	
17	フェンピラザミン剤 (ヒドロキシアニリド系)	耐性菌 1.1% 感受性菌 77.8% 再検定 21.2%	1ppmの薬剤を添加したFGA培地に、供試菌株の孢子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20℃4日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。	わずかに耐性菌が確認されたが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	
7	ボスカリド剤 (SDHI系)	耐性菌 9.1% 感受性菌 79.4% 再検定 11.4%	1ppmの薬剤を添加したYBA培地に、供試菌株の孢子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20℃7日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。	感受性菌が多いものの耐性菌が検出されたので、防除には注意が必要である。	7地域48地点における果実・茎・葉の標微部から分離した175菌株の検定結果
7	ペンチオピラド剤 (SDHI系)	耐性菌 1.7% 感受性菌 97.7% 再検定 0.6%	1ppmの薬剤を添加したYBA培地に、供試菌株の孢子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20℃7日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。	わずかに耐性菌が確認されたが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	
防除対策 前提条件		①換気、暖房、循環扇等を利用し、湿度を高めないことで、感染に適した環境にしない ②着果後の花卉の除去、わき芽かきの傷跡を大きくしない、葉先枯れする管理をしない等、感染場所をつくらない ③被害茎葉や果実を施設外に出すことで、施設内の伝染源を徹底除去する(多発後困難、初発前に行なう)			
薬剤防除		①耐性菌の確認されていない薬剤を使用する ②耐性菌の出現を避けるため、薬剤の選定にあたっては、系統の異なるものをローテーション散布する ③灰色かび病の発生前から予防的に散布する ④初発がみられたら直ちに散布する ⑤葉かび、すすかび病発生の予測される場合は、葉かび、すすかび病に登録のある薬剤を散布する ⑥生物農薬(バチルスズブチリス)のダクト散布は発病予防を期待するものであり、発病時は化学農薬を散布する			

表1 供試薬剤別採取地域ごとの感受性検定の結果

FRAC コード	供試薬剤	判定	木曾岬	長島	津	松阪	伊勢	伊賀	紀州	全体	(2015年)
2	イプロジオン剤	MR	18.6%	19.4%	14.3%	17.9%	50%	0%	25%	20.7%	17.0%
		S	81.4%	80.6%	85.7%	82.1%	50%	100%	75%	79.3%	83.0%
12	フルジオキソニル剤	S	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	94.9%
検定菌株数			43	67	7	39	12	4	16	188	176
11	アゾキシストロビン剤	R	60.5%	30.3%	71.4%	33.3%	100%	25%	93.8%	49.2%	33.1%
		S	39.5%	69.7%	28.6%	66.7%	0%	75%	6.3%	50.8%	61.1%
11	ピリペンカルブ剤	R	0%	3.0%	0%	5.1%	8.3%	0%	25%	4.8%	-
		WR	60.5%	27.3%	71.4%	28.2%	91.7%	25%	68.8%	44.4%	33.1%
		S	39.5%	69.7%	28.6%	66.7%	0%	75%	6.3%	50.8%	60.6%
検定菌株数			43	66	7	39	12	4	16	187	175
9	メパニピリム剤	R	0%	0%	14.3%	7.7%	0%	0%	0%	2.1%	6.3%
		再検定	2.3%	1.5%	14.3%	17.9%	66.7%	25%	0%	10.1%	1.1%
		S	97.7%	98.5%	71.4%	74.4%	33.3%	75%	100%	87.8%	92.6%
17	フェンヘキサミド剤	R	0%	0%	0%	2.6%	0%	0%	0%	0.5%	-
		再検定	2.3%	5.9%	28.6%	35.9%	16.7%	25%	6.3%	13.2%	11.4%
		S	97.7%	94.1%	71.4%	61.5%	83.3%	75%	93.8%	86.2%	88.1%
17	フェンピラザミン剤	R	2.3%	0%	0%	2.6%	0%	0%	0%	1.1%	-
		再検定	18.6%	16.2%	28.6%	33.3%	8.3%	25%	25%	21.2%	11.4%
		S	79.1%	83.8%	71.4%	64.1%	91.7%	75%	75%	77.8%	88.1%
検定菌株数			43	68	7	39	12	4	16	189	176
7	ボスカリド剤	R	12.2%	9.5%	0%	8.6%	10%	0%	6.7%	9.1%	14.1%
		再検定	22%	3.2%	14.3%	5.7%	30%	0%	20.0%	11.4%	6.2%
		S	65.9%	87.3%	85.7%	85.7%	60%	100%	73.3%	79.4%	79.7%
7	ペンチオピラド剤	R	4.9%	1.6%	0%	0%	0%	0%	0%	1.7%	7.3%
		再検定	0%	0%	0%	2.9%	0%	0%	0%	0.6%	6.2%
		S	95.1%	98.4%	100%	97.1%	100%	100%	100%	97.7%	86.4%
検定菌株数			41	68	7	35	10	4	15	175	177

※R: 耐性菌 MR: 中程度耐性菌 WR: 弱耐性菌 S: 感受性菌

R、MRは防除効果が劣る恐れあり、WRは実用上問題ないが今後注意が必要、Sは問題なし

※再検定: 薬剤添加培地で生育した菌

表2 供試薬剤別作目毎の感受性検定の結果

FRAC コード	供試薬剤	判定	トマト	イチゴ	キュウリ	ナス	全体	(2015年)
2	イプロジオン剤	MR	18.7%	23.8%	100.0%	0%	20.7%	17.0%
		S	81.3%	76.2%	0%	100%	79.3%	83.0%
12	フルジオキソニル剤	S	100%	100%	100%	100%	100%	94.9%
検定菌株数			134	42	4	8	188	176
11	アゾキシストロビン剤	R	45.1%	50.0%	0%	87.5%	49.2%	33.1%
		S	54.9%	50.0%	100%	12.5%	50.8%	61.1%
11	ピリベンカルブ剤	R	5.3%	4.8%	0%	0%	4.8%	-
		WR	39.8%	45.2%	100%	87.5%	44.4%	33.1%
		S	54.9%	50.0%	0%	12.5%	50.8%	60.6%
検定菌株数			133	42	4	8	187	175
9	メパニピリム剤	R	0%	10%	0%	0%	2.1%	6.3%
		再検定	3.7%	23.8%	100%	0%	10.1%	1.1%
		S	96.3%	66.7%	0%	100.0%	87.8%	92.6%
17	フェンヘキサミド剤	R	0%	2.4%	0%	0%	0.5%	-
		再検定	4.4%	42.9%	25%	0%	13.2%	11.4%
		S	95.6%	54.8%	75%	100.0%	86.2%	88.1%
17	フェンピラザミン剤	R	0.0%	2.4%	0%	0%	1.1%	-
		再検定	17.8%	35.7%	25%	12.5%	21.2%	11.4%
		S	82.2%	61.9%	75%	87.5%	77.8%	88.1%
検定菌株数			135	42	4	8	189	176
7	ボスカリド剤	R	8.1%	10%	0%	25%	9.1%	14.1%
		再検定	11%	10%	66.7%	12.5%	11.4%	6.2%
		S	81.5%	80%	33.3%	62.5%	79.4%	79.7%
7	ベンチオピラド剤	R	2.4%	0%	0%	0%	1.7%	7.3%
		再検定	0%	2.5%	0%	0%	0.6%	6.2%
		S	97.6%	97.5%	100%	100%	97.7%	86.4%
検定菌株数			124	40	3	8	175	177

※R: 耐性菌 MR: 中程度耐性菌 WR: 弱耐性菌 S: 感受性菌

R、MRは防除効果が劣る恐れあり、WRは実用上問題ないが注意が必要、Sは問題なし

※再検定: 薬剤添加培地で生育した菌

灰色かび病菌に対する各種殺菌剤の感受性検定結果

2016年4月菌株採集、6月検定
農業研究所農産物安全安心研究課

FRAC コード	検定薬剤	該当する薬剤
2	イプロジオン剤(ジカルボキシイミド系)	ロブラール水和剤、スミレックス水和剤
12	フルジオキシニル剤(フェニルピロール系)	セイビアーフロアブル20
11	アゾキシストロビン(QoI殺菌剤)	アミスター20フロアブル
11	ピリベンカルブ(QoI殺菌剤)	ファンタジスタ顆粒水和剤
9	メパニピリム剤(アニリノピリミジン系)	フルピカフロアブル
17	フェンヘキサミド剤(ヒドロキシアニリド系)	ダイヤモンド水和剤、ジャストミート顆粒水和剤
17	フェンピラザミン剤(ヒドロキシアニリド系)	ピクシオDF
7	ボスカリド剤(SDHI剤)	カンタスドライフロアブル
7	ペンチオピラド剤(SDHI剤)	アフエットフロアブル

R: 耐性菌、薬剤の防除効果が劣る菌
MR: 中程度耐性菌、薬剤の防除効果がやや劣る菌
WR: 弱耐性菌、実際の防除場面で効果あり
S: 感受性菌、薬剤の防除効果が認められる菌
再検定: 薬剤添加培地で生育した菌
- : 胞子形成不良等

木曽岬町

地域	FRAC コード 殺菌剤 作物	2	12	11	11	9	17	17	7	7	備考
		イプロ ジオン	フルジ オキシニル	アゾキシ ストロビン	ピリベン カルブ	メパニ ピリム	フェン ヘキサミド	フェン ピラザミン	ボスカリド	ペンチオ ピラド	
木曽岬1	ナス	S	S	R	WR	S	S	再	S	S	
		S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	再	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	R	S	
木曽岬2	トマト	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
木曽岬3	トマト	S	S	S	S	S	S	S	R	S	
		S	S	S	S	S	S	S	R	S	
		S	S	S	S	S	S	S	-	-	
		-	-	-	-	S	S	S	S	S	
木曽岬4	トマト	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
木曽岬5	ナス	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	R	S	
木曽岬6	トマト	S	S	R	WR	S	再	再	R	S	
		S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	再	R	
		S	S	R	WR	S	S	S	再	S	
木曽岬7	トマト	MR	S	R	WR	S	S	再	S	S	
		MR	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		MR	S	S	S	S	S	S	再	S	
		MR	S	R	WR	S	S	S	S	S	
木曽岬8	トマト	MR	S	R	WR	S	S	再	S	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	S	S	S	S	S	
木曽岬9	トマト	S	S	R	WR	S	S	再	再	S	
		S	S	S	S	S	S	S	-	-	
		S	S	S	S	S	S	再	S	S	
		S	S	R	WR	再	S	再	再	S	

木曾岬10	トマト	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	—	—	—	—	—	
		MR	S	S	S	S	S	再	S	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
木曾岬11	トマト	MR	S	S	S	S	S	S	再	S	
		MR	S	S	S	S	S	S	再	S	
		S	S	S	S	S	S	再	S	S	
		S	S	S	S	S	S	S	再	R	

桑名市長島町

地域	FRAC コード 殺菌剤 作物	2	12	11	11	9	17	17	7	7	備考
		イプロ ジオン	フルジ オキシニル	アゾキシ ストロビン	ピリベン カルブ	メバニ ピリム	フェン ヘキサミド	フェン ピラザミン	ポスカリド	ペンチオ ピラド	
長島1	トマト	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	—	—	
		S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
長島2	トマト	S	S	R	WR	S	S	S	R	S	
		S	S	R	WR	S	再	S	R	S	
		S	S	R	R	S	S	S	再	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	—	—	
長島3	トマト	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	S	S	再	S	S	
		S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
長島4	トマト	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	S	S	再	S	S	
		S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	S	S	再	S	S	
長島5	トマト	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	S	—	—	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	S	S	再	S	S	
長島6	トマト	MR	S	S	S	S	S	S	S	S	
		MR	S	S	S	S	S	S	S	S	
		MR	S	S	S	再	S	S	S	S	
		MR	S	S	S	S	再	再	S	S	
長島7	トマト	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	S	再	S	S	S	
長島8	トマト	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	S	S	S	R	R	
		S	S	S	S	S	S	再	R	S	
		S	S	S	S	S	S	S	R	S	
長島9	トマト	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		MR	S	S	S	S	S	S	S	S	
長島10	トマト	MR	S	S	S	S	S	再	S	S	
		MR	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		MR	S	S	S	S	S	再	S	S	
長島11	トマト	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		MR	S	S	S	S	S	S	再	S	
		MR	S	S	S	S	S	S	R	S	
長島12	トマト	MR	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	—	—	
		S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	S	S	S	—	—	
長島13	トマト	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	S	S	再	S	S	
		S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	S	S	S	S	S	

長島14	トマト	MR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		MR	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	S	再	再	S	S		
		S	S	S	S	S	S	S	-	-		
長島15	トマト	S	S	R	WR	S	S	再	S	S		
		S	S	S	S	S	S	S	S	S		
		S	S	R	WR	S	S	S	S	S		
		S	S	R	R	S	S	S	S	S		
長島16	トマト	S	S	S	S	S	S	S	S	S		
		S	S	R	WR	S	S	S	S	S		
		S	S	S	S	S	S	S	S	S		
		S	S	S	S	S	S	S	S	S		
長島17	トマト	-	-	-	-	S	S	S	S	S		
		S	S	S	S	S	S	S	S	S		
		S	S	S	S	S	S	S	S	S		
		S	S	S	S	S	S	S	S	S		

津

地域	FRAC コード 殺菌剤 作物	2	12	11	11	9	17	17	7	7	備考	
		イプロ ジオン	フルジ オキシニル	アゾキシ ストロピン	ピリベン カルブ	メバニ ピリム	フェン ヘキサミド	フェン ピラザミン	ポスカリド	ペンチオ ピラド		
津1	イチゴ	S	S	S	S	S	再	再	S	S		
		S	S	R	WR	再	S	S	S	S		
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		S	S	R	WR	R	S	S	S	S	S	
津2	イチゴ	MR	S	R	WR	S	S	S	再	S		
		S	S	R	WR	S	S	S	S	S		
		S	S	R	WR	S	再	再	S	S		
		S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	

松阪

地域	FRAC コード 殺菌剤 作物	2	12	11	11	9	17	17	7	7	備考
		イプロ ジオン	フルジ オキシニル	アゾキシ ストロピン	ピリベン カルブ	メバニ ピリム	フェン ヘキサミド	フェン ピラザミン	ポスカリド	ペンチオ ピラド	
松阪1	イチゴ	S	S	R	WR	S	S	S	再	S	
		MR	S	R	WR	再	再	再	S	S	
		MR	S	R	WR	S	再	S	R	S	
		MR	S	R	WR	S	S	S	R	S	
松阪2	トマト	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	再	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	再	S	S	-	-	
		S	S	S	S	S	S	S	S	S	
松阪3	イチゴ	S	S	S	S	S	R	R	S	S	
		S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	S	R	WR	再	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	再	S	S	S	S	
松阪4	イチゴ	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	S	S	S	S	S	S	S	S	
松阪5	トマト	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	S	S	S	S	S	
松阪6	イチゴ	MR	S	R	WR	R	再	S	S	S	
		S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		MR	S	S	S	S	S	S	-	-	
		S	S	S	S	S	再	再	S	S	
松阪7	イチゴ	S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	S	S	S	S	再	再	S	S	
		S	S	S	S	S	再	再	S	S	

松阪8	トマト	S	S	S	S	S	S	再	-	-	
		S	S	S	S	S	S	S	-	-	
		S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	S	S	S	S	S	
松阪9	イチゴ	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		MR	S	R	R	再	S	S	再	S	
		S	S	S	S	S	再	再	S	S	
松阪10	イチゴ	S	S	R	R	R	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	R	S	S	S	S	
		MR	S	R	WR	再	S	S	R	再	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

伊勢

地域	FRAC コード 殺菌剤 作物	2	12	11	11	9	17	17	7	7	備考
		イプロ ジオン	フルジ オキシニル	アゾキシ ストロピン	ピリベン カルブ	メバニ ピリム	フェン ヘキサミド	フェン ピラザミン	ポスカリド	ペンチオ ピラド	
伊勢1	イチゴ	S	S	R	WR	S	S	S	-	-	
		MR	S	R	WR	再	再	S	S	S	
		MR	S	R	WR	再	S	S	R	S	
		S	S	R	WR	再	S	S	再	S	
伊勢2	ミニトマト	S	S	R	R	S	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	再	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
伊勢3	キュウリ	MR	S	R	WR	再	S	S	-	-	
		MR	S	R	WR	再	S	再	再	S	
		MR	S	R	WR	再	再	S	再	S	
		MR	S	R	WR	再	S	S	S	S	

伊賀

地域	FRAC コード 殺菌剤 作物	2	12	11	11	9	17	17	7	7	備考
		イプロ ジオン	フルジ オキシニル	アゾキシ ストロピン	ピリベン カルブ	メバニ ピリム	フェン ヘキサミド	フェン ピラザミン	ポスカリド	ペンチオ ピラド	
伊賀1	イチゴ	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	再	S	S	S	S	
		S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	S	再	再	S	S	

紀州

地域	FRAC コード 殺菌剤 作物	2	12	11	11	9	17	17	7	7	備考
		イプロ ジオン	フルジ オキシニル	アゾキシ ストロピン	ピリベン カルブ	メバニ ピリム	フェン ヘキサミド	フェン ピラザミン	ポスカリド	ペンチオ ピラド	
紀州1	トマト	MR	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		MR	S	R	WR	S	再	再	S	S	
		MR	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		MR	S	R	WR	S	S	再	S	S	
紀州2	トマト	S	S	R	WR	S	S	S	再	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	R	S	
		S	S	R	R	S	S	S	再	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	再	S	
紀州3	トマト	S	S	R	R	S	S	S	S	S	
		S	S	R	R	S	S	S	S	S	
		S	S	S	S	S	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
紀州4	トマト	S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	S	S	S	S	S	
		S	S	R	WR	S	S	再	-	-	
		S	S	R	R	S	S	再	S	S	

(2)ミカンハダニの薬剤感受性検定

担 当:三重県農業研究所紀南果樹研究室

供試薬剤名	一般名	希釈倍率	補正死虫率(%)	
			紀南果樹	熊野A園
スターマイトプラスフロアブル	シエノピラフェン・ピリダベン水和剤	× 1,000	96.2	100.0
カネマイトフロアブル	アセキノシル水和剤	× 1,000	94.0	95.6
バロックフロアブル	エトキサゾール水和剤	× 2,000	41.2	23.7
ダニエモンフロアブル	スピロジクロフェン水和剤	× 4,000	57.0	56.1
ダニゲッターフロアブル	スピロメシフェン水和剤	× 2,000	55.4	28.6
マイトコーネフロアブル	ビフェナゼート水和剤	× 1,000	88.1	89.0
ダニコングフロアブル	ビフルブミド水和剤	× 2,000	100.0	100.0
オマイト水和剤	BPPS水和剤	× 750	90.2	79.6
ニッソラン水和剤	ヘキシチアゾクス水和剤	× 2,000	88.5	50.9
コロマイト水和剤	ミルバメクチン水和剤	× 2,000	100.0	100.0
サンマイト水和剤	ピリダベン水和剤	× 2,000	86.8	65.3

ミカンハダニ卵の薬剤感受性

供試薬剤名	一般名	希釈倍率	補正死卵率(%)	
			紀南果樹	熊野A園
スターマイトプラスフロアブル	シエノピラフェン・ピリダベン水和剤	× 1,000	—	96.2
カネマイトフロアブル	アセキノシル水和剤	× 1,000	—	88.6
バロックフロアブル	エトキサゾール水和剤	× 2,000	—	93.7
ダニエモンフロアブル	スピロジクロフェン水和剤	× 4,000	—	53.5
ダニゲッターフロアブル	スピロメシフェン水和剤	× 2,000	—	100.0
マイトコーネフロアブル	ビフェナゼート水和剤	× 1,000	—	26.9
ダニコングフロアブル	ビフルブミド水和剤	× 2,000	—	100.0
オマイト水和剤	BPPS水和剤	× 750	—	83.2
ニッソラン水和剤	ヘキシチアゾクス水和剤	× 2,000	—	88.8
コロマイト水和剤	ミルバメクチン水和剤	× 2,000	—	94.9
サンマイト水和剤	ピリダベン水和剤	× 2,000	—	56.4

※補正死虫率=(蒸留水区の生存虫率-処理区の生存虫率)/蒸留水区の生存虫率×100
補正死卵率=(蒸留水区のふ化卵率-処理区のふ化卵率)/蒸留水区のふ化卵率×100

※調査日

<紀南果樹研究室場内>

実用濃度;11/9(薬剤処理24時間後)

殺卵試験;/(/に産卵された卵に/)に薬剤処理し、7日後)

<熊野A園>

実用濃度;11/11(薬剤処理24時間後)

殺卵試験;11/9(11/1に産卵された卵に11/2に薬剤処理し、7日後)

<試験方法概要>

サンプル採取場所	三重県紀南果樹研究室圃場 9号圃(青島温州、慣行) 熊野A園 (崎久保温州、慣行)
方 法	成虫感受性 寒天培地の上に、約3cm角に切ったカンキツの葉(無防除区)を乗せ、周囲に逃亡防止の蒸留水を薄く撒いた。そこに、露地慣行区から採取した雌成虫を20頭接種して薬剤を散布し、25℃、16時間明期・8時間暗期(高温長日条件)で飼育した。24時間後に生存・苦悶・死亡虫数を調査した。 卵感受性 成虫感受性試験と同様にディスクを作り、露地慣行区から採取した雌成虫を20匹接種して高温長日条件で飼育し産卵させた。24時間後に雌成虫を取り除いて薬剤を散布し、同様の条件下で飼育した。7日後に幼虫数と死卵数を調査した。

V 農薬の指導に関する業務

1. 農薬危害防止対策

農薬の適正な使用を促すとともに使用に係る事故を防止するため、農薬危害防止運動の実施と農薬取締法に基づきゴルフ場等農薬使用者に対して農薬安全使用パトロール等を実施し、農薬の適正使用と使用簿、施錠、保管管理の徹底等について指導した。

農薬取扱業者に対しては、農薬管理指導士の育成と資質向上を図るため、農薬管理指導士特別研修会を開催し農薬を取り巻く法律、情勢、安全使用の基本的事項について解説した。また、県内外農薬関係者、農業者等を対象として、植物防疫技術研修会を開催し三重県農業における病害虫発生に関するトピックスを講演し、農薬使用を含めた効率防除について啓発を行った。

農薬の危害防止、農薬使用の適正指導、総合防除の推進を図るため、正確かつ適正な情報を、農薬使用の指導者向けに提供するため、指導機関向けに「三重県病害虫防除の手引き」を作成配布提供した。農水省植物防疫課、日本植物防疫協会から提供される使用制限のある変更登録情報は、電子メール、FAXにより県内の農薬流通業者へ提供するとともに、県庁内関係者には、病害虫防除所イントラネットホームページに掲載し、最新の登録情報とともに情報共有を図った。

(1) 農薬危害防止運動の実施

①実施期間 平成 28 年 6 月 1 日～8 月 31 日までの 3 か月間

②実施内容 「三重県農薬適正使用啓発強化運動」として、各市町等の関係機関に「農薬の適正使用」についてのパンフレット等を配布し、本運動の啓発宣伝を行った。農薬取扱者へは農薬の保管管理方法及びポジティブリスト制度に伴う危被害防止について、研修会、講習会で啓発した。

(2) 農薬安全使用講習会の開催状況

項目	時期 開催場所	内容	対象者
農薬管理指導士特別研修(新規)	11/29～30 津市	関係法令、農薬安全使用、危害防止等	農薬販売者、農薬使用者、農薬管理責任者
植物防疫技術研修会	1/27 松阪市	平成 28 年度ハスモンヨトウの発生状況について 平成 28 年度イネいもち病の発生状況について イネいもち病の防除体系と耐性菌対策について	病害虫防除員等
農薬安全使用等講習会	11/25 津市	本年度の病害虫発生概況について	農薬販売者等

(3) ゴルフ場の調査点検実施状況

ゴルフ場の維持管理に関する指導要綱及びゴルフ場の調査・点検・パトロール実施要領に基づき、下記ゴルフ場における農薬使用状況や保管管理状況等について、調査・点検を行った。

調査・点検年月日	ゴルフ場名	所在地
平成 28 年 10 月 28 日	伊賀ゴルフコース グリーンハイランドカントリー倶楽部 アリジカントリークラブ花垣コース セントレイクスゴルフ倶楽部	伊賀市比土 4167-3 名張市薦生大峯 1116-3 伊賀市大滝 1258 伊賀市上郡大峯 1338
平成 28 年 10 月 31 日	青山高原カントリークラブ 富士 OGM エクセレントクラブ伊勢大鷲コース TOSHIN Prince ville Golf Course 一志ゴルフ倶楽部	津市稲葉町字石名田 3191 津市稲葉町 1497 津市美里町三郷 588 津市一志町大仰 2961
平成 28 年 11 月 1 日	随縁カントリークラブキャニオン上野コース 島ヶ原カントリークラブ 阿山カンツリー倶楽部 名阪ロイヤルゴルフクラブ	伊賀市西山 3008 伊賀市島ヶ原 8300 番地 伊賀市円徳院 1636 伊賀市西之沢 1598

(調査・点検項目)

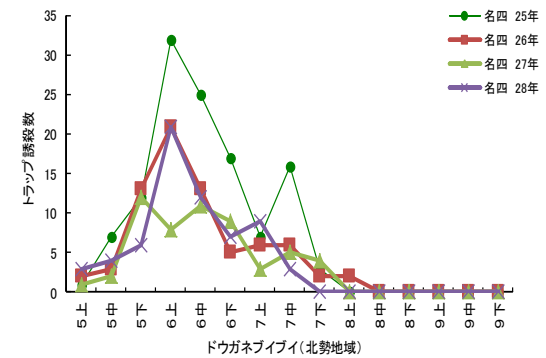
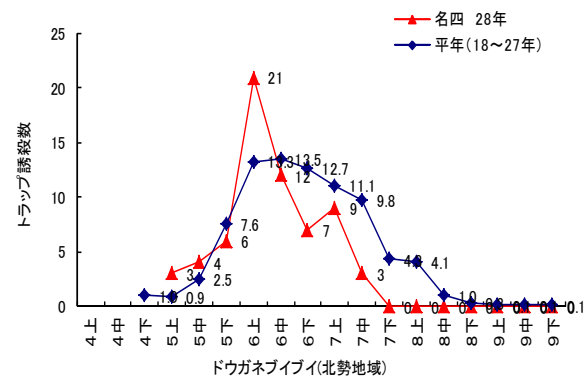
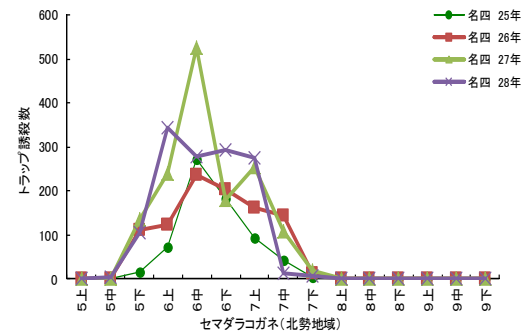
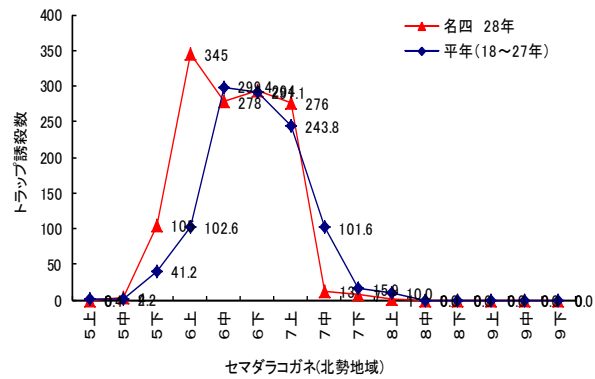
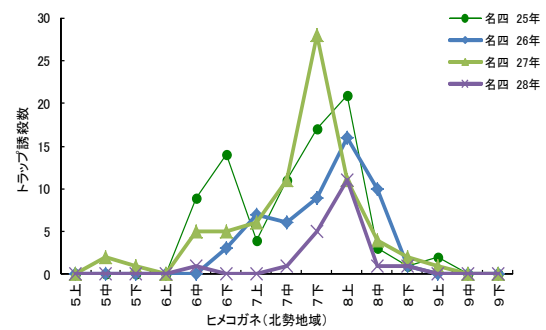
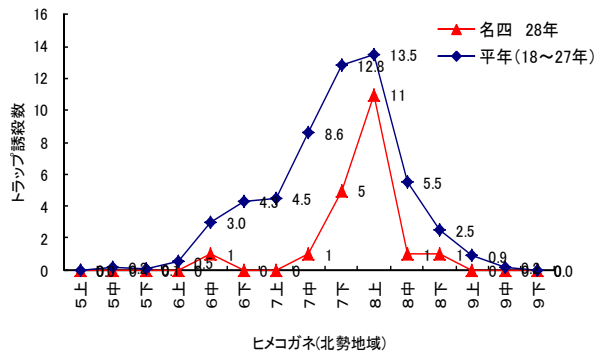
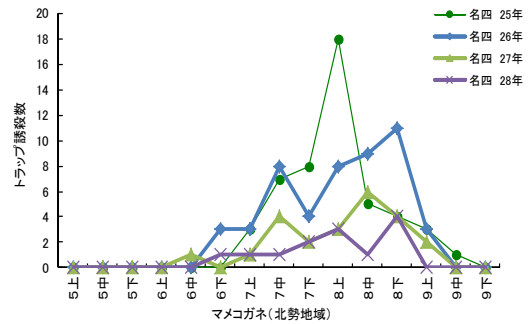
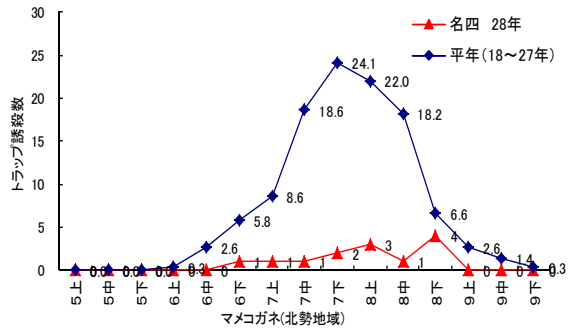
- 1.帳簿(作業日報、農薬台帳等)の整理状況
- 2.農薬の使用状況
- 3.危害防止対策、
- 4.病虫害雑草安全防除指針の遵守状況
- 5.農薬の保管管理の状況

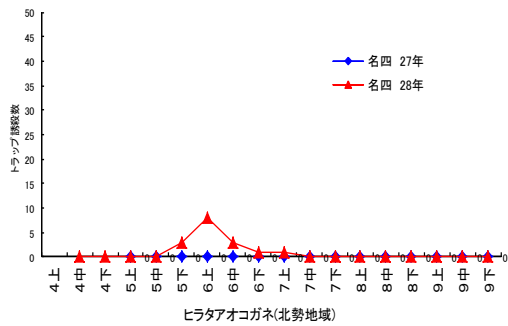
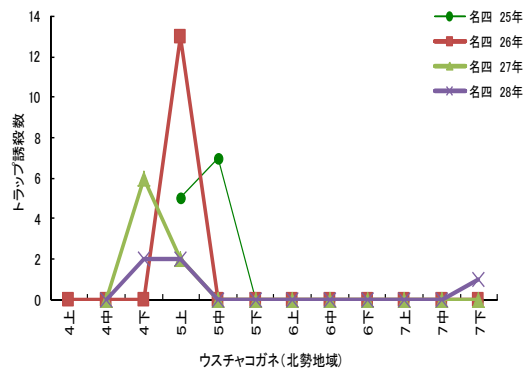
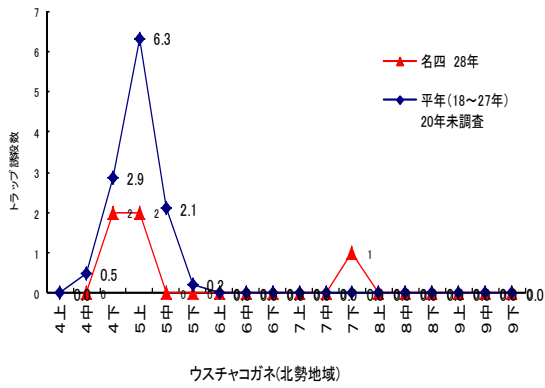
(調査・点検結果の概要)

期限切の農薬が保管されたままになっているなどの若干の不備は認められたものの、概ね適正に管理されていた。

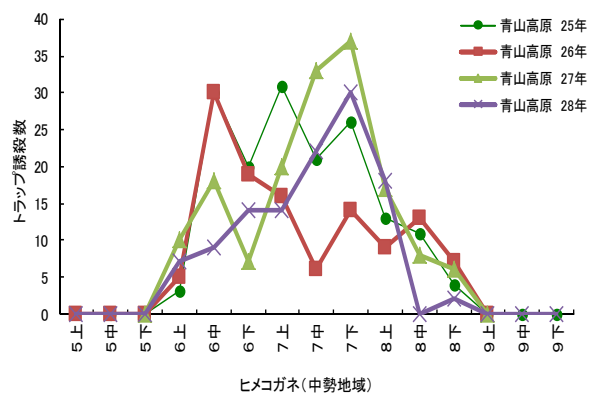
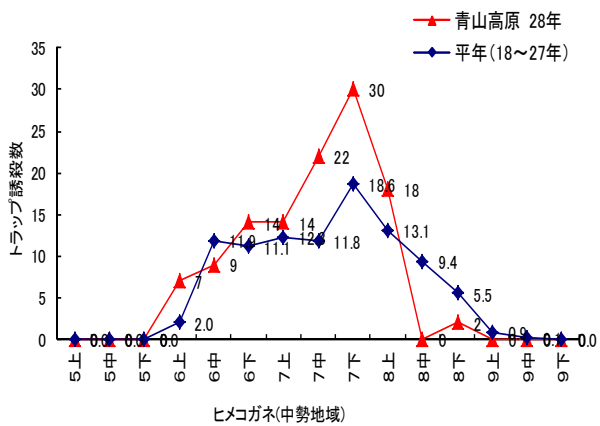
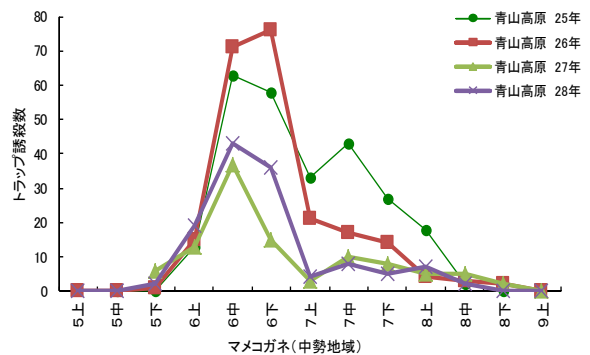
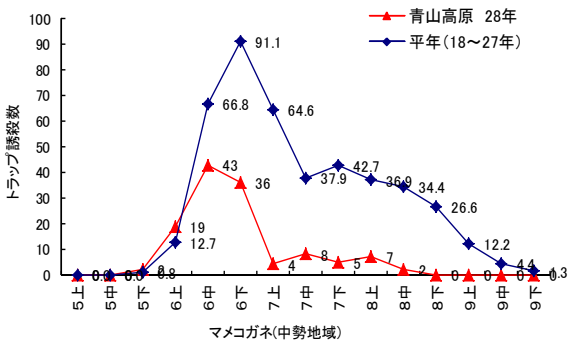
(4) ゴルフ場におけるコガネムシ類発生状況

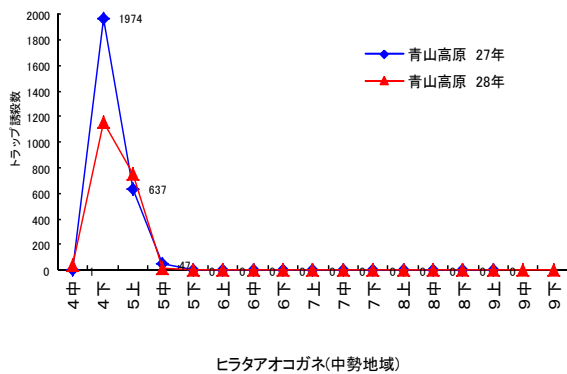
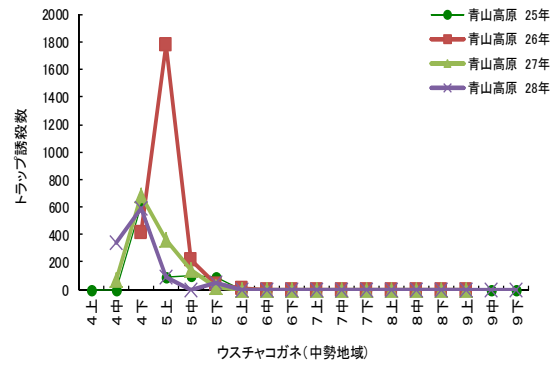
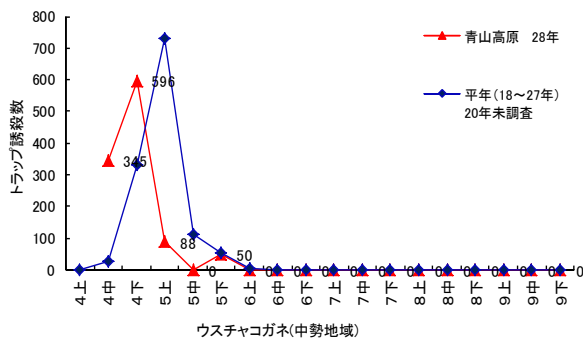
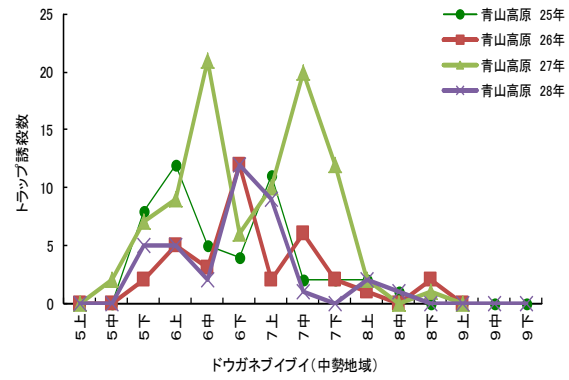
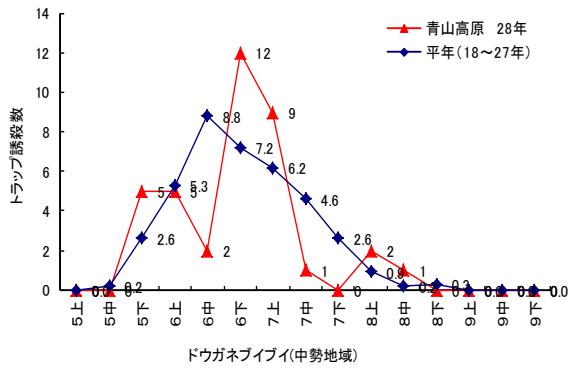
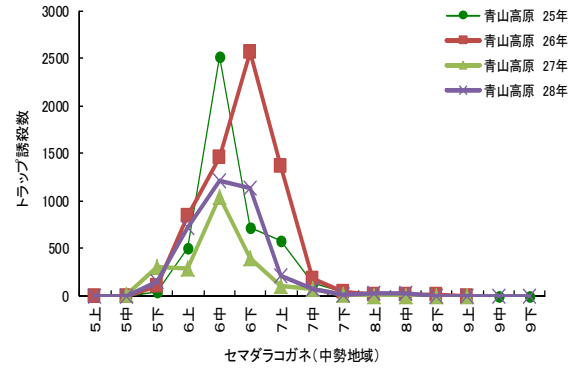
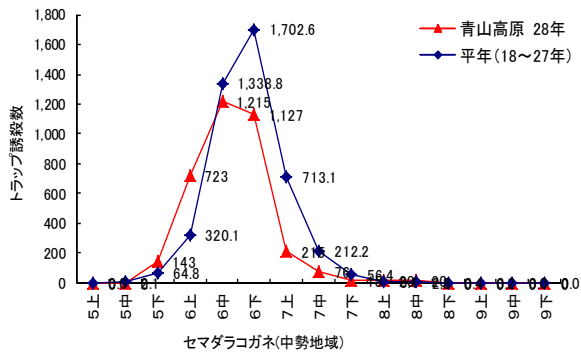
北勢地域





中勢地域





2.産業用無人ヘリコプターによる防除

防除内容	散布地域	総散布面積 (ha)	
水稻病害虫	県下全域	合 計	9611.8
		前年実績	9826.3
		前年対比 (%)	97.8
水稻雑草	北勢地域	合 計	1.5
		前年実績	2.0
		前年対比 (%)	75.0
麦赤かび病	県下全域	合 計	1738.1
		前年実績	1755.7
		前年対比 (%)	99.0
大豆病害虫	県下全域	合 計	892.0
		前年実績	624.9
		前年対比 (%)	142.7
ゴルフ場松くい虫	北勢地域	合 計	72.0
		前年実績	32.0
		前年対比 (%)	225.0
その他	北勢・南勢地域	合 計	155.6
		前年実績	133.2
		前年対比 (%)	116.8

VI 各種データ

1. トラップ等データ

(1) 予察灯

a 県予察灯・水田設置(松阪市嬉野川北町; 60ワット白熱灯)

水田 2016年	ツマグロヨコバイ	イナズマヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソヘリカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

水田 2016年	ツマグロヨコバイ	イナズマヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソヘリカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ
5月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	1	0
14日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8	0	0	0	0	0	0	1	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
6月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	13	0	0	0	0	0	0	0	1	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7	0	0	0	0	0	0	0	1	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	5	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0

水田 2016年	ツマグロヨコバイ	イナズマヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホンハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソヘリカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ
7月1日	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	10	1	0	0	3	0	0	0	0	0
3日	0	4	1	0	0	1	0	0	0	1	0	10	22	1	0	1	2	1	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	7	0	0	0	1	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	10	3	0	0	2	0	0	0	0	0
8日	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	1	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	2	0	0	3	0	0	0	0	0	2	12	8	0	1	2	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4	4	2	0	1	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	3	8	0	0	2	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	1	4	5	0	1	0	0	0	0	0	0
15日	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	7	3	0	0	1	0	0	0	0	0
16日	0	2	1	1	0	18	0	0	0	0	0	0	7	4	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0
29日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	0	2	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0
8月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0
5日	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	3	0	2	0	2	1	0	1	0
7日	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	1	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4	1	0	0	0	0	1	0	0	0
14日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	0	4	1	0	1	0	0	0	0	0	0
15日	0	2	3	25	0	1	0	0	0	1	7	0	7	3	0	2	1	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0
17日	0	1	3	6	0	0	0	0	0	0	3	0	9	1	0	2	0	0	0	0	0	0
18日	0	1	3	5	0	0	0	0	0	0	4	1	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	8	2	0	0	0	0	0	0	1	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	8	4	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	2	2	0	0	5	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	6	1	0	0	0	1	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	2	0	0	0	0	0
31日	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0

水田 2016年	ツマグロヨコバイ	イナズマヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソヘリカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ
9月1日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0
2日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0
5日	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
27日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
28日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

畑地 2016年	畑予察灯(畑)															畑予察灯(水田)														
	アオクサカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	ホソヘリカメムシ	ホソハリカメムシ	イチモンジカメムシ	イネクロカメムシ	シラホシカメムシ	ドウガネブイブイ	クロコガネ	ビロウドコガネ類	コフキコガネ	ヒメコガネ	アオドウガネ	ヒメサクラコガネ	サクシコガネ	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イナズマヨコバイ	イネミズゾウムシ	イネカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	クモヘリカメムシ	ヒメホソミドリカスミカメ	イネクロカメムシ(畑と重複)	ミナミアオカメムシ
6月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	4	0	0	0	0	0	0	6	3	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	8	0	0	0	0	0	6	3	0	0	0	0	0
7日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	1	0	1	7	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
9日	0	6	10	0	0	0	2	4	0	2	4	0	4	0	9	0	1	80	0	0	0	0	0	0	5	0	0	2	4	0
10日	0	2	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	7	0	0	8	0	0	0	0	0	6	3	0	0	1	0	0
11日	0	0	6	0	0	1	1	0	4	0	1	0	0	4	0	1	44	1	0	0	0	0	10	6	0	0	0	1	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	2	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	14	1	0	0	0	0	6	5	0	1	0	0	0
14日	0	2	21	0	0	0	1	0	0	5	0	0	0	0	5	0	2	66	0	0	0	0	1	0	16	5	0	0	0	0
15日	0	1	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	2	0	2	8	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1	13	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
17日	0	3	3	0	0	0	3	1	5	2	0	0	0	0	2	0	9	9	0	0	0	0	0	8	6	0	0	1	0	0
18日	0	6	6	0	0	0	0	0	2	0	8	3	1	2	7	0	15	366	0	0	0	0	0	4	34	0	0	0	0	0
19日	0	2	1	0	0	0	0	0	2	1	7	0	1	7	0	12	35	0	0	0	0	0	0	9	5	0	0	0	0	0
20日	0	4	7	2	0	5	10	13	4	4	5	3	1	0	17	0	14	112	2	1	0	0	0	31	43	0	0	13	0	0
21日	0	8	3	2	0	1	3	5	10	6	0	1	0	2	10	0	20	207	0	0	0	0	0	9	25	0	0	5	0	0
22日	0	2	0	0	0	0	0	1	0	2	2	1	0	1	4	0	10	77	3	4	0	0	0	24	17	0	3	1	0	0
23日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	4	0	3	4	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3	2	0	0	6	0	7	5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	11	0	0	0	0	0	4	3	0	0	0	0	0
26日	0	1	1	1	0	1	0	1	0	25	10	0	0	6	4	0	65	168	0	1	0	0	0	1	14	0	0	1	0	0
27日	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	7	0	16	67	0	0	0	0	0	0	1	9	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	4	4	0	0	9	0	39	91	1	0	0	0	0	9	16	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	7	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	11	1	1	0	8	0	1	12	7	12	1	0	0	14	0	83	135	0	0	0	0	0	18	36	0	0	1	1	0
7月1日	0	14	1	0	0	0	1	1	7	15	1	1	1	10	32	0	94	121	0	0	0	0	0	3	17	0	0	1	2	0
2日	0	15	1	0	0	2	2	0	1	20	10	1	0	1	25	0	128	55	0	2	0	0	2	3	65	0	0	0	0	1
3日	0	8	0	0	0	2	0	0	1	16	0	4	0	0	23	0	109	52	8	1	0	0	5	7	23	1	0	0	0	0
4日	0	12	0	0	0	2	1	0	2	14	3	3	0	1	29	0	67	8	2	0	0	0	9	12	56	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	8	0	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	1	8	1	0	0	0	0	0	6	9	3	0	7	36	0	49	25	2	0	0	0	3	15	55	0	0	0	1	0	1
7日	1	2	0	1	1	3	1	0	2	15	1	0	2	1	43	0	49	5	0	0	0	1	1	0	20	80	0	0	0	3
8日	0	1	0	1	0	2	3	0	1	5	11	1	0	1	49	0	29	24	4	2	0	0	6	0	37	106	0	0	0	2
9日	0	2	0	0	0	1	1	0	0	5	0	2	0	0	27	0	31	6	0	0	0	0	0	14	11	0	0	0	0	2
10日	0	5	0	1	1	3	1	1	0	12	0	5	0	5	40	0	49	30	14	0	0	0	33	0	20	100	1	0	1	9
11日	0	1	0	0	1	0	0	1	1	15	0	5	0	0	43	0	34	5	8	0	0	0	6	5	8	0	0	1	5	0
12日	0	4	0	1	3	4	0	0	0	1	1	1	0	11	31	0	42	49	17	1	0	0	197	0	32	44	1	0	0	0
13日	0	3	0	0	0	0	0	0	0	5	3	1	0	3	27	0	29	24	2	0	0	0	31	0	4	17	0	0	0	5
14日	0	1	0	0	2	7	0	0	0	12	2	0	0	4	28	0	20	20	21	1	0	0	24	0	5	19	0	0	0	2
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1	1	0	2	18	0	18	6	3	0	0	0	5	0	2	7	1	0	0	1
16日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	11	11	2	1	1	25	0	19	163	19	2	0	1	338	0	3	10	0	0	1	2
17日	0	1	0	1	1	2	4	1	0	2	1	2	0	7	25	0	8	71	19	3	0	0	129	0	5	21	0	0	1	1
18日	0	2	0	0	2	0	0	0	3	1	0	1	7	12	0	3	0	0	1	0	0	0	38	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	1	0	1	1	1	2	0	0	4	2	1	0	8	5	0	7	17	1	0	0	0	12	0	3	5	0	0	0	1
20日	0	0	0	1	0	0	0	1	0	7	1	0	0	6	7	0	7	114	1	0	0	0	4	0	5	6	1	0	1	0
21日	0	1	0	1	0	2	3	0	0	4	0	0	1	17	17	0	2	177	4	4	0	2	10	0	9	37	0	0	0	1
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	0	5	8	0	6	36	6	2	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	14	8	0	0	37	4	1	0	0	3	0	2	7	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	33	11	0	4	178	6	0	0	1	7	0	5	15	0	0	0	0
25日	0	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	26	12	0	4	275	32	3	0	2	26	0	9	38	0	0	0	1
26日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	12	13	0	4	27	12	6	0	0	0	0	8	6	0	0	0	0	0
27日	0	8	0	2	0	2	0	0	1	4	0	3	0	46	12	0	9	123	12	5	0	0	7	0	22	59	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	32	9	0	11	62	7	0	0	0	6	0	5	16	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	1	1	0	0	4	0	1	0	55	10	0	3	142	19	1	0	1	0	9	33	0	0	0	0	0
30日	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3	2	0	0	0	14	0	3	210	59	9	0	0	5	0	9	39	1	0	0	0
31日	0	2	0	2	1	0	0	0	0	8	1	0	0	51	23</															

c 地区予察灯(60ワット白熱灯)

地区 2016年	ウンカ・ヨコバイ類												カメムシ類												
	紀北町				御浜町				伊賀市				紀北町				御浜町				伊賀市				
	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
2日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
3日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
4日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
5日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
6日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
7日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
8日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
9日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
10日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
11日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
12日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
13日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
14日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
15日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
16日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
17日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
18日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
19日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
20日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
21日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
22日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
23日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
24日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
25日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
26日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
27日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
28日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
29日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
30日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0		0	0	0						
5月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		

地区 2016年	ウンカ・ヨコバイ類												カメムシ類											
	紀北町				御浜町				伊賀市				紀北町				御浜町				伊賀市			
	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他
6月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月1日	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
7日	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0
13日	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0
14日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	1	5	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
21日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
25日	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
26日	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	2	16	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0

地区 2016年	ウンカ・ヨコバイ類												カメムシ類											
	紀北町				御浜町				伊賀市				紀北町				御浜町				伊賀市			
	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他
8月1日	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	5	0	2	0	0	0	4	0	0	0	1	0	0
2日	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	19	0	0	0	0	2	0	0
7日	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	2	0	0	0	0	8	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	1	0	0	0	0	7	0	0
9日	0	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	6	0	0	5	0	0	0	0	4	0	0
10日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
11日	0	0	0	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0
13日	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	5	0	0	9	0	0	0	0	3	0	0
14日	4	0	3	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	9	0	0	0	0	1	0	0
15日	5	0	2	0	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	3	0	0
16日	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	6	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
17日	4	0	4	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
18日	3	0	3	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
19日	4	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	14	0	0	0	0	1	0	0
20日	4	0	2	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	2	26	0	0	0	0	0	0	0
21日	6	0	4	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0
22日	2	0	5	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0
23日	3	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0
24日	5	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	11	0	0	0	0	0	0	0
25日	6	0	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0
26日	3	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0
27日	2	0	2	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
28日	1	0	1	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	2	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月1日									0	0	0	0									0	0	0	0
2日									0	0	0	0									0	0	0	0
3日									0	0	0	0									0	0	0	0
4日									0	0	0	0									0	0	0	0
5日									0	0	0	0									0	0	0	0
6日									0	0	0	0									0	0	0	0
7日									0	0	0	0									0	0	0	0
8日									0	0	0	0									0	1	0	0
9日									0	0	0	0									0	0	0	0
10日									0	0	0	0									0	0	0	0
11日									0	0	0	0									0	0	0	0
12日									0	0	0	0									0	0	0	0
13日									0	0	0	0									0	0	0	0
14日									0	0	0	0									0	0	0	0
15日									0	0	0	0									0	0	0	0
16日									0	0	0	0									0	0	0	0
17日									0	0	0	0									0	0	0	0
18日									0	0	0	0									0	0	0	0
19日									0	0	0	0									0	0	0	0
20日									0	0	0	0									0	0	0	0
21日									0	0	0	0									0	0	0	0
22日									0	0	0	0									0	0	0	0
23日									0	0	0	0									0	0	0	0
24日									0	0	0	0									0	0	0	0
25日									0	0	0	0									0	0	0	0
26日									0	0	0	0									0	0	0	0
27日									0	0	0	0									0	0	0	0
28日									0	0	0	0									0	0	0	0
29日									0	0	0	0									0	0	0	0
30日									0	0	0	0									0	0	0	0

d 県予察灯・畑地設置(南牟婁郡御浜町農業研究所紀南果樹研究室; 100ワット水銀

畑地 2016年	ア オ ク サ カ メ ム シ	ミ ナ ミ ア オ カ メ ム シ	チ ヤ バ ネ ア オ カ メ ム シ	ツ ヤ ア オ カ メ ム シ	ク サ ギ カ メ ム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	1	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	1	8	0	1	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	1	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	1	0	1	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	1	0	0
13日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	4	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	8	0	0	0	0	0
17日	0	0	4	7	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	3	10	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	20	0	0	1	0	0
23日	0	0	1	2	0	2	0	0	0
24日	0	0	0	10	0	0	1	0	0
25日	0	0	0	13	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	21	0	2	2	0	0
27日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	9	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	1	0	0	1	0	0
5月1日	0	0	0	16	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	10	0	1	0	0	0
3日	0	0	0	14	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	1	0	0	2	0	0
5日	0	0	1	16	0	1	1	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	1	0	0
7日	0	0	0	4	0	0	1	0	0
8日	0	0	0	19	0	1	0	0	0
9日	0	0	0	6	0	1	0	0	0
10日	0	0	4	95	0	1	1	0	0
11日	0	0	0	6	0	0	1	0	0
12日	0	0	0	5	0	0	0	0	0
13日	0	0	1	9	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	18	0	1	0	0	0
15日	0	0	0	26	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	4	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	14	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	2	5	0	0	0	0	0
22日	0	0	2	3	0	1	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	1	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	1	1	0	2	1	0	0
27日	0	0	2	2	0	0	2	0	0
28日	0	0	0	0	0	3	1	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	1	0	0
30日	0	0	0	0	0	1	1	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0

畑地 2016年	ア オ ク サ カ メ ム シ	ミ ナ ミ ア オ カ メ ム シ	チ ヤ バ ネ ア オ カ メ ム シ	ツ ヤ ア オ カ メ ム シ	ク サ ギ カ メ ム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ
6月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	2	1	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	2	0	0
5日	0	0	0	0	0	1	1	0	0
6日	0	0	0	0	0	4	2	0	0
7日	0	0	0	0	0	1	1	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	2	0	0
9日	0	0	1	0	0	1	1	0	0
10日	0	0	1	1	0	1	3	0	0
11日	0	0	0	1	0	2	3	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	2	0	1	0	4	0	0
14日	0	0	3	0	0	2	3	0	0
15日	0	0	0	0	0	5	6	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	1	0	0
17日	0	0	2	1	0	1	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	1	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	1	3	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	2	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	1	0	0	1	1	0	0
23日	0	0	0	0	0	3	4	0	0
24日	0	0	0	0	0	1	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	2	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	1	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	1	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	1	4	0	0
30日	0	0	0	0	0	1	2	0	0
7月1日	0	0	5	0	0	1	3	0	0
2日	0	0	1	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	1	0	1	0	1	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	4	0	0
6日	0	0	0	0	1	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	1	3	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	1	0	0
9日	0	0	0	0	2	0	0	0	0
10日	0	0	3	0	1	0	0	0	0
11日	0	0	2	0	0	0	1	0	0
12日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
13日	0	0	2	0	2	0	0	0	0
14日	0	0	1	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	1	0	0
17日	0	0	0	0	0	2	0	0	0
18日	0	0	0	0	2	1	0	0	0
19日	0	0	0	0	1	1	0	0	0
20日	0	0	0	0	2	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	3	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	2	0	0
23日	0	0	1	0	0	2	1	0	0
24日	0	0	0	0	0	2	2	0	0
25日	0	0	0	0	1	2	1	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	4	0	0
27日	0	0	1	1	0	0	2	0	0
28日	0	0	3	0	0	0	3	0	0
29日	0	0	0	1	0	1	2	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	2	0	0
31日	0	0	0	0	1	1	2	0	0

畑地 2016年	ア オ ク サ カ メ ム シ	ミ ナ ミ ア オ カ メ ム シ	チ ヤ バ ネ ア オ カ メ ム シ	ツ ヤ ア オ カ メ ム シ	ク サ ギ カ メ ム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ
8月1日	0	0	0	0	1	2	6	0	0
2日	0	0	2	0	1	4	9	0	0
3日	0	0	0	0	0	3	12	0	0
4日	0	0	1	0	0	2	10	0	0
5日	0	0	3	1	0	1	2	0	0
6日	0	0	0	0	1	1	8	0	0
7日	0	0	0	1	1	0	1	0	0
8日	0	0	0	2	0	1	1	0	0
9日	0	0	0	0	0	1	0	0	0
10日	0	0	2	0	2	0	0	0	0
11日	0	0	2	1	1	3	2	0	0
12日	0	0	1	1	3	1	1	0	1
13日	0	0	0	2	1	0	0	0	0
14日	0	0	8	3	1	0	0	0	0
15日	0	1	3	2	0	2	0	0	0
16日	0	0	4	2	2	0	1	0	0
17日	0	0	3	1	0	2	0	0	0
18日	0	0	1	1	0	0	0	0	0
19日	0	3	3	3	0	0	0	0	0
20日	0	1	1	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	6	5	1	0	0	0	0
22日	0	2	3	2	2	0	1	0	0
23日	0	0	1	1	1	0	0	0	0
24日	0	0	4	2	0	0	1	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	2	0	0
26日	0	0	7	2	1	1	1	0	0
27日	0	0	2	2	0	0	0	0	0
28日	0	0	3	3	1	1	0	0	0
29日	0	0	2	3	0	0	0	0	0
30日	0	0	2	1	0	1	0	0	0
31日	0	1	2	0	0	2	0	0	0
9月1日	0	0	0	2	0	0	1	0	0
2日	0	4	6	3	0	1	0	0	0
3日	0	1	8	8	0	1	0	0	0
4日	0	1	6	7	1	1	0	0	0
5日	0	2	3	0	1	0	0	0	0
6日	0	0	1	1	0	1	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	1	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	1	0	0
9日	0	0	1	1	0	1	0	0	0
10日	0	0	0	3	0	1	0	0	0
11日	0	0	4	6	0	2	0	0	0
12日	0	0	5	3	0	2	0	0	0
13日	0	1	1	4	1	4	0	0	0
14日	0	0	1	6	0	4	2	0	0
15日	0	0	0	0	0	1	0	0	0
16日	0	1	1	1	0	0	0	0	0
17日	0	0	2	1	1	0	0	0	0
18日	0	1	0	3	1	0	0	0	0
19日	0	0	0	18	0	2	2	0	0
20日	0	0	0	3	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	15	0	0	1	0	0
22日	0	1	1	18	0	2	0	0	1
23日	0	0	1	12	0	2	0	0	0
24日	0	0	1	5	0	3	1	0	0
25日	0	2	3	41	2	1	1	0	0
26日	0	1	7	115	0	1	0	0	0
27日	0	0	1	78	1	3	0	0	0
28日	0	0	6	95	0	1	0	0	0
29日	0	0	1	1	0	0	1	0	0
30日	0	0	0	1	0	2	2	0	0

畑地 2016年	ア オ ク サ カ メ ム シ	ミ ナ ミ ア オ カ メ ム シ	チ ヤ バ ネ ア オ カ メ ム シ	ツ ヤ ア オ カ メ ム シ	ク サ ギ カ メ ム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ
10月1日	0	1	2	52	0	4	1	0	0
2日	0	1	7	330	0	0	0	0	0
3日	0	0	3	40	0	0	0	0	0
4日	0	1	5	36	0	1	1	0	0
5日	0	0	3	33	0	0	1	0	0
6日	0	0	1	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	2	9	0	2	0	0	0
8日	0	0	6	115	0	1	0	0	0
9日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
10日	0	1	1	2	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	3	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	4	0	0	0	0	0
15日	0	1	1	9	0	0	1	0	0
16日	0	1	1	27	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	9	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	16	0	1	1	0	0
19日	0	1	0	4	0	1	2	0	0
20日	0	0	0	0	0	1	0	0	0
21日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	8	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	17	0	0	1	0	0
27日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	1	0	0
20日	0	1	0	0	0	1	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	1	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0

a ガ類(フェロモントラップ) ハスモンヨトウ以外は粘着板式

月	半旬	ハスモンヨトウ (箱式)	コナガ	ネギコガ	オオタバコガ	シロイチモジ ヨトウ	チャノコカク モンハマキ	チャハマキ	ナシヒメ シンクイ
1月	1		3	0					
	2		1	0					
	3		1	0					
	4		1	0					
	5		0	0					
	6		3	0					
2月	1		2	0					
	2		2	0					
	3		2	0					
	4		2	1					
	5		2	0					
	6		1	0					
3月	1	0	6	0					0
	2	0	6	0					1
	3	0	6	0					0
	4	0	6	0					1
	5	0	6	0					2
	6	1	13	0					10
4月	1	0	19	0	0	0	5	1	40
	2	1	4	0	1	0	18	23	35
	3	3	5	0	1	1	35	9	6
	4	1	8	0	2	0	44	7	9
	5	0	7	7	1	0	46	7	20
	6	5	4	0	0	0	10	0	0
5月	1	5	2	0	0	2	35	15	8
	2	5	3	0	1	3	1	4	3
	3	35	3	0	4	5	25	3	0
	4	30	4	1	5	6	3	0	1
	5	15	2	3	2	15	7	1	10
	6	14	4	1	2	4	10	0	24
6月	1	18	5	1	1	0	46	0	26
	2	17	9	1	0	3	19	0	7
	3	40	14	0	0	0	75	0	18
	4	160	12	12	6	1	24	3	10
	5	159	6	4	13	1	10	1	3
	6	150	24	5	14	1	7	12	9
7月	1	181	0	2	4	1	0	3	9
	2	203	8	0	5	0	3	8	58
	3	78	0	0	1	4	5	1	33
	4	56	3	0	0	5	9	2	44
	5	46	2	2	27	8	3	1	22
	6	101	0	1	4	1	3	1	16
8月	1	113	0	1	0	1	8	1	63
	2	205	1	0	1	5	4	4	71
	3	109	2	0	0	1	0	2	36
	4	39	0	0	1	5	0	0	12
	5	96	0	0	6	12	2	2	28
	6	426	0	0	8	30	1	1	60
9月	1	235	1	0	2	13	2	2	18
	2	204	0	0	0	3	4	4	57
	3	135	0	0	0	16	12	1	171
	4	293	0	1	7	33	5	0	4
	5	378	0	0	14	20	14	2	23
	6	717	0	0	0	6	13	0	26
10月	1	1012	0	0	0	3	14	7	22
	2	1057	0	0	1	4	16	7	7
	3	914	1	0	1	1	10	4	0
	4	611	0	0	0	2	12	5	6
	5	339	0	11	46	0	9	3	1
	6	202	1	2	14	1	5	5	3
11月	1	46	1	3	9	0	0	0	0
	2	20	2	0	0	0	8	0	0
	3	25	0	2	0	0	9	6	2
	4	40	0	0	4	0	4	2	1
	5	86	1	0	8	0	4	1	0
	6	19	3	0	1	0	4	3	0
12月	1	20	0	0	1	0	5		
	2	2	0	0	0	0	1		
	3	4	0	0	0	0	0		
	4	1	2	0	0	0	0		
	5	2	2	1	0	0	0		
	6	2	1	1	0	0	0		

b コガネムシ類(フェロモントラップ)

		ヒメコガネ		マメコガネ		ドウガネブイブイ	
		2016年	平年値	2016年	平年値	2016年	平年値
5月	上旬	0	0.0	0	0.0	0	0.6
	中旬	0	0.1	0.444	0.1	6.333	1.2
	下旬	0	0.0	13.556	2.4	31.667	5.2
6月	上旬	0	0.0	17	17.7	29	7.7
	中旬	3	0.4	17	61.9	26	8.6
	下旬	5	1.6	17	33.7	19	8.6
7月	上旬	7	2.8	15	37.1	19	4.7
	中旬	23	6.3	4	55.4	11	1.4
	下旬	41	13.9	10	56.7	5	0.9
8月	上旬	62	20.3	7	38.2	3	0.5
	中旬	19	14.7	15	40.6	0	0.0
	下旬	13	7.8	6	26.0	0	0.0
9月	上旬	4	3.3	1	21.6	0	0.0
	中旬	0	0.8	0	7.3	0	0.0
	下旬	0	0.8	0	3.1	0	0.0
10月	上旬	0	0.1	0	2.5	0	0.0
	中旬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	下旬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11月	上旬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	中旬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	下旬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計		50	96.6	200	612.8	0.0	35.7

c 果樹カメムシ類(フェロモントラップ誘殺数)

チャバネアオカメムシ

月・週	津市白山町川口	
	平年	2016年
4月.1		11.6
2	3.4	25.8
3	11.0	42.6
4	16.2	60.0
5月.1	48.2	59.0
2	46.7	30.8
3	49.2	69.9
4	53.4	20.6
6月.1	51.9	96.8
2	121.8	112.9
3	139.2	234.4
4	161.9	253.8
7月.1	248.6	536.8
2	389.5	247.9
3	354.8	83.9
4	321.6	24.3
8月.1	341.8	6.1
2	228.0	8.0
3	115.8	0.0
4	62.7	4.3
9月.1	69.7	34.7
2	69.2	56.6
3	73.3	63.5
4	56.3	34.7
10月.1	53.1	54.5
2	38.2	37.6
3	20.4	21.5
4	5.2	6.4
11月.1	5.2	1.6
2	2.3	0.5
3	0.2	0.0
4	0.1	0.0

月・週	津市白山町二本木	
	平年	2016年
4月.1		9.5
2	0.7	26.4
3	9.4	39.1
4	17.5	32.6
5月.1	81.4	82.9
2	80.3	61.3
3	129.2	113.3
4	129.0	54.8
6月.1	166.1	76.9
2	275.3	141.3
3	320.2	261.6
4	311.1	206.5
7月.1	450.7	323.2
2	576.3	120.1
3	634.2	15.2
4	606.0	8.2
8月.1	600.7	9.6
2	480.9	10.7
3	346.0	2.6
4	155.3	4.7
9月.1	110.5	10.0
2	73.2	19.2
3	42.3	20.8
4	19.6	8.5
10月.1	20.4	22.5
2	17.0	7.9
3	8.0	2.3
4	2.1	0.5
11月.1	1.7	0.0
2	0.7	0.4
3	0.1	0.6
4	0.0	0.0

月・週	松阪市嬉野川北町	
	平年	2016年
4月.1		0.0
2	0.2	0.0
3	1.1	2.0
4	1.7	0.9
5月.1	21.4	1.7
2	47.9	2.1
3	84.7	11.3
4	31.3	0.0
6月.1	19.4	4.8
2	19.6	8.9
3	27.0	13.6
4	25.8	12.4
7月.1	57.9	37.1
2	130.9	11.3
3	153.5	0.0
4	115.7	0.0
8月.1	104.8	0.1
2	93.5	0.9
3	58.2	2.0
4	23.7	3.5
9月.1	20.6	14.2
2	18.8	7.1
3	8.7	3.6
4	4.1	4.8
10月.1	4.8	9.5
2	2.9	4.6
3	1.8	2.3
4	0.9	0.5
11月.1	0.7	0.5
2	0.3	0.5
3	0.0	0
4	0.0	0

ツヤアオカメムシ

月・週	津市白山町川口	
	平年	2016年
4月.1		0.0
2	0.0	0.0
3	0.0	1.0
4	0.1	0.0
5月.1	1.0	0.0
2	1.8	0.0
3	3.9	0.0
4	3.0	0.0
6月.1	3.4	0.0
2	5.8	0.0
3	5.0	0.0
4	3.3	0.0
7月.1	3.6	0.8
2	3.0	1.2
3	3.3	0.0
4	3.9	0.0
8月.1	2.2	0.0
2	2.0	0.0
3	1.2	0.0
4	1.3	0.0
9月.1	2.3	0.0
2	3.3	3.6
3	4.1	4.6
4	4.5	1.4
10月.1	9.3	5.1
2	11.2	8.0
3	10.8	9.8
4	3.6	2.5
11月.1	1.6	0.0
2	0.9	0.0
3	0.2	0.0
4	0.0	0.0

月・週	津市白山町二本木	
	平年	2016年
4月.1		0.0
2	0.0	0.7
3	0.4	0.3
4	0.8	0.0
5月.1	3.5	0.0
2	2.8	1.8
3	6.5	2.0
4	8.2	1.8
6月.1	9.4	2.9
2	9.8	3.9
3	3.5	1.7
4	1.7	2.0
7月.1	1.3	0.0
2	1.0	1.0
3	0.6	0.0
4	0.6	0.0
8月.1	1.1	0.0
2	1.1	0.0
3	1.2	0.0
4	0.5	0.1
9月.1	1.4	0.7
2	1.6	0.3
3	2.4	0.3
4	2.4	0.7
10月.1	11.0	0.0
2	12.9	3.8
3	11.2	2.0
4	5.5	0.3
11月.1	1.2	0.0
2	0.8	0.0
3	0.2	0.0
4	0.1	0.0

月・週	松阪市嬉野川北町	
	平年	2016年
4月.1		0.0
2	0.1	0.0
3	0.5	1.0
4	0.7	0.9
5月.1	4.1	0.7
2	3.3	0.4
3	4.8	3.0
4	1.8	0.8
6月.1	1.5	0.2
2	1.2	0.0
3	1.2	0.0
4	0.7	0.0
7月.1	0.5	0.0
2	0.5	0.0
3	0.9	0.0
4	0.7	0.0
8月.1	0.3	0.0
2	0.3	0.0
3	0.2	0.0
4	0.2	0.0
9月.1	1.1	0.0
2	1.7	1.8
3	3.1	2.2
4	3.1	1.2
10月.1	17.0	9.5
2	22.3	17.4
3	18.1	10.3
4	6.1	2.4
11月.1	2.9	0.4
2	1.7	0.4
3	0.4	0.6
4	0.0	0.0

クサギカメムシ

月・週	津市白山町川口	
	平年	2016年
4月.1		0.7
2	0.0	0.3
3	0.2	0.0
4	0.9	0.0
5月.1	4.2	3.8
2	6.0	3.8
3	9.8	1.4
4	6.1	2.4
6月.1	9.0	4.4
2	14.9	4.1
3	9.3	2.5
4	6.4	1.8
7月.1	6.3	5.6
2	11.5	3.7
3	10.1	0.7
4	7.3	0.0
8月.1	7.0	0.1
2	5.0	0.9
3	6.1	0.0
4	6.1	0.3
9月.1	6.8	2.7
2	7.0	2.8
3	8.7	5.3
4	7.5	10.9
10月.1	16.2	24.0
2	17.2	15.8
3	5.7	10.8
4	1.8	2.5
11月.1	0.9	0.0
2	0.3	0.0
3	0.0	0.0
4	0.0	0.0

月・週	津市白山町二本木	
	平年	2016年
4月.1		0.0
2	0.0	0.0
3	0.3	0.0
4	1.9	0.0
5月.1	11.7	2.8
2	19.8	11.6
3	29.6	29.6
4	37.4	15.3
6月.1	58.3	29.6
2	79.1	33.8
3	45.6	25.6
4	21.5	9.9
7月.1	16.4	1.6
2	15.8	2.1
3	10.3	1.3
4	6.8	0.0
8月.1	10.1	0.0
2	6.4	0.0
3	4.3	0.0
4	2.1	0.0
9月.1	3.2	0.0
2	3.1	0.0
3	2.9	0.9
4	2.7	2.6
10月.1	3.3	3.6
2	3.0	3.2
3	0.8	1.5
4	0.4	0.3
11月.1	0.2	0.0
2	0.1	0.0
3	0.0	0.0
4	0.0	0.0

月・週	松阪市嬉野川北町	
	平年	2016年
4月.1		0.0
2	0.0	0.0
3	0.2	0.0
4	0.0	0.0
5月.1	0.4	0.0
2	0.2	0.0
3	0.1	0.0
4	0.1	0.0
6月.1	0.1	0.0
2	0.2	0.0
3	0.3	0.0
4	0.1	0.0
7月.1	0.5	0.0
2	0.9	0.0
3	1.7	0.0
4	2.0	0.0
8月.1	1.2	0.0
2	0.3	0.0
3	0.1	0.0
4	0.1	0.0
9月.1	0.2	0.0
2	0.3	0.0
3	0.3	0.0
4	1.1	0.1
10月.1	1.4	0.7
2	0.3	0.2
3	0.1	0.0
4	0.1	0.0
11月.1	0.1	0.0
2	0.0	0.0
3	0.0	0.0
4	0.0	0.0

(3) ウメ輪紋ウイルス (PPV) に関する調査

2009年4月、東京都青梅市でウメにおいて、ウメ輪紋ウイルス(以下 PPV)の感染が確認された。PPVは我が国のモモやスモモなどの果樹に重大な被害を与えるウイルスとして、これまでも特に侵入を警戒していたものである。このことから、全国的な発生状況調査が実施されることとなった。三重県においても、県内に産地が散在するウメおよび観光園地のウメを対象に、発生状況を把握するため、本年度も引き続き調査を実施した。

① 全国発生状況調査

a 調査方法

ウメを対象樹種とし、新葉が展開、硬化したあとの6月～7月に、各調査地点から5樹を選定し、各樹の異なる主枝から1樹当たり5葉以上を検定試料として採取した。また、調査地点の樹を対象として、目視にて感染によると思われる病徴の有無を確認した。試料は採取後、ただちに採取データとともに低温保管により移送し、検定実施を依頼するため名古屋植物防疫所へ送付した。

b 調査地点

地域等	市町	調査地点数	調査作物	調査日
中勢	津市	3	ウメ	2016年6月24日
南勢	南伊勢町	7	ウメ	2016年7月1日
紀州	熊野市、御浜町、紀宝町	20	ウメ	2016年7月11日
観光園地	桑名市、いなべ市、四日市市、伊賀市、名張市	7	ウメ	2016年6月2日 ～6月3日
計		37		

c 調査結果

目視による調査では、全ての調査区において感染と思われる症状は確認できなかった。
送付した試料を農林水産省が検定した結果、感染は確認されなかった。

② 感染植物特定調査

感染植物が確認された地域において、一定範囲の全ての宿主植物について感染の有無を調査し、感染の広がり、宿主植物の密度などを確認した。

a 調査方法

感染が確認された観光園地および感染樹から半径500mを含む範囲において、5月中～下旬に調査を実施した。目視にて感染によると思われる病徴の有無を確認し、ウメは病徴が認められた樹、その他の宿主植物は病徴の有無にかかわらず全ての樹から、検定試料を採取した。試料は1樹当たり5葉とし、全国発生状況調査と同様に、検定実施のため名古屋植物防疫所へ送付した。

b 調査地点

感染樹発生園地は単独で1調査地点とし、5月16日に調査を実施した。
感染樹発生園地を除く調査地域については、当該範囲を4ブロックに分け、13地点を設定した。

c 調査結果

感染樹発生園地では、調査対象となる宿主植物としてウメ464本、モモ11本を確認した。このうちウメ14本、モモ11本から試料を採取し、名古屋植物防疫所が検定した結果、新たにウメ3本で感染が確認された。なお、感染が確認されたウメ3本及び周辺樹は、1月下旬までに抜根して埋設処分された。

感染樹発生園地を除く調査地域では、ウメ25本、モモ・スモモ・ユスラウメなどのその他の宿主植物10本を調査した。このうちウメ1本、その他の宿主植物10本から試料を採取し、名古屋植物防疫所が検定した結果、全て感染は確認されなかった。

(4) キウイフルーツかいよう病 Psa3 系統に関する調査

キウイフルーツかいよう病 Psa3 系統は、2014年5月に国内で最初の発生が確認され、2017年3月31日現在で15都県において発生が確認されている。

本病は、国内にまん延した場合に有用な植物に重大な損害を与えるおそれがある重要病害虫に該当することから、全国的な発生状況調査が実施されることとなった。三重県においても、県内のキウイフルーツ生産園地を対象に発生状況を把握するため、調査を実施した。

a 調査方法

キウイフルーツを対象樹種とし、6月に、各調査園地内の全樹を対象に目視にて感染によると思われる病徴の有無を確認した。

b 調査地点

地域等	市町名	調査地点数	調査本数	調査日
北勢	鈴鹿市	1	76	2016年6月27日
中勢	津市	1	11	2016年6月14日
南勢	多気町	1	27	2016年6月14日
計		3	114	

c 調査結果

目視等による調査では、全ての調査区において感染と思われる症状は確認できなかった。

(5)ミバエ類等侵入警戒調査

ミカンコミバエ種群、ウリミバエ、チチュウカイミバエは、果樹、果菜類の重要害虫である。これら害虫の海外からの侵入防止に万全を期するため、都道府県と農林水産省植物防疫所では、地域を分担協力し、侵入警戒調査を実施している。三重県では、ミカンコミバエ種群、ウリミバエ、チチュウカイミバエを対象に、県内 6 か所にミバエ類誘引トラップを設置し、侵入警戒調査を実施している。

a 調査方法： スタイナー型トラップにミバエ類誘引用資材(メドフライコールあるいはユーゲルア)を装填し、2016年4月4日に多気町五桂、4月5日に紀北町着紀伊長島区海野、紀南果樹研究室、4月6日に津市大里窪田町、4月7日に南伊勢町船越、4月8日に桑名市多度町小山に各1器づつ設置した。1か月に2回程度(原則として、第2週及び第4週)、11月11日まで調査した。誘引用資材は、約1か月おきに交換した。

b 調査結果： 対象種の侵入は確認されなかった。

誘引頭数																																											
調査月日	桑名市多度町小山					津市大里窪田町					多気町五桂				南伊勢町船越				紀北町海野				御浜町志原																				
	ユーゲルア		メドフライコール			ユーゲルア		メドフライコール			ユーゲルア		メドフライコール		ユーゲルア		メドフライコール		ユーゲルア		メドフライコール		ユーゲルア		メドフライコール																		
	ミカン	ウリ	ミ	チ	その	ミ	ウ	ミ	チ	その	ウ	ミ	チ	その	ウ	ミ	チ	その	ウ	ミ	チ	その	ウ	ミ	チ	その																	
4月20日	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	8	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0																
4月26日																								0	0	13	0	0	0														
5月10日										0	0	42	0	0	0	0	0	5	0	0	0																						
5月11日						0	0	64	0	0	0																																
5月12日	0	0	3	0	0	0													0	0	12	0	0	0	0	0	0	0															
5月25日																								0	0	2	0	0	0														
5月30日	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	82	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0															
6月6日										0	0	2	0	0	0																												
6月8日																							0	0	0	0	0	0	0														
6月9日						0	0	3	0	0	0																																
6月10日	0	0	0	0	0	0									0	0	0	0	0	0																							
6月23日	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0															
7月1日						0	0	1	0	0	0																																
7月4日										0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	0	2	0	0	0												
7月6日																					0	0	0	0	1	0	0	0	0	0													
7月7日	0	0	0	0	0	0																																					
7月20日	0	0	0	0	0	0	0	34	0	0	0	0	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0														
8月1日																														0	0	0	0	0	0								
8月2日															0	0	0	0	0	0																							
8月3日						0	0	40	0	0	0									0	0	11	0	0	0																		
8月4日	0	0	0	0	0	0				0	0	5	0	0	0																												
8月16日										0	0	1	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	19	0	5	0																
8月17日	0	0	0	0	0	0	0	44	0	0	0																																
8月25日																																			0	0	3	0	0	0			
9月5日						0	0	58	0	0	0	0	17	0	0	0																											
9月6日																					0	0	73	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0							
9月7日															0	0	10	0	0	0																							
9月8日	0	0	7	0	0	0																																					
9月21日	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	7	0	0	0																
9月28日																																					0	0	3	0	0	0	
10月3日										0	0	0	0	0	0								0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
10月4日																					0	0	0	0	0	0																	
10月5日						0	0	1	0	0	0																																
10月6日	0	0	0	0	0	0																																					
10月21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
10月26日																																						0	0	0	0	0	0
11月7日										0	0	0	0	0	0																												
11月8日																							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
11月10日						0	0	0	0	0	0																																
11月11日	0	0	0	0	0	0									0	0	0	0	0	0																							

(6) 火傷病侵入警戒調査

りんご、なしなどに被害をもたらす火傷病菌は、国内で発生・まん延した場合に農業生産に与える影響が極めて大きく、また、その宿主植物の輸入時における発見が困難であることから、植物防疫法で輸入禁止植物の対象病菌として取り扱われている重要病菌である。三重県においても、火傷病防疫指針にのっとり、侵入警戒調査を実施している。

a 調査方法

宿主植物のなかで、本県の果樹・花木を生産する目的で栽培される主要な植物として「日本なし」、「かなめもち」を選定し、調査対象植物とした。「日本なし」については主要な5産地にそれぞれ1~2か所ずつ調査地を設定した。また、「かなめもち」については農業研究所鈴鹿市駐在(旧花植木センター)に1か所の調査地を設定した。

火傷病の症状について、枝、葉、果実等で目視により確認した。

日本なしについては、2016年4月から9月まで、1か月に1回(第2~3週)調査した。

かなめもちについては、2016年4月から8月まで、1か月に1回(第2~3週)調査した。

b 調査樹種および地点

○日本なし(幸水、豊水)

調査圃場	調査樹数
四日市市下海老町	60
津市久居小野辺町	63
津市香良洲町	60
松阪市笹川町	50
玉城町富岡	60
伊賀市羽根 1	33
伊賀市羽根 2	50

○かなめもち(レッドロビン)

調査圃場: 鈴鹿市高塚町 農業研究所鈴鹿市駐在圃場

調査本数: 40本(植栽本数6本、34本の2か所)

c 調査結果

対象病害の発生は確認されなかった。

2. 巡回等データ

(1) 水稻

a ブラスタムによる葉いもちの感染好適条件判定結果

- : 好適条件 (いもち病発生の好条件が全て満たされた。)
- ◎ : 準好適条件(湿潤時間の平均気温が比較的低いが湿潤時間10時間以上)
- : 準好適条件(湿潤時間の平均気温は15～25℃でないが湿潤時間10時間以上)
- ▲ : 準好適条件(前5日の平均気温は25℃以上だが湿潤時間10時間以上)
- △ : 準好適条件(前5日の平均気温は20℃未満だが湿潤時間10時間以上)
- () : 好適条件は満たされなかったが、湿潤時間が5時間以上(数値は湿潤時間)
- : 好適条件・準好適条件は満たされなかった。

2016年	桑名	四日市	亀山	津	上野	粥見	小俣	南伊勢	鳥羽	紀伊長島	尾鷲	熊野新鹿	新宮(参考)	備考
5/01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/07	(7)	(6)	○	-	○	○	◎	◎	○	○	○	(7)	◎	
5/08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/09	(9)	◎	(8)	(5)	(8)	◎	(7)	(9)	◎	◎	-	◎	(6)	
5/10	◎	-	-	(6)	(6)	(7)	△	-	-	(5)	(6)	(6)	(5)	
5/11	(9)	-	(9)	(9)	-	(8)	-	-	-	-	-	-	-	
5/12	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	△	-	(7)	
5/17	-	-	-	-	-	(5)	-	-	-	-	-	-	-	
5/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/26	(5)	-	(5)	-	-	-	-	-	-	(5)	●	(5)	●	
5/27	●	●	●	(9)	(9)	●	●	-	●	●	●	●	-	
5/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(7)	(9)	●	-	
5/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/30	-	(5)	-	-	-	●	-	-	-	●	-	(7)	●	
5/31	-	-	-	-	◎	-	-	-	-	(9)	-	-	-	
6/01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	東海地方梅雨入り
6/05	●	●	◎	◎	(5)	-	(5)	(7)	-	(6)	-	(8)	-	
6/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	(9)	(7)	
6/08	●	△	△	(6)	(8)	△	△	△	△	△	△	△	(5)	
6/09	-	-	(6)	(8)	-	△	◎	△	△	◎	△	-	(8)	
6/10	-	-	-	-	-	-	-	-	(9)	△	-	-	-	
6/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/13	(6)	(5)	-	-	(7)	-	(5)	(5)	(5)	-	-	-	-	
6/14	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/16	●	(6)	-	-	-	(6)	(7)	●	●	(6)	(9)	(8)	(8)	
6/17	●	(5)	-	-	(5)	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/19	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/20	-	-	(6)	(8)	●	-	-	(7)	(8)	(8)	(8)	(6)	-	
6/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/22	(8)	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/23	-	-	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●	-	
6/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/25	-	-	-	-	(9)	-	-	-	-	-	-	●	(6)	
6/26	●	-	-	-	-	-	◎	(8)	◎	-	-	-	-	
6/27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/28	-	-	(5)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/29	-	-	-	◎	●	●	●	●	●	●	-	-	●	
6/30	●	●	(5)	-	●	●	●	●	●	●	-	-	(6)	

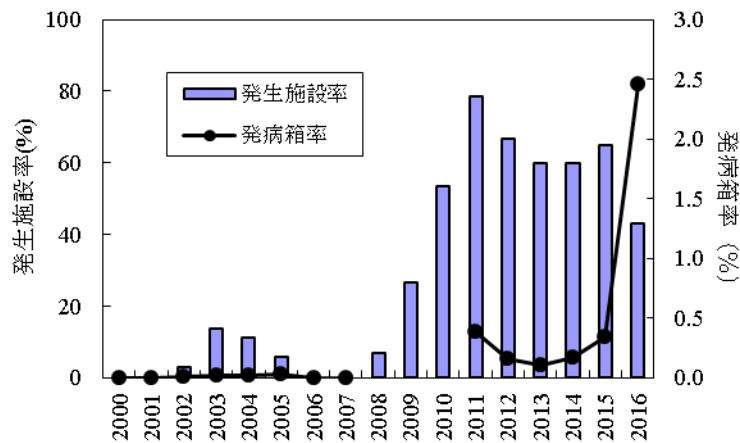
2016年	桑名	四日市	亀山	津	上野	粥見	小俣	南伊勢	鳥羽	紀伊長島	尾鷲	熊野新鹿	新宮(参考)	備考
7/01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/06	(9)	▲	▲	-	-	-	-	▲	▲	▲	▲	-	-	
7/07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/09	-	(6)	-	-	(9)	(6)	(6)	(5)	(6)	(6)	(7)	(5)	(6)	
7/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(5)	
7/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	
7/12	-	○	-	(6)	(6)	(6)	-	○	-	▲	(8)	-	-	
7/13	-	(7)	(5)	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/14	-	(9)	-	-	○	▲	-	-	-	-	-	-	-	
7/15	-	-	-	-	▲	-	-	-	▲	-	-	-	-	
7/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/18	-	▲	▲	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	
7/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/22	-	-	-	-	-	▲	-	(5)	-	-	▲	▲	-	
7/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(8)	-	-	-	
7/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(8)	-	-	-	
7/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/27	-	-	(7)	(8)	(8)	●	●	(8)	●	(9)	(7)	-	-	
7/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(8)	-	-	東海地方梅雨明け
7/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/02	-	-	-	-	-	-	-	-	(5)	-	-	-	-	
8/03	-	-	-	-	-	▲	-	-	-	▲	-	-	-	
8/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲	▲	-	
8/05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/15	-	-	-	-	▲	-	-	-	-	-	○	-	○	
8/16	-	-	(6)	-	-	-	-	-	-	(6)	-	-	-	
8/17	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲	○	-	
8/19	-	-	-	-	-	-	-	-	(5)	(6)	-	○	-	
8/20	-	(9)	(7)	-	-	-	-	(7)	○	-	(5)	-	-	
8/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(9)	(6)	-	-	
8/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/24	○	(5)	(5)	-	-	-	-	-	-	-	(5)	-	-	
8/25	-	-	(5)	-	-	(8)	-	(7)	-	-	○	(6)	-	
8/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/27	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/28	(9)	▲	(9)	-	-	-	-	-	-	-	(5)	○	-	
8/29	-	○	-	-	-	▲	-	○	○	○	-	(7)	-	
8/30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

b 5月データ

水稲育苗施設巡回調査における、ばか苗病の発生状況(2016年4月)

調査日	JA育苗施設	ばか苗病(コシヒカリ)			その他の品種			種子消毒、播種同時施用箱粒剤	培土	
		発生箱率(%)	発生箱数	調査箱数	発生箱数	調査箱数	品種			
4/8	三重南紀	紀宝	2.6	23	880	0	60	キヌヒカリ	温湯消毒	クリーン2号
		御浜	-	-	-	0	140	あきたこまち	-	-
		熊野	0.2	1	660	-	-	-	紀宝で実施、播種翌日移動	クリーン2号
	伊勢	紀北	0.0	0	720	0	60	キヌヒカリ	紀宝で種子消毒のみ実施	クリーン2号
		-	-	-	0	33	満月もち	-	-	-
		紀北	0.0	0	684	0	50	キヌヒカリ	テクリードC・スミチオン	クリーン2号
4/11	鳥羽志摩	鶴方	参考 22.2	289	1,304	参考 37	368	あきたこまち	温湯消毒(2台中1台調子悪い)	クリーン2号
		勝田	0.0	0	1,000	0	1,000	みえのえみ	テクリードC・スミチオン	クリーン2号
	多気郡	大台	0.0	0	174	0	61	あゆみもち	-	サンバイド
		大足	25.4	128	504	1	1,000	キヌヒカリ	温湯消毒	-
		松阪	6.6	62	936	-	-	-	大足で緑化まで実施	サンバイド
		美濃田	16.1	183	1,136	-	-	-	最初のロットのみ多発、以後減少	-
4/13	津安芸	楠形	0.0	0	1,000	0	416	みえのえみ	温湯消毒	クリーン2号
		鈴鹿	0.4	4	1,000	0	504	あきたこまち	テクリードC・スミチオン	クリーン2号
	みえきた	南部	0.0	0	1,000	-	-	-	モミガードC・スミチオン	クリーン2号
		員弁	0.0	0	1,000	-	-	-	播種時同時スタウトダントツ	クリーン2号
		桑名	0.2	4	2,000	-	-	-	テクリードC・スミチオン	覆土三菱軽量
		阿山	0.0	0	1,000	-	-	-	対象によって温湯消毒	クリーン2号
いひまほくぶ	上野南	0.0	0	1,000	-	-	-	タチガレエースM液剤	一部城南培土	
	伊賀南部	0.0	0	1,000	-	-	-	温湯消毒	一部ツインターボ処理	
4/14	三重中央	名張	0.0	0	1,000	-	-	-	温湯消毒	クリーン2号
		白山	0.0	0	1,000	2	300	みえのゆめ	一部ルーチンアドスピノ処理	クリーン2号
	一志東部	久居	0.0	0	1,000	-	-	-	エコホープDJ	クリーン2号
		嬉野	0.1	1	1,000	-	-	-	種子消毒:酸性水	クリーン2号
	三雲	三雲	0.0	0	1,000	-	-	-	床土消毒:酸性水	不在で開き取りできず
		三雲	0.1	1	1,000	-	-	-	温湯消毒	温湯消毒
県全体平均(コシヒカリ)		2.46	3年平均0.20%	発生施設率42.9%	3年平均61.7%					

その他の病害: 苗立枯病、細菌性苗腐敗症、いもち病の発生なし。



JA育苗施設におけるばか苗病の発生状況の推移(2000年～2016年、巡回調査結果、コシヒカリのみ、2008～2010年は発生箱率未調査)

水稻病害虫の発生状況(2016年5月)

地区	調査 月日	調査 圃場数	イネミズゾウムシ									葉いもち	
			被害程度別圃場割合(%)					株当たり 成虫数 (頭)	被害 株率 (%)	被害度	本田 発生 圃場率 (%)	補植苗を 確認した 圃場の 割合(%)	
			発生圃 場率(%)	甚	多	中	少						無
桑名	5/12	32	21.9	0	0	6	16	56	0.02	9.6	3.1	0	18.8
四日市鈴鹿	5/9、5/11	48	27.1	0	0	0	27	67	0.02	4.2	1.1	0	60.4
津	5/11	34	58.8	0	0	3	56	41	0.04	19.6	5.0	0	44.1
松阪	5/10、5/11	36	11.1	0	0	0	11	89	0.00	1.7	0.4	0	33.3
伊勢志摩	5/9、5/10、5/13	40	77.5	0	0	0	78	23	0.05	21.0	5.3	0	30.0
伊賀	5/13	28	10.7	0	0	0	11	89	0.02	3.0	0.8	0	28.6
紀州	5/12	16	50.0	0	0	6	44	50	0.17	22.3	5.6	0	31.3
県全体		234	36.8	0	0	1.7	35.0	59.0	0.03	10.8	2.7	0	37.2
平年値(10年平均)			62.3	0.9	2.6	10.2	49.2	37.0	0.05	24.1	8.2	0.1	47.2

定点におけるイネミズゾウムシ発生状況(2016年5月)

地区	調査場所	品種	移植(予定)日	移植時の殺虫剤・殺菌剤施用 (苗購入後の処理)	被害株率(%)	被害度	被害程度	株当たり虫数(頭)
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	コシヒカリ	5/5	なし	0	0	無	0
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	コシヒカリ	4/29頃	エバーゴールド箱粒剤	0	0	無	0
	菟野町竹成	(コシヒカリ)	5/10または3週目頃	なし			未定植のため調査不能	
	鈴鹿市矢橋町	(神の穂)	5/13	ツインターボ箱粒剤08			未定植のため調査不能	
	鈴鹿市御園町	コシヒカリ	4/20	ルーチンアドスピノ箱粒剤	28	7	少	0
津	亀山市山下町	コシヒカリ	4/19	ダントツ粒剤	12	3	少	0
	津市安東町	コシヒカリ	4/22	なし	0	0	無	0
	津市安濃町草生	コシヒカリ	4/29	なし	28	9	少	0.24
	津市一志町井生	コシヒカリ	4/26	タチガレエース液剤	56	16	少	0.08
松阪	松阪市美濃田町	コシヒカリ	5/4~5	ルーチン粒剤	0	0	無	0
	多気町兄国	コシヒカリ	5/3	デジタルコラトップアクタラ	0	0	無	0
	明和町坂本	コシヒカリ	4/26	ツインターボ箱粒剤08	0	0	無	0
伊勢 志摩	伊勢市円座町	コシヒカリ	4/22	オリゼメートオンコル粒剤	48	12	少	0.16
	玉城町蚊野	コシヒカリ	4/25	なし	20	5	少	0
	志摩市磯部町田之郷	コシヒカリ	4/16 or 4/18	バリアード箱粒剤	4	1	少	0.12
伊賀	伊賀市大野木	コシヒカリ	5/7	ツインターボ箱粒剤08	0	0	無	0
	伊賀市甲野	コシヒカリ	5/5~6	ツインターボ箱粒剤08	0	0	無	0
紀州	紀北町赤羽	コシヒカリ	4/15 or 4/20	ビルダースタークル箱粒剤	0	0	無	0
	熊野市飛鳥町	コシヒカリ	4/29	バリアード箱粒剤	0	0	無	0
県庁察圃	農業研究所	コシヒカリ	4/25	なし	42	11	少	0
定点平均		-	-	-	13.2	3.5	少	0.03
平年値(10年平均)		-	-	-	23.5	8.4	-	0.05

※イネミズゾウムシ被害度に対する被害程度:0(無)、1~20(少)、21~40(中)、41~70(多)、71以上(甚)

コムギを指標作物とした、斑点米カメムシ類の発生状況(2016年5月)

地区	調査地点	ミナミアオ カメムシ	アオクサ カメムシ	ホソハリ カメムシ	シラホシ カメムシ類	アカスジ カスミカメ	アカヒゲホ ソミドリカス ミカメ	備考
桑名	いなべ市大安町片樋	0.5	0	0	0	1.0	0	
四日市	菰野町池底	0	0	0	0	2.3	0	
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	0	0	0	0	0.8	0	
津	津市殿村	0	0	0	0	0	0	
松阪	松阪市藤之木	0	0	0.3	0	0	0	
	多気町兄国	0	0	0	0	0.3	0	
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	0	0	0	0	0.5	0	
伊賀	伊賀市西之澤	0	0	0	0	0	0	
	伊賀市畑村	0	0	0	0	0	0	
県全体	発生圃場率(%)	2.8	0	2.8	0	30.6	0	
	すくい取り成虫数	0.1	0	0.03	0	0.5	0	
3年平均	発生圃場率(%)	7.1	0.0	11.3	1.3	27.6	0.0	
	すくい取り成虫数	0.12	0.0	0.2	0.01	0.7	0.0	

すくい取り成虫数(頭/20回振)。各地点4圃場において調査。

c 6月データ

本田および置き苗における葉いもちの発生状況(2016年6月)

地区	調査 月日	本田調査					置き苗調査				
		発生程度別圃場割合(%)					発生無	発病度	放置率 (%)	発生圃場率 (全調査圃場に 対する割合%)	
		発生有									
計	甚	多	中	少							
桑名	6/10	0	0	0	0	0	100	0	15.6	0	
四日市鈴鹿	6/7,9	0	0	0	0	0	100	0	31.3	0	
津	6/9	0	0	0	0	0	100	0	19.4	0	
松阪	6/6,9	0	0	0	0	0	100	0	11.1	0	
伊勢志摩	6/6,7,10	0	0	0	0	0	100	0	2.5	0	
伊賀	6/8	0	0	0	0	0	100	0	14.3	0	
紀州	6/8	0	0	0	0	0	100	0	12.5	0	
県全体		0	0	0	0	0	100	0	16.1	0	
10年平均		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0	15.6	0.4	

広域病害虫防除員によるいもち病初発調査(2016年6月) 3地点10圃場について100m2条見歩き調査。

地区	調査 月日	調査場所	本田調査		置き苗調査		備考
			発生 圃場率 (%)	放置率 (%)	発生圃場率 (全調査圃場に 対する割合%)		
桑名	6/6	桑名市上ノ輪	0	0	0	田植:5月21日、品種:キヌヒカリ。生育良好。スクミンゴガイあり。	
		桑名市長島町下坂手	0	40	0	田植:4月15日頃、品種:コシヒカリ。中干し中。イネドロオイムシあり。	
		いなべ市北勢町畑毛	0	30	0	田植:コシヒカリ5月2日頃、キヌヒカリ5月13日頃。全体的にイネミズゾウムシの被害みられる。オタマジャクシ多い。	
鈴鹿	6/2	鈴鹿市算所	0	0	0	雑草散見される。	
		鈴鹿市庄野	0	20	0		
		鈴鹿市須賀	0	10	10		
津市	6/2	一志町井生	0	20	0	一部圃場でイネミズゾウムシ被害みられる。	
		一志町八太	0	0	0		
		白山町二本木	0	50	0		
松阪	6/8	小阿坂町山見	0	0	0		
		飯多	0	10	0	スクミンゴガイ卵塊散見。コウキヤガラ多発生(一部圃場)。	
		美濃田地蔵・八田	0	0	0	コウキヤガラ多発生(一部圃場)。	
伊勢	6/6	磯部町恵利原A	0	40	0	下位葉に赤枯症状あり。	
		磯部町恵利原B	0	20	0	下位葉に赤枯症状あり。	
		磯部町恵利原C	0	10	0	イネミズゾウムシ被害みられる。	
伊賀	6/8	猪田地区	0	20	0	田植:コシヒカリ5月4~5日。初期生育良好。各圃場ヒエ多発生。	
		森寺地区	0	60	0	初期生育良好。本年は、置き苗撤去が遅れている圃場が多い。ヒエ等の雑草は少ない。	
		比自岐地区	0	10	0	初期生育良好。各圃場雑草が少なく良く管理されている。	
東紀州	6/8	熊野市金山	0	10	10	草丈:約35~40cm	
		御浜町下市木	0	20	0	草丈:約35cm	
		紀宝町井内	0	10	10	草丈:約45cm	
県全体			0.0	18.1	1.4	-	
平年値(10年平均)			0.2	14.7	2.3		

水稲病害虫発生状況(2016年6月)

地区	調査 月日	調査 圃場数	はらい落とし調査(虫数/10株)				イネドロオイムシ		イネ	イネク	フタオビコ	イナゴ類	
			センジロウカ	ヒトビウカ	ツマグロコバイ	イネミズ	発生	被害度	イネ	イネク	フタオビコ	イナゴ類	
			成虫	成虫	成虫	幼虫	圃場率(%)		圃場率(%)	圃場率(%)	圃場率(%)	圃場率(%)	
桑名	6/10	32	0	0.1	0.2	0.1	0.1	25.0	0.3	12.5	0	0	37.5
四日市鈴鹿	6/7,9	48	0	0.1	0	0.1	0.7	10.4	0.2	8.3	0	2.1	45.8
津	6/9	36	0	0.1	0.7	0.8	0.8	13.9	0.4	0	0	0	41.7
松阪	6/6,9	36	0	0.1	0	0.0	0.6	13.9	0.4	2.8	0	0	19.4
伊勢志摩	6/6,7,10	40	0	0.0	0.1	0.4	0.3	2.5	0.1	0	2.5	0	17.5
伊賀	6/8	28	0	0.1	0	0	0.4	17.9	1.1	0	0	0	82.1
紀州	6/8	16	0	0	0.2	0.1	0.1	0	0	0	6.3	12.5	31.3
県全体		236	0.0	0.1	0.2	0.2	0.5	12.3	0.3	3.8	0.8	1.3	38.6
10年平均(※7年平均)			0.003	0.01	0.04	0.11	0.37	4.0	0.13※	29.0※	3.7	0.9	19.7※

その他病害虫:ばか苗病、イナズマコバイ、ササキリ類、スクミンゴガイ

圃場周辺の雑草地における斑点米カメムシ類の発生状況(2016年6月)

地区	調査 月日	調査 地点数	ホソハリカメムシ 成幼虫		クモヘリカメムシ 成幼虫		シラホシカメムシ類 成幼虫		アカスジカスミカメ 成虫		アカヒゲホソミドリカスミカ メ成虫	
			発生地点率 (%)	虫数	発生地点率 (%)	虫数	発生地点率 (%)	虫数	発生地点率 (%)	虫数	発生地点率 (%)	虫数
桑名	6/10	16	12.5	0.2	0	0	0	0	50.0	1.4	50.0	0.9
四日市鈴鹿	6/7,9	24	8.3	0.1	0	0	4.2	0.04	41.7	1.4	41.7	1.2
津	6/9	16	6.3	0.2	0	0	0	0	18.8	0.5	12.5	0.2
松阪	6/6,9	18	5.6	0.1	0	0	0	0	33.3	6.3	0	0
伊勢志摩	6/6,7,10	20	0	0	0	0	5	0.05	20.0	0.8	35.0	2.2
伊賀	6/8	14	0	0	0	0	0	0	14.3	0.5	7.1	0.14
紀州	6/8	8	25.0	0.3	0	0	0	0	12.5	0.6	0	0
県全体		116	6.9	0.1	0	0	1.7	0.02	29.3	1.8	24.1	0.8
10年平均			9.1	0.2	0.2	0.01	5.7	0.1	34.9	2.0	7.8	0.19

※畦畔、のり面、休耕地等における20回振りすくい取り調査

定点圃場における病害虫発生状況(2016年6月)

地区	調査場所	葉いもち		はらい落とし調査(虫数/10株)					イネドロオイムシ		イネクロカメムシ		その他病害虫 (見取り調査および圃場内すくい取り虫数)
		発病度	発病程度	セジロウンカ成虫	ヒトヒウナ成虫	ツマグラヨコバエ成虫	イネズムシ	被食度	発生程度	成虫数(25株)	被害率(%)		
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	イナゴ幼(5)
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	イナゴ幼(1)、アカスジカスミカメ成(1)
	菰野町竹成	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	
	鈴鹿市矢橋	0	無	0	0	0	0	1	0	無	0	0	筋状に株枯れ
	鈴鹿市御園町	0	無	0	0	0	0	3	0	無	0	0	
	亀山市山下町	0	無	0	0	0	0	1	0	無	0	0	ササキリ類幼(1)
津	津市安東町	0	無	0	0	1	2	0	0	無	0	0	
	津市安濃町草生	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	
	津市一志町井生	0	無	0	0	2	3	0	0	無	0	0	イナゴ幼(2)
松阪	松阪市美濃田町	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	
	多気町兄国	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成(1)、アカヒゲホソミドリカスミカメ成(1)
	明和町坂本	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	
伊勢 志摩	伊勢市内座町	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	
	玉城町蚊野	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	
	志摩市磯部町下之郷	0	無	0	0	0	1	1	0	無	0	0	ばら苗病、イナゴ幼(4)
伊賀	伊賀市大野木	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	
	伊賀市甲野	0	無	0	1	0	0	0	0	無	0	0	
紀州	紀北町紀伊長島区赤羽	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	イナゴ幼(13)、アカスジカスミカメ成(1)
	熊野市飛鳥町	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	
県庁	農業研究所	0	無	0	0	1	5	1	0	無	0	0	フタオビヨウガ幼(1)

葉いもち発病度(発病程度);0(無)、1-20(少)、21-40(中)、41-70(多)、71以上(甚)。イネドロオイムシ被害度(発生程度);0(無)、1-20(少)、21-50(中)、51-70(多)、71以上(甚)

d 7月データ

水稲病害発生状況(2016年7月)

地区	調査 月日	調査 圃場 数	葉いもち							紋枯病			
			程度別発生圃場率(%)					発生 無	発病 度	発病 株率 (%)	上位葉 進展率 (発病株 に対する 割合%)	発生 圃場率 (%)	発病 株率 (%)
			計	甚	多	中	少						
桑名	7/7	32	0	0	0	0	0	100.0	0	0	0	6.3	0.3
四日市鈴鹿	7/7,8	48	8.3	0	0	0	8.3	91.7	0.5	2.2	0	4.2	0.3
津	7/5	36	13.9	0	0	0	13.9	86.1	0.7	2.8	4.0	22.2	1.3
松阪	7/4,7/7	36	25.0	0	0	0	25.0	75.0	0.8	3.0	33.3	0	0
伊勢志摩	7/4,6,8	40	10.0	0	0	0	10.0	90.0	0.2	0.8	37.5	0	0
伊賀	7/5	28	0	0	0	0	0	100.0	0	0	0	0	0
紀州	7/6	16	50.0	0	0	0	50.0	50.0	3.9	15.5	0	0	0
県全体		236	12.7	0	0	0	12.7	87.3	0.6	2.5	14.9	5.1	0.3
平年(10年平均)			23.6	0.0	0.3	2.6	20.8	76.4	2.3	6.8	1.6	7.4	1.0

水稲害虫発生状況(2016年7月)

地区	調査 月日	調査 圃場 数	ほらい落とし調査(10株当たり)										見取り調査						
			セジロウムカ		トビイロウムカ		ヒメトビウムカ		ツマグロヨコバイ			イネミズゾウムシ		フタオビコヤガ		イネクロカメムシ		ニカ メイガ	イネ ヨトウ
			発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	幼虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	被害 株率(%)	被害 発生圃 場率(%)	発生圃 場率(%)
桑名	7/7	32	0	0	0	0	43.8	0.94	43.8	0.28	2.63	3.1	0.03	0	0	12.5	0.50	62.5	0
四日市鈴鹿	7/7,8	48	0	0	0	0	33.3	0.54	31.3	0.35	0.94	2.1	0.02	4.2	0.04	0	0	18.8	4.2
津	7/5	36	0	0	0	0	16.7	0.22	41.7	0.11	1.97	2.8	0.03	13.9	0.14	11.1	0.89	30.6	2.8
松阪	7/4,7/7	36	0	0	0	0	44.4	0.78	38.9	0.11	1.25	5.6	0.14	5.6	0.06	2.8	0.33	8.3	2.8
伊勢志摩	7/4,6,8	40	5.0	0.08	0	0	17.5	0.35	45.0	0.80	3.03	12.5	0.20	0	0	0	0	22.5	0
伊賀	7/5	28	0	0	0	0	0	0	10.7	0.11	0.07	0	0.00	3.6	0.04	0	0	0	0
紀州	7/6	16	31.3	0.44	0	0	25.0	0.38	68.8	1.00	1.50	18.8	0.19	12.5	0.13	0	0	12.5	0
県全体		236	3.0	0.04	0	0	26.7	0.47	38.1	0.36	1.66	5.5	0.08	5.1	0.05	3.8	0.25	22.9	1.7
平年(10年平均)			5.1	0.63	0.1	0.15	7.9	0.32	29.8	0.36	2.12	8.1	0.11	6.0	0.08	22.3	3.1	13.3	1.5

定点圃場における水稲病害発生状況(2016年7月)

地区	調査場所	葉いもち			紋枯病			すくい取り20回調査				すくい取り調査・斑点米カメムシ類 (見取り調査・その他害虫)	
		発病 株率(%)	発病 度	発病 程度	発病 株率(%)	発病 度	発病 程度	セジロ ウムカ	トビイロ ウムカ	ヒメトビ ウムカ	ツマグロ ヨコバイ 成虫		幼虫
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	0	0	無	0	0	無	0	0	3	0	0	ウムカ類幼7。(ニカメイガ、イナゴ類)
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	0	0	無	0	0	無	0	0	1	0	0	ウムカ類幼1
	菰野町竹成	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	イナゴ幼1。(ニカメイガ、イナゴ類)
	鈴鹿市矢橋町	0	0	無	0	0	無	0	0	5	0	0	
	鈴鹿市御園町	0	0	無	0	0	無	1	0	0	1	0	(ニカメイガ)
	亀山市山下町	0	0	無	0	0	無	0	0	2	0	1	イナゴ幼1
津	津市安東町	0	0	無	0	0	無	0	0	2	0	1	ウムカ類幼9
	津市安濃町草生	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	イナゴ幼1。(イナゴ類)
	津市一志町井生	28	7	少	0	0	無	0	0	4	1	0	ウムカ類幼2。(イナゴ類)
松阪	松阪市美濃田町	0	0	無	0	0	無	0	0	1	0	0	ウムカ類幼12。(雑草多い)
	多気町兄国	0	0	無	0	0	無	0	0	1	0	0	ウムカ類幼12
	明和町坂本	0	0	無	0	0	無	0	0	0	2	0	(イナゴ類、ササキ類)
伊勢 志摩	伊勢市四座町	0	0	無	0	0	無	0	0	0	1	0	
	玉城町蚊野	0	0	無	0	0	無	0	0	1	0	0	ウムカ類幼2、イナゴ幼4、ホソハリ幼1。(ニカメイガ、イチモンジセセリ、イナゴ類)(畦畔雑草管理不十分)
	志摩市磯部町下之郷	0	0	無	0	0	無	1	0	0	0	0	
伊賀	伊賀市大野木	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	
	伊賀市甲野	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	
紀州	紀北町紀伊長島区赤羽	60	15	少	0	0	無	1	0	4	0	0	ウムカ類幼4、クモヘリ成1、イネカメ1。(ニカメイガ)
	熊野市飛鳥町	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	ウムカ類幼1、クモヘリ成1
県予察圃	農業研究所(無防除)	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	イネミズゾウムシ成2、イナゴ幼1。(イナゴ類、ササキ類)

葉いもちおよび紋枯病発病度(発病程度):0(無)、1-20(少)、21-40(中)、41-70(多)、71以上(甚)

出穂期の圃場および畦畔イネ科雑草における、斑点米カメムシ類の発生状況(20回振りすくい取り)(2016年7月)

地区	調査月日	調査地点数	ホソハリカメムシ 成幼虫		クモヘリカメムシ 成幼虫		シラホシカメムシ類 成幼虫		アカスジカスミカメ 成虫		アカヒゲホソミドリカ スミカメ成虫		ミナミアオカメムシ 成幼虫		その他 斑点米 カメムシ類
			発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	
桑名	7/7	16	6.3	0.06	0	0	0	0	6.3	0.06	0	0	0	0	-
四日市鈴鹿	7/7,8	24	4.2	0.04	4.2	0.04	0	0	0	0	4.2	0.04	0	0	-
津	7/5	18	22.2	0.28	5.6	0.28	0	0	0	0	5.6	0.06	0	0	-
松阪	7/4,7/7	18	5.6	0.17	16.7	3.17	0	0	11.1	0.22	0	0	0	0	-
伊勢志摩	7/4,6,8	20	10.0	0.15	25.0	0.80	0	0	0	0	0	0	0	0	-
伊賀	7/5	14	7.1	0.07	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
紀州	7/6	8	12.5	0.13	12.5	0.13	0	0	0	0	0	0	0	0	-
県全体		118	9.3	0.13	9.3	0.68	0	0	2.5	0.04	1.7	0.02	0	0	-
平年(10年平均)			23.8	0.60	6.6	0.49	11.0	0.17	30.0	3.54	10.0	0.36	3.1	0.08	-

出穂期の圃場内、畦畔、のり面、休耕地等を調査。

畦畔および圃場内における、斑点米カメムシ類(中型種成虫)の発生状況・広域病害虫防除員による調査(2016年7月)

地区	調査月日	調査場所	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	シラホシカメムシ類	備考
桑名	7/6	桑名市上ノ輪	0.2	0	0	昨年より全体的に生育良好、イネミズゾウムシ・スクミンゴガイ多い圃場あり、セリ・キシュウスズメノヒエ多い圃場あり
		桑名市長島町下坂手	0	0.2	0	チョウジタデ・コナギ・ホタルイ多い圃場あり
		いなべ市北勢町畑毛	0	0	0	生育良好、イネクロカメムシ(成)0.2頭、コナギ・タデ類多い圃場あり
鈴鹿	7/10	鈴鹿市算所	1.4	0	0	シマズメノヒエ多い圃場あり
		鈴鹿市庄野	1.2	0.2	0	アカスジカスミカメ(成)5.2頭、雑草多い圃場あり
		鈴鹿市須賀	2.2	0	0.2	アカスジカスミカメ(成)0.6頭、シマズメノヒエ多い圃場あり
津市	7/2	一志町井生	0.4	7.0	0.4	アカスジカスミカメ(成)2.6頭、イナゴ幼虫多い
		一志町八太	1.2	2.2	0.8	アカスジカスミカメ(成)4.6頭、イナゴ幼虫多い
		白山町二本木	0.2	0	0	アカスジカスミカメ(成)0.6頭、イナゴ幼虫多い
松阪飯多	7/8	小阿坂町山見	0.4	7.0	0	ニカメイガによる食害圃場あり
		小阿坂町ふけ	3.0	1.6	0	-
		美濃田北蔵	0.8	4.2	0	ヒエ・コウキヤガラ多い圃場あり
伊勢	7/4	磯部町恵利原A	0	0	0	その他害虫が見当たらず
		磯部町恵利原B	1.2	0.6	0	穂ばらみ期、畔草除草刈り残しのヒエ(穂)にカメムシあり
		磯部町恵利原C	0	0	0	穂ばらみ期、畔草管理良好
伊賀	7/11	猪田地区	0	0	0	葉いもちは見られず生育は良好、調査圃場周辺イナゴ多い
		森寺地区	0	0	0	葉いもちは見られず生育は良好、調査圃場でイナゴが確認され、多発圃場も見られた
		比自岐地区	0	0	0	畔草等水田の管理が良く、葉いもちは見られず生育は良好、調査圃場でイナゴが確認された
東紀州	7/10	熊野市金山	2.8	0.4	0.2	出穂初期(草丈約75cm)、畦畔草丈10~20cm
		御浜町下市木	0.2	0.6	0	出穂初期(草丈75~80cm)、ヨコバイ類多い、畦畔草丈10~15cm
		紀宝町井内	1.2	0.4	0	出穂済み(草丈約80cm)、イナゴ(体長約4cm)多い、畦畔草丈短い
県全体			0.78	1.16	0.08	-
平年値(10年平均)			0.28	0.14	0.06	-

e 8月データ

水稲病害発生状況(2016年8月)

地区	調査 月日	調査 圃場 数	穂いもち			葉いもち ^a			上位葉 進展率 (発病株 に対する 割合%)	紋枯病					発病 度	発病 株率 (%)	白葉枯 病 発生圃 場率(%)	ごま葉枯 病 ^a 発生圃 場率(%)
			発生 圃場率 (%)	発病 株率 (%)	発病 穂率 (%)	発生 圃場率 (%)	発病 株率 (%)	程度別発生圃場率(%)										
								計		甚	多	中	少					
桑名	8/5	32	0	0	0	0	0	0	21.9	0	0	0	21.9	0.3	1.1	0	12.5	
四日市鈴鹿	8/4,6	44	0	0	0	15.9	1.8	35.0	6.8	0	0	0	6.8	0.2	0.7	0	0	
津	8/5	36	0	0	0	5.6	0.6	20.0	13.9	0	0	0	13.9	0.4	1.1	0	0	
松阪	8/5,6	36	0	0	0	2.8	0.1	0	2.8	0	0	0	2.8	0.1	0.2	0	11.1	
伊勢志摩	8/4,7	40	2.5	0.1	0.004	5.0	0.3	66.7	7.5	0	0	0	7.5	0.3	0.8	0	0	
伊賀	8/3	28	0	0	0	0	0	0	7.1	0	0	0	7.1	0.1	0.4	0	0	
紀州	8/4,6	16	31.3	3.5	0.2	31.3	12.0	29.2	12.5	0	0	0	12.5	0.4	1.0	0	0	
県全体		236	2.5	0.3	0.01	8.1	1.4	30.0	9.7	0	0	0	9.7	0.2	0.7	0.0	3.4	
平年値(10年平均、 ^a 7年平均)			9.7	1.6	0.1	13.9	3.5	24.9	29.2	0.0	0.1	2.0	27.1	1.9	7.7	0.2	3.9	

穂いもち発生状況・広域病害虫防除員による調査(2016年8月)

地区	調査 月日	調査場所	発病 株率(%) ^a	発病穂率(%)			備考
				計	穂首 ^a	枝穂 ^a	
桑名	8/5	桑名市上ノ輪	0	0	0	0	紋枯病中程度。穂ずれあり。
		桑名市長島町下坂手	0	0	0	0	
		いなべ市北勢町畑毛	0	0	0	0	
鈴鹿	8/4,5	鈴鹿市算所	0	0	0	0	—
		鈴鹿市庄野	1.6	0.1	0.03	0.03	
		鈴鹿市須賀	0.8	0.04	0	0.04	
津市	8/2	一志町井生	0	0	0	0	区外で穂首いもちを確認した。また、一部圃場で紋枯病を確認した。 区外で穂首いもちを確認した
		一志町八太	0	0	0	0	
		白山町二本木	0	0	0	0	
松阪 飯多	8/5,6	小阿坂町山見	0	0	0	0	畦畔の周囲鳥害あり
		小阿坂町ふけ	0	0	0	0	
		美濃田北蔵	0	0	0	0	
伊勢	8/1	磯部町恵利原A	0	0	0	0	変色穂(茶色)が散見された
		磯部町恵利原B	0	0	0	0	
		磯部町恵利原C	0	0	0	0	
伊賀	8/12	猪田地区	4.0	0.3	0.1	0.2	スズメの食害とみられる圃場が多い。一部圃場に紋枯病がみられた。各圃場ヒエが多い。 イナゴが多くみられる。 イナゴが多くみられる。イナゴかスズメによる食害が多い。いもち病は少ない。
		森寺地区	1.6	0.1	0.04	0.04	
		比自岐地区	2.4	0.1	0.03	0.1	
東紀州	8/4	熊野市金山	0	0	0	0	草丈80~85cm。稈の白変と雑草が目立つ。 草丈75~80cm。イナゴが多数発生している。近隣に刈取り済の圃場あり。
		御浜町下市木	0	0	0	0	
		紀宝町井内	0	0	0	0	
県全体			0.5	0.03	0.01	0.02	
平年値(10年平均、 ^a 7年平均)			8.9	0.6	0.2	0.3	

水稲害虫発生状況(2016年8月)

地区	10株払い落とし調査												見取り調査による被害発生圃場率(%)										
	セジロウシカ		トビロウシカ		ヒトビウシカ		ウンカ類幼虫		ツマグロヨコバイ		イネミスズムシ		フタオビコヤガ		イネヨトウ	ニカメイガ	イチモンジセリ	アワヨトウ	コブメ	イネク	ササキ	イナゴ	
	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	幼虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数									
桑名	3.1	0.03	0	0	43.8	0.7	84.4	6.8	50.0	1.9	18.2	6.3	0.1	6.3	0.3	0	15.6	0	0	0	0	6.3	31.3
四日市鈴鹿	4.5	0.05	0	0	31.8	0.5	61.4	7.1	63.6	1.8	2.0	6.8	0.1	38.6	0.9	2.3	31.8	0	0	0	0	4.5	13.6
津	16.7	0.3	0	0	25.0	0.4	61.1	3.0	47.2	0.9	1.9	2.8	0.03	22.2	0.3	0	27.8	5.6	0	0	0	8.3	27.8
松阪	30.6	0.8	0	0	44.4	1.1	77.8	3.2	36.1	0.9	1.1	2.8	0.03	2.8	0.03	0	0	0	0	0	0	2.8	2.8
伊勢志摩	10.0	0.2	0	0	32.5	0.6	52.5	1.8	10.0	0.7	0.1	5.0	0.1	15.0	0.2	0	7.5	0	0	0	0	0	10.0
伊賀	0	0	0	0	10.7	0.2	67.9	3.4	17.9	0.1	0.2	0	0	3.6	0.04	0	42.9	0	0	0	0	7.1	78.6
紀州	62.5	1.4	0	0	37.5	0.9	31.3	1.2	37.5	0.4	0.7	0	0	18.8	0.3	0	0	0	0	12.5	0	0	6.3
県全体	14.8	0.3	0	0	32.2	0.6	63.1	4.0	38.1	1.0	3.4	4.2	0.1	16.5	0.3	0.4	19.5	0.8	0.0	0.8	0.0	4.2	22.9
平年値(10年平均)	7.9	0.4	0.2	0.1	19.4	0.6	48.3	2.8	35.8	1.0	5.0	12.1	0.5	22.4	0.9	1.1	14.4	0.6	5.9	12.6	4.2	12.6	17.4

圃場内の斑点米カメムシ類の発生状況(2016年8月、20回振りすくい取り調査)

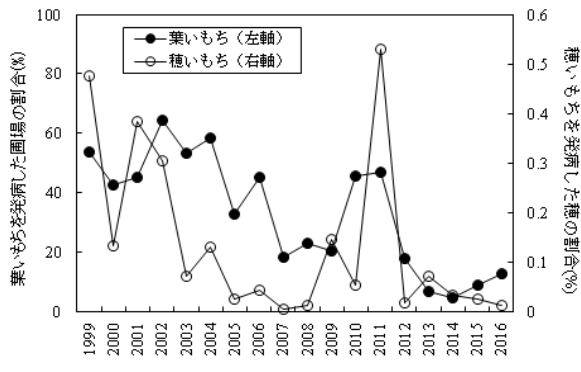
地区	調査 月日	調査 圃場 数	斑点米カメムシ類 発生程度別発生圃場率(%)					ホソハリカメムシ 成幼虫		クモヘリカメムシ 成幼虫		シラホシカメムシ 類成幼虫		アカスジカスミ カメ成虫		ミナミアオ カメムシ 成幼虫		その他 斑カメ
			計	甚	多	中	少	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	
桑名	8/5	32	40.6	0	0	12.5	28.1	12.5	0.1	6.3	0.2	0	0	28.1	0.6	3.1	0.2	イネカメムシ
四日市鈴鹿	8/4,6	48	47.9	0	0	4.2	43.8	8.3	0.1	6.3	0.1	2.1	0.04	37.5	0.6	0	0	アカヒゲホソミドリカスミカメ
津	8/5	36	52.8	0	0	8.3	44.4	8.3	0.08	11.1	0.3	11.1	0.1	30.6	0.8	0	0	アカヒゲホソミドリカスミカメ
松阪	8/5,6	36	36.1	0	0	8.3	27.8	19.4	0.3	22.2	0.4	2.8	0.03	11.1	0.1	2.8	0.03	イネカメムシ
伊勢志摩	8/4,7	40	37.5	0	0	10.0	27.5	7.5	0.1	20.0	0.5	0	0	12.5	0.3	0	0	イネカメムシ
伊賀	8/3	28	28.6	0	0	3.6	25.0	7.1	0.1	7.1	0.2	3.6	0.04	17.9	0.2	0	0	-
紀州	8/4,6	16	43.8	0	0	18.8	25.0	18.8	0.3	18.8	1.1	0	0	0	0	18.8	0.2	イネカメムシ
県全体		236	41.5	0	0	8.5	33.1	11.0	0.1	12.7	0.3	3.0	0.04	22.0	0.4	2.1	0.04	
平年値(10年平均)			36.8	0.5	1.5	6.8	28.1	19.1	0.3	9.2	0.9	6.5	0.1	13.5	0.3	1.9	0.04	

発生程度別基準・すくい取り虫数(20回振): (甚)31以上、(多)11~30、(中)4~10、(少)1~3、(無)0

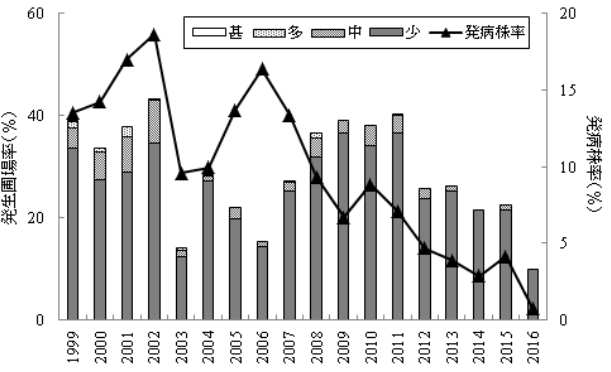
定点圃場におけるイネ病害虫発生状況(2016年8月)

地区	調査場所	穂いもち				紋枯病				すくい取り虫数(20回)				斑点米カメムシ類ほか	その他病害虫 (払落し、見取り)
		発病 穂率(%)	発病 程度	発病 程度	発病 程度	セジロ ウナカ	トビイロ ウナカ	ヒメトビ ウナカ	ウナカ類 幼虫	ツマグロヨコバ イ	成虫	幼虫	ササキリ		
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	0	無	0	無	0	0	3	0	1	0	0	0	ササキリ幼1	ヒトヒ成、ウナカ類幼、ホソハリ幼、ニカメイガ
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	0	無	0	無	0	0	1	2	2	0	0	0	-	葉いもち、ヒトヒ成、ツマグロ幼、イネミズ成、ニカメイガ
	菟野町竹成	0	無	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	-	葉いもち、ツマグロ成・幼、フタオビコヤガ幼、ニカメイガ
	鈴鹿市矢橋町	0	無	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	アカスジカスミカメ成2、ササキリ幼2	ヒトヒ成、フタオビコヤガ幼、ニカメイガ
	鈴鹿市御園町	0	無	0	無	0	0	0	3	4	0	0	0	-	ツマグロ幼
津	亀山市山下町	0	無	0	無	0	0	0	0	12	3	0	0	-	ヒトヒ成、ウナカ類幼、ツマグロ成・幼、フタオビコヤガ幼、ニカメイガ
	津市安東町	0	無	0	無	0	0	0	0	4	5	0	0	-	ウナカ類幼、ツマグロ成・幼、イナゴ幼、
	津市安濃町草生	0	無	0	無	0	0	2	0	9	0	0	0	ホソハリ成1	ヒトヒ成、イナゴ幼、ニカメイガ
松阪	津市一志町井生	0	無	1	少	0	0	5	5	33	3	0	0	ササキリ幼1	紋枯病、ヒトヒ成、ツマグロ成・幼、
	松阪市美濃田町	0	無	0	無	1	0	12	10	0	5	0	0	ホソハリ幼1、クモヘリ幼1、アカスジカスミカメ成1	ヒトヒ成、セジロ成、ウナカ類幼、
	多気町見国	0	無	0	無	1	0	3	17	0	0	0	0	イナゴ成3、ササキリ幼1	セジロ成、ウナカ類幼
伊勢 志摩	明和町坂本	0	無	0	無	0	0	1	4	0	0	0	0	-	ごま葉枯病、ツマグロ成・幼
	伊勢市円座町	0	無	0	無	0	0	1	0	4	0	0	0	-	ウナカ類幼、イネミズ成、フタオビコヤガ幼、イネゾウ成、クモヘリ幼
	多気町蚊野	0	無	0	無	0	0	1	3	3	3	0	0	アカスジカスミカメ成3、イナゴ成1	ホソハリ幼、クモヘリ幼、トゲシラホシ成、ニカメイガ
伊賀	志摩市磯部町下之郷	0	無	0	無	7	0	2	1	0	0	0	0	-	セジロ成
	伊賀市大野木	0	無	0	無	0	0	3	3	0	0	0	0	シラホシカメ類幼1	ウナカ類幼、フタオビコヤガ幼、カスミカメ類幼、ニカメイガ
	伊賀市甲野	0	無	0	無	0	0	0	3	5	0	0	0	アカスジカスミカメ成1、イナゴ成6	ウナカ類幼、ツマグロ幼、ニカメイガ、イナゴ
紀州	紀北町赤羽	0.8	少	0	無	9	0	3	5	0	0	0	0	クモヘリ成3・幼4	葉いもち、穂いもち、セジロ成、ツマグロ成
	熊野市飛鳥町	0	無	0	無	2	0	7	2	0	0	0	0	-	セジロ成
平均		0.04	少	0.05	少	1	0	2	3	4	1	0	0		
平年値(10年平均)		0.2	2.9	1	0	3	11	10	9						
県予察圃 農業研究所(無防除)		0	無	0	無	0	0	0	0	27	0	0	0	アカスジカスミカメ成1、ササキリ幼1	ツマグロ成・幼、フタオビコヤガ幼、ミナミアオ成、イチモンジカメ成、ササキリ

穂いもち発病穂率(発病程度):0(無)、1-10(少)、11-30(中)、31-60(多)、61以上(甚) 紋枯病発病度(発病程度):0(無)、1-20(少)、21-40(中)、41-70(多)、71以上(甚)



7月上旬における葉いもち発生状況の推移および、8月上旬における穂いもち発生状況の推移(巡回調査結果)



8月上旬における紋枯病発生状況の推移(巡回調査結果)

f 9月データ

水稲(普通期)病害発生状況(2016年9月)

地区	調査 月日	調査 圃場数	穂いもち		紋枯病			ごま葉枯病		白葉枯病	稲こじ病
			発生 圃場率 (%)	発病 穂率 (%)	発生 圃場率 (%)	発病度	発病 株率 (%)	発生 圃場率 (%)	発病度	発生 圃場率 (%)	発生 圃場率 (%)
桑名	9/8	7	0	0	14.3	0.1	0.6	14.3	0.3	0	0
四日市鈴鹿	9/1	1	0	0	100.0	2.0	8.0	0	0	0	0
津	9/5	4	25.0	0.1	25.0	0.3	1.0	50.0	1.8	0	0
県全体		12	8.3	0.02	25.0	0.3	1.3	25.0	0.8	0	0
10年平均			15.8	0.5	45.0	3.8	9.9	38.8	7.3	5.4	4.6
								(7年平均)	(4年平均)		(7年平均)

圃場内の斑点米カメムシ類の発生状況(2016年9月、20回振りすくい取り調査)

地区	調査 圃場数	ホソハリカメムシ 成幼虫		クモヘリカメムシ 成幼虫		シラホシカメムシ類 成幼虫		イネカメムシ 成幼虫		アカスジカスミカメ 成虫		ミナミアオカメムシ 成幼虫	
		発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数
桑名	7	0	0	0	0	14.3	0.1	0	0	0	0	28.6	0.3
四日市鈴鹿	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津	4	50.0	0.5	50.0	0.5	0	0	0	0	25.0	0.3	0	0
県全体	12	16.7	0.2	16.7	0.2	8.3	0.1	0.0	0.0	8.3	0.1	16.7	0.2
10年平均		21.1	0.4	30.0	1.7	8.2	0.1	14.3	0.3	12.9	0.4	31.0	1.2
													(6年平均)

水稲(普通期)害虫発生状況(2016年9月)

地区	調査 月日	調査 圃場数	10株払い落とし調査												見取り調査による被害発生圃場率(%)								
			セジロウシ		トビイロウシ		ヒメトビウシ		ウンカ類幼虫		ツマグロヨコバイ		フタオビコヤガ		イネヨトウ	ニカメイ	ササキリ	イナゴ	アワヨトウ	イチモンジセセリ	コブノメイ		
			発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	幼虫数	発生圃場率(%)	成虫数	幼虫数	発生圃場率(%)	成虫数								
桑名	9/8	7	0	0	0	0	0	0	28.6	0.3	14.3	0	0.1	0	0	0	0	0	0	57.1	0	0	0
四日市鈴鹿	9/1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0	2.0	0	0	0	0	100.0	0	100.0	0	0	0	0
津	9/5	4	25.0	0.3	0	0	0	0	25.0	0.3	100.0	1.5	0	0	0	0	75.0	0	50.0	0	0	0	0
県全体		12	8.3	0.1	0	0	0	0	25.0	0.3	50.0	0.7	0.1	0	0	0	33.3	0	58.3	0	0	0	0
10年平均			15.5	0.3	0.0	0.0	28.9	0.8	54.9	3.9	72.5	5.8	4.1	6.8	0.11	3.5	21.3	34.7	29.4	11.0	0.6	16.0	

定点圃場における斑点米および斑点米カメムシ類発生状況(2016年)

地区	調査場所	品種	採取日	斑点米発生率(%)				斑点米カメムシ類 20回振すくいとり虫数 8月巡回調査			
				精玄米調査(1.85mm)			頂部の黒変				
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	コシヒカリ	8/17	カメムシ被害粒発生率	斑紋型変色	くさび型加害		0.00	0.00	0.00	0.00
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	コシヒカリ	8/17	0.39	0.18	0.00	0.02	-			
	菰野町竹成	コシヒカリ	8/17	0.46	0.15	0.00	0.11	-			
	鈴鹿市矢橋町	神の穂	9/1	1.57	0.39	0.11	0.11	アカスジ成2			
	鈴鹿市御菌町	コシヒカリ	8/17	0.53	0.12	0.06	0.04	-			
	亀山市山下町	コシヒカリ	8/17	0.33	0.15	0.07	0.04	-			
津	津市安東町	コシヒカリ	8/15	0.25	0.07	0.02	0.07	-			
	津市安濃町草生	コシヒカリ	8/15	1.03	0.54	0.00	0.38	ホソハリ成1			
	津市一志町井生	コシヒカリ	8/15	0.24	0.07	0.02	0.02	-			
松阪	松阪市美濃田町	コシヒカリ	8/15	0.19	0.05	0.03	0.00	ホソハリ幼1、クモヘリ幼1、アカスジ成1			
	多気町兄国	コシヒカリ	8/15	0.20	0.04	0.00	0.02	-			
	明和町坂本	コシヒカリ	8/15	0.35	0.23	0.03	0.00	-			
伊勢志摩	伊勢市円座町	コシヒカリ	8/14	0.32	0.16	0.00	0.02	-			
	玉城町蚊野	コシヒカリ	8/15	0.38	0.14	0.04	0.04	アカスジ成3			
	志摩市磯部町下之郷	コシヒカリ	8/11	0.14	0.02	0.00	0.05	-			
伊賀	伊賀市大野木	コシヒカリ	8/17	0.16	0.03	0.02	0.02	シラホシ類幼1			
	伊賀市甲野	コシヒカリ	8/17	0.18	0.05	0.00	0.03	アカスジ成1			
紀州	紀北町赤羽	コシヒカリ	8/14	2.59	1.91	0.16	0.36	クモヘリ成3・幼4			
	熊野市飛鳥町	コシヒカリ	8/14	0.03	0.03	0.00	0.00	-			
県予察圃	松阪市嬉野川北町・無防除	コシヒカリ	8/17	0.32	0.08	0.05	0.03	アカスジ成1			
	定点平均	-	-	0.49	0.23	0.03	0.07	斑点米カメムシ類・定点平均0.9頭			
	平年値(10年平均)	-	-	0.25	0.15	0.04	0.08	同上・平年1.3頭			

農産物規格規定における、水稲うるち玄米の着色粒混入の最高限度:1等 0.1%まで、2等 0.3%まで、3等 0.7%まで、規格外 0.7%を超えるもの。

定点圃場におけるいもち病菌保菌状況(2016年)

地区	調査場所	品種	採取日	籾100粒調査	
				いもち保菌率(%)	その他
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	コシヒカリ	8/17	0.0	
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	コシヒカリ	8/17	0.0	
	菰野町竹成	コシヒカリ	8/17	0.0	
	鈴鹿市矢橋町	神の穂	9/1	0.0	
	鈴鹿市御菌町	コシヒカリ	8/17	0.0	リゾーブス
	亀山市山下町	コシヒカリ	8/17	0.0	
津	津市安東町	コシヒカリ	8/15	0.0	リゾーブス
	津市安濃町草生	コシヒカリ	8/15	0.0	
	津市一志町井生	コシヒカリ	8/15	0.0	リゾーブス
松阪	松阪市美濃田町	コシヒカリ	8/15	0.0	
	多気町兄国	コシヒカリ	8/15	0.0	
	明和町坂本	コシヒカリ	8/15	0.0	
伊勢志摩	伊勢市円座町	コシヒカリ	8/14	0.0	リゾーブス
	玉城町蚊野	コシヒカリ	8/15	0.0	
	志摩市磯部町下之郷	コシヒカリ	8/11	0.0	
伊賀	伊賀市大野木	コシヒカリ	8/17	0.0	
	伊賀市甲野	コシヒカリ	8/17	0.0	
紀州	紀北町赤羽	コシヒカリ	8/14	3.0	
	熊野市飛鳥町	コシヒカリ	8/14	0.0	
県予察圃	松阪市嬉野川北町・無防除	コシヒカリ	8/17	0.0	
	定点平均	-	-	0.2	
	平年値(5年平均)	-	-	1.4	

いもち病菌保菌調査は、籾100粒を素寒天培地に置床し、25℃環境下で2日間培養後、検鏡により行なった。

(2) 麦類

コムギ病害虫の発生状況(2016年4月)

地区	調査地点	調査日	さび病類 発病程度	うどんこ病 発病程度	黒節病 発病率(%)	縞萎縮病 発病率(%)	アブラ ムシ類 寄生程度	ハモグリ バエ類 寄生率(%)	品種	生育状況
桑名	いなべ市大安町片樋	4/8	0	0	0	0	0	0	さとのそら	草丈 95cm
四日市	菰野町池底	4/7	0	0	0	0	0	0	あやひかり	草丈 80cm。根腐れ。
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	4/7	0	0	0	0	0	0	ニシノカオリ	草丈 80cm。根は正常。茎(上位部)に枯れ。
津	津市殿村	4/6	0	0	0	0	0	0	ニシノカオリ	草丈 55cm。区外で、株(ジク)食害。
松阪	松阪市藤之木	4/5	1.5	0	0	0	0	1.0	あやひかり	草丈 65cm
	多気町兄国		16.5	0	0	0	1.0	0	ニシノカオリ	草丈 75cm。ムギヒゲナガアブラムシ。株腐病。湿害による生育不良。
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	4/4	0	0	0	0	0	0	ニシノカオリ	草丈 90cm
伊賀	伊賀市西之澤	4/8	0	0	0	0	0	0	タマイズミ	草丈 66cm。側溝側湿害による生育不良。
	伊賀市畑村		0	0	0	0	0	0	タマイズミ	草丈 65cm。側溝側湿害による生育不良。
県全体			2.0	0	0	0	0.1	0.1	-	
平年(10年平均)			0.0	0	0.5 (9年平均)	4.9 (伊賀タマイズミ) 6.6(伊賀タマイズミ)	0.1	0.7	-	

各地点4圃場において、1圃場あたり25茎を調査。

コムギ病害虫の発生状況(2016年5月)

地区	調査地点	調査日	さび病類 発病程度	うどんこ病 発病程度	黒穂病 発病率 (%)	アブラムシ 類 寄生程度	ムギアカタ マバエ寄 生率(%)	赤かび病		品種
								発生 圃場率(%)	発病 穂率(%)	
桑名	いなべ市大安町片樋	5/12	1.75	13.5	0	0.0	0	100	0.019	さとのそら
四日市	菰野町池底	5/9	0	0	0	0.0	0	50	0.021	あやひかり
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	5/11	0.0	0	0	0.0	0	100	2.865	ニシノカオリ
津	津市殿村	5/11	0	0	0	0.0	0	75	0.087	ニシノカオリ
松阪	松阪市藤之木	5/10	0	0	0	0.0	0	75	0.072	あやひかり
	多気町兄国	5/10	0	0	0	0.0	0	0	0.000	ニシノカオリ
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	5/13	3.0	0	0	0.0	0	0	0.000	ニシノカオリ
伊賀	伊賀市西之澤	5/13	0	0	0	0.0	0	25	0.003	タマイズミ
	伊賀市畑村		0	0	0	0.0	0	25	0.005	タマイズミ
県全体			0.5	2	0	0.0	0	50.0	0.279	-
平年値(10年平均)			0.3	0.0	0.0	0.9	0.0	32.4	1.018	-

各地点4圃場を調査。赤かび病:50m見取り調査。平年値は追加調査時の最終結果を示す。

1圃場あたり25茎調査。

コムギ巡回調査圃場における赤かび病の発生状況(2016年。発生穂率(%))

地区	調査地点	品種	5月第2週	5月第4週	備考
桑名	いなべ市大安町片樋	さとのそら	0.019	0.002	5/25調査
四日市	菰野町池底	あやひかり	0.021	0	5/25調査
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	ニシノカオリ	2.865	0.145	5/25調査
津	津市殿村	ニシノカオリ	0.087	0	5/23調査
松阪	松阪市藤之木	あやひかり	0.072	0	5/23調査
	多気町兄国	ニシノカオリ	0	0	5/23調査
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	ニシノカオリ	0	0	5/23調査
伊賀	伊賀市西之澤	タマイズミ	0.003	0	5/25調査
	伊賀市畑村	タマイズミ	0.005	0	5/25調査
県全体		-	0.279	0.012	
平年値		-		1.018	

各地点4圃場において50m見取り調査。

コムギ縞萎縮病の発生状況(2017年3月)

地区	調査地点	調査日	被害茎率(%)	品種	草丈(cm)	備考
桑名	いなべ市大安町片樋	3/9	0	あやひかり	24	
四日市	菰野町竹成	3/6	0	あやひかり	25	
鈴鹿	鈴鹿市下大久保		0	あやひかり	25	
津	津市殿村	3/7	0	ニシノカオリ	28	
松阪	松阪市藤之木	3/8	0	あやひかり	31	
	多気町兄国		0	ニシノカオリ	37	
伊勢志摩	伊勢市村松	3/7	0	ニシノカオリ	30	
伊賀	伊賀市西之澤	3/10	0	タマイズミ	15	
	伊賀市畑村		0	タマイズミR	25	
県全体平均			0	伊賀タマイズミ・平均0.0%		
平年値(10年平均)			2.2	伊賀タマイズミ・平年値2.0%		

各地点4圃場にて、1圃場当たり25茎を調査。

(3) 大豆

ダイズ虫害発生状況(2016年8月)

地区	調査地点	調査月日	アブラムシ類	ハスモンヨトウ		コガネムシ類	カメムシ類	草丈および備考
			寄生株率(%)	葉食害度	白変か所数(/1a)	葉食害度	寄生虫数(25株)	
桑名	いなべ市大安町大井田	8/4	0	0.5	0	2.0	0	25cm
四日市	四日市市江村町	8/1	0	0	1.8	2.0	0	35~40cm
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	8/2	0	1.0	0	2.0	0	40cm
津	津市白山町川口	8/3	0	0.3	0	0.8	0	23~25cm
松阪	松阪市藤之木町	8/4	0	2.5	0.4	3.0	0	20~28cm
	松阪市保津町		0	0.8	18.6	5.8	0	30~35cm
伊賀	伊賀市木興	8/5	0	0.8	0	4.8	0	35cm
	伊賀市千戸		0	0.3	0.4	2.5	0	35~40cm
県全体		—	0.0	0.8	2.6	2.8	0.0	—
平年値(10年平均)		—	0.1	0.1	0.2	0.5	0.1	—

ダイズ病害虫発生状況(2016年9月)

地区	調査地点	調査月日	ダイズアブラムシ発生程度	ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ		コガネムシ類	吸蜜性カメムシ類		その他病害虫
			白変か所数(/1a)	葉食害度	葉食害度	寄生株率(%)	寄生虫数(頭/25株)	種類	
桑名	いなべ市大安町大井田	9/8	0	0	1.5	0	5.0	2.5	食害散見・シヤクガ幼
四日市	四日市市江村町	9/6	0	1.4	7.0	0.5	3.0	0.8	ミナミアオ(成)・ホソヘリ(成)
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	9/8	0	0.4	2.3	0	4.0	1.8	ミナミアオ(成)・イチモンジ(成)
津	津市白山町川口	9/5	0	0.4	3.3	0	4.0	1.0	ミナミアオ(成)・イチモンジ(成)
松阪	松阪市藤之木町	9/7	0	0	2.0	0	1.0	0.3	ミナミアオ(成)
	松阪市保津町		0	0	7.3	0	0	0	食害散見・老齢幼虫(ハスモン・シロイチ)多い・カメムシ卵塊
伊賀	伊賀市木興	9/9	0	0.7	3.8	0	0	0	べと病・食害散見
	伊賀市千戸		0	1.8	14.5	0	0	0	べと病・食害散見
県全体			0.0	0.6	5.1	0.1	2.1	0.8	—
10年平均			2.3	1.5	3.5	1.8	1.8	1.3	—

ハスモンヨトウ発生状況・広域病害虫防除員による調査(2016年9月)

地区	調査月日	調査場所	白変か所数(/1a)	備考
桑名	9/5	桑名市長島町千倉	2.8	生育良好
		桑名市多度町上ノ郷	6.6	ハスモンヨトウ幼虫確認
		いなべ市北勢町治田外面	1.2	生育良好。一部で白絹病確認。
鈴鹿	9/5・8	鈴鹿市野辺町	0.4	特になし
		鈴鹿市算所町	3.8	初期の白変があるが、防除効果があつたのか広がりはない。幼虫もいない。
		鈴鹿市須賀	10.8	一部の圃場は生育悪い。株全体で白変している状態が数か所ある。幼虫もみられた。
津市	9/2	津市南河路	1.2	一部圃場で、湿害散見
		津市一志町庄村	1.6	一部圃場で、雑草多い
		津市安濃町荒木	1.0	一部圃場で、雑草多い
松阪飯多	9/3・5	小阿坂町ふけ	22.4	ヨトウムシ幼虫(体長0.7~2.5cm)、コガネムシ、カメムシを確認した
		美濃田町浦沖	32.6	ヨトウムシ全体に発生している
		深長町田中	32.2	ヨトウムシ幼虫(体長0.7~2.5cm)、カメムシを確認した
伊勢	9/2	伊勢市中村町	0.5	開花期・管理良好・葉の食害;極少
		伊勢市小俣町明野	2.5	開花期・JA小俣支店前のダイズ作付が減少・葉の食害;目立つ
		玉城町朝久田	8.0	開花期・葉の食害;多
伊賀	9/11	猪田(大東)地区	0.0	約7割の圃場でべと病が見られた。コガネムシ・カメムシ等の害虫は少ない。
		依那具地区	0.0	コガネムシ・カメムシ等の害虫は少ない。ツメクサガ幼虫らしきものが見られた。(今年から約16haのダイズを栽培している)
		比叡地区	0.0	べと病が見られた。コガネムシ・カメムシ等の害虫は少ない。
県全体			7.1	
10年平均			1.6	

ダイズ病害虫発生状況(2016年10月)

地区	調査地点	調査月日	ダイズアブラムシ発生程度	ハスモンヨトウ		寄生		吸実性カメムシ類	
				白変か所数(1a)	葉食害度	寄生株率(%)	寄生虫数(25株)	種類	
桑名	いなべ市大安町大井田	10/6	0	0	0	2.0	0.8	カメムシ類幼	
四日市	四日市市江村町	10/4	0	0.4	0	18.0	4.8	ミナミアオ成、カメムシ類幼	
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	10/6	0	0	0	2.0	0.5	カメムシ類幼	
津	津市白山町川口	10/3	0	3.6	7.5	4.0	1.5	ミナミアオ成、カメムシ類幼	
松阪	松阪市藤之木町	10/3	0	4.6	3.5	3.0	0.8	カメムシ類幼	
	松阪市保津町		0	4.6	8.0	7.0	1.5	ミナミアオ成、カメムシ類幼	
伊賀	伊賀市木興	10/7	0	0	0.3	4.0	1.0	ホソヘリ幼、イチモンジ成・幼、カメムシ類幼	
	伊賀市千戸		0	0	0	12.0	3.0	イチモンジ幼、カメムシ類幼	
県全体			0.0	1.7	2.4	6.5	1.7	—	
10年平均			6.0	2.8	6.7	9.4	6.8	—	

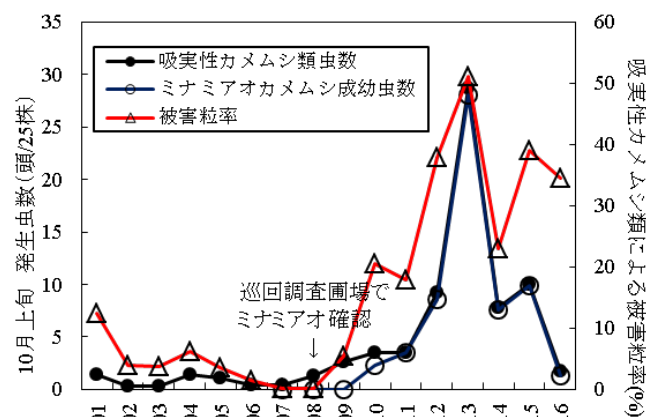
ダイズ成熟期における莢および子実の被害発生状況(2016年12月)

地区	調査地点	採取月日	莢調査被害率率(%)		被害粒調査(篩選別前の子実について調査・著しい未熟粒を除く)											その他被害粒(腐敗粒)(%)	
			虫害1	虫害2	フタスジヒメハムシ		吸実性カメムシ類				9月		10月				
					紫斑粒率(%)	褐斑粒率(%)	合計	萎縮粒(しぼみ粒)	変形粒(へこみ粒)	変色粒(しみ粒)	寄生株率(%)	寄生虫数(25株)	寄生株率(%)	寄生虫数(25株)			
桑名	いなべ市大安町大井田	11/11	0.0	12.8	0.0	0.0	1.4	0.5	57.6	28.3	13.2	16.1	5.0	2.5	2.0	0.8	3.1
四日市	四日市市江村町	11/11	0.4	2.6	0.0	0.9	0.2	0.2	28.8	6.6	7.3	14.8	3.0	0.8	18.0	4.8	0.5
	鈴鹿市下大久保	11/11	0.4	5.8	0.2	1.3	0.9	0.0	29.0	6.1	6.5	16.5	4.0	1.8	2.0	0.5	0.0
津	津市白山町川口	11/4	0.5	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	46.8	8.0	13.3	25.5	4.0	1.0	4.0	1.5	0.5
松阪	松阪市藤之木	11/4	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	3.8	2.9	11.5	1.0	0.3	3.0	0.8	0.0
	松阪市保津町	11/4	2.8	2.8	0.0	0.7	2.8	0.0	56.7	8.5	24.9	23.3	0.0	0.0	7.0	1.5	1.6
伊賀	伊賀市木興	11/7	0.5	2.5	0.0	0.0	2.4	0.0	13.3	2.2	6.3	4.8	0.0	0.0	4.0	1.0	0.5
	伊賀市千戸	11/7	2.0	3.6	0.0	0.0	1.8	0.0	19.2	4.1	5.1	10.1	0.0	0.0	12.0	3.0	0.3
県全体平均			0.9	4.4	0.0	0.4	1.2	0.1	34.5	9.2	10.0	15.4	2.1	0.8	6.5	1.7	0.9
10年平均			0.8	1.5	0.4	0.3	1.5	0.4	19.7	2.0	16.1	15.7	1.8	1.3	9.4	6.8	3.5

1地点あたり4圃場を調査。1圃場あたり任意の10株を選定し、それぞれ上位5莢ずつを採取(200莢程度)。

被害率調査・虫害1: 莢外部からの食害および被害、タバコガ類等。

同・虫害2: 莢内部における食害、シロイチモンジダラメイガ、ダイズサヤムシガ、マメシクイガ等。



10月上旬のダイズ圃場における吸実性カメムシ類発生状況と、ダイズ被害粒発生状況の推移(2001~2016年・病害虫防除所巡回調査)

(4) 果樹

県予察圃(カンキョウ・紀南果樹研究室)における発生消長

そうか病発病率 葉

	4月			5月			6月			7月		
	初発	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年		1.1	11.9	35.8	48.5	59.2	62.0	64.3	66.0	66.7	67.1	67.4
2016年		4.5	69.0	85.5	86.5	87.0	87.0	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5

そうか病発病率 果実

	5月			6月			7月			8月		
	初発	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年		4.3	30.8	46.9	66.1	78.6	82.8	85.1	91.8	93.7	95.6	96.3
2016年		29.2	80.8	95.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

黒点病発病率

	6月			7月			8月			9月			10月			
	初発	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年発病率		16.9	42.9	78.7	90.7	91.9	95.9	99.9	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
2016年発病率		67.5	93.3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平年果実発病度		2.6	8.9	21.5	30.8	35.7	40.9	50.9	58.9	66.2	70.8	72.4	76.3	78.0	81.4	81.2
2016年果実発病度		10.4	29.0	38.6	45.0	65.0	72.6	66.9	77.4	70.5	68.1	70.5	72.9	73.6	83.1	97.4

かいよう病発病率 葉

	5月			6月			7月			8月			9月		
	初発	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年		0.2	0.9	2.2	3.0	3.5	3.8	4.1	4.4	4.5	4.7	4.5	4.5	4.7	4.5
2016年		0.0	0.4	0.7	0.9	0.9	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1

かいよう病発病率 果実

	5月			6月			7月			8月			9月			10月			
	初発	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年		0.0	0.7	1.0	2.9	5.1	11.2	20.5	25.0	24.7	27.6	27.8	28.1	29.2	30.3	31.2	30.3	31.2	30.0
2016年		0.0	0.0	0.8	0.8	3.3	5.8	6.7	6.7	6.7	9.2	6.7	5.8	7.5	8.3	7.5	8.3	7.5	8.3

果実外観調査

無防除区	そうか病		黒点病		かいよう病		黒点病		かいよう病	
	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	
平年	69.2	35.8	100.0	70.6	18.8	10.0	56.4	12.6	9.7	3.5
2016年	98.5	61.9	100.0	86.8	0	0	100.0	26.4	0.6	0.1

ハダニ発生消長調査結果(無防除区・雌成虫100葉当たり寄生虫数) ※6月上旬調査から新葉による調査

	4月			5月			6月			7月			8月			9月			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
平年		93.0	79.9	28.2	38.0	30.5	46.7	33.2	29.2	27.8	12.2	6.4	13.1	11.0	20.4	30.2	58.7	48.3	43.5
2016年		27.8	16.7	20.0	11.1	1.1	10.0	4.4	10.0	10.0	1.1	2.2	2.2	4.4	2.2	12.2	17.8	11.1	8.9
平年		36.9	51.4	67.1	70.2	77.6	83.1	61.4	63.7	50.5	41.3	43.3	—	25.7	27.5	—	20.0	65.7	—
2016年		6.7	4.4	10.0	0.0	2.2	1.1	12.2	6.7	31.1	31.1	20.0	—	23.3	20.0	—	22.2	—	—

ハダニ発生消長調査結果(横行防除区・雌成虫100葉当たり寄生虫数)

	4月			5月			6月			7月			8月			9月			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
平年		0.4	0.3	0.4	0.3	0.8	3.0	7.4	6.9	2.6	7.7	4.8	18.1	21.9	92.0	16.5	121.5	29.4	70.3
2016年		28.9	0.0	1.1	4.4	1.1	16.7	60.0	0.0	11.1	3.3	7.8	12.2	10.0	15.6	1.1	90.0	120.0	10.0
平年		67.6	84.0	184.4	85.6	68.0	59.3	60.6	69.8	46.9	3.6	5.1	—	4.2	1.8	—	0.8	0.2	—
2016年		3.3	7.8	20.0	6.7	17.8	27.8	25.6	20.0	42.2	27	0	—	3.3	1.1	—	0.0	—	—

チャパネアオカメムシ発生消長調査結果 予察灯誘殺数

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	4.6	15.9	75.5	595.6	4853.0	5225.2	990.1	1144.6	2439.6	3444.3	9080.0	3515.8	706.4	861.8	706.4	1000.9	1530.1	3848.7
2016年	2.0	4.0	4.0	5.0	1.0	8.0	2.0	7.0	1.0	10.0	5.0	5.0	32.0	26.0	32.0	25.0	14.0	21.0
	10月			11月														
	上	中	下	上	中	下												
平年	2317.0	227.1	30.1	2.3	0	0.2												
2016年	30.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0												

ソヤアオカメムシ発生消長 予察灯誘殺数

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	5.9	45.2	150.1	1203.4	813.3	476.0	108.8	101.3	75.4	22.3	14.7	19.8	24.8	39.9	84.1	271.0	784.6	2580.4
2016年	9	22	87	181	83	11	1	2	0	0	1	2	4	16	21	25	45	381
	10月			11月														
	上	中	下	上	中	下												
平年	3561.3	558.3	312.7	87.2	13.6	9.9												
2016年	619	76	32	1	1	1												

チャノキイロアザミウマ発生消長調査結果 100果実あたり寄生数調査

	6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	0.2	0.4	2.1	5.2	9.1	13.9	5.6	6.4	3.3	5.3	7.3	11.1	9.7	2.3	0.4
2016年	0.0	1	3.3	8	3.3	11.7	13	13	8.3	11.7	2.5	1	0.0	0.8	0

チャノキイロアザミウマ発生消長調査結果 黄色粘着板誘殺数

	5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	0.2	0.5	0.3	0.6	1.5	1.4	2.9	3.0	7.7	7.3	12.9	10.1	11.8	12.9	8.5	4.2	1.5	0.3
2016年	2.7	1.3	1.0	3.7	1.9	1.7	1.8	3.8	6.7	13.0	9.6	11.3	6.6	6.9	3.7	2.0	0.3	0.1

県予察團(ナシ・農業研究所)における発生消長
ナシヒメシシクイ

チヤハハマキ

月・半旬	トランプ勝殺数	
	平成	2016年
4月・1	28.5	40
2	38.8	35
3	42.6	9
4	27.1	9
5	17.7	20
6	13.9	0
5月・1	12.0	8
2	9.2	3
3	5.2	0
4	2.8	1
5	3.8	10
6	10.3	24
6月・1	18.1	26
2	23.2	7
3	21.5	18
4	11.6	10
5	8.8	3
6	4.9	9
7月・1	11.7	9
2	21.3	58
3	40.2	33
4	34.5	44
5	26.9	22
6	31.5	16
8月・1	29.4	63
2	32.7	71
3	42.3	36
4	43.1	12
5	42.4	28
6	41.2	60
9月・1	43.1	18
2	57.5	57
3	50.0	171
4	40.3	4
5	21.3	23
6	12.5	26
10月・1	6.0	22
2	2.3	7
3	1.6	0
4	0.9	6
5	0.2	1
6	0.1	3
11月・1	0.1	0
2	0.0	0
3	0.1	2
4	0.1	1
5	0.1	0
6	0.0	0

チヤノコカクモンシハマキ

月・半旬	トランプ勝殺数	
	平成	2016年
4月・1	5.1	5
2	7.1	18
3	12.1	35
4	24.8	44
5	43.9	46
6	46.8	10
5月・1	52.6	35
2	37.1	1
3	20.7	25
4	9.8	3
5	5.3	7
6	4.1	10
6月・1	11.6	46
2	22.0	19
3	38.8	75
4	43.2	24
5	39.4	10
6	28.2	7
7月・1	20.7	0
2	12.3	3
3	7.7	5
4	9.6	9
5	13.8	3
6	18.9	3
8月・1	13.2	8
2	9.8	4
3	6.7	0
4	6.0	0
5	3.1	2
6	2.8	1
9月・1	4.5	2
2	10.1	4
3	13.9	12
4	20.7	5
5	22.3	14
6	17.6	13
10月・1	28.3	14
2	29.8	16
3	31.9	10
4	21.3	12
5	19.6	9
6	11.3	5
11月・1	13.7	0
2	13.3	8
3	6.2	9
4	3.7	4
5	2.1	4
6	4.0	4
12月・1	1.5	5
2	1.2	1
3	1.9	0
4	0.9	0
5	0.6	0
6	0.1	0

予察灯(畑・農業研究所)における発生消長
ツヤアオカメムシ

チヤハメオカメムシ

月・半旬	予察灯勝殺数	
	平成	2016年
4月・1	0.0	0
2	0.0	0
3	0.0	0
4	0.0	0
5	0.1	0
6	0.3	0
5月・1	11.9	8
2	45.5	3
3	425.4	12
4	83.4	0
5	343.0	40
6	488.6	11
6月・1	176.6	0
2	127.7	8
3	80.3	5
4	309.5	15
5	107.9	10
6	71.0	13
7月・1	112.3	49
2	118.3	18
3	234.2	9
4	233.5	4
5	261.4	3
6	182.7	12
8月・1	114.8	10
2	95.7	5
3	234.4	14
4	140.1	59
5	105.5	84
6	131.1	168
9月・1	163.1	153
2	193.4	98
3	101.5	47
4	56.8	27
5	69.3	131
6	24.2	251
10月・1	29.7	24
2	89.0	25
3	19.7	0
4	0.1	2
5	0.2	0
6	0.0	0

ツヤアオカメムシ

月・半旬	予察灯勝殺数	
	平成	2016年
4月・1	0.0	0
2	0.0	0
3	0.0	0
4	0.0	0
5	0.3	1
6	0.2	0
5月・1	3.1	0
2	4.6	1
3	15.6	3
4	7.2	0
5	27.0	3
6	35.6	3
6月・1	18.0	0
2	43.5	14
3	40.9	34
4	155.5	17
5	61.9	3
6	88.9	2
7月・1	86.2	2
2	22.2	1
3	27.9	0
4	19.2	0
5	13.9	0
6	18.7	0
8月・1	8.2	3
2	10.2	2
3	16.6	5
4	12.5	9
5	7.2	10
6	11.3	14
9月・1	19.8	3
2	21.6	24
3	34.5	43
4	22.4	66
5	95.9	85
6	30.0	101
10月・1	107.9	101
2	114.8	92
3	74.0	11
4	32.0	21
5	59.4	3
6	14.3	1

クサギカメムシ

月・半旬	予察灯勝殺数	
	平成	2016年
4月・1	0.0	0
2	0.0	0
3	0.0	0
4	0.0	0
5	0.0	0
6	0.0	0
5月・1	0.1	0
2	0.0	0
3	0.2	0
4	0.0	0
5	0.6	0
6	2.2	1
6月・1	0.5	0
2	1.4	0
3	2.6	0
4	5.3	2
5	6.0	2
6	13.8	2
7月・1	13.4	0
2	32.3	3
3	74.9	1
4	107.1	3
5	142.4	1
6	122.4	4
8月・1	42.8	7
2	28.1	3
3	27.9	7
4	21.0	8
5	10.3	5
6	7.6	4
9月・1	4.5	2
2	2.6	1
3	1.3	1
4	0.5	2
5	0.2	0
6	0.0	3
10月・1	0.0	0
2	0.3	0
3	0.0	0
4	0.0	0
5	0.0	0
6	0.0	0

カンキツ巡回調査結果

4月	地区	調査場所	そらか病		かいじょう病		ミカンハダニ		カイガラムシ類 寄生技率(%)	ヤブネ カイガラムシ 寄生率(%)	カメムシ類 叩き落し数	品 種	生育状況等	調査月日
			旧薬発病度	温州(旧薬) 発病率(%)	温州(旧薬) 発病率(%)	中晩柑(旧薬) 発病率(%)	寄生率(%)	寄生虫数/葉						
	桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	—	0	0	0	0	0	早生温州		4月8日
	津	津市大里窪田	0	0	0	—	0	0	0	0	0	早生温州		4月6日
	松阪	多気町五柱(定)	0	0	0	—	14	0.32	0	0	0	早生温州		4月4日
		松阪市小河坂町	0	0	0	—	0	0	0	0	0	普通温州		4月4日
		南伊勢町船越(定)	0	0	0	—	0	0	0	0	0	普通温州		4月7日
	伊勢	南伊勢町泉	0	—	0	0	0	0	0	0	0	セミノール		4月7日
	志摩	南伊勢町五ヶ所浦	0	—	—	10	3.6	0	0	0	0	カラ		4月7日
		紀北町海野	0	—	—	2	0.4	0	0	0	0	新甘夏		4月5日
		熊野市久生屋	0	0	0	—	0	0	0	0	0	早生温州		4月5日
		御浜町下市木	0	—	—	6	4.4	0	0	0	0	カラ		4月5日
	紀州	御浜町阿田和	0	0	0	—	0	0	0	0	0	早生温州		4月5日
		御浜町中立	0	—	—	0	0	0	0	0	0	新甘夏		4月5日
		紀宝町大里	0	—	—	0	0	0	0	0	0	セミノール		4月5日
		平 均	0	0	0	3.0	1.4	0.03	0	0	0			
		平 年(10年平均)	0.03	0.5	0.1	11.1	5.1	7.0	0.26	1.2	0.2			

地区	調査場所	そうか病		かいよう病		品種	
		旧薬 発病度	新薬 発病度	温州(旧薬)			中晩柑(旧薬)
				発病率(%)	発病度		
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	0	早生温州	
	津市大里窪田	0	0	0	0	早生温州	
松阪	多気町五桂(定)	0	0	0	0	早生温州	
	松阪市小阿坂町	0	0	0	0	普通温州	
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	普通温州	
	南伊勢町泉	0	0	—	6	1.2	セミノーブル
	南伊勢町五カ所浦	0	0	—	6	1.2	カラ
	紀北町海野	0	0	—	4	0.8	新甘夏
紀州	熊野市久生屋	0	0	0	0	—	早生温州
	御浜町下市木	0	0	—	14	4.4	カラ
	御浜町阿田和	0	0	0	0	—	早生温州
	御浜町中立	0	0	—	6	1.2	新甘夏
	紀宝町大里	0	0	—	10	2.0	セミノーブル
平均		0	0	0	0	1.8	
平年(10年平均)		0.04	0.009	0.2	0.03	9.4	3.6

5月 続き

地区	調査場所	ミカンハダニ		ヤノネカイガラムシ 旧薬寄生率(%)	カメムシ類 叩き落とし 虫数	カイガラムシ類 寄生枝率(%)	品種	生育状況等	調査月日	
		旧薬 寄生率(%)	新薬 寄生率(%)							新薬 寄生虫数/薬
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	0	0	早生温州		5月12日	
	津市大里窪田	0	0	0	0	0	早生温州	着花数多い。	5月11日	
松阪	多気町五桂(定)	2	0	0	0	0	早生温州		5月10日	
	松阪市小阿坂町	2	0.04	2	0.02	0	普通温州		5月11日	
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	0	普通温州		5月10日	
	南伊勢町泉	0	0	0	0	0	セミノーブル	新薬でハモグリ食害痕散見される。	5月10日	
	南伊勢町五カ所浦	0	4	4	0.04	0	カラ		5月10日	
	紀北町海野	0	0	0	0	0	新甘夏		5月12日	
紀州	熊野市久生屋	0	0	0	0	0	早生温州		5月12日	
	御浜町下市木	0	0	0	0	0	カラ		5月12日	
	御浜町阿田和	0	0	0	0	0	早生温州		5月12日	
	御浜町中立	2	0.08	2	0.02	0	新甘夏	ハナムグリの成虫確認。	5月12日	
	紀宝町大里	8	0.16	4	0.04	0	セミノーブル		5月12日	
平均		1.1	0.02	0.9	0.009	0				
平年(10年平均)		10.7	0.82	6.5	0.20	0.5	0.2	1.2		

6月	地区	調査場所	その病		かんよう病		黒点病	ミカンハダニ(春葉)		アブラムシ類	品 種			
			春葉発病度	発病度	温州(春葉)	発病度		中晩柑(春葉)	発病度			寄生率(%)	寄生虫数	新梢寄生率
	桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	0	0	0	6	0.06	6	早生温州		
	津	津市大里窪田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州		
	松阪	多気町五桂(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州		
		松阪市小阿坂町	0	0	0	0	0	0	0	0	6	普通温州		
	伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0.4	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州		
		南伊勢町泉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノール		
		南伊勢町五カ所浦	0	0	0	0	2	0.4	0	0	0	カラ		
		紀北町海野	0	0	0	0	2	0.4	0	0	0	新甘夏		
		熊野市久生屋町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州		
		御浜町下市木	0	0	0	0	6	2.8	0	0	0	カラ		
		御浜町阿田和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州		
		御浜町中立	0	0	0	0	0	0	0	0	2	早生温州		
		紀宝町大里	0	0	0	0	0	0	86	5.12	0	新甘夏		
	平均		0.03	0	0	0	1.7	0.6	0	0.94	1.1	セミノール		
	平年(10年平均)		0.07	0.2	0.1	3.1	1.3	1.2	10.8	0.36	4.4			

6月	地区	調査場所	チャキイロ	ヤブネカイガラムシ	カメムシ類	アカマル	カイガラムシ類	品 種	生育状況等	調査月日						
											アザミウマ	春葉寄生率(%)	カメムシ類	アカマル	カイガラムシ類	品 種
	桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	新葉でミカンハダニモグリガ食害痕散見される。	6月10日			
	津	津市大里窪田町	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	区外でアブラムシあり。剪定枝で区外病確認。	6月9日			
		多気町五桂(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州		6月6日			
	松阪	松阪市小阿坂町	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	区外でミカンハダニあり。	6月9日			
		南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	一部の新葉でミカンハダニモグリガ食害痕あり。	6月10日			
	伊勢志摩	南伊勢町泉	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノール		6月10日			
		南伊勢町五カ所浦	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ		6月10日			
		紀北町海野	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏		6月8日			
		熊野市久生屋町	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州		6月8日			
		御浜町下市木	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ		6月8日			
		御浜町阿田和	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州		6月8日			
		御浜町中立	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏		6月8日			
		紀宝町大里	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノール		6月8日			
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0						
	平年(10年平均)		0.5	0	0.07	0.2	0.4	0.4								

7月	地区	調査場所	そうか病		かいよう病(春葉)		かいよう病(果実)		黒点病	品 種		
			果実発病度	発病率(%)	温州	発病度	中晩柑	中晩柑			発病度	果実発病度
桑名	津市多度町小山	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州		
津	津市大里窪田	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州		
松阪	多気町五桂	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州		
	松阪市小阿坂町	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州		
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州		
	南伊勢町泉	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノーブル		
	南伊勢町五方所浦	0	0	0	6	2.8	0	0	0	カラ		
	紀北町海野	0	0	0	12	5.6	0	0.4	0	新甘夏		
	熊野市久生屋	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州		
紀州	御浜町下市木	0	0	0	20	13.6	0	0	0	カラ		
	御浜町阿田和	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州		
	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏		
	紀宝町大里	0	0	0	8	1.6	0	0	0	セミノーブル		
	平均	0	0	0	7.7	3.9	0	0.07	0			
	平年(10年平均)	0.3	0.2	0.05	8.7	3.4	0.06	1.5	1.6			

(7月続き)	地区	調査場所	ミカンハダニ		チャノキイロ	カメムシ類	ミカンサビダニ	アカマル	ハマキムシ類	生育状況等	品 種	調査月日					
			寄生葉率(%)	寄生虫数/葉									アガヒウマ	アガヒウマ	アガヒウマ	アガヒウマ	アガヒウマ
桑名	津市多度町小山	4	0.04	2	0	0	0	0	0	果実径2.5cm	早生温州	7月7日					
津	津市大里窪田	0	0	0	0	0	0	0	0	果実径2.5cm	早生温州	7月1日					
松阪	多気町五桂	4	0.04	0	0	0	0	0	0	果実径3cm	早生温州	7月4日					
	松阪市小阿坂町	2	0.02	0	0	0	0	0	0	果実径3cm	普通温州	7月7日					
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	果実径2cm	普通温州	7月4日					
	南伊勢町泉	0	0	0	0	0	0	0	0	果実径1cm	セミノーブル	7月4日					
	南伊勢町五方所浦	22	0.66	0	0	0	0	0	0	果実径2cm	カラ	7月4日					
	紀北町海野	0	0	0	0	0	0	0	0	果実径3cm	新甘夏	7月6日					
	熊野市久生屋	0	0	0	0	0	0	0	0	果実径3cm	早生温州	7月6日					
紀州	御浜町下市木	2	0.02	0	0	0	0	0	0	果実径2cm	カラ	7月6日					
	御浜町阿田和	0	0	0	0	0	0	0	0	果実径3.5cm	早生温州	7月6日					
	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	0	0	果実径4.5cm	新甘夏	7月6日					
	紀宝町大里	0	0	0	0	0	0	0	0	果実径1.5cm	セミノーブル	7月6日					
	平均	2.6	0.06	0.2	0	0	0	0	0								
	平年(10年平均)	9.5	0.38	1.0	0.03	0	0	0.2	0.1								

8月	地区	調査場所	そうか病		かいよう病(春葉)		かいよう病(果実)		黒点病	
			果実発病度		温州		温州		果実発病度	
			発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度
津	桑名市多度町小山	津市大里窪田町	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0
松阪	多気町五桂(定)	松阪市小阿坂町	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0
伊勢志摩	南伊勢町泉	南伊勢町五所浦	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0
紀州	熊野市久生屋町	御浜町下市木	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0
平均	0.4	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0
平年(10年平均)			0.4	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04

(8月) 調査場所	ミカンハダニ 寄生葉率(%)	チルネイロ アザミウマ 被害果率(%)	ミカンハモクワガ 被害新梢率 (%)	カマシシ 叩き落し 虫数	カイガラムシ 寄生枝率(%)	アカイガラムシ 寄生果率(%)	ハニキムシ 被害果率(%)	品 種	備 考 生育状況等	調査月日						
											0	0	0	0	0	0
											0	0	0	0	0	0
津	0	10	54	0	0	0	0	早生温州	果径3cm	8月4日						
松阪	20	0	88	0	0	0	0	早生温州	果径4cm	8月3日						
伊勢志摩	0	2	10	0	0	0	0	普通温州	果径3.5cm	8月4日						
紀州	0	0	10	0	0	0	0	普通温州	果径4.5cm	8月1日						
平均	0	0	10	0	0	0	0	普通温州	果径4.5cm	8月2日						
平年(10年平均)	0	0	14	0	0	0	0	セミノール	果径3cm	8月2日						
津	4	4	4	0	0	0	0	カラ	果径3cm	8月2日						
松阪	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	果径6cm	8月3日						
伊勢志摩	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果径4.5cm	8月3日						
紀州	0	2	30	0	0	0	0	カラ	果径3cm	8月3日						
平均	0	0	2	0	0	0	0	早生温州	果径4cm	8月3日						
平年(10年平均)	0	0	20	0	0	0	0	新甘夏	果径6.5cm	8月3日						
津	2.0	1.4	19.5	0	0	0	0	セミノール	果径3.5cm	8月3日						
松阪	7.2	1.1	47.4	0.008	0.2	0.1	0									
伊勢志摩	0.07	0.033	0.008	0	0	0	0									
紀州	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006									
平均	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006									
平年(10年平均)	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006									

9月	地区	調査場所	かんい上病(春葉)		かんい上病(果実)		黒点病 果実発病度	褐色腐敗病 発病果率(%)	品 種	調査日									
			温州 発病率(%)	発病度	温州 発病度	中晩柑 発病度													
桑名	津	桑名市多度町小山	0	0	0	0	0	0	早生温州										
		津市大里窪田町	0	0	0	0	0	0	早生温州										
		多気町五根(定)	0	0	0	0	3.2	0	早生温州										
		松阪市小阿波町	0	0	0	0	0.4	0	普通温州										
伊勢志摩	紀伊	南伊勢町新越(定)	0	0	0	0	28.0	0	普通温州										
		南伊勢町泉	0	0	0	0	0.4	0	セミノーブル										
		南伊勢町五功所浦	0	0	6.0	0	7.6	0.4	カラ										
		紀北町海野	0	0	14.0	0	0.4	0.8	新甘夏										
紀州	紀伊	熊野市久生園町	0	0	0	0	0	0	早生温州										
		御浜町下市木	0	0	4.0	0	0.4	0	カラ										
		御浜町向田和	0	0	0	0	2.0	0	早生温州										
		御浜町中立	0	0	0	0	1.2	0	新甘夏										
平均	平均(10年平均)	平均	0	0	1.6	0	0	0	セミノーブル										
		平均	0.3	0.2	4.3	0	1.6	2.7	0										
		平均	8.6	3.4	6.5	0.8	12.2	0											
		平均	0.3	0.2	0.8	0.8	6.5	0											
(9月続き)																			
地区	調査場所	ミカンハダニ		チャノキイロ アザミソウ		ミカンハモクリガ 被害新梢率(%)		カメムシ類 叩き落し虫数		カイガラムシ類 寄生枝率(%)		ヤノネカイガラムシ 寄生葉率(%)		アカマル カイガラムシ 寄生果率(%)		品 種	生育状況等	調査日	
		寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	被害新梢率(%)	被害果率(%)	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)	寄生葉率(%)	寄生果率(%)	寄生果率(%)									
桑名	津	桑名市多度町小山	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果径5cm, 2ヶ枝ギアラムシ確認。	9月8日
		津市大里窪田町	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果径4.5cm, 2ヶ枝ギアラムシ確認。	9月5日
		多気町五根(定)	20	0.52	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	カメムシ類はチャノキアラムシ、 アザミソウカイガラムシ/果/50果で確認。	9月5日
		松阪市小阿波町	2	0.02	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	果径5cm, アダハ幼虫1頭確認。	9月5日
伊勢志摩	紀伊	南伊勢町新越(定)	40	1.50	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	果径5.5cm,	9月7日	
		南伊勢町泉	16	0.24	2	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノーブル	果径4.5cm,	9月7日	
		南伊勢町五功所浦	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ	果径4.5cm,	9月7日	
		紀北町海野	4	0.18	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	果径6.5cm,	9月6日	
紀州	紀伊	熊野市久生園町	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果径5.5cm,	9月6日	
		御浜町下市木	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ	果径4.5cm,	9月6日	
		御浜町向田和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果径5.5cm, 区外でミカンハモクリガ被害あり。	9月6日	
		御浜町中立	6	0.10	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	果径7cm,	9月6日	
平均	平均(10年平均)	平均	6	0.18	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノーブル	果径5cm,	9月6日	
		平均	7.2	0.21	0.2	0.2	12.3	0.08	0	0	0	0	0	0	0				
		平均	6.1	0.15	2.8	43.7	0.01	0.4	0.07	0.2									
		平均	0.3	0.2	8.6	3.4	0.8	6.5	0										

10月	地区	調査場所	かいよつ病(春葉)				かいよつ病(果実)				褐色腐敗病 発病果率	品 種															
			温州		中晩柑		温州		中晩柑																		
			発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度																	
桑名	津	桑名市多度町小山	0	0	-	-	0	0	-	0	0	早生温州															
		津市大里窪田	0	0	-	-	0	0	-	0	0	早生温州															
松阪		多気町五桂(定)	0	0	-	-	0	0	-	5.2	0	早生温州															
		松阪市小河坂町	0	0	-	-	0	0	-	0	0	普通温州															
伊勢		南伊勢町船越(定)	0	0	-	-	0	0	-	16.8	0	普通温州															
志摩		南伊勢町泉	-	-	-	-	0	0	-	0.4	0	セミノーブル															
		南伊勢町五ヶ所浦	-	-	16	4.8	-	0.8	0.4	0	0	カラ															
		紀北町海野	-	-	16	6.4	-	1.2	1.2	0	0	新甘夏															
		熊野市久生屋	0	0	-	-	0	0	-	0.4	0	早生温州															
紀州		御浜町下市木	-	-	12	5.6	-	1.6	1.6	0	0	カラ															
		御浜町阿田和	0	0	-	-	0	0	-	2.0	0	早生温州															
		御浜町中立	-	-	0	0	-	4.4	0	0	0	新甘夏															
		紀宝町大里	-	-	4	0.8	-	0.8	2.4	0	0	セミノーブル															
		平均	0	0	8.0	2.9	0	1.5	2.3	0	0																
		平年(10年平均)	0.1	0.04	8.9	4.3	0.06	6.2	19.1	0	0																
10月続き																											
地区		調査場所	ミカンハダニ		チャンキヒロ アザミワマ		カラムシ類		カイガラムシ類		ヤノネカイガラムシ		アカマル カイガラムシ		品 種		生育状況等		調査月日								
			寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	被害果率(%)	叩き落し 虫数	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)	寄生葉率(%)	寄生果率(%)	寄生果率(%)	寄生果率(%)	寄生果率(%)	寄生果率(%)	寄生果率(%)	寄生果率(%)	寄生果率(%)	寄生果率(%)	寄生果率(%)	寄生果率(%)	寄生果率(%)						
桑名	津	桑名市多度町小山	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果径5.5cm	10月6日		
		津市大里窪田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果径7cm、区外で褐色腐敗病あり。	10月5日	
松阪		多気町五桂(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州		10月3日	
		松阪市小河坂町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	ハモクワ被害散見、アゲハ幼虫あり。	10月3日	
伊勢		南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	秋芽にエキヤキアブラムシあり。	10月4日	
志摩		南伊勢町泉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノーブル	秋芽にエキヤキアブラムシあり。果径5cm、夏	10月4日	
		南伊勢町五ヶ所浦	2	0.02	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ	秋芽にエキヤキアブラムシあり。果径5cm、夏	10月4日	
		紀北町海野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	果径7cm	10月3日	
		熊野市久生屋	4	0.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果径5.5cm	10月3日	
紀州		御浜町下市木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ	果径5cm	10月3日	
		御浜町阿田和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果径6cm	10月3日	
		御浜町中立	16	0.28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	果径9cm	10月3日	
		紀宝町大里	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノーブル	果径6cm、区外にエキヤキアブラムシあり。	10月3日	
		平均	1.7	0.03	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
		平年(10年平均)	5.1	0.12	5.5	0.2	0.2	0.9	0.9	0.1	0.1	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9			

地区	調査場所	そつか病		かいしう病		ミカンハダニ		カイガラムシ類		ヤノネカイガラムシ 寄生葉率(%)	品 種	生育状況等	調査月日												
		旧葉発病度	温州(旧葉) 発病率(%)	発病度	かいしう病 発病度	中晩柑(旧葉) 発病率(%)	発病度	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉					寄生枝率(%)											
															0	0	0	0	0	0	0	0			
桑名	桑名市多度町小山	0	4	0.8	—	—	0	0	0	0	0	0	0	3月9日											
	津市大里窪田	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	0	0	3月7日											
松阪	多気町五桂(定)	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	0	0	3月9日											
	松阪市小阿坂町	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	0	0	3月9日											
伊勢 志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	0	0	3月10日											
	南伊勢町泉	0	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	0	3月10日											
	南伊勢町五ヶ所浦	0	—	—	14	4.4	2	0.02	0	0	0	0	0	3月10日											
	紀北町海野	0	—	—	6	1.2	0	0	0	0	0	0	0	3月8日											
紀州	熊野市久生屋	0	0	0	—	—	36	3.52	10	0	0	0	0	3月8日											
	御浜町下市木	0	—	—	6	1.2	0	0	0	0	0	0	0	3月8日											
	御浜町阿田和	0	0	0	—	—	0	0	4	0	0	0	0	3月8日											
	御浜町中立	0	—	—	2	0.4	4	0.06	0	0	0	0	0	3月8日											
	紀宝町大里	0	—	—	2	0.4	6	0.08	2	0	0	0	0	3月8日											
	平均	0	0.6	0.1	1.3	5.0	3.7	0.28	1.5	0	0	0	0	0	0										
平年(10年平均)													0.02	0.2	0.04	9.4	4.6	1.4	0.15	1.4	0.2	0	0	0	0

ナシ巡回調査結果

地区	調査場所	黒星病	黒星病	赤星病	ハダニ類	アブラムシ類	品	生育状況等	調査月日
		発病芽率(%)	発病葉率(%)	発病葉率(%)					
四日市 鈴鹿	四日市市下海老	0	0	0	0	0	幸水		4月7日
	津市久居小野辺町(定)	0	0	0	0	0	幸水		4月6日
津	津市香良洲町(定)	0	-	-	-	-	幸水	未展葉	4月6日
	松阪市菟川町	0	-	-	-	-	幸水	未展葉	4月4日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	0	-	-	-	-	幸水	未展葉	4月4日
	伊賀市羽根1	0	-	-	-	-	幸水	未展葉	4月8日
伊賀	伊賀市羽根2	0	-	-	-	-	幸水	未展葉	4月8日
	平均	0	0	0	0	0			
平年(10年平均)		0	0	0	0	0			0.3 (8年平均)

地区	調査場所	黒星病	赤星病	ハダニ類	アブラムシ類	品	生育状況等	調査月日
		発病葉率(%)	発病葉率(%)	寄生虫数/葉				
四日市 鈴鹿	四日市市下海老	0	0	0	0	幸水		5月9日
	津市久居小野辺町(定)	0	0	0	0	幸水		5月11日
津	津市香良洲町(定)	0	2	0	0	幸水		5月11日
	松阪市菟川町	4	0	0	0	幸水		5月10日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	0	0	0	0	幸水		5月13日
	伊賀市羽根1	0	0	0	0	幸水		5月13日
伊賀	伊賀市羽根2	0	0	0	0	幸水		5月13日
	平均	0.6	0.3	0	0			
平年(10年平均)		0.3	0.7	0.04	0.0004	1.8		

地区	調査場所	黒星病	赤星病	ハダニ類	アブラムシ類	品	生育状況等	調査月日
		発病葉率(%)	発病葉率(%)	寄生虫数/葉				
四日市 鈴鹿	四日市市下海老	2	0	0	0	幸水		6月7日
	津市久居小野辺町(定)	0	0	0	0	幸水		6月9日
津	津市香良洲町(定)	0	0	0	0	幸水		6月9日
	松阪市菟川町	2	0	0	0	幸水		6月6日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	0	0	0	0	幸水		6月7日
	伊賀市羽根1	4	0	0	0	幸水		6月8日
伊賀	伊賀市羽根2	0	0	0	0	幸水		6月8日
	平均	1.1	0	0	0			
平年(10年平均)		2.2	0.4	0.02	0.0002	5.8		

7月	地区	調査場所	黒星病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		カメムシ類		品 種	生育状況等	調査月日
			発病率(%)	発病果率(%)	発病率(%)	発病果率(%)	寄生虫数/葉	寄生枝率(%)	見取り虫数	見取り虫数					
			0	0	0	0	0	0	0	0					
四日市	鈴鹿	四日市市下海老	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	袋かけ済み	7月8日
津		津市久居小野辺町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	袋かけ済み	7月1日
		津市香良洲町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	袋かけ済み	7月1日
松阪		松阪市笹川町	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	果実径5cm	7月4日
伊勢志摩		玉城町富岡(定)	4	0	0	26	0	0	0	0	0	0	幸水	果実径4cm	7月8日
伊賀		伊賀市羽根1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	果実径5~6cm	7月5日
		伊賀市羽根2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	果実径5~6cm	7月5日
		平均	2.0	0	0	3.7	0	0.32	0	0	0	0			
		平年(10年平均)	2.4	0.3	1.2	0.05	1.3	0.04	0						

8月	地区	調査場所	黒星病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		カメムシ類		品 種	備考 生育状況等	調査月日
			発病率(%)	発病果率(%)	発病率(%)	発病果率(%)	寄生虫数/葉	寄生枝率(%)	見取り虫数	見取り虫数					
			0	0	0	0	0	0	0	0					
四日市	鈴鹿	四日市市下海老	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)	果径6cm	8月1日
津		津市久居小野辺町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)		8月3日
		津市香良洲町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	袋かけ済み	8月3日
松阪		松阪市笹川町	2	0	0	6	0	0.16	0	0	0	0	幸水(有袋)	袋かけ済み、果径9cm。	8月4日
伊勢志摩		玉城町富岡(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	区外カメムシ被害果実1果。	8月5日
伊賀		伊賀市羽根1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	果径9cm。区外で黒星病(葉)とゾノの被害痕跡あり。	8月5日
		伊賀市羽根2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	果径9cm。区外黒星病(葉)あり。	8月5日
		平均	0.3	0.3	0	0.9	0.02	0	0	0	0	0			
		平年(10年平均)	2.1	1.8	2.7	4.8	0.39	0.2	1.4	0					

9月	地区	調査場所	黒星病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		カメムシ類		品 種	生育状況等	調査月日
			発病率(%)	発病果率(%)	発病率(%)	発病果率(%)	寄生虫数/葉	寄生枝率(%)	見取り虫数	見取り虫数					
			0	0	0	0	0	0	0	0					
四日市	鈴鹿	四日市市下海老	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)		9月5日
津		津市久居小野辺町(定)	0	0	42	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)		9月5日
		津市香良洲町(定)	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)		9月5日
松阪		松阪市笹川町	4	0	0	0	2	0.10	0	0	0	0	幸水(有袋)		9月5日
伊勢志摩		玉城町富岡(定)	0	0	0	0	6	0.06	0	0	0	0	幸水		9月9日
伊賀		伊賀市羽根1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)	果径9cm。黒斑病散見。	9月9日
		伊賀市羽根2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)	果径9cm。黒斑病散見。	9月9日
		平均	0.6	0	7.7	0	1.1	0.02	0	0	0	0			
		平年(10年平均)	1.4	1.2	10.6	0.04	3.7	0.13	1.3	0.4	0.02				

カキ巡回調査結果

4月	地区	調査場所	炭疽病		備考	調査月日
			炭疽枝率(%)	炭疽枝率(%)		
松阪	松阪市嬉野川北町(定)		0			4月8日
	松阪市嬉野川北町1		0			4月8日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)		0			4月4日
	玉城町蚊野1		0			4月4日
	平均		0			
	平年(10年平均)		0			
			(9年平均)			

5月	地区	調査場所	うどんこ病 発病葉率(%)	炭疽病		生育状況等	調査月日
				発病新梢率(%)	病斑数/枝		
松阪	松阪市嬉野川北町(定)		0	0	0	開花はじめ	5月11日
	松阪市嬉野川北町1		0	0	0	〃	5月11日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)		0	0	0		5月13日
	玉城町蚊野1		0	0	0	マイマイガ幼虫あり	5月13日
	平均		0	0	0		
	平年(10年平均)		0	0.05	0.0005		

6月									
地区	調査場所	うどんこ病		炭疽病		カメムシ類		生育状況等	調査月日
		発病葉率(%)	発病新梢率(%)	発病新梢率(%)	発病新梢率(%)	叩き落とし虫数	叩き落とし虫数		
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	0	0	0	0	0	0		6月7日
	松阪市嬉野川北町1	0	0	0	0	0	0		6月7日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	0	0	0	0	0	0		6月7日
	玉城町蚊野1	0	0	0	0	0	0		6月7日
平均		0	0	0	0	0	0		
平年(10年平均)		1.4	0.05				0		

7月									
地区	調査場所	うどんこ病		炭疽病		カメムシ類		生育状況等	調査月日
		発病葉率(%)	発病新梢率(%)	発病新梢率(%)	発病新梢率(%)	被害果率(%)	叩き落とし虫数		
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	0	0	0	0	0	0	0	果実径5cm
	松阪市嬉野川北町1	0	0	0	0	0	0	0	果実径5cm
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	0	0	0	0	0	0	0	果実径5cm
	玉城町蚊野1	0	0	0	0	0	0	0	果実径4cm
平均		0	0	0	0	0	0	0	
平年(10年平均)		10.1	0	0	0	0.2	0.9	0	

8月										
地区	調査場所	うどんこ病		炭疽病		カメムシ類		カキノハタムシガ被害果率(%)	備考	調査月日
		発病葉率(%)	発病新梢率(%)	発病新梢率(%)	発病新梢率(%)	叩き落とし虫数	被害果率(%)			
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	32	0	0	0	0	0	0	果径6.5cm	8月1日
	松阪市嬉野川北町1	40	0	0	0	0	0	0	果径6cm	8月1日
伊勢	玉城町蚊野(定)	0	0	0	0	0	0	0		8月5日
	玉城町蚊野1	0	0	0	0	0	0	0		8月5日
平均		18.0	0	0	0	0	0	0		
平年(10年平均)		6.9	0	0	0	0.7	0.03	0		

9月	地区	調査場所	うどんこ病		炭疽病		カメムシ類		カキノヘタムシガ被害果率(%)	生育状況等	調査月日
			発病葉率(%)	発病新梢率(%)	発病果率(%)	見取り虫数	見取り虫数				
	松阪	松阪市嬉野川北町(定)	14	0	0	2	0	0	0		9月9日
		松阪市嬉野川北町1	30	0	0	2	0	2	0		9月9日
	伊勢	玉城町蚊野(定)	0	0	0	0	0	0	0	白変葉(ハスモンヨトウ孵化直後)あり。	9月9日
		玉城町蚊野1	0	0	0	0	0	0	0	ヒロヘリアオイライガ幼虫確認。	9月9日
	平均		11.0	0	0	1.0	0	0	0.5		
	平年(10年平均)		17.6	0	0	2.3	0	0	0.5		

10月	地区	調査場所	うどんこ病		炭疽病		カメムシ類		カキノヘタムシガ被害果率(%)	生育状況等	調査月日
			発病葉率(%)	発病新梢率(%)	発病果率(%)	見取り虫数	見取り虫数				
	松阪	松阪市嬉野川北町(定)	10	0	0	0	0	0	0	果径8cm。角斑落葉病あり。	10月5日
		松阪市嬉野川北町1	26	0	0	0	0	0	0	果径8cm。角斑落葉病あり。	10月5日
	伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	0	0	0	0	0	0	0	果径8cm。	10月7日
		玉城町蚊野1	0	0	0	0	0	0	0	果径8cm。ハスモンヨトウ卵塊、食害痕あり。	10月7日
	平均		9.0	0	0	0	0	0	0		
	平年(10年平均)		19.3	0.4	0.4	5.9	0.03	0.05	0.05		

ブドウ巡回調査結果

地区	調査場所	黒とう病 発病率(%)		品種	生育状況等	調査月日
		べと病 発病率(%)	黒とう病 発病率(%)			
津	津市久居明神町	—	—	安芸クイーン	未展葉	4月6日
	伊勢志摩 玉城町勝田	—	—	デラウェア	未展葉	4月4日
伊賀	伊賀市森寺(定)	—	—	安芸クイーン		—
	伊賀市森寺1	—	—	巨峰		—
	伊賀市上ノ庄(定)	—	—	巨峰		—
	伊賀市上ノ庄1	—	—	巨峰		—
	名張市下小波田1	—	—	デラウェア		—
名張市下小波田2	—	—	巨峰		—	
平均						
平均(7年平均)		—				

※一の圃場では萌芽未確認または未調査。2009年から調査開始。

地区	調査場所	べと病 発病率(%)	黒とう病 発病率(%)	ハダニ類		品種	生育状況等	調査月日
				寄生率(%)	寄生虫数/葉			
津	津市久居明神町	0	0	0	0	安芸クイーン		5月11日
	伊勢志摩 玉城町勝田	0	0	0	0	デラウェア		5月13日
伊賀	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	安芸クイーン		5月13日
	伊賀市森寺1	0	8	0	0	巨峰	殺菌剤無散布	5月13日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	巨峰		5月13日
	伊賀市上ノ庄1	0	0	0	0	巨峰		5月13日
	名張市下小波田1	0	0	0	0	デラウェア		5月13日
名張市下小波田2	0	0	0	0	巨峰		5月13日	
平均		0	1.0	0	0			
平均(10年平均)		0	0.6	0.03	0.003			

地区	調査場所	べと病		黒とう病		ハダニ類		チャノキイロアザミウマ 被害総軸率(%)	品 種	生育状況等	調査月日
		発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	寄生率(%)	寄生虫数/葉				
津	津市久居明神町	0	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン		6月9日
	伊勢志摩 玉城町勝田	0	0	0	0	0	0	0	デラウエア		6月7日
伊賀	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン		6月8日
	伊賀市森寺1	0	0	14	0	0	0	0	巨峰	殺菌剤無散布区。	6月8日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	0	0	0	巨峰		6月8日
	伊賀市上ノ庄1	0	0	0	0	0	0	0	巨峰		6月8日
	名張市下小波田1	0	0	0	0	0	0	0	デラウエア		6月8日
名張市下小波田2	0	0	0	0	0	0	0	巨峰		6月8日	
平均		0	0	1.8	0	0	0	0			
平年(10年平均)		0.05	0.9	0.1	0.0009	0	0	0			

地区	調査場所	べと病		黒とう病		ハダニ類		品 種	生育状況等	調査月日
		発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	寄生率(%)	寄生虫数/葉			
津	津市久居明神町	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	袋かけ済み	7月5日
	伊勢志摩 玉城町勝田	10	0	0	0	0	0	デラウエア	袋かけ済み	7月8日
伊賀	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン		7月5日
	伊賀市森寺1	0	0	0	0	0	0	巨峰	マメコガネ食害痕あり	7月5日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	0	0	巨峰		7月5日
	伊賀市上ノ庄1	0	0	0	0	0	0	巨峰		7月5日
	名張市下小波田1	0	0	0	0	0	0	デラウエア	マメコガネ成虫確認	7月5日
名張市下小波田2	0	0	0	0	0	0	巨峰	チャバネアオカマムシ成虫確認	7月5日	
平均		1.3	0	0	0	0	0			
平年(10年平均)		3.8	1.2	2.2	0.04	0	0			

地区	調査場所	べと病		黒とう病		眠腐病		ハダニ類		チャノキイロアザミウマ		カメムシ類		備考	調査月日
		発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	被害穂軸率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)		
津	津市久居明神町	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	袋かけ済み	8月3日
	玉城町勝田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	デラウェア	収穫済み	8月5日
伊賀	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	袋かけ済み	8月5日
	伊賀市森寺1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	袋かけ済み	8月5日
	伊賀市上/庄(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	袋かけ済み	8月5日
	伊賀市上/庄1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	袋かけ済み	8月5日
名張市	名張市下小波田1	0	16	2	0	0	0	0	0	0	0	0	デラウェア	袋かけ済み、葉にマコガネ食害痕あり(成虫確認)。 クサカメムシ(幼虫)、7本ノカネも確認。	8月5日
	名張市下小波田2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	袋かけ済み	8月5日
平均		0.8	2.0	2.0	0	0	0	0	#DIV/0!	0	0	0			
10年平均		11.6	1.2	11.5	2.7	0.10	3.7	0.1	(8年平均)	0.1	(9年平均)				

地区	調査場所	べと病		黒とう病		ハダニ類		チャノキイロ		品種	生育状況等	調査月日
		発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	アザミウマ	被害穂軸率(%)			
津	津市久居明神町	0	0	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	ハスモンヨトウ卵確認。	9月5日
	玉城町勝田	0	0	0	0	2	0.02	0	0	デラウェア	収穫済み。	9月9日
伊賀	伊賀市森寺(定)	0	0	2	0	0	0	0	0	安芸クイーン	晩腐病確認(晩腐病に対する殺菌剤無散布区)。	9月9日
	伊賀市森寺1	0	0	4	0	0	0	0	0	巨峰	収穫済み。	9月9日
	伊賀市上/庄(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰		9月9日
	伊賀市上/庄1	0	0	2	0	0	0	0	0	巨峰		9月9日
名張市	名張市下小波田1	0	0	0	0	0	0	0	0	デラウェア		9月9日
	名張市下小波田2	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰		9月9日
平均		0	0	1.0	0.3	0.003	0.01	0	0			
10年平均		15.2	0.8	0.8	0.8	0.01	16.6	0.1	(5年平均)			

10月										
地区	調査場所	べと病		黒じつ病		ハダニ類		品種	生育状況等	調査月日
		発病葉率(%)	0	発病葉率(%)	0	寄生葉率(%)	寄生虫数(頭/葉)			
津	津市久居明神町	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン		10月5日
伊勢志摩	玉城町勝田	0	0	0	0	0	0	ブライウェア		10月7日
伊賀	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン		10月7日
	伊賀市森寺1	0	0	0	0	0	0	巨峰		10月7日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	0	0	巨峰		10月7日
	伊賀市上ノ庄1	0	2	0	2	0	0	巨峰		10月7日
	名張市下小波田1	0	0	0	0	0	0	ブライウェア	コウモリが食害痕あり。	10月7日
	名張市下小波田2	2	0	0	0	0	0	巨峰		10月7日
	平均	0.3	0.3	0	0.3	0	0			
	平年(10年平均)	11.8	0.3	1.0	0.01					

ウメ巡回調査結果

4月												
地区	調査場所	黒星病		かいよう病		アブラムシ類		ウメシロ		生育状況等	調査月日	
		果実発病度	0	果実発病度	0	葉発病度	寄生枝率(%)	カイガラムシ	寄生枝率(%)			
津	津市片田中町	0	0	0	0	0	0	0	0	白加賀	未展葉	4月6日
伊勢志摩	南伊勢町船越	0	0	0	0	0	0	0	0	五ヶ所小梅		4月7日
紀州	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	2	0	南高		4月5日
	紀宝町大里	-	0	0	0	0	0	0	0	南高	未展葉	4月5日
	平均	0	0	0	0	0	0	0.5				
	平年(7年平均)	0	0.05	0	0	0	0	16.8				
	(6年平均)											

※一の圃場では、果実が微小または葉が未展開のため調査せず。2009年から調査開始。

地区	調査場所	黒星病		かいよう病		アブラムシ類		ウツロコイガラムシ 寄生枝率(%)	品 種	生育状況等	調査月日
		果実発病度	葉発病度	果実発病度	葉発病度	葉発病度	寄生枝率(%)				
津	津市片田中町	1.1	0	0	0.3	0	0	0	白加賀		5月11日
	伊勢志摩 南伊勢町船越	0	0.6	0	0	0	0	0	五ヶ所小梅		5月10日
紀州	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	0	南高		5月12日
	紀宝町大里	0	0	0	0	0	0	0	南高		5月12日
	平 均	0.3	0.1	0.07	0	0	0	0			
	平年(7年平均)	2.9	0.4	0.1	0	0	0.4	14.5			
※ウツは平成21年(2009年)度からの調査											

地区	調査場所	黒星病		かいよう病		アブラムシ類		ウツロコイガラムシ 寄生枝率(%)	品 種	生育状況等	調査月日
		果実発病度	葉発病度	果実発病度	葉発病度	葉発病度	寄生枝率(%)				
津	津市片田中町	—	—	—	—	0	0	0	白加賀	収穫済み	6月9日
	伊勢志摩 南伊勢町船越	0.3	0	0	0	0	0	0	五ヶ所小梅	収穫済み	6月10日
紀州	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	0	南高		6月8日
	紀宝町大里	0.1	0	0	0	0	0	0	南高		6月8日
	平 均	15.0	1.5	0.06	0.6	8.3					
	平年(7年平均)										

果樹カメムシ類越冬個体数調査

a. チャバネアオカメムシ越冬冬量調査													
調査地点	調査年月	2007.2	2008.3	2009.3	2010.2	2011.1	2012.1	2013.1	2014.1	2015.1	2016.2	2017.1	単位:頭 10年平均 (2007.2~2016.2)
津市白山町二本木 (スギ、ヒノキ林)		0	3	2	4	0	1	0	1	1	0	0	1.2
津市白山町川口 (スギ、ヒノキ林)		0	0	1	9	0	17	1	13	9	0	0	5.0
松阪市大阿坂町 (広葉樹林)		1	1	0	0	0	4	1	27	1	0	1	3.5
松阪市小阿坂町 (ヒノキ林)		0	0	2	6	3	2	2	36	28	0	6	7.9
平均		0.3	1.0	1.3	4.8	0.8	6.0	1.0	19.3	9.8	0	1.8	4.4
採集地点率(%)		25	50	75	75	25	100	75	100	100	0	50	62.5
※1地点あたり1m ² 範囲内の落葉を3カ所採取し(計3m ²)、捕獲した数を計測。 ※調査は、例年1月～3月に実施。													
b. クサギカメムシ越冬冬量調査													
調査地点	調査年月	2007.2	2008.2	2009.3	2010.2	2011.1	2012.1	2013.1	2014.1	2015.1	2016.2	2017.1	単位:頭 10年平均 (2007.2~2016.2)
津市白山町二本木 (スギ、ヒノキ林)		8	6	3	14	3	17	1	12	9	7	4	8.0
津市白山町川口 (スギ、ヒノキ林)		149	52	23	174	23	294	8	658	543	46	38	197.0
南伊勢町船越 (カンキツ園)		1	2	1	33	0	5	0	55	5	4	30	10.6
御浜町志原 (カンキツ園)		1	0	1	1	0	1	0	3	10	1	0	1.8
平均		39.8	15.0	7.0	55.5	6.5	79.3	2.3	182.0	141.8	14.5	18.0	54.4
採集地点率(%)		100	75	100	100	50	100	50	100	100	100	75	87.5

※越冬小屋(0.6m×0.6m×1m)に入った数を計測。

※例年小屋の設置は10月上旬。1月～2月に回収調査を実施。

※2008年2月までは志摩市磯部町堀切で調査。以降は、南伊勢町船越に、設置場所を西へ約7km移動して調査。

広域病害虫防除員調査結果
カンキツ 6月

地区	調査地点	品種	そうか病			かいよう病			黒点病			ミカンハダニ		生育状況等	調査日	
			発病葉数	発病葉率	発病果数	発病果率	発病葉数	発病葉率	発病果数	発病果率	発病葉数	発病葉率	寄生葉率			虫数/葉
伊勢	南伊勢町船越1	早生温州	1	2	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1次落下終期、自己剪定完、緑化前。 ミカンハダニ発生初期。	6月7日	
	南伊勢町船越2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		6月7日	
	南伊勢町船越3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		6月7日	
	南伊勢町五分所1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1		6月7日	
	南伊勢町五分所2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		6月7日	
	南伊勢町五分所3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	3		6月7日	
	平均		0.2	0.3	0	0	0	0	0	0	1	1	1		6月7日	
	過去の平均値 (データ数)		0.2	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.03	0.03			
	10	10	4	4	10	10	4	4	4	4	10	10	10			
	東紀州	熊野市金山町1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24		2.33	早生温州:新梢少 極早生温州:肥大良好、新梢(春葉)に食害多い 不知火:生理落下期 早生温州:着果多 伊予柑:新芽(2cm程)の発生目立つ、シカの食害見られる。 セミノール: 極早生温州:樹勢弱、肥大良 セミノール:生理落下期 カラ:旧葉にかいよう病斑 甘夏:新梢少 極早生温州: 極早生温州: 極早生温州:着果やや少、ハダニ多い 早生温州:着果少、ハダニ多い 不知火:生理落下期、肥大良
熊野市金山町2		極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6月7日		
熊野市金山町3		不知火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	1.75	6月7日		
御浜町神木1		早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6月7日		
御浜町神木2		伊予柑	0	0	0	0	3	6	0	0	2	2.00	2.00	6月7日		
御浜町神木3		セミノール	0	0	0	0	0	0	0	0	54	2.63	2.63	6月7日		
御浜町下市木1		極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6月7日		
御浜町下市木2		セミノール	0	0	0	0	1	2	0	0	24	1.33	1.33	6月7日		
御浜町下市木3		カラ	5	10	0	0	8	16	0	0	0	0	0.00	0.00	6月7日	
御浜町阿田和1		甘夏	0	0	0	0	0	0	0	0	82	2.80	2.80	6月7日		
御浜町阿田和2		極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1.00	1.00	6月7日		
御浜町阿田和3		極早生温州	3	6	0	0	0	0	0	0	22	1.45	1.45	6月7日		
紀宝町井田1		極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	90	6.58	6.58	6月7日		
紀宝町井田2		早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	66	3	3	6月7日		
紀宝町井田3		不知火	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6月7日		
平均		1	1	0	0	1	2	0	0	25.9	1.68	1.68				
過去の平均値 (データ数)		0.2	0.3	0.0	0.0	0.5	1.0	0.0	0.0	6.0	0.17	0.17				
10	10	4	4	10	10	4	4	4	4	10	10	10				

※いずれも50葉または50果調査。過去の平均値は、平成23年までは5月の調査結果。

広域病害虫防除員調査結果
カンキョウ 8月

地区	調査地点	品種	そうか病			かいよう病			黒点病		ミカンハダニ		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病率	発病果数	発病率	発病果数	発病率	発病果数	発病率	寄生葉率	虫数/葉		
伊勢	南伊勢町船越1	早生温州	0	0	0	0	0	0	8	16	30	1.1	果実径3.5cm。夏芽少発生。ミカンハダニの被害程度は初期。	8月2日
	南伊勢町船越2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		8月2日
	南伊勢町船越3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		8月2日
	南伊勢町五分所1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1		8月2日
	南伊勢町五分所2	早生温州	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0		8月2日
	南伊勢町五分所3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		8月2日
	平均		0.0	0.0	0.3	0.7	0	0	1.3	2.7	5	0		
	過去の平均値 (データ数)		0.1	0.2	0.1	0.3	0.0	0.0	0.3	0.6	1.9	0.02		
	10		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10		
東紀州	熊野市金山町1	早生温州	0	0	0	0	0	0	4	8	50	2.48	早生温州：樹勢並、着果やや少、肥大良 マルチ栽培 不知火：樹勢良、着果やや少	8月3日
	熊野市金山町2	不知火	0	0	0	0	0	0	11	22	0	0.00	極早生温州：樹勢並、着果やや多、マルチ栽培 不知火：しぼろく管理されていない様子。雑草が生い	8月3日
	熊野市金山町3	極早生温州	0	0	0	0	0	0	2	4	16	3.88	茂り防除のあともない。	8月3日
	御浜町神木1	伊予柑	0	0	0	0	0	6	26	52	12	1.17	伊予柑：樹勢良、着果やや多、肥大良好	8月3日
	御浜町神木2	セミノール	0	0	0	0	0	1	39	78	4	1.00	セミノール：樹勢良、着果並	8月3日
	御浜町神木3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	8	2	早生温州：樹勢弱、半樹摘果、マルチ栽培 セミノール：黒点病の被害程度は低いが大範囲に発症。	8月3日
	御浜町下市木1	カラ	2	4	0	0	4	8	0	0	8	1.5	果実にキズ多い。	8月3日
	御浜町下市木2	セミノール	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0.00	カラ：樹勢並、着果バラツキ セミノール：樹勢やや弱、着果多、肥大少	8月3日
	御浜町下市木3	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	極早生温州：樹勢やや弱、着果やや多、マルチ栽培 カラ：かいよう病部分的に発症。極端に樹勢の悪い樹 が数本ある(カミクリムシ?)。	8月3日
	御浜町阿田和1	甘夏	0	0	0	0	2	4	17	34	0	1.80	極早生温州：初期の日焼け症状あり。	8月3日
	御浜町阿田和2	極早生温州	0	0	0	0	0	0	1	2	4	1.00	甘夏：樹勢並、着果並、肥大良 極早生温州：樹勢並、着果並、肥大遅れ マルチ栽培	8月3日
	御浜町阿田和3	極早生温州	0	0	0	0	0	0	20	40	0	0.00	極早生温州：樹勢並、着果やや多、肥大良。黒点病の 被害は軽い。	8月3日
紀宝町井田1	不知火	0	0	0	0	0	0	2	4	10	1.2	不知火：樹勢並、着果やや多、肥大良	8月3日	
紀宝町井田2	極早生温州	2	4	0	0	0	0	0	0	22	10.82	極早生温州：樹勢並、着果多、マルチ栽培、果実キズ 多い。ハダニ部分的に多発。	8月3日	
紀宝町井田3	早生温州	0	0	0	0	4	8	6	12	2	1	早生温州：樹勢良、着果やや多、肥大良 マルチ栽培 培、果実キズ多い。	8月3日	
	平均		0.3	0.5	0	0	0.7	1.3	7.4	14.8	9.7	1.86		
	過去の平均値 (データ数)		0.1	0.3	0.0	0.0	0.9	1.9	1.9	3.8	7.3	0.38		
	10		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10		

※いずれも50葉または50果調査。過去の平均値は、平成23年までは7月の調査結果。

広域病害虫防除員調査結果
カンキョウ 10月

地区	調査地点	品種	そうか病		かいよう病		黒点病		ミカンハダニ		生育状況等	調査日	
			発病薬数	発病薬率	発病薬数	発病薬率	発病果数	発病果率	発病果数	発病果率			虫数/葉
伊勢	南伊勢町船越1	早生温州	1	2	6	12	0	0	15	30	0	0	10月4日
	南伊勢町船越2	早生温州	0	0	0	0	0	0	8	16	0	0	10月4日
	南伊勢町船越3	早生温州	1	2	0	0	0	0	9	18	0	0	10月4日
	南伊勢町五ヶ所浦1	早生温州	1	2	0	0	0	0	3	6	2	1	10月4日
	南伊勢町五ヶ所浦2	早生温州	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	10月4日
	南伊勢町五ヶ所浦3	早生温州	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	10月4日
	平均		0.8	1.7	1.0	2.0	0.0	0.0	6.2	12.3	0.3	0.167	
	過去の平均値 (データ数)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	36.3	2.9	0.05	
	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
	東紀州	熊野市金山町1	早生温州	0	0	0	0	0	0	27	54	0	0
熊野市金山町2		不知火	0	0	0	0	0	0	14	28	0	0	10月6日
熊野市金山町3		極早生温州	0	0	0	0	0	0	14	28	0	0	10月6日
御浜町神木1		伊予柑	3	6	0	0	0	0	34	68	0	0	10月6日
御浜町神木2		極早生温州	0	0	0	0	0	0	8	16	0	0	10月6日
御浜町神木3		早生温州	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	10月6日
御浜町下市木1		カラ	8	16	0	0	7	14	0	0	0	0	10月6日
御浜町下市木2		セミノール	0	0	0	0	0	0	4	8	2	1	10月6日
御浜町下市木3		極早生温州	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	10月6日
御浜町阿田和1		甘夏	0	0	0	0	0	0	11	22	0	0	10月6日
御浜町阿田和2		極早生温州	0	0	0	0	0	0	3	6	0	0	10月6日
御浜町阿田和3		極早生温州	0	0	0	0	0	0	6	12	0	0	10月6日
紀宝町井田1		不知火	0	0	0	0	0	0	3	6	2	1	10月6日
紀宝町井田2		極早生温州	1	2	0	0	0	0	2	4	0	0	10月6日
紀宝町井田3		早生温州	0	0	0	0	0	0	8	16	0	0	10月6日
平均		0.8	1.6	0	0	0	0.5	9.9	19.7	0.3	0.13		
過去の平均値 (データ数)		0.2	0.3	0.0	0.0	1.0	2.0	4.4	8.8	4.6	0.12		
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10		

※いずれも50葉または50果調査。過去の平均値は、平成23年までは9月の調査結果。

広域病害虫防除員調査結果
ブドウ 7月

地区	調査地点	品種	べと病		晩腐病		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病房数	発病房率		
伊賀	伊賀市上之庄1	巨峰	0	0%	0	0%	春先からの気温の上昇により、ハウス露地とも前進傾向。 予野地区の一部ほ場ではべと病が発生している。 (上之庄地区では露地ほ場が昨年より減少。)	7月12日
	伊賀市上之庄2	安芸クイーン	0	0%	0	0%		7月12日
	伊賀市上之庄3	巨峰	0	0%	0	0%		7月12日
	伊賀市予野1	巨峰	0	0%	0	0%		7月12日
	伊賀市予野2	巨峰	7	14%	0	0%		7月12日
	平均		1.4	2.8%	0	0%		
	過去の平均値 (データ数)		1.9 (8)	3.7% (8)	1.0 (8)	2.1% (8)		

※べと病は1圃場当り50葉、晩腐病は1圃場当り50房調査。

広域病害虫防除員調査結果
ブドウ 8月

地区	調査地点	品種	べと病		晩腐病		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病房数	発病房率		
伊賀	伊賀市上之庄1	巨峰	0	0%	0	0%	気温が平年より高いので生育は早く着色が早い。 房の日焼けが多い。 一部でべと病が見られるが限定的である。 今年は晴天・高温のためべと病の発生少ない。	8月10日
	伊賀市上之庄2	巨峰	0	0%	0	0%		8月10日
	伊賀市上之庄3	安芸クイーン	0	0%	0	0%		8月10日
	伊賀市予野1	巨峰	10	20%	0	0%		8月10日
	伊賀市予野2	巨峰	0	0%	0	0%		8月10日
	平均		2	4%	0	0%		
	過去の平均値 (データ数)		6.9 (8)	13.8% (8)	9.3 (8)	18.5% (8)		

※べと病は1圃場当り50葉、晩腐病は1圃場当り50房調査。

広域病害虫防除員調査結果
ブドウ 9月

地区	調査地点	品種	べと病		晩腐病		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病房数	発病房率		
伊賀	伊賀市上之庄1	巨峰	3	6%	20	40%	・春先からの気温上昇によりハウス・露地共に前進傾向。 ・べと病は少ないが9月に入り晩腐病が多発している。 ・ハウスは無核のほ場もある。	9月7日
	伊賀市上之庄2	巨峰	5	10%	20	40%		9月7日
	伊賀市上之庄3	安芸クイーン	5	10%	25	50%		9月7日
	伊賀市予野1	巨峰	10	20%	5	10%		9月7日
	伊賀市予野2	巨峰	7	14%	10	20%		9月7日
	平均		6.0	12.0%	16.0	32.0%		
	過去の平均値 (データ数)		12.0 (8)	25.9% (8)	18.1 (5)	30.0% (5)		

※べと病は1圃場当り50葉、晩腐病は1圃場当り50房調査。

(5) 茶

茶巡回調査結果(2016年4月)

地区	調査場所	炭疽病		カンザワハダニ		チャノミドリ		チャノキイロ		ハマキムシ類		クワシロカイ		チャトグコナジラミ		備考
		発病枚数	旧葉寄生率(%)	新葉寄生率(%)	たたき落と	たたき落とし虫数	たたき落と	たたき落とし虫数	たたき落と	たたき落とし虫数	たたき落と	たたき落とし虫数	雌成虫寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	
四日市	四日市市水沢町(定)	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	24	8.7	少	4月6日 たたき落として「ハダニ」確認
	四日市市水沢町1	0	0	0	0	1	2	0	0	2	0	0	94	37.3	少	4月6日 区外で「チャノホンガ」の葉巻1箇所確認
	四日市市水沢町2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62	21.3	少	4月6日
鈴鹿市	鈴鹿市山本町(定)	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	56	36	13.3	少	4月6日 区外で「アブラムシ」確認
	鈴鹿市山本町1	0	8	0.26	0	0	0	0	0	0	0	4	14	4.7	少	4月6日 たたき落として「ハダニ」・「チャノホンガ成虫」確認
	鈴鹿市山本町2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	48	16.0	少	4月6日
亀山市	鈴鹿市山本町3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	8	42	14.0	中	4月6日
	亀山市太森町1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	92	50.0	中	4月6日
	亀山市太森町2	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	56	18.7	少	4月6日
松阪市	亀山市太森町3	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	20	60	22.7	少	4月6日
	松阪市飯南町粥見1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	36	70	23.3	少	4月4日 たたき落として「ハダニ」確認
	松阪市飯南町粥見2	0	88	1.70	0	0	3	0	0	0	0	20	46	15.3	少	4月4日
大台町	松阪市飯南町粥見3	0	8	0.18	0	1	1	1	0	0	1	16	40	13.3	少	4月4日 たたき落として「ハダニ」確認
	大台町栃原(定)	0	12	0.06	2	0	0	0	0	0	0	4	16	5.3	少	4月4日
	大台町栃原1	0	24	0.68	0	1	0	0	0	0	0	0	6	2.0	少	4月4日 たたき落として「ハダニ」確認
伊勢志摩	大台町栃原2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	3.3	少	4月4日 区外で「チャノミドリ」・「ハダニ」確認
	度会町牧戸1	0	8	0.04	0	0	0	0	0	4	0	4	0	0	無	4月4日 たたき落として「ハダニ」確認
	度会町牧戸2	0	8	0.06	0	0	0	0	0	0	0	0	52	17.3	少	4月4日 たたき落として「ハダニ」確認
平均	1.9	9.9	0.39	0.2	0.7	0.5	0.7	0.06	10.4	42.7	15.9	少				
前年(2015年)	3.0	3.2	0.12	0.3	2.6	0.4	0.2	16.6	41.7	18.9						
前年(10年平均)	10	10	10	10	10	10	10	6	7	6						

※チャトグコナジラミ裾葉幼虫寄生程度; A:51頭以上、B:26頭~50頭、C:1頭~25頭、E:0頭
 寄生率={ (A×3)+(B×2)+(C×1) } / { 3×(調査葉数) } ×100
 発生程度のランク分けは右表による

チャトグコナジラミ	
寄生率	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

茶巡回調査結果(2016年5月)

地区	調査場所	炭疽病 発病枚数 /㎡	もち病 発病枚数 /㎡	カンザワハダニ 新葉寄生 率(%)	チャノホワダニ 新葉寄生 率(%)	チャノホワイ アザミウマ たたき落し 虫数	チャノホワイ アザミウマ たたき落し 虫数	チャノホワガ 巻葉数/ ㎡	チャノホワガ 幼虫数/ ㎡	ハマキム シ類 巻葉数/ ㎡	クワシロカ イガラムシ 雌成虫寄 生株率(%)	チャトクゴナジラミ幼虫		備考	
												寄生率%	寄生程度		発生度
四日市	水沢町(庄)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	14	4.7	少	区外でチャノホワガ巻1(幼虫なし) ツマクローオオカスミカマ被害葉6
	水沢町1	0	0	2	0.02	0	0	0	1	0	0	24	8.7	少	区外でチャノホワイアザミウマ
	水沢町2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	16	5.3	少	5月9日
鈴鹿市	山本町(庄)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5月9日 被覆中
	山本町1	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	0	0	0	無	5月9日 区外でチャノホワガ巻2(幼虫あり)
	山本町2	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	6	2.0	少	5月9日
亀山市	山本町3	0	0	0	0	0	2	4	3	1	0	30	10.0	少	5月9日
	大森町1	0	0	4	0.06	3	1	2	1	0	0	74	24.7	少	5月11日
	大森町2	0	0	6	0.08	33	3	0	0	0	2	52	17.3	少	5月11日
亀山市	大森町3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5月11日 被覆中
松阪市	飯南町粥見1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8	2.7	少	5月9日
	飯南町粥見2	0	0	4	0.04	0	0	0	0	0	8	12	4.0	少	5月9日 区外でチャノホワイアザミウマ
	飯南町粥見3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10	3.3	少	5月9日
大台町	栃原(庄)	0	0	48	1.98	0	0	0	0	0	4	4	1.3	少	5月9日
	栃原1	0	0	4	0.14	0	0	0	0	0	0	8	2.7	少	5月9日 たたき落しでカンザワハダニ
	栃原2	0	0	4	0.08	0	0	0	0	0	0	6	2.0	少	5月9日
伊勢 志摩	度会町柳橋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	4.7	少	5月9日 区外でチャノホワイアザミウマ
	度会町牧戸	0	0	4	0.04	0	0	0	0	0	2	14	4.7	少	5月9日
平均		0	0	4.9	0.15	2.3	0.4	0.6	0.3	0.3	1.3	18.3	6.1	少	
前年(2015年)		0.2	0	9.6	0.25	1.7	5.1	0	0	0.05	11.4	20.2	6.7		
平年(10年平均)		0.1	0	4.8	0.11	0.8	4.2	0.02	0	0.1	16.1	43.3	24.2		
データ数		10	10	10	10	10	10	5	3	10	10	7	6		

チャトクゴナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

※炭疽病、もち病、ハマキムシ類、チャノホワガについては、株調査(1/8㎡×8分所=1㎡)による。
 ※チャトクゴナジラミ稚葉幼虫寄生程度: A:51頭以上、B:26頭~50頭、C:1頭~25頭、E:0頭
 寄生度=(A×3)+(B×2)+(C×1)/(3×(調査葉数))×100
 発生程度のランク分けは右表による。

茶巡回調査結果(2016年6月)

地区	調査場所	炭疽病										チャトゲコナジラミ		備考		
		もち病	カンザワハダニ	チャノヒメヨコバイ	チャノアザミウマ	ハマキムシ類	チャノホソガ	ツマグロアオカスミカメ	クワシロカイガラムシ	雄マユ寄生率(%)	雌成虫寄生率(%)	糖葉幼虫寄生率(%)	発生程度			
四日市	四日市市水沢町(定)	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	10	3.3	少	シヤクガ類1頭確認
	四日市市水沢町1	0	0	0.04	0	7	2	0	0	2	0	0	4	1.3	少	枠区外で「炭疽病」1葉確認
	四日市市水沢町2	0	0	0	4	4	8	0	0	0	0	0	6	2.0	少	ハマキムシ類の食害散見
	鈴鹿市山本町(定)	0	0	0	7	0	5	0	0	80	16	0	0	0	無	区外で「ハマキムシ」確認
	鈴鹿市山本町1	0	0	0.02	3	0	0	3	0	2	0	0	2	0.7	少	6月6日
	鈴鹿市山本町2	0	0	0	14	11	6	4	0	44	4	8	2.7	少	ハマキムシ類幼虫・巻葉散見 区外で「チャノミドリヒメヨコバイ」確認	
	鈴鹿市山本町3	0	0	0	5	12	0	1	0	0	0	0	0	0	無	6月6日
	亀山市太森町1	0	0	0	0	4	3	0	0	16	0	28	9.3	少	6月9日	
	亀山市太森町2	0	0	0.06	0	6	4	0	0	12	0	10	3.3	少	6月9日	
	亀山市太森町3	0	0	0.04	3	2	3	0	0	30	2	0	0	0	無	6月9日
松阪	松阪市飯南町粥見1	0	0	0	0	1	0	0	0	48	8	4	1.3	少	6月6日	
	松阪市飯南町粥見2	1	0	0	28	31	0	0	44	4	2	0.7	少	ツマグロアオカスミカメの食害散見 チャノミドリヒメヨコバイ散見		
	松阪市飯南町粥見3	0	0	0	6	12	0	0	16	2	0	0	0	無	6月6日	
	大台町枋原(定)	0	0	0	17	1	0	0	2	0	4	1.3	少	6月6日		
	大台町枋原1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	無	6月6日
	大台町枋原2	0	0	0	0	2	0	0	4	0	2	0.7	少	6月6日		
	度会町牧戸1	0	0	0.02	16	50	0	0	4	0	14	4.7	少	6月6日		
	度会町牧戸2	1	0	0	0	10	3	0	10	0	2	0.7	少	6月6日		
	平均	0.1	0	0.8	5.8	8.8	2.0	0.4	0	17.4	2.1	5.3	1.8	少	区外でハマキムシ類幼虫確認	
	前年(2015年)	1.2	0	4.6	0.11	1.5	0.4	0.1	0.4	8.3	3.2	10.1	3.7			
平年(10年平均)	0.3	0.01	4.4	0.11	1.3	10.9	0.4	0.2	3.4	8.1	8.3	29.3	13.3			
データ数	10	10	10	10	10	10	10	10	5	10	6	6	5			

チャトゲコナジラミ幼虫	寄生率	発生程度
81以上	甚	
61~80	多	
41~60	中	
1~40	少	
0	無	

※炭疽病、もち病、チャノホソガ、ハマキムシ類、ツマグロカスミカメは、特調査(1㎡)による。
 ※チャトゲコナジラミ糖葉幼虫寄生率: A: 51頭以上、B: 26頭~50頭、C: 1頭~25頭、E: 0頭
 寄生率 = ((A × 3) + (B × 2) + (C × 1)) / (3 × (調査葉数)) × 100
 発生程度のランク分けは右表による。

茶巡回調査結果(2016年7月)

地区	調査場所	炭疽病		もち病		輪斑病		カンザワハダニ		チャバシロヒメ		チャバシロア		ハマキム		ツマグロカ		クワシロカイガラムシ		チャトゲコナジラミ		備考			
		発病枚数 (当年葉)/ ㎡	発病枚数 (新葉)/ ㎡	発病枚数 (当年葉)/ ㎡	発病枚数 (新葉)/ ㎡	発病枚数 (当年葉)/ ㎡	発病枚数 (新葉)/ ㎡	たつき落と し虫数	たつき落と し虫数	寄生葉 数/葉	寄生葉 率(%)	寄生虫 数/葉	たつき落と し虫数	巻葉数 /㎡	巻葉数 /㎡	巻葉数 /㎡	被害芽数 /㎡	雄マユ寄生 株率(%)	雌成虫寄生 株率(%)	寄生葉 率(%)	寄生度		発生程 度	調査月日	
四日市 鈴鹿	四日市市水沢町(定)	0	0	0	0	0	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2.0	少	7月6日 摘採済	
	四日市市水沢町1	0	0	0	0	0	1	0	4	0.04	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	60	23.3	少	7月6日 摘採済	
	四日市市水沢町2	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	16.7	少	7月6日 摘採済		
	鈴鹿市山本町(定)	2	0	0	0	0	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	78	36	12.0	少	7月6日 摘採済	
	鈴鹿市山本町1	1	0	0	0	0	7	12	0	0	0	2	0	1	6	20	44	16.0	少	20	44	16.0	少	7月6日 摘採前	
	鈴鹿市山本町2	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	12	54	34	14.7	少	54	34	14.7	少	7月6日 区外で「アザシマ」、旧葉で「炭疽病」が散見	
	鈴鹿市山本町3	1	0	0	0	4	0.04	1	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	11.3	少	7月6日 摘採済 旧葉に炭素前散見		
	亀山市太森町1	0	0	1	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	4	4	68	34.0	少	4	68	34.0	少	7月7日 摘採済
	亀山市太森町2	0	0	1	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	27.3	少	7月7日 摘採中		
	亀山市太森町3	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	2	14	48	23.3	少	14	48	23.3	少	7月7日 摘採済	
松阪	松阪市飯南町粥見1	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	42	16.0	少	7月6日 摘採済	
	松阪市飯南町粥見2	1	0	2	4	0.04	2	10	0	0	0	0	0	0	4	8	38	14.7	少	8	38	14.7	少	7月6日 摘採済	
	松阪市飯南町粥見3	0	0	0	0	0	1	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	28	9.3	少	7月6日 摘採済		
	大台町栃原(定)	1	0	5	4	0.06	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	4.0	少	7月6日 摘採済		
	大台町栃原1	0	1	4	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	5.3	少	7月6日 摘採済 区外で「ウスバハゴロモ」の幼虫確認		
	大台町栃原2	2	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	34	11.3	少	7月6日 摘採済 ウスバハゴロモの幼虫散見 区外でツマグロアオカサミカミ幼虫確認		
	伊勢	0	0	1	0	0	2	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	5.3	少	7月6日 摘採済 区外でカンザワハダニ確認	
	志摩	1	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	2	2	32	10.7	少	2	32	10.7	少	7月6日 摘採済 区外でチャノキアオアサミカミ確認	
	平均	0.6	0.06	0.8	1.0	0.01	1.2	10.7	0.1	0	0.1	3.8	15.1	36.0	14.3	少									
	前年(2015年)	0.5	0	7.1	0.2	0.003	3.5	2.9	0	0.3	0.7	5.6	24.1	32.9	11.8	少									
平年(10年平均)	3.1	0	1.2	0.2	0.007	2.3	20.0	0.4	0.6	1.4	11.7	19.3	43.2	18.1	少										
データ数	10	4	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	6										

チャトゲコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	重
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

※炭疽病、輪斑病、カンザワハダニ、ハマキム類については、特調査(1㎡)による。
 ※クワシロカイガラムシ雄マユ寄生程度度:A:株の1/2以上かつ(調査株数)×100
 C:枝幹に転々、D:寄生なし、寄生度=[(A×3)+(B×2)+(C×1)]/(3×(調査株数))×100
 ※チャトゲコナジラミ一葉当たり寄生程度:A:51頭以上、B:26~50頭、C:1~25頭(調査株数)×100
 寄生度=[(A×3)+(B×2)+(C×1)]/(3×(調査株数))×100

茶巡回調査結果(2016年8月)

地区	調査場所	炭疽病 新葉発 病葉数/ 葉数/m ²	もち病 新葉発病 葉数/m ²	輪斑病 新葉発病 葉数/m ²	カンザワハダニ 寄生葉 寄生率(%)	チャノドビ メヨコバイ たつき落と し虫数	チャノキイロ アザミウマ たつき落と し虫数	ハマキム シ類 巻葉数/ 葉数/m ²	チャノボソ ガ 巻葉数/ 葉数/m ²	ツマノアオ カミカメ 被害葉数/ 葉数/m ²	ヨモギエ ダシヤク 幼虫数 /m ²	クワシロカイガラムシ 雌成虫寄 生率(%)	クワシロカイガラムシ 雄成虫寄 生率(%)	チャトクゴナジラミ幼虫 寄生率 寄生率(%)	発生 程度	調査月 日	備考	
四日市市	水沢町(定)	0	0	0	2	0.02	0	11	0	0	0	0	0	26	9.3	少	8月1日	
四日市市	水沢町1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	2	0	0	6	2.0	少	8月1日	
四日市市	水沢町2	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	52	19.3	少	8月1日	
鈴鹿市	山本町(定)	0	0	0	2	0.04	0	12	0	0	1	0	10	10	3.3	少	8月1日	区外でチャノドビヨコバイ
鈴鹿市	山本町1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	4	18	7.3	少	8月1日	
鈴鹿市	山本町2	0	0	0	2	0.02	0	1	1	0	0	10	10	38	13.3	少	8月1日	
鈴鹿市	山本町3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	4	0	6	8	2.7	少	8月1日	
亀山市	大森町1	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	8	6	2.0	少	8月2日	枠調査でチャノコカクモンハマキ成虫
亀山市	大森町2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1.3	少	8月2日	
亀山市	大森町3	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	10	0	4	1.3	少	8月2日	
松阪市	飯南町粥見1	0	0	0	2	0.02	0	2	0	0	0	48	0	4	1.3	少	8月1日	
松阪市	飯南町粥見2	3	1	0	0	0	2	0	0	0	0	14	4	14	4.7	少	8月1日	
松阪市	飯南町粥見3	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	40	2	6	2.0	少	8月1日	
松阪市	大台町柳原(定)	0	0	0	0	0	3	4	0	0	0	2	0	12	4.0	少	8月1日	たたき落とし調査でカンザワハダニ 枠調査は側面にて実施
大台町	柳原1	0	0	0	0	0	0	7	0	0	1	0	0	4	1.3	少	8月1日	たたき落とし調査及び枠調査でカン ザワハダニ
大台町	柳原2	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	4	0	6	2.0	少	8月1日	たたき落とし調査でカンザワハダニ
伊勢 志摩	度会町牧戸1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	16	5.3	少	8月1日	
伊勢 志摩	度会町牧戸2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	16	0	54	26.0	少	8月1日	
平均		0.2	0.06	0.3	0.4	0.006	0.6	4.6	0.1	0	0.6	0	9.6	1.7	16.0	6.0	少	
前年(2015年)		5.7	0.04	13.3	0	0	0.6	3.6	0.09	0.04	0	0.04	0.3	0	18.2	6.3		
平年(10年平均)		1.6	0.1	3.1	1.5	0.03	1.1	8.3	0.5	1.4	1.7	0.02	4.7	8.1	25.2	13.4		
データ数		10	4	10	10	10	10	10	10	10	5	4	10	10	6	7		

発生程度	チャトクゴナジラミ
8以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

※炭疽病、もち病、輪斑病、ハマキムシ類、チャノボソガ、ウスシロカミカメ、ヨモギエダシヤクについては、枠調査(1m²)による。
 ※チャトクゴナジラミ:一葉当たり寄生率(病葉当年巻葉):A:51頭以上、B:26~50頭、C:1~25頭、E:0頭
 寄生率={[(A×3)+(B×2)+(C×1)]/(3×(調査葉数))}×100、発生程度は右表によりランク分け

茶巡回調査結果(2016年9月)

地区	調査場所	炭疽病		輪斑病		カンザワハダニ		チャノドリヒメ ヨコバイ		チャノキイロア ザミウマ		ハマキムシ類		チャノホソガ		クワシロカイガラムシ		チャトゲコナジラミ幼虫		備考	
		新葉発病葉 数/m ²	寄生葉率 (%)	寄生葉数 /葉	寄生虫数 (頭)	たたく落と し虫数(頭)	たたく落と し虫数(頭)	たたく落と し虫数(頭)	雄寄生 株率(%)	雌成虫寄 生株率(%)	寄生率 (%)	発生程 度	発生率 (%)	寄生率 (%)	発生率 (%)	発生率 (%)	発生率 (%)	発生率 (%)	発生率 (%)		発生率 (%)
四日市市	水沢町(定)	1	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	14	0	14	0	14	8.7	少	9月6日	
四日市市	水沢町1	1	1	0	0	0	0	2	2	0	0	12	0	12	0	12	19.3	少	9月6日	区外でハマキムシ類巻葉	
四日市市	水沢町2	0	4	0	0	0	3	1	1	0	0	14	0	14	0	14	41.3	中	9月6日	たたく落とし調査でカンザワハ ダニ	
四日市市	山本町(定)	0	0	6	0.06	0	0	0	0	1	0	0	0	2	34	16.7	少	9月8日			
四日市市	山本町1	0	1	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	4	2.7	少	9月8日				
四日市市	山本町2	4	16	0	0	0	0	0	0	8	0	4	0	40	30.7	少	9月8日				
四日市市	山本町3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	78	56.7	中	9月8日				
亀山市	太森町1	1	0	0	0	0	0	20	20	5	0	10	2	46	24.7	少	9月8日		区外でハマキムシ類幼虫		
亀山市	太森町2	0	0	4	0.04	0	0	6	6	8	0	0	0	10	3.3	少	9月8日		区外でヨモギエダシヤク、アブ ラムシ類		
亀山市	太森町3	0	0	0	0	0	0	12	12	24	0	12	0	6	3.3	少	9月8日		区外でヨモギエダシヤク		
松阪市	飯南町粥見1	1	1	8	0.14	5	3	5	3	0	0	66	14	20	8.0	少	9月5日		新梢枯死症		
松阪市	飯南町粥見2	4	2	28	0.40	16	12	12	12	0	0	14	8	34	14.0	少	9月5日		新梢枯死症		
松阪市	飯南町粥見3	2	1	6	0.22	4	3	4	3	0	0	24	16	12	4.0	少	9月5日				
大台町	栃原(定)	4	3	34	0.58	15	6	15	6	1	0	0	0	16	5.3	少	9月5日		チャノドリヒメヨモギ散見		
大台町	栃原1	3	0	14	0.14	0	1	0	1	0	0	2	0	16	6.0	少	9月5日		新梢枯死症		
大台町	栃原2	2	1	0	0	0	3	0	3	0	0	2	0	18	6.7	少	9月5日				
伊勢 度会町	牧戸1	1	1	12	0.16	0	0	0	0	0	0	10	0	60	25.3	少	9月5日		新梢枯死症		
志摩 度会町	牧戸2	2	0	6	0.10	5	7	7	7	0	0	0	0	14	4.7	少	9月5日				
平均		1.4	1.9	6.6	0.10	2.7	4.4	2.9	0.2	2.3	28.2	15.6	少								
前年(2015年)		3.0	9.5	0.09	0.001	2.1	1.1	0.2	0.09	1.0	11.8	4.2									
平年(10年平均)		1.7	3.0	1.8	0.04	1.5	7.0	1.1	4.3	3.8	5.1	15.7	4.8								
データ数		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	7	6						

※炭疽病、もろ病、輪斑病、ハマキムシ類、ホソガ、ツマグロアオカスカミカメ、ヨモギエダシヤクは、株調査(1m²)による。

※輪斑病は新梢枯死症を含む。

※チャトゲコナジラミ: 寄生率(%) = (A×3) + (B×2) + (C×1) / (3×(調査葉数)) × 100

寄生率(%) = (A×3) + (B×2) + (C×1) / (3×(調査葉数)) × 100

発生率(%) = 右表による。

チャトゲコナジラミ 寄生率	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

茶巡回調査結果(2016年10月)

地区	調査場所	炭疽病	輪斑病	カンザワハダニ	チャノミドリヒメヨコバイ	チャノキイロアザミウマ	ハマキムシ類	チャノボソガ	ツマグロアオカスミカメ	クワシロカイガラムシ	チャトゴコナジラミ	幼虫	発生程度	備考			
		発病枚数/m ²	発病枚数/m ²	寄生率(%)	寄生虫数/葉	叩き落し虫数	巻葉数/m ²	幼虫数/m ²	被害葉数/m ²	雄マユ寄生株率(%)	雌成虫寄生株率(%)	寄生率(%)	寄生度	調査月日			
四日市	水沢町(定)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	4	1.3	少	10月6日 摘採後		
四日市	水沢町1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	38	13.3	少	10月6日 摘採後		
四日市	水沢町2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	2.7	少	10月6日 摘採後		
鈴鹿市	山本町(定)	0	0	0	3	0	0	3	0	0	0	18	6.0	少	10月6日 摘採前 区外でチャノボソガ幼虫確認		
鈴鹿市	山本町1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	12	4.0	少	10月6日 摘採前		
鈴鹿市	山本町2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	16	5.3	少	10月6日 摘採前		
鈴鹿市	山本町3	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	無	10月6日 摘採後		
亀山市	大森町1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	14	2	10	3.3	少	10月6日 摘採後	
亀山市	大森町2	0	0	2	0.02	3	1	0	0	0	12	6	4	1.3	少	10月6日 摘採前	
亀山市	大森町3	0	0	0	0	4	1	0	0	0	4	2	14	4.7	少	10月6日 摘採後	
松阪市	飯南町粥見1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	6	2.0	少	10月5日 摘採前 区外でチャノミドリヒメヨコバイ		
松阪市	飯南町粥見2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	38.7	少	10月5日 摘採後		
松阪市	飯南町粥見3	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	28	10	2	0.7	少	10月5日 摘採前	
松阪市	大台町柳原(定)	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.7	少	10月5日 摘採前 区外でチャノミドリヒメヨコバイ		
大台町	柳原1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4	1.3	少	10月5日 摘採前 たたき落としてカンザワハダニ		
大台町	柳原2	1	4	0	0	0	0	0	0	6	0	8	2.7	少	10月5日 摘採前 区外でチャノミドリヒメヨコバイ		
伊勢	度会町牧戸1	0	8	0	0	8	0	0	0	0	14	64	38.7	少	10月4日 摘採後		
志摩	度会町牧戸2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6	100	62.0	多	10月4日 摘採後		
平均		0.1	1.7	0.2	0.002	1.2	0.2	0	2.3	1.7	0	8.0	1.4	22.8	10.5	少	
前年(2015年)		0.3	2.3	0.3	0.01	0.7	0.2	0	2.2	0.9	1.0	1.4	0	8.6	3.0		
平年(10年平均)		2.1	1.9	1.1	0.02	1.1	3.8	0.05	4.1	2.4	1.3	11.7	3.4	20.2	9.9		
データ数		10	10	10	10	10	10	7	10	10	5	10	10	8	7		

※炭疽病、輪斑病、ハマキムシ類、チャノボソガについては、幹調査(m²)による。

※チャトゴコナジラミ、寄生率：裾葉当年春葉～前年最終葉一葉当たり；A:51頭以上、B:26～50頭、C:1～25頭、E:0頭。

寄生度=(A×3)+(B×2)+(C×1)/(3×(調査葉数))×100

発生程度：右表による。

チャトゴコナジラミ	
寄生率	発生程度
81以上	甚
61～80	多
41～60	中
1～40	少
0	無

茶巡回調査結果(2017年3月)

地区	調査場所	カンザワハダニ		クワシロカイガイガラムシ		チャトゴコナジラミ幼虫		調査月日	備考
		寄生葉率 (%)	寄生虫数/ 葉	雌成虫寄生株率(%)	寄生葉 率(%)	寄生度	寄生程度		
四日市	四日市市水沢町(定)	0	0	2	10	3.3	少	3月6日	
	四日市市水沢町1	0	0	0	42	14.0	少	3月6日	
	四日市市水沢町2	0	0	4	46	16.0	少	3月6日	
鈴鹿	鈴鹿市山本町(定)	0	0	0	10	3.3	少	3月6日	
	鈴鹿市山本町1	0	0	6	2	0.7	少	3月6日	
	鈴鹿市山本町2	0	0	14	8	2.7	少	3月6日	
亀山	鈴鹿市山本町3	0	0	0	30	10.7	少	3月6日	
	亀山市大森町1	2	0.02	0	34	11.3	少	3月6日	
	亀山市大森町2	0	0	4	14	4.7	少	3月6日	
松阪	亀山市大森町3	0	0	8	26	8.7	少	3月6日	
	松阪市飯南町粥見1	0	0	18	38	12.7	少	3月9日	
	松阪市飯南町粥見2	0	0	12	82	32.7	少	3月9日	
伊勢	松阪市飯南町粥見3	2	0.08	14	34	11.3	少	3月9日	
	大台町栲原(定)	8	0.22	0	8	2.7	少	3月9日	
	大台町栲原1	0	0	2	36	12.0	少	3月9日	
志摩	大台町栲原2	0	0	4	40	14.0	少	3月9日	
	度会町牧戸1	2	0.02	12	82	28.7	少	3月9日	
	度会町牧戸2	0	0	0	78	29.3	少	3月9日	区外でハダニ(1匹)確認
平均	0.8	0.02	5.6	34.4	12.1	少			
前年(2016年)	2.6	0.07	6.3	36.1	12.3				
平年(10年平均)	1.4	0.03	14.8	43.5	16.9				
データ数	10	10	10	7	6				

チャトゴコナジラミ	
寄生度	寄生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

※チャトゴコナジラミ罹染幼虫寄生程度;
A:51頭以上、B:26頭~50頭、C:1頭~25頭、E:0頭
寄生度=(3×NA+2×NB+1×NC)/3N)×100
寄生程度のランク分けは右表による。

広域防除員報告(茶)

調査方法

1圃場あたり炭疽病は1㎡を調査(1/8㎡枠調査×10カ所)

カンザワハダニは50葉の寄生葉率、寄生頭数を調査。

新葉がない場合は、旧葉を調査する。

生育状況、特記事項等を記録する。

調査結果

調査地点:松阪市飯南町粥見藤ヶ瀬 榎田川左岸下流(魚瀬橋付近)10圃場

調査日	平成28年5月11日						調査日	平成28年7月6日						
対象 病害虫	カンザワハダニ				炭疽病	備 考	対象 病害虫	カンザワハダニ				炭疽病	備 考	
	圃場 No.	寄生 虫数	頭数/ 葉	寄生 葉数	寄生葉 率(%)			発病葉数 (枚/㎡)	圃場 No.	寄生 虫数	頭数/ 葉	寄生 葉数		寄生葉 率(%)
	1	1	0.02	1	2	0		1	0	0	0	0	16	
	2	1	0.02	1	2	0		2	0	0	0	0	0	
	3	1	0.02	1	2	0		3	0	0	0	0	92	
	4	0	0	0	0	0		4	0	0	0	0	0	
	5	0	0	0	0	0		5	0	0	0	0	0	
	6	3	0.06	2	4	0		6	0	0	0	0	0	
	7	2	0.04	1	2	0		7	0	0	0	0	0	
	8	2	0.04	2	4	0		8	0	0	0	0	0	
	9	6	0.12	5	10	0		9	0	0	0	0	360	
	10	0	0	0	0	0		10	0	0	0	0	0	
平均	1.6	0.03	1.3	2.6	2.6	0	平均	0	0	0	0	0	46.8	
4年平均	2.3	0.05	0.6	1.1	1.1	0	4年平均	1.6	0.03	0.9	1.8	1.8	5.2	
生育状況等							生育状況等 ほとんどの園地が刈取り後の状態。 No.9園はかぶせ茶園。 全般的に「チャトゲコナジラミ」及び「クワシロカイガラムシ」が多い。							

(6) 野菜

1. トマト

トマト 《2016年4月》

地区	調査場所	調査月日	疫病 発病株率 (%)	葉かび病 発病株率 (%)	すすかび病 発病株率 (%)	黄化葉巻病 発病株率 (%)	灰色かび病		オンシツ コナジラミ 寄生 率(%)	タバコ コナジラミ 寄生 率(%)	ハモグリ ハエ類 被害株率 (%)	アブラ ムシ類 寄生株率 (%)	備考		
							葉 発病 株率(%)	果実 発病 株率(%)					品種	定植時期	その他
桑名	木曾岬町源緑輪中	4月8日	0	0	0	0	8	2	0	0	0	0	桃太郎はるか	9月7日	
	木曾岬町小和泉	4月8日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	3月1日	葉先のしおれ確認。
	木曾岬町見入	4月8日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	1月25日	
	桑名市長島町	4月8日	0	0	0	0	4	10	0	0	0	0	桃太郎プレミアム	10月5日	うどんこ病あり。病勢止まっている。
四日市	四日市市貝家町	4月7日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	TVみそら86	9月20日	病原菌多い
松阪	松阪市嬉野一志町	4月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月2日	
	明和町佐田	4月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ごほうび	1月7日	区外で灰色かび病(果実ゴーストスポット)確認。
伊勢	伊勢市小俣町相合	4月4日	0	10	0	0	10	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	葉かび病斑上に寄生菌確認。
平均			0	1.3	0.3	0	3.3	1.5	0	0	0	0			
平 年(10年平均)			0	6.7	0.3	1.4	12.1	0.8	0.7	0.2	0.3	0.03			

トマト 《2016年5月》

地区	調査場所	調査月日	疫病 発病株率 (%)	葉かび病 発病株率 (%)	すすかび病 発病株率 (%)	黄化葉巻病 発病株率 (%)	灰色かび病		オンシツ コナジラミ 寄生 率(%)	タバコ コナジラミ 寄生 率(%)	ハモグリ ハエ類 被害株率 (%)	アブラ ムシ類 寄生株率 (%)	備考		
							葉 発病 株率(%)	果実 発病 株率(%)					品種	定植時期	その他
桑名	木曾岬町源緑輪中	5月12日	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	桃太郎はるか	9月7日	
	木曾岬町小和泉	5月12日	0	0	8	0	4	6	0	0	2	4	ハウス桃太郎	3月1日	モモアブアブラムシ
	木曾岬町見入	5月12日	0	0	0	0	20	4	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	1月25日	うどんこ病あり(30%程度)
	桑名市長島町	5月12日	0	0	0	0	34	2	0	0	0	0	桃太郎プレミアム	10月5日	ゴーストスポットあり、うどんこ病あり(50%程度)
四日市	四日市市貝家町	5月9日	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	TVみそら86	9月20日	斑点病散見される
松阪	松阪市嬉野一志町	5月10日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月2日	うどんこ病散見される、奇形果多い
	明和町佐田	5月10日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	ごほうび	1月7日	
伊勢	伊勢市小俣町相合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ハウス桃太郎	9月1日	作付終了
平均			0	0	1.7	0	12.3	2.3	0	0	0.3	0.6			
平 年(10年平均)			0	10.0	2.2	2.4	16.4	1.0	0.3	1.0	4.3	0.03			

トマト 《2016年9月》

地区	調査場所	調査月日	疫病 発病株率 (%)	葉かび病 発病株率 (%)	すすかび病 発病株率 (%)	黄化葉巻病 発病株率 (%)	アブラ ムシ類 寄生株率 (%)	オンシツ コナジラミ 寄生 率(%)	タバコ コナジラミ 寄生 率(%)	ハモグリ ハエ類 被害株率 (%)	ハスモンコウ 被害株率 (%)	オオタ バコガ 被害株率 (%)	備考			
													品種	定植時期	その他	
桑名	木曾岬町源緑輪中	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	みそら64	8月9日	草丈:100cm	
	木曾岬町見入	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	8月18日	草丈:70cm、 黄色粘着板:コナジラミ確認	
	桑名市長島町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	桃太郎プレミアム	10月上旬	未定植
四日市	四日市市貝家町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	TVみそら86	9月中旬	未定植
松阪	松阪市嬉野一志町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ハウス桃太郎	12月上旬	未定植
	明和町佐田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ごほうび	1月上旬	未定植
伊勢	伊勢市小俣町相合	9月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	草丈:70cm、 黄色粘着板:コナジラミ確認	
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
平 年(9年平均)			0	0	0.9	0.2	0	0	0	0.09	0	0.08	0			

トマト 《2016年10月》

地区	調査場所	調査月日	疫病 発病株率 (%)	葉かび病 発病株率 (%)	すすかび病 発病株率 (%)	黄化葉巻病 発病株率 (%)	アブラ ムシ類 寄生株率 (%)	オンシツ コナジラミ 寄生 率(%)	タバコ コナジラミ 寄生 率(%)	ハモグリ ハエ類 被害株率 (%)	ハスモン コウ 被害株率 (%)	オオタ バコガ 被害株率 (%)	備考			
													品種	定植時期	その他	
桑名	木曾岬町源緑輪中	10月6日	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	みそら64	8月9日	落葉多い	
	木曾岬町小和泉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	木曾岬町見入	10月6日	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	8月18日	黄色粘着板:コナジラミ10/100cm2、落葉多い	
	桑名市長島町	10月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	桃太郎プレミアム	未定植	ポット苗定植予定
四日市	四日市市貝家町	10月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TVみそら86 1/29-30定植セル苗、3集果			
松阪	松阪市嬉野一志町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ハウス桃太郎	12月上旬	
	明和町佐田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ごほうび	1月上旬	
伊勢	伊勢市小俣町相合	10月7日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	黄色粘着板:コナジラミ確認、落葉多い	
平均			0	0	5.0	3.0	0	0	0	0	0	0				
平 年(10年平均)			0	0	0.3	0.8	0	0	0.2	0.8	0	0.04	0			

トマト 《2016年11月》

地区	調査場所	調査月日	疫病 発病株率 (%)	葉かび病 発病株率 (%)	すすかび病 発病株率 (%)	黄化葉巻病 発病株率 (%)	灰色かび病		オンシツ コナジラミ 寄生率 (%)	タバコ コナジラミ 寄生率 (%)	ハモグリ ハエ類 被害株率 (%)	ハスモンヨトウ			オオタ ハコガ 被害株率 (%)	備考			
							葉 発病 株率(%)	果実 発病 株率(%)				寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)		品種	定植時期	その他	
桑名	木曾岬町源録輪中	11月11日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	みそら64	8月9日	黄色板コナジラミ類5/100cm ²
	木曾岬町見入	11月11日	0	0	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CPハウス桃太郎	8月18日	黄色板コナジラミ類30/100cm ²
	桑名市長島町	11月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎プレミアム	10月7日	
四日市	四日市市員家町	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TVみそら86	1/29-30定植	
松阪	松阪市穂野一志町		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ハウス桃太郎	12月上旬	
	明和町佐田		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ごほうび	1月上旬	
伊勢	伊勢市小保町相合	11月8日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	
	平均		0	0	1.2	2.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	平年(10年平均)		0	1.6	0.6	1.4	0.5	0.2	0.2	0.03	0.7	3.3	0	0.2	0.07				(2年平均)

トマト 《2016年12月》

地区	調査場所	調査月日	疫病 発病株率 (%)	葉かび病 発病株率 (%)	すすかび病 発病株率 (%)	黄化葉巻病 発病株率 (%)	灰色かび病		オンシツ コナジラミ 寄生率 (%)	タバコ コナジラミ 寄生率 (%)	ハモグリ ハエ類 被害株率 (%)	備考		
							葉 発病 株率(%)	果実 発病 株率(%)				寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)
桑名	木曾岬町源録輪中	12月7日	0	0	80	2	0	2	0	0	0	みそら64	8月9日	黄色板コナジラミ類4/100cm ²
	木曾岬町見入	12月7日	0	0	28	22	0	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	8月18日	黄色板コナジラミ類60/100cm ²
	桑名市長島町	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎プレミアム	10月7日	
四日市	四日市市員家町	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TVみそら86	1/29-30定植	
松阪	松阪市穂野一志町	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	12月上旬	
	明和町佐田	12月7日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ごほうび	1月上旬	
伊勢	伊勢市小保町相合	12月5日	0	2	0	0	0	0	2	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	
	平均		0	0.3	18.0	4.0	0	0.3	0.3	0	0			
	平年(10年平均)		0	2.9	5.6	1.4	2.0	0	0.06	0.4	1.1			

トマト 《2017年1月》

地区	調査場所	調査月日	疫病 発病株率 (%)	葉かび病 発病株率 (%)	すすかび病 発病株率 (%)	黄化葉巻病 発病株率 (%)	灰色かび病		オンシツ コナジラミ 寄生率 (%)	タバコ コナジラミ 寄生率 (%)	ハモグリ ハエ類 被害株率 (%)	備考		
							葉 発病 株率(%)	果実 発病 株率(%)				寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)
桑名	木曾岬町源録輪中	1月11日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	みそら64	未定植	
	木曾岬町小和泉		-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	木曾岬町見入	1月11日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	CFハウス桃太郎	未定植	
	桑名市長島町	1月11日	0	0	4	0	0	0	0	0	0	桃太郎プレミアム	10月7日	うどんこ病確認
四日市	四日市市員家町	1月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TVみそら86	1/29-30定植	
松阪	松阪市穂野一志町	1月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	12月上旬	
	明和町佐田	1月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ごほうび	1月12日	
伊勢	伊勢市小保町相合	1月10日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	オンシツコナジラミ成虫確認
	平均		0	0.4	0.8	0	0	0	0	0	0			
	平年(10年平均)		0	7.0	7.9	0.8	5.7	0.06	0.03	0.8	0.5			

トマト 《2017年2月》

地区	調査場所	調査月日	疫病 発病株率 (%)	葉かび病 発病株率 (%)	すすかび病 発病株率 (%)	黄化葉巻病 発病株率 (%)	灰色かび病		オンシツ コナジラミ 寄生率 (%)	タバコ コナジラミ 寄生率 (%)	ハモグリ ハエ類 被害株率 (%)	備考		
							葉 発病 株率(%)	果実 発病 株率(%)				寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)
桑名	木曾岬町源録輪中	2月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	1月24日	下葉にうどんこ病確認、黄色粘着板コナジラミ類確認
	木曾岬町見入	2月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	1月21日	下葉にうどんこ病確認、黄色粘着板コナジラミ類確認
	桑名市長島町	2月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎プレミアム	10月7日	ハスモンヨトウ若齢幼虫確認
四日市	四日市市員家町	2月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TVみそら86	9月29日	尻腐れ確認
松阪	松阪市穂野一志町	2月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月24日	
	明和町佐田	2月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	20	ごほうび	1月12日	
伊勢	伊勢市小保町相合	2月6日	0	2	0	0	0	0	2	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	オンシツコナジラミ成虫確認
	平均		0	0.3	0	0	0	0	0.3	0	2.9			
	平年(10年平均)		0.03	6.8	7.3	0.6	6.3	0.4	0	0.9	1.2			

トマト 《2017年3月》

地区	調査場所	調査月日	疫病 発病株率 (%)	葉かび病 発病株率 (%)	すすかび病 発病株率 (%)	黄化葉巻病 発病株率 (%)	灰色かび病		オンシツ コナジラミ 寄生率 (%)	タバコ コナジラミ 寄生率 (%)	ハモグリ ハエ類 被害株率 (%)	備考		
							葉 発病 株率(%)	果実 発病 株率(%)				寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)
桑名	木曾岬町源録輪中	3月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	1月24日	黄色粘着板コナジラミ類確認
	木曾岬町見入	3月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	1月21日	黄色粘着板コナジラミ類確認
	桑名市長島町	3月9日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	桃太郎プレミアム	10月7日	
四日市	四日市市員家町	3月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TVみそら86	9月29日	
松阪	松阪市穂野一志町	3月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月24日	
	明和町佐田	3月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ごほうび	1月12日	
伊勢	伊勢市小保町相合	3月7日	0	2	0	0	0	0	2	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	
	平均		0	0.3	0	0	0	0.3	0.3	0	0			
	平年(10年平均)		0.06	9.1	0.6	0.2	5.4	0.4	1.2	0.5	0.07			

2. ハクサイ

ハクサイ 《2016年9月》

地区	調査場所	調査月日	軟腐病		白腐病		べと病	アブラムシ類	コナガ		ヨトウガ	ハスモンヨトウ		モンシロチョウ	備考			
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	発病度			発病株率 (%)	寄生株率 (%)		株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)		被害株率 (%)	品種	定植時期	生育状況
四日市	四日市市水沢町	9月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	結福	9月20日頃	未定植	
	四日市市下海老1	9月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	信州大福	9月3日	定植直後	定植直後のため調査中止
	四日市市下海老2	9月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	信州大福	9月3日	定植直後	定植直後のため調査中止
	蕨野町池底	9月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
	鈴鹿市国分町1	9月8日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
鈴鹿市国分町2	9月8日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植		
津	津市須ヶ瀬町1	9月5日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	ほ場選定中
	津市須ヶ瀬町2	9月5日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	ほ場選定中
松阪	明和町志貴	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	黄ごころ90	-	未定植	ほ場選定中
	多気町丹生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	黄ごころ90	-	未定植	ほ場選定中
平均			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平年(7年平均)			0	0	0	0	0	1.6	0.2	0.002	0.5	0.1	0	-	-	-	-	-
県予察ほ	松阪市磯野川北町(場内)	9月9日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9月中下旬	未定植

ハクサイ 《2016年10月》

地区	調査場所	調査月日	軟腐病		白腐病		べと病	アブラムシ類	コナガ		ヨトウガ	ハスモンヨトウ		モンシロチョウ	備考			
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	発病度			発病株率 (%)	寄生株率 (%)		株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)		被害株率 (%)	品種	定植時期	生育状況
四日市	四日市市水沢町	10月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	結福78	9月16日	10葉期	しおれ株あり。(病害)
	四日市市下海老1	10月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	信州大福	9月3日	20葉期以上	しおれ株あり。(病害)
	四日市市下海老2	10月4日	4	2.0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	信州大福	9月3日	20葉期以上	
	蕨野町千成	10月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	結福78	9月12日	15葉期	ナメジ被害確認、ハムシ、カブラハバチ成虫確認。
	鈴鹿市国分町1	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	未定植	-
鈴鹿市国分町2	10月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	-
津	津市一志町其村	10月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	黄ごころ80	9月10日	13葉期	外葉のしおれ、欠株目立つ。
	津市一志町高野	10月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	黄ごころ80	9月9日	17葉期	ハムシ成虫確認、外葉のしおれ、欠株、落葉目立つ。
松阪	明和町志貴	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	-
	多気町丹生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	-
平均			0.8	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0.9	1.4	0	-	-	-	-
平年(10年平均)			0.7	0.3	4.9	1.3	0.1	1.5	0.2	0.01	0.1	0.6	0	0.09	-	-	-	-
県予察ほ	松阪市磯野川北町(場内)	10月5日	0	0	0	0	0	6	0	0	0	8	8	0	黄ごころ85	9月26日	8葉期	ハムシ成虫確認。

ハクサイ 《2016年11月》

地区	調査場所	調査月日	軟腐病		白腐病		べと病	アブラムシ類	コナガ		ヨトウガ	ハスモンヨトウ		モンシロチョウ	備考			
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	発病度			発病株率 (%)	寄生株率 (%)		株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)		被害株率 (%)	品種	定植時期	生育状況
四日市	四日市市水沢町	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福78	9月16日	生育期	
	四日市市下海老1	11月9日	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	信州大福	9月3日	生育期	
	四日市市下海老2	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	信州大福	9月3日	生育期	
	蕨野町千成	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福78	9月12日	生育期	
	鈴鹿市国分町1	11月9日	0	0	6	1.5	0	0	0	0	0	0	0	0	苜蓿	10月中旬	生育期	
鈴鹿市国分町2	11月9日	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	ひろ黄	10月中旬	生育期		
津	津市一志町其村	11月10日	4	1.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ80	9月10日	生育期	
	津市一志町高野	11月8日	70	25.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ80	9月9日	生育期	
松阪	明和町志貴	11月8日	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	黄ごころ90	9月13日	生育期	
	多気町丹生	11月7日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ90	10月中旬	生育期	
平均			7.4	2.7	0.6	0.2	0	3.8	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
平年(10年平均)			3.3	1.1	15.6	4.1	0.6	5.2	0.2	0.002	0.3	0.4	0	0.07	-	-	-	-
県予察ほ	松阪市磯野川北町(場内)	11月10日	0	0	0	0	0	8	2	0.02	2	2	2	0	黄ごころ85	9月26日	生育期	シロイチモンシ幼虫確認

ハクサイ 《2016年12月》

地区	調査場所	調査月日	軟腐病		白腐病		べと病	アブラムシ類	コナガ		ハスモンヨトウ		備考					
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	発病度			発病株率 (%)	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他	
四日市	四日市市水沢町	12月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	結福78	9月16日	収穫済み	
	四日市市下海老1	12月6日	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	苜蓿90	9月3日	生育期	アブラムシ有虫確認
	四日市市下海老2	12月6日	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	結福78	9月3日	生育期	アブラムシ有虫確認
	蕨野町千成	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福78	9月12日	生育期	
	鈴鹿市国分町1	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	苜蓿	10月中旬	生育期	
鈴鹿市国分町2	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ひろ黄	10月中旬	生育期	アブラムシ寄生確認	
津	津市一志町其村	12月5日	6	2.5	8	2.0	2	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ80	9月10日	収穫済み	
	津市一志町高野	12月5日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	黄ごころ80	9月9日	収穫済み	
松阪	明和町志貴	12月7日	2	0.5	2	0.5	2	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ90	9月13日	収穫済み	
	多気町丹生	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ90	10月中旬	生育期	アブラムシ寄生確認
平均			1.0	0.4	1.8	0.4	0.5	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	
平年(10年平均)			1.9	0.5	17.8	5.0	1.6	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	
県予察ほ	松阪市磯野川北町(場内)	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ85	9月26日	生育期	アブラムシ、アオムシ寄生確認

3. 冬キャベツ

冬キャベツ《2016年9月》

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		ヨトウガ		ハスモンヨトウ		備考				
			発病株率 (%)	発病度	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	品種		定植時期	生育状況	その他	
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	9月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	夢舞台	9月15日頃	未定植		
	四日市市下海老町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ほ場選定中	
	菟野町千草	9月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	夢舞台	9月20日頃	未定植		
	鈴鹿市国府町1	9月8日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	輝風	8月20日	9寒期	大雨により調査中止	
	鈴鹿市国府町2	9月8日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	冬藍	9月1日	7寒期	定植直後のため調査中止	
津	津市芸濃町椋本1	9月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	8月27日	6寒期	ハスモンヨトウ卵塊確認	
	津市芸濃町椋本2	9月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月2日	5寒期		
	津市久居野口町	9月5日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
	津市新家村(久居)	9月5日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	松波	9月5日	2寒期	定植直後のため調査中止	
松阪	松阪市磯野森本町	9月7日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	松波	-	-	ほ場選定中	
伊勢	玉城町岡出	9月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	松波	8月下旬	9寒期		
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
平年(9年平均)			0	0	2.5	1.0	0.7	0.009	1.5	0.02	0.3	0.9	0.3						
			(6年平均)																
県予察ほ	松阪市磯野川北町(場内)	9月9日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9月中下旬	未定植

冬キャベツ《2016年10月》

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		ヨトウガ		ハスモンヨトウ		備考			
			発病株率 (%)	発病度	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	品種		定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	10月4日	0	0	0	0	2	0.02	2	0	0	2	2	2	夢舞台	9月15日	12寒期	モンシロチョウ卵塊確認、成虫飛来確認。
	四日市市下海老町	10月4日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	冬の(1)号	未定植	-	
	菟野町千草	10月4日	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	2	夢舞台	9月20日頃	10寒期	根腐れ確認。
	鈴鹿市国府町1	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	輝風	8月20日		
	鈴鹿市国府町2	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	9月1日		
津	津市芸濃町椋本1	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10	2	2	松波	8月27日	18寒期	モンシロチョウ飛来確認、ウバハ幼虫確認。
	津市芸濃町椋本2	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	14	松波	9月2日	16寒期	モンシロチョウ飛来確認。	
	津市久居野口町	10月5日	0	0	0	0	0	0	2	0	0	16	0	松波	9月中下旬	10寒期	モンシロチョウ卵塊確認、雑草多い。	
	津市新家村(久居)	10月5日	0	0	0	0	0	0	2	0	0	10	6	松波	9月5日	14寒期	モンシロチョウ卵塊確認、根腐れ株多い。	
松阪	松阪市磯野森本町	10月3日	0	0	0	0	0	0	2	0	0	10	4	松波	-	16寒期	モンシロチョウ卵塊確認、ウバハ確認。	
伊勢	玉城町岡出	10月7日	0	0	6	1.5	0	0	0	0	0	6	10	松波	8月下旬	20寒期以上	根腐れ確認。	
平均			0	0	0.8	0.2	0.2	0.002	0.8	0	0.2	7.4	4.2					
平年(10年平均)			0.3	0.08	4.4	1.8	1.5	0.02	2.2	0.03	1.0	4.4	1.0					
			(2年平均)															
県予察ほ	松阪市磯野川北町(場内)	10月5日	0	0	32	10.0	0	0	0	0	0	16	16	夢ごころ	9月26日	8寒期		

冬キャベツ《2016年11月》

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		菌核病		アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		ヨトウガ		ハスモンヨトウ		備考			
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期		生育状況	その他	
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	11月9日	12	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月15日	生育期	
	四日市市下海老町	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬の(1)号	10月2日	生育期	モンシロチョウ卵塊確認。
	菟野町千草	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月20日頃	生育期	
	鈴鹿市国府町1	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	輝風	8月20日	収穫期	
	鈴鹿市国府町2	11月9日	0	0	0	32	9.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	9月1日	生育期
津	津市芸濃町椋本1	11月10日	0	0	0	0	0	2	0.02	0	0	0	2	4	松波	8月27日	生育期			
	津市芸濃町椋本2	11月10日	0	0	0	0	0	0	0	2	0.02	2	2	2	松波	9月2日	生育期	ウバハ幼虫確認		
	津市久居野口町	11月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月中下旬	生育期	ウバハ幼虫確認。		
	津市新家村(久居)	11月10日	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月5日	生育期			
松阪	松阪市磯野森本町	11月7日	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	松波	8月23日	生育期			
伊勢	玉城町岡出	11月8日	0	0	0	6	2.0	0	0	0	0	0	0	0	松波	8月下旬	生育期			
平均			1.3	0.5	0	3.6	1.0	0.2	0.002	0.2	0.002	0.2	0.4	0.5						
平年(10年平均)			6.7	1.8	0.6	5.4	2.4	0.9	0.01	1.3	0.01	0.8	0.9	0.08						
			(8年平均)																	
県予察ほ	松阪市磯野川北町(場内)	11月10日	10	2.5	0	0	0	8	0.08	16	0.2	0	0	0	0	0	夢ごころ	9月26日	生育期	

冬キャベツ《2016年12月》

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		菌核病		コナガ		アブラムシ類		根こぶ病		備考		
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	検出虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	寄生度	発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他	
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	12月6日	14	4.0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月15日	収穫初期	
	四日市市下海老町	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬のほり	10月2日	収穫初期	
	菟野町千草	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月20日頃	生育期	
津	鈴鹿市国府町1	12月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	輝風	8月20日	収穫終了	
	鈴鹿市国府町2	12月6日	12	3.0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	9月1日	生育期	
	津市芸濃町椋本1	12月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	8月27日	収穫終期	ハスモンヨトウ寄生確認
	津市芸濃町椋本2	12月5日	2	0.5	0	0	0.02	0	0	0	0	松波	9月2日	生育期	ハスモンヨトウ、ヨトウガ、アオムシ寄生確認
	津市久居野口町	12月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月中下旬	生育期	ヨトウガ寄生確認
松阪	松阪市雄野森本町	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	8月23日	収穫中期	ヨトウガ寄生確認
伊勢	玉城町岡出	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	8月下旬	収穫初期	
平均			3.6	1.0	0.2	0	0.002	0	0	0	0				
平 年(10年平均)			8.1	2.4	1.5	0.5	0.007	1.0	0.4	1.7					
県予察ほ			0	0	0	0	0.05	0	0	0	0	夢ごころ	9月26日	生育期	アオムシ確認

冬キャベツ《2017年1月》

地区	調査場所	調査月日	根こぶ病		備考		
			発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	1月11日	0	夢舞台	9月15日	収穫済み	
	四日市市下海老町	1月11日	-	冬のほり	10月2日	生育期	
	菟野町千草	1月11日	-	夢舞台	9月20日頃	生育期	
	鈴鹿市国府町1	1月11日	-	輝風	8月20日	耕起済み	
	鈴鹿市国府町2	1月11日	-	冬藍	9月1日	耕起済み	
津	津市芸濃町椋本1	1月10日	0	松波	8月27日	収穫済み	
	津市芸濃町椋本2	1月10日	-	松波	9月2日	収穫中	
	津市芸濃町椋本3	-	-	-	-	-	-
	津市久居野口町	1月10日	-	松波	9月中下旬	生育期	
	津市新家町(久居)	1月10日	0	松波	9月5日	収穫済み	菌核病確認
松阪	松阪市雄野森本町	1月13日	0	松波	8月23日	収穫済み	
伊勢	玉城町岡出	1月10日	10	松波	8月下旬	収穫済み	
平均			2.0				
平 年(10年平均)			1.7				
県予察ほ			-	夢ごころ	9月26日	生育期	

冬キャベツ《2017年2月》

地区	調査場所	調査月日	根こぶ病		備考		
			発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市具家町	1月11日	0	夢舞台	9月15日	収穫済み	
	四日市市下海老町	2月7日	-	冬のほり	10月2日	生育期	
	菟野町千草	2月7日	0	夢舞台	9月20日頃	収穫中	
	鈴鹿市国府町1	1月11日	-	輝風	8月20日	耕起済み	
	鈴鹿市国府町2	1月11日	-	冬藍	9月1日	耕起済み	
津	津市芸濃町椋本1	1月10日	0	松波	8月27日	収穫済み	
	津市芸濃町椋本2	2月6日	0	松波	9月2日	収穫中	
	津市久居野口町	2月6日	-	松波	9月中下旬	生育期	
	津市新家町(久居)	1月10日	0	松波	9月5日	収穫済み	
	松阪	松阪市雄野森本町	1月13日	0	松波	8月23日	収穫済み
伊勢	玉城町岡出	1月10日	10	松波	8月下旬	収穫済み	
平均			1.4				
平 年(10年平均)			1.7				
県予察ほ			-	夢ごころ	9月26日	生育期	

冬キャベツ《2017年3月》

地区	調査場所	調査月日	根こぶ病		備考		
			発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市具家町	1月11日	0	夢舞台	9月15日	収穫済み	
	四日市市下海老町	2月7日	0	冬のほり	10月2日	生育期	
	菟野町池底	2月7日	0	夢舞台	9月20日頃	収穫中	
	鈴鹿市国府町1	1月11日	-	輝風	8月20日	耕起済み	
	鈴鹿市国府町2	1月11日	-	冬藍	9月1日	耕起済み	
津	津市芸濃町椋本1	1月10日	0	松波	8月27日	収穫済み	
	津市芸濃町椋本2	2月6日	0	松波	9月2日	収穫中	
	津市久居野口町	3月7日	-	松波	9月中下旬	収穫初期	
	津市新家町(久居)	1月10日	0	松波	9月5日	収穫済み	
	松阪	松阪市雄野森本町	1月13日	0	松波	8月23日	収穫済み
伊勢	玉城町岡出	1月10日	10	松波	8月下旬	収穫済み	
平均			1.3				
平 年(10年平均)			1.9				
県予察ほ			-	夢ごころ	9月26日	収穫初期	

4. 春キャベツ

地区	調査場所	調査月日	菌核病			アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ			備考
			発病株率 (%)	寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	
四日市鈴鹿	四日市市平尾町	4月7日	2	0	0	0	0	0	0	石井中早生	11月20日	生育期	生育遅れ。
	菟野町池底	4月7日	-	-	-	-	-	-	-	金系201EX	11月10日	収穫終期	根こぶ病なし。
津	津市川方町1(久居)	4月6日	10	0	0	2	0.02	0	0	味春	11月下旬	-	雑草生い茂り、抽台株確認。
	津市川方町2(久居)	4月6日	2	4	1.0	2	0.02	0	0	若女将	1月上旬	生育期	ハモグリバエ確認。
	津市新家町1(久居)	4月6日	-	-	-	-	-	-	-	味春	11月下旬	収穫終期	根こぶ病なし。
	津市新家町2(久居)	4月6日	-	-	-	-	-	-	-	味春	11月下旬	収穫終期	根こぶ病なし。
	平均		4.7	1.3	0.3	1.3	0.01	0	0				
平 年(10年平均)			1.4	4.5	1.2	0	0	0.1	0.001				
県子寮ほ	松阪市郷野川北町(場内)	4月8日	0	4	1.0	12	0.2	0	0	石井中早生	11月下旬	生育期	

地区	調査場所	調査月日	根こぶ病		備考			
			発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他	
四日市鈴鹿	四日市市平尾町	5月9日	0	石井中早生	11月20日			
	菟野町池底	4月7日	0	金系201EX	11月10日			
津	津市川方町1(久居)	5月11日	-	味春	11月下旬		収穫済みのため調査未実施	
	津市川方町2(久居)	5月11日	-	若女将	1月上旬		収穫済みのため調査未実施	
	津市新家町1(久居)	4月6日	0	味春	11月下旬			
	津市新家町2(久居)	4月6日	0	味春	11月下旬			
平 均			0					
平 年(10年平均)			0.2					
県子寮ほ	松阪市郷野川北町(場内)			石井中早生	11月下旬	生育期		

地区	調査場所	調査月日	アブラムシ類		コナガ		備考			
			寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市鈴鹿	四日市市平尾町	12月6日	-	-	-	-	-	未定植	-	
	菟野町池底	12月6日	-	-	-	-	-	未定植	-	
津	津市川方町1(久居)	12月5日	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期	アオムシ確認
	津市川方町2(久居)	12月5日	4	1.0	0	0	味春	11月中旬	生育期	
	津市新家町1(久居)	12月5日	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期	
	津市新家町2(久居)	12月5日	8	2.0	0	0	味春	11月中旬	生育期	
	平均		3.0	0.8	0	0				
平 年(10年平均)			2.8	0.7	0.3	0.002				
県子寮ほ	松阪市郷野川北町(場内)	12月6日	14	3.5	0	0		11月17日	生育期	

地区	調査場所	調査月日	菌核病			アブラムシ類		コナガ		備考		
			発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他	
四日市鈴鹿	四日市市平尾町	1月11日	0	0	0	0	0	0	若女将	12月10日	生育期	区外:アブラムシ確認
	四日市市下海老町	1月11日	0	0	0	0	0	0	石井中早生	12月9日	生育期	一部に生育不良株確認
津	津市川方町1(久居)	1月10日	0	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期	生育不良
	津市川方町2(久居)	1月10日	0	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期	生育不良
	津市新家町1(久居)	1月10日	0	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期	
	津市新家町2(久居)	1月10日	0	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期	
	平均		0	0	0	0	0	0				
平 年(10年平均)			0	2.2	0.6	0.1	0.001					
県子寮ほ	松阪市郷野川北町(場内)	1月10日	0	20	5.5	0	0	0	若女将	11月17日	生育期	アブラムシ有理由確認

地区	調査場所	調査月日	菌核病			アブラムシ類		コナガ		備考		
			発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他	
四日市鈴鹿	四日市市平尾町	2月7日	0	0	0	0	0	0	若女将	12月10日	生育期	
	四日市市下海老町	2月7日	0	0	0	0	0	0	石井中早生	12月9日	生育期	
津	津市川方町1(久居)	2月6日	0	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期	
	津市川方町2(久居)	2月6日	0	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期	生育不良
	津市新家町1(久居)	2月6日	0	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期	
	津市新家町2(久居)	2月6日	0	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期	
	平均		0	0	0	0	0	0				
平 年(10年平均)			0	3.7	1.0	0.04	0.001					
県子寮ほ	松阪市郷野川北町(場内)	2月8日	0	0	0	0	0	0	若女将	11月17日	生育期	

春キャベツ 《2017年3月》

地区	調査場所	調査月日	菌核病			アブラムシ類		コナガ		備考		
			発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他	
四日市	四日市市平尾町	3月6日	0	0	0	0	0	若女特	12月10日	生育期		
	四日市市下海老町	3月6日	0	0	0	0	0	石井中早生	12月9日	生育期	身重あり	
津	津市川方町1(久居)	3月7日	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期	生育不良	
	津市川方町2(久居)	3月7日	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期	生育不良	
	津市新家町1(久居)	3月7日	2	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期		
	津市新家町2(久居)	3月7日	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期		
	平均		0.3	0	0	0	0					
平 年(10年平均)			0.5	1.3	0.4	0.03	0.001					
県子寮ほ	松阪市磯野川北町(場内)	3月10日	0	0	0	0	0	若女特	11月17日	生育期		

5. ネギ

ネギ 《2016年4月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨトウ 被害率 (%)	ネギハモクリハエ 被害率 (%)	ネギアザミクマ 被害率 (%)	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						草丈	その他
松阪	明和町川尻1	4月5日	0	0	20	5.0	20	5.0	0	0	0	0.7	3.3	40cm	
	明和町川尻2	4月5日	0	0	0	0	10	2.5	0	0	0	0	6.0	40cm	
伊勢	伊勢市東豊浜町1	4月4日	0	0	8	2.0	0	0	0	0	0	0	2.0	30cm	株枯れ確認。(約1/50株)診断中。
	伊勢市東豊浜町2	4月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25cm	
	伊勢市東豊浜町3	4月4日	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0.7	2.0	20cm	
	伊勢市東豊浜町4	4月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	30cm	
	平均		0	0	5.0	1.3	5.0	1.3	0	0	0	0.2	2.6		
平 年(10年平均)			0.05	0.01	6.8	2.4	-	-	0.1	0	0	0.08	6.6		
県子寮ほ	松阪市磯野川北町(場内)	4月8日	0	0	14	3.5	20	5.0	0	0	0	0	8.7	70cm	

※べと病はH28年4月から調査対象(平年値なし)

ネギ 《2016年5月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨトウ 被害率 (%)	ネギハモクリハエ 被害率 (%)	ネギアザミクマ 被害率 (%)	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						草丈	その他
伊勢	伊勢市東豊浜町1	5月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	12.0	15.3	20cm	アザミクマの虫数多い。	
	伊勢市東豊浜町2	5月13日	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0.7	7.3	17.3	35cm	べと病と似る病徴があったが、分生子が確認できない。
平均			0	0	1.0	0.3	0	0	0	0	0.3	9.7	16.3		
平 年(10年平均)			0	0	4.4	1.2	-	-	0.3	0.1	0	6.1	20.0		
県子寮ほ	松阪市磯野川北町(場内)	5月11日	0	0	56.0	28.0	0	0	0	0	0	0	0	80cm	

※べと病はH28年4月から調査対象(平年値なし)

ネギ 《2016年6月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨトウ 被害率 (%)	ネギハモクリハエ 被害率 (%)	ネギアザミクマ 被害率 (%)	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						草丈	その他
伊勢	伊勢市東豊浜町1	6月7日	0	0	4	1.0	0	0	0	0	0	5.3	30.0	45cm	黒マルチ4条植え
	伊勢市東豊浜町2	6月7日	0	0	22	9.5	0	0	0	0	0	3.3	14.0	25cm	露地2条植え
平均			0	0	13.0	5.3	0	0	0	0	0	4.3	22.0		
平 年(10年平均)			0.05	0.01	12.9	4.3	-	-	0.05	0.3	0	5.6	33.3		
県子寮ほ	松阪市磯野川北町(場内)	6月7日	0	0	14	3.5	0	0	12	0	0	20.0	24.0	18cm	露地育苗 カブアヤガ幼虫被害 多

※べと病はH28年4月から調査対象(平年値なし)

ネギ 《2016年7月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨトウ 被害率 (%)	ネギハモクリハエ 被害率 (%)	ネギアザミクマ 被害率 (%)	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						草丈	その他
伊勢	伊勢市東豊浜町1	7月8日	0	0	0	0	-	-	0	0.7	1.3	2.0	4.7	35cm	4条白マルチ
	伊勢市東豊浜町2	7月8日	6	1.5	0	0	-	-	0	0	0	3.3	6.7	35cm	4条白マルチ
平均			3.0	0.8	0	0	-	-	0	0.3	0.7	2.7	5.7		
平 年(10年平均)			0.9	0.2	9.9	2.7	-	-	0	0.4	0.2	5.7	18.5		
県子寮ほ	松阪市磯野川北町(場内)	7月8日	0	0	0	0	-	-	90	0	0	23.3	13.3	55cm	露地/無防除
平 年(10年平均)			2	0.6	5	2.4	-	-	1.2	7.7	0.1	12.9	65.0		

ネギ 《2016年8月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨウトウ 被害率 (%)	ネギハモグリハエ 被害率 (%)	ネギアザミウマ 被害率 (%)	ハスモンヨウトウ		備考		
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)		草丈	その他
伊勢	伊勢市東豊浜町1	8月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	29.3	46.0	2	2	30cm	白マルチ4条 百モグリハエ成虫目立つ	
	伊勢市東豊浜町2	8月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.7	9.3	0	0	25cm	白マルチ4条 百モグリハエ成虫目立つ	
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	16.0	27.7	1.0	1.0			
平年(10年平均)			0.2	0.05	0.04	0.01	-	-	0	0.1	1.1	9.1	22.8	0	0	(2年平均)	(2年平均)	
県予察ほ	松阪市壱野川北町(場内)	8月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18.0	15.3	0	0	45cm	露地、無防除	
	平均		1.6	0.4	0	0	-	-	0	10.4	0	8.1	74.6	0	0	(2年平均)	(2年平均)	

ネギ 《2016年9月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨウトウ 被害率 (%)	ネギハモグリハエ 被害率 (%)	ネギアザミウマ 被害率 (%)	ハスモンヨウトウ		備考		
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)		草丈	その他
松阪	明和町川尻1	9月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0	0	40cm	ハモグリハエ被害率はすべて産卵期、区外:シロイチモジヨウトウ確認(自害)	
	明和町川尻2	9月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0	0	30cm	ハモグリハエ被害率はすべて産卵期、白絹病確認	
伊勢	伊勢市東豊浜町1	9月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10.0	0	0	0	35cm		
	伊勢市東豊浜町2	9月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	10	4.7	0	0	0	30cm	欠株が多い	
	伊勢市小保町1	9月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	0	30cm		
	伊勢市小保町2	9月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3	0	2	0	35cm		
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	36.1	0	0.3	0			
平年(10年平均)			0.03	0.008	0	0	-	-	0	0.4	3.4	15.6	19.2	0.6	0.6	(2年平均)	(2年平均)	
県予察ほ	松阪市壱野川北町(場内)	9月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28.7	0	0	0	37cm		

ネギ 《2016年10月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨウトウ 被害率 (%)	ネギハモグリハエ 被害率 (%)	ネギアザミウマ 被害率 (%)	ハスモンヨウトウ		備考		
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)		草丈	その他
松阪	松阪市東黒部町1	10月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	87	0	4	4	30cm	葉先・葉縁が全体の多い	
	松阪市東黒部町2	10月3日	2	0.5	0	0	0	0	0	0	1	93	0	6	6	40cm		
伊勢	伊勢市東豊浜町1	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	67	0	8	10	30cm	黒マルチ、下葉枯れ多い	
	伊勢市東豊浜町2	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	5	33	0	10	10	30cm	白マルチ、根腐み、葉先枯れ確認	
	伊勢市小保町1	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	40cm	白マルチ	
	伊勢市小保町2	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	6	2	30cm	黒マルチ	
平均			0.3	0.08	0	0	0	0	0	0	1.4	47.6	0	6.0	5.3			
平年(10年平均)			0.5	0.1	0.2	0.04	-	-	0	0.05	2.3	24.7	18.8	0	0	(2年平均)	(2年平均)	
県予察ほ	松阪市壱野川北町(場内)	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	31	0	4	6	55cm		

ネギ 《2016年11月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨウトウ 被害率 (%)	ネギハモグリハエ 被害率 (%)	ネギアザミウマ 被害率 (%)	ハスモンヨウトウ		備考		
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)		草丈	その他
松阪	明和町川尻1	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	28.7	0	0	0	40cm		
	明和町川尻2	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	8.0	0	2	6	50cm		
伊勢	伊勢市東豊浜町1	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13.3	0	0	0	40cm		
	伊勢市東豊浜町2	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13.3	0	0	0	40cm		
	伊勢市小保町1	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0.7	2.0	0	0	0	40cm	肥料切れ	
	伊勢市小保町2	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	3.3	0	0	0	30cm		
平均			0	0	0	0	0	0	0	0.1	0.9	11.4	0	0.3	1.0			
平年(10年平均)			0.2	0.05	0	0	-	-	0	0.2	0.4	4.5	10.7	0	0	(2年平均)	(2年平均)	
県予察ほ	松阪市壱野川北町(場内)	11月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	3	14.7	0	0	0	50cm		

ネギ 《2016年12月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨウトウ 被害率 (%)	ネギハモグリハエ 被害率 (%)	ネギアザミウマ 被害率 (%)	ハスモンヨウトウ		備考		
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)		草丈	その他
松阪	明和町川尻1	12月7日	4	1.0	2	0.5	0	0	0	0.7	0	0	0	0	0	50cm		
	明和町川尻2	12月7日	4	1.0	2	0.5	0	0	0	0.7	0	0	0	0	0	70cm		
伊勢	伊勢市東豊浜町1	12月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6.7	2.0	0	0	35cm		
	伊勢市東豊浜町2	12月5日	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	3.3	0.7	0	0	30cm		
	伊勢市小保町1	12月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3	0	2	2	35cm		
	伊勢市小保町2	12月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	0	0	40cm		
平均			1.3	0.3	0.7	0.2	0	0	0	0.2	0.2	1.9	0.4	0.3	0.3			
平年(10年平均)			0.2	0.05	0.8	0.2	-	-	0	0.07	0.2	0.9	6.8	0	0	(2年平均)	(2年平均)	
県予察ほ	松阪市壱野川北町(場内)	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6.7	0	0	0	35cm		

ネギ 《2017年2月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		ネギアザミウマ		備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	被害葉率 (%)	草丈		
松阪	明和町川尻1	2月7日	—	—	—	—	—	—	—	—	ほ場選定中	
	明和町川尻2	2月7日	—	—	—	—	—	—	—	—	ほ場選定中	
伊勢	伊勢市東豊浜町1	2月6日	0	0	0	0	0	0	2.0	30cm	黒腐菌核病確認	
	伊勢市東豊浜町2	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	30cm	黒腐菌核病確認	
	伊勢市小保町1	2月6日	0	0	0	0	0	0	1.3	30cm	葉先の黄化あり	
	伊勢市小保町2	2月6日	0	0	0	0	0	0	0.7	30cm	葉先の黄化あり	
平均			0	0	0	0	0	0	1.0			
平年(10年平均)			0	0	0.8	0.2	—	—	2.0	(9年平均)		
県予察ほ	松阪市郷野川北町(場内)	2月8日	0	0	0	0	0	0	0	30cm		

ネギ 《2017年3月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジロウ	ネギハモクリバエ	ネギアザミウマ	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害葉率 (%)	被害葉率 (%)	被害葉率 (%)	被害葉率 (%)		草丈
松阪	松阪市楠木原町1	3月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70cm	
	松阪市楠木原町2	3月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	70cm	
伊勢	伊勢市東豊浜町1	3月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30cm	
	伊勢市東豊浜町2	3月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35cm	
	伊勢市小保町1	3月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37cm	
	伊勢市小保町2	3月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35cm	
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1		
平年(10年平均)			0	0	6.6	1.8	—	—	0	0	0	0	0.3	(9年平均)	
県予察ほ	松阪市郷野川北町(場内)	3月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45cm	

6. イチゴ

イチゴ 《2016年4月》

地区	調査場所	調査月日	灰色カビ病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		アザミウマ類	コナジラミ類		備考	
			葉発病株率 (%)	発病果率 (%)	葉発病株率 (%)	発病果率 (%)	寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	発生程度	寄生花率 (%)	成虫寄生株率 (%)	蛹寄生株率 (%)		品種
津	津市吉濃町椋本	4月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	かわり野 土耕
	津市一志町石橋	4月6日	0	0.5	0	0	68	46.5	8	2.0	50	2	0	0	章姫 ベンチ
松阪	松阪市曾原町	4月5日	6	2.0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	章姫 ベンチ
	松阪市郷野権現前町	4月5日	0	1.5	0	0	22	8.0	0	0	90	0	0	0	章姫 ベンチ
	松阪市藤之木町	4月5日	0	0.5	0	0	2	0.5	0	0	90	0	0	0	章姫 土耕
	松阪市新開町	4月5日	0	0	0	0	2	0.5	0	0	50	0	0	0	かわり野 土耕
伊勢	玉城町岩出	4月4日	0	0.5	0	0	30	19.5	0	0	2	0	0	0	かわり野 ベンチ
	伊勢市小保町相合	4月4日	2	1.0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	かわり野 ベンチ
	玉城町勝田	4月4日	0	1.0	0	2.0	0	0	0	0	20	0	0	0	章姫 ベンチ
志摩	志摩市阿児町神明	4月7日	0	0.5	0	0	0	0	32	19.5	10	4	0	0	レッドパール 土耕
	鳥羽市聖神町	4月7日	0	5.0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	章姫 ベンチ
	志摩市磯部町栗木広	4月7日	0	0	0	0	4	2.0	0	0	3	0	0	0	章姫 ベンチ
平均			0.7	1.0	0	0.2	10.7	6.4	3.3	1.8	26.9	0.8	0		
平年(10年平均)			2.7	0.8	0.6	0.08	14.7	7.7	2.1	0.6	12.6	1.8	0.3	(2年平均) (2014年)	

イチゴ親株 《2016年6月》

地区	調査場所	調査月日	炭疽病		うどんこ病		萎黄病		ハダニ類		アブラムシ類		備考
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	発生程度	品種	生育状況	栽培形式	
津	津市吉濃町椋本	6月9日	0	0	0	0	0	0	0	10	2.5	0	かわり野 育苗期
	津市一志町石橋	6月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かわり野 育苗期
松阪	松阪市曾原町	6月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫 育苗期
	松阪市郷野権現前町	6月6日	0	0	0	10	2.5	0	0	0	0	0	章姫 育苗期
	松阪市藤之木町	6月6日	0	0	0	12	3.0	0	0	0	0	0	章姫 育苗期
	松阪市新開町	6月6日	0	0	0	10	2.5	0	0	0	0	0	かわり野 育苗期
伊勢	玉城町岩出	6月7日	0	0	0	0	0	0	10	2.5	0	0	章姫 育苗期
	伊勢市小保町元町	6月7日	0	0	0	0	0	0	12	3.0	0	0	かわり野 育苗期
	玉城町勝田	6月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫 育苗期
志摩	鳥羽市聖神町	6月10日	0	0	0	0	0	0	10	3.0	0	0	章姫 育苗期
	志摩市磯部町栗木広	6月10日	0	0	0	8	2.0	0	0	0	0	0	章姫 育苗期
	平均	0	0	0	3.6	0.9	3.8	1.0					
平年(10年平均)			0	8.4	0	8.5	3.3	4.8	1.3				(2年平均)

イチゴ親株床 《2016年7月》

地区	調査場所	調査月日	炭疽病 発病株率 (%)	うどんこ病 発病株率 (%)	萎黄病 発病株率 (%)	ハダニ類		アブラムシ類		備考			
						寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	発生程度	品種	生育状況	栽培形式	その他
津	津市芸濃町椋本	7月5日	0	0	0	0	0	2	0.5	かおりの野	育苗期	露地・ベンチ	カネヒメコバイ確認
	津市一志町石橋	7月5日	0	0	0	2	0.5	10	2.5	かおりの野	育苗期	露地・ベンチ	マメコガサ確認
松阪	松阪市曾原町	7月4日	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	露地・ベンチ	
	松阪市郷野権現前町	7月4日	2	0	0	4	1.0	0	0	章姫	育苗期	露地・ベンチ	炭疽病は株のおれのみ、病斑なし
	松阪市藤之木町	7月4日	0	0	0	2	0.5	0	0	章姫	育苗期	露地・地床	角斑細菌病の疑い、広範囲に伝染傾向あり
	松阪市新開町	7月4日	0	0	0	6	1.5	0	0	かおりの野	育苗期	ハウス・地床	輪斑病多い
伊勢	玉城町岩出	7月8日	0	0	0	0	0	18	4.5	かおりの野	育苗期	露地・ベンチ	コガネムシ類の食害後確認
	伊勢市小保町相合	7月8日	0	0	2	2	0.5	0	0	かおりの野	育苗期	露地・ベンチ	
	玉城町勝田	7月8日	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	ハウス・ベンチ	コナジラミ類成虫確認
志摩	鳥羽市笠神町	7月4日	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	露地・地床	
	志摩市磯部町栗木広	7月4日	0	0	0	26	13.0	0	0	章姫	育苗期	ハウス・ベンチ	
平均			0.2	0	0.2	3.8	1.5	2.7	0.7				
平 年(10年平均)			0.3	4.7	0	7.6	2.9	2.8	1.3				

イチゴ親株床 《2016年8月》

地区	調査場所	調査月日	炭疽病 発病株率 (%)	うどんこ病 発病株率 (%)	萎黄病 発病株率 (%)	ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考			
						寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	発生程度	成虫 寄生株率 (%)	蛹 寄生株率 (%)	品種	生育状況	栽培形式	その他
津	津市芸濃町椋本	8月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおりの野	親株切離し後	露地・ベンチ	輪斑病確認、ハマキ類食害確認、コガネムシ類確認
	津市一志町石橋	8月3日	0	0	0	0	0	2	1.5	0	0	かおりの野	親株切離し前	露地・ベンチ	ハマキ類食害確認、コガネムシ食害確認
松阪	松阪市曾原町	8月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	親株切離し後	露地・ベンチ	ハマキ類食害確認
	松阪市郷野権現前町	8月4日	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	章姫	親株切離し前	露地・ベンチ	
	松阪市藤之木町	8月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	親株切離し後	露地・地床	
	松阪市新開町	8月4日	0	0	2	2	0.5	0	0	0	0	かおりの野	親株切離し前	ハウス・地床	輪斑病確認、病斑より萎黄病と関係有りで確認
伊勢	玉城町岩出	8月5日	0	0	0	0	0	6	1.5	0	0	かおりの野	親株切離し中	露地・ベンチ	区外で病斑より萎黄病確認
	伊勢市小保町相合	8月5日	0	0	2	2	0.5	0	0	0	0	かおりの野	親株切離し後	露地・ベンチ	病斑より萎黄病確認(農研へ診断依頼中) 葉が硬化する症状あり
	玉城町勝田	8月5日	0	0	0	0	0	0	0	2	12	章姫	親株切離し中	ハウス・ベンチ	ハスモンヨトウ食害確認(防除済み)
志摩	鳥羽市笠神町	8月2日	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	章姫	親株切離し前	露地・地床	ハマキ類食害確認、バッタ類食害確認
	志摩市磯部町栗木広	8月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	親株切離し後	ハウス・ベンチ	
平均			0	0	0.4	0.7	0.2	0.7	0.3	0.2	1.1				
県下全域 平 年(10年平均)			0.6	0.1	0	6.3	2.1	3.5	1.2	0.4	0				

イチゴ親株床 《2016年9月》

地区	調査場所	調査月日	炭疽病 発病株率 (%)	うどんこ病 発病株率 (%)	萎黄病 発病株率 (%)	ハダニ類		アブラムシ類		ハスモン ヨトウ 寄生株率 (%)	コナジラミ類		備考			
						寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	発生程度		成虫 寄生株率 (%)	蛹 寄生株率 (%)	品種	生育状況	栽培形式	その他
津	津市芸濃町椋本	9月5日	0	0	2	0	0	0	0	30	0	0	かおりの野	子苗	露地・ベンチ	株のおれ確認、農研へ診断依頼中。
	津市一志町石橋	9月5日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	かおりの野	子苗	露地・ベンチ	萎黄病の疑いあり
松阪	松阪市曾原町	9月7日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	章姫	子苗	露地・ベンチ	
	松阪市郷野権現前町	9月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	子苗	露地・ベンチ	
	松阪市藤之木町	9月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	子苗	露地・地床	
	松阪市新開町	9月7日	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	かおりの野	子苗	ハウス・地床	
伊勢	玉城町岩出	9月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおりの野	子苗	露地・ベンチ	
	伊勢市小保町相合	9月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおりの野	子苗	露地・ベンチ	区外・萎黄病あり、除去済み
	玉城町勝田	9月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	章姫	子苗	ハウス・ベンチ		
志摩	鳥羽市笠神町	9月7日	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	章姫	子苗	露地・地床	
	志摩市磯部町栗木広	9月7日	0	0	0	10	4.0	0	0	0	0	0	章姫	子苗	ハウス・ベンチ	
平均			0	0	0.4	0.9	0.4	0	0	3.5	0.2	0.2				
平 年(10年平均)			0.4	0.06	0	5.5	1.8	0.6	0.2	0.3	0	0				

イチゴ 《2016年10月》

地区	調査場所	調査月日	炭疽病 発病株率 (%)	うどんこ病 発病株率 (%)	萎黄病 発病株率 (%)	ハダニ類		アブラムシ類		ハスモン ヨトウ 寄生株率 (%)	コナジラミ類		備考		
						寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	発生程度		成虫 寄生株率 (%)	蛹 寄生株率 (%)	品種	栽培形式	その他
津	津市芸濃町椋本	10月5日	2	0	2	0	0	2	0.5	16	0	0	かおりの野	土耕	株のおれ確認、農研へ診断依頼中。
	津市一志町石橋	10月3日	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	かおりの野	ベンチ	9/21定植、ジャクガ幼虫確認。
松阪	松阪市曾原町	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	章姫	ベンチ	9/14-19定植。
	松阪市郷野権現前町	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	9/21-22定植、ハスモンヨトウ食害確認。
	松阪市藤之木町	10月3日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	章姫	土耕	9/24定植、施設内にて成虫多い。
	松阪市新開町	10月3日	0	0	0	0	0	2	0.5	10	0	0	かおりの野	土耕	シロイチモジ幼虫確認。
伊勢	玉城町岩出	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	かおりの野	ベンチ	9/24定植。
	伊勢市小保町相合	10月7日	0	0	0	0	0	6	4.0	0	0	0	かおりの野	ベンチ	ハスモンヨトウ食害確認。
	玉城町勝田	10月7日	4	0	0	0	0	0	0	10	0	0	章姫	ベンチ	9/15定植。
志摩	鳥羽市笠神町	10月4日	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	章姫	ベンチ	9/17-22定植
	志摩市磯部町栗木広	10月4日	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	章姫	ベンチ	9/17定植。
平均			0.5	0	0.2	0	0	0.9	0.5	6.2	0	0			
平 年(10年平均)			0.3	0.3	0.07	7.8	2.8	3.5	1.1	2.0	0	0			

イチゴ 《2016年11月》

地区	調査場所	調査月日	炭疽病		うどんこ病		萎黄病		ハダニ類		アブラムシ類		ハスモン コトウ	コナジラミ類		備考	その他					
			発病株率 (%)	発病果率 (%)	発病株率 (%)	発病果率 (%)	発病株率 (%)	発病果率 (%)	寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	発生程度	成虫 寄生株率 (%)	蛹 寄生株率 (%)	品種			栽培形式				
津	津市芸濃町椋本	11月10日	0	0	6	0	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	かおりの野	土耕	タバコガ寄生株確認。	
	津市一志町石橋	11月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	かおりの野	ベンチ	タバコガ寄生株確認。 スリップス類による食害痕あり。	
松阪	松阪市曾原町	11月7日	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ		
	松阪市郷野権現前町	11月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	スリップス類による食害痕あり。	
	松阪市藤之木町	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	土耕		
	松阪市新開町	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	かおりの野	土耕	輪斑病、芽なし株確認。	
伊勢	玉城町岩出	11月8日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	かおりの野	ベンチ		
	伊勢市小保町相合	11月8日	0	0	2	2	0.5	24	6.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおりの野	ベンチ		
	玉城町勝田	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	株枯れ確認。	
志摩	鳥羽市聖神町	11月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ		
	志摩市磯部町栗木広	11月11日	0	0	0	2	1.0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ		
平均			0	0	0.9	0.5	0.2	2.5	0.6	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0				
平 年(10年平均)			0.3	1.0	0.07	11.3	4.4	2.3	0.7	0.3	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0			(3年平均) (2年平均)

イチゴ 《2016年12月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考	その他								
			葉発病 株率(%)	発病果率 (%)	葉発病 株率(%)	発病果率 (%)	寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	発生程度	成虫 寄生株率 (%)	蛹 寄生株率 (%)			品種	栽培形式						
津	津市芸濃町椋本	12月5日	0	0	0	0	10	2.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおりの野	土耕		
	津市一志町石橋	12月5日	0	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおりの野	ベンチ		
松阪	松阪市曾原町	12月7日	0	1.0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	果実の菌核病確認	
	松阪市郷野権現前町	12月7日	2	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	果実の菌核病確認	
	松阪市藤之木町	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	土耕		
	松阪市新開町	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおりの野	土耕	アブラムシ死亡虫確認	
伊勢	玉城町岩出	12月6日	2	9.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおりの野	ベンチ	果実の菌核病確認	
	伊勢市小保町相合	12月5日	0	2.0	0	0	2	0.5	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	かおりの野	ベンチ		
	玉城町勝田	12月5日	0	2.0	0	0	18	8.0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ		
志摩	鳥羽市聖神町	12月6日	0	1.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ		
	志摩市磯部町栗木広	12月6日	0	0	0	0	10	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	ネズミ被害確認	
平均			0.4	1.6	0	0	3.8	1.6	0.2	0.05	0	0.2	0	0	0	0	0	0				
平 年(10年平均)			0.3	0.1	0.8	0.4	16.2	6.9	2.8	0.8	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0			(2年平均) (2年平均)

イチゴ 《2017年1月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考	その他								
			葉発病 株率(%)	発病果率 (%)	葉発病 株率(%)	発病果率 (%)	寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	発生程度	成虫 寄生株率 (%)	蛹 寄生株率 (%)			品種	栽培形式						
津	津市芸濃町椋本	1月10日	0	1.0	0	0	0	0	10	3.5	0	0	0	0	0	0	0	0	かおりの野	土耕	アブラムシ死亡虫あり	
	津市一志町石橋	1月10日	6	4.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおりの野	ベンチ	菌核病確認	
松阪	松阪市曾原町	1月13日	0	0	0	0	12	4.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	ハダニは局所的発生	
	松阪市郷野権現前町	1月13日	0	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ		
	松阪市藤之木町	1月13日	0	0	0	0	14	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	土耕		
	松阪市新開町	1月13日	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおりの野	土耕		
伊勢	玉城町岩出	1月10日	0	0.5	0	0	4	1.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおりの野	ベンチ		
	伊勢市小保町相合	1月10日	2	0.5	0	0	16	8.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおりの野	ベンチ	天敵活動確認、ハダニ死亡虫あり	
	玉城町勝田	1月10日	2	0.5	0	0	26	13.5	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	ハダニは局所的発生、原因不明の株枯れ確認	
志摩	鳥羽市聖神町	1月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ		
	志摩市磯部町栗木広	1月13日	0	0	0	0	8	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ		
平均			0.9	0.6	0	0	7.5	3.6	0.9	0.3	0.2	0.2	0	0	0	0	0	0				
平 年(10年平均)			0.7	0.3	1.0	0.04	20.7	11.0	1.0	0.4	0.1	0.1	0	0	0	0	0	0	0			(2年平均) (2年平均)

イチゴ 《2017年2月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考	その他								
			葉発病 株率(%)	発病果率 (%)	葉発病 株率(%)	発病果率 (%)	寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	発生程度	成虫 寄生株率 (%)	蛹 寄生株率 (%)			品種	栽培形式						
津	津市芸濃町椋本	2月6日	0	1.0	0	0	0	0	6	1.5	0	0	0	0	0	0	0	0	かおりの野	土耕		
	津市一志町石橋	2月6日	0	9.0	0	0	4	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおりの野	ベンチ		
松阪	松阪市曾原町	2月7日	0	0.5	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ		
	松阪市郷野権現前町	2月7日	2	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ		
	松阪市藤之木町	2月7日	0	0	0	0	10	3.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	土耕		
	松阪市新開町	2月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおりの野	土耕		
伊勢	玉城町岩出	2月6日	2	0.5	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおりの野	ベンチ	ハダニ天敵確認	
	伊勢市小保町相合	2月6日	6	1.0	0	0	12	3.5	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	かおりの野	ベンチ	ハダニ天敵確認	
	玉城町勝田	2月6日	2	0.5	0	0	40	22.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	ハダニ天敵確認、区外でアブラムシ確認	
志摩	鳥羽市聖神町	2月8日	0	0	0	0	16	7.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ		
	志摩市磯部町栗木広	2月8日	0	0	0	0	10	3.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ		
平均			1.1	1.2	0	0	8.7	3.8	0.5	0.1	0.2	0	0	0	0	0	0	0				
平 年(10年平均)			1.3	0.4	0.8	0.07	18.6	8.4	1.0	0.3	1.1	0.3	0	0	0	0	0	0	0			(2年平均) (2年平均)

イチゴ《2017年3月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		アザミウマ類		備考		
			葉発病株率(%)	発病果率(%)	葉発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)	寄生花率(%)				
津	津市芸濃町椋本	3月7日	0	2	0	0	0	0	6	1.5	0	0	0	0	0	かぶり野 土耕 アブラムシ類死亡虫多い	
	津市一志町石橋	3月7日	0	8	0	0	8	6.5	2	1.0	0	0	2	0	0	かぶり野 ベンチ アザミウマ同定中、ヨコバイ類と思われる食害あり	
松阪	松阪市曾原町	3月8日	0	0	0	0	10	6.5	0	0	0	0	0	0	0	草薺 ベンチ	
	松阪市遊野権現前町	3月8日	0	1	0	0	10	8.0	0	0	0	0	1	0	0	草薺 ベンチ ヒラズハナアザミウマ、天敵確認	
	松阪市藤之木町	3月8日	0	0	0	0	30	11.5	0	0	0	0	1	0	0	草薺 土耕 ヒラズハナアザミウマ、天敵確認	
	松阪市新開町	3月8日	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	1	0	0	かぶり野 土耕 ヒラズハナアザミウマ	
伊勢	玉城町岩出	3月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	かぶり野 ベンチ ヒラズハナアザミウマ	
	伊勢市小保町相合	3月7日	0	1	0	0	4	1.5	0	0	0	0	0	0	0	0	かぶり野 ベンチ ハダニ類死亡虫、天敵確認
	玉城町勝田	3月7日	0	0	0	0	38	16.5	0	0	0	0	1	0	0	草薺 ベンチ ヒラズハナアザミウマ、クロゾハナアザミウマ、天敵確認	
志摩	鳥羽市聖神町	3月10日	0	0	0	0	20	14.0	0	0	0	0	0	0	0	草薺 ベンチ	
	志摩市磯部町栗木広	3月10日	0	0	0	0	20	12.5	0	0	0	0	1	0	0	草薺 ベンチ ヒラズハナアザミウマ	
	平均		0	0.9	0	0	12.9	7.0	0.7	0.2	0	0	0.7	0	0		
	平年(10年平均)		3.2	0.5	0.3	0.03	18.0	8.6	0.8	0.3	1.3	0.7	2.5				

広域防除員聞き取り調査結果（野菜）

作物名：トマト
2017年2月

地区	圃場	調査日	調査地点	品種名	病虫害発生状況（平年比）					生育状況等
					疫病	灰色かび病	黄化葉巻病	ハスモンヨトウ	アブラムシ類	
桑名	1	2月7日	木曾岬町 加路戸	CF桃太 郎はるか	無	無	やや多	無	無	作型：半促成、定植日：11月上旬 開花段数：5段目、収穫段数：1段目 着果数：4果、最終：10段 生育順調、例年より黄化葉巻病が多い
	2	2月7日	木曾岬町 外平喜	CF桃太 郎はるか	無	無	やや少 (前年比)	無	無	作型：促成、定植日：11/10 開花段数：6段、収穫段数：1段 着果数：4～5果 生育スピード早い、樹勢は例年並み
	3	2月7日	木曾岬町 小和泉	みそら64	無	無	やや多 (前年比)	無	無	作型：抑制、定植日：8/20 収穫残数：9～10段、着果数：4～5果 2月下旬に改植する
	4	2月7日	木曾岬町 中和泉	りんか 409	無	無	やや少 (前年比)	無	無	作型：抑制、定植日：8/25 開花段数：10～12段、収穫段数：4～5段 着果数：4～5果、最終22段 生産量はやや少なく、樹勢はやや弱い
	5	2月9日	木曾岬町 源緑輪中	りんか 409 はるか	無	少 (前年比)	無	無	無	作型：半促成、定植日：11/5 開花段数5段摘心、収穫段数1段、 着果数：4～5果 前年より着花良好、生育良好

3. 気象データ

(1) 気象概況(津地方気象台)

月	旬	気温	降水量	日照時間	備 考
2016 1	上	●	▲	○	高気圧や冬型の気圧配置。寒気の流れ込み少。
	中	□	●	□	冬型の気圧配置。旬の終わりは、北中部中心に雪。
	下	□	○	□	冬型の気圧配置。多雨、気温の変動大。
2	上	○	▲	○	冬型の気圧配置。晴れが多く、少雨、多照。
	中	○	○	△	周期的な天気の変動。高温、多雨。
	下	□	△	○	冬型の気圧配置。少雨、多照。
3	上	●	○	△	高低気圧に覆われ晴れの日が多い。顕著な高温。
	中	□	○	○	周期的な天気の変動。前半低温、後半高温。
	下	○	▲	●	冬型の気圧配置。顕著な少雨、多照。
4	上	●	●	▲	顕著な高温。多雨。寡照。
	中	○	□	●	気温の変動大(低くめから高めへ)。
	下	○	●	□	高温。多雨。
5	上	○	□	□	前半の高温。高気圧に覆われ晴天。のち曇・雨天。
	中	○	△	●	北中部の顕著な多照。高気圧に覆われ晴天。
	下	●	□	△	顕著な高温。高気圧に覆われ晴天。のち曇・雨天。
6	上	△	□	○	4日梅雨入り。晴天。のち曇・雨天。
	中	○	●	△	高温。多雨。寡照。
	下	□	○	□	多雨。前線等の影響で曇・雨天。
7	上	○	○	○	晴天。のち南からの湿った空気の影響で曇・雨天。
	中	○	△	○	曇・雨天。のち高気圧に覆われ晴天。
	下	△	□	□	28日梅雨明け。曇・雨天。のち高気圧に覆われ晴天。
8	上	○	△	●	猛暑。少雨。多照。
	中	○	□	○	大気不安定による雨や雷雨。
	下	□	●	□	大気不安定による大雨(特に、津では平年の約4倍)。
9	上	○	○	○	晴天～雨天。8日は激しい雷雨。
	中	□	○	▲	曇・雨天。20日は台風16号の影響で暴風雨。寡照。
	下	○	□	△	曇・雨天。寡照(12地点で平年の3～6割)。
10	上	●	□	▲	曇・雨天。顕著な高温。寡照。
	中	○	□	○	高気圧に覆われ晴天。雲の広がりあり。後半は気温高め。
	下	□	△	△	周期的に変動。寒暖の差が大。
11	上	△	□	○	晴天。強い寒気の流れ込みにより、気温低め。
	中	○	□	□	周期的に変動。平年より気温高め。
	下	○	○	▲	周期的に変動。曇・雨天。寡照(8地点で平年の6～7割)。
12	上	○	□	○	晴天。強い寒気の流れ込みがなく、平年より気温高め。
	中	□	●	□	晴天。寒暖の差が大。
	下	○	○	□	周期的に変動。22日は南部中心に大雨。気温は高め。

気 温： ▲かなり低い △低い □平年並 ○高い ●かなり高い
 降 水 量： ▲かなり少ない △少ない □平年並 ○多い ●かなり多い
 日 照： ▲かなり少ない △少ない □平年並 ○多い ●かなり多い

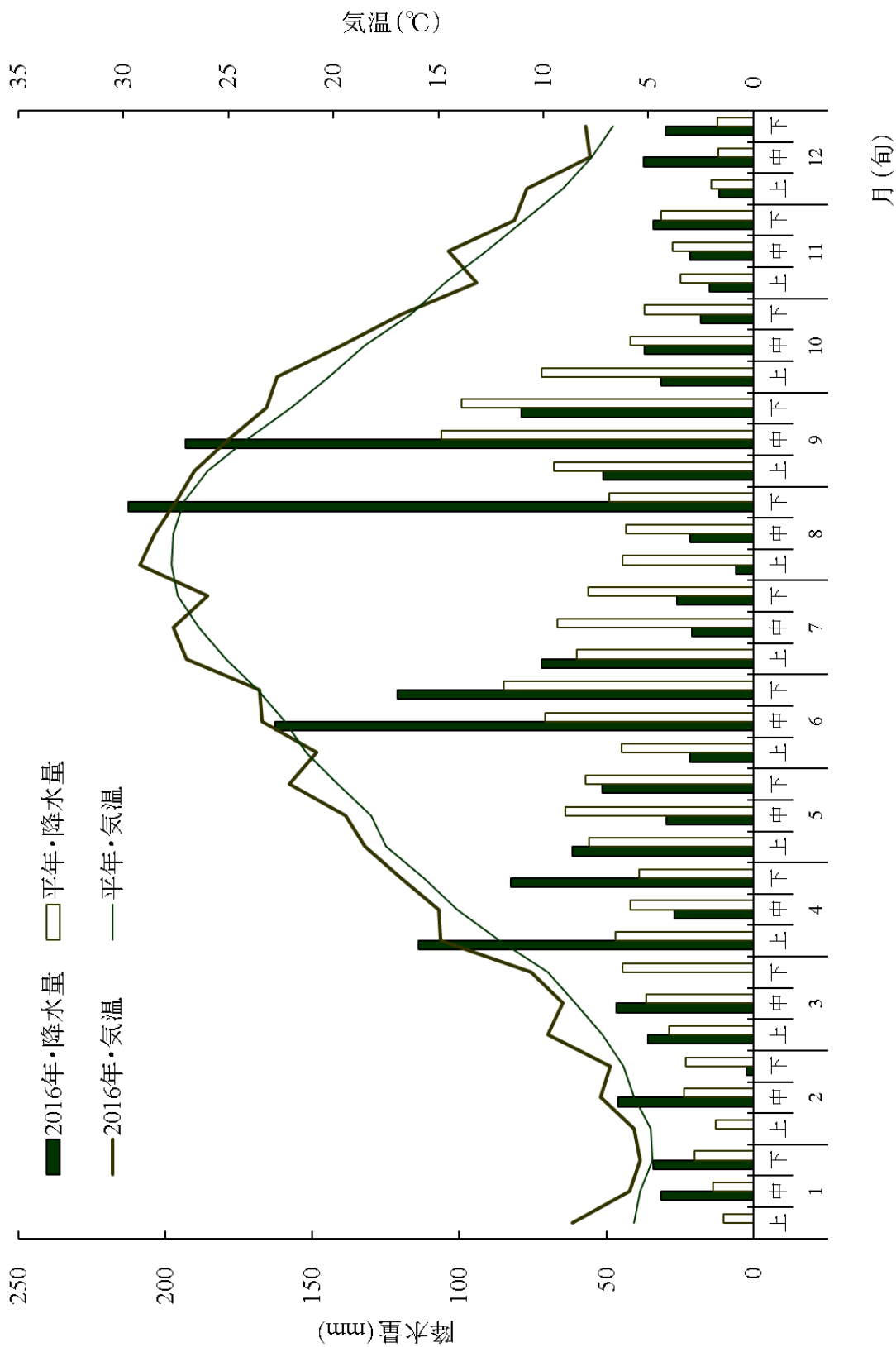
(2) 旬別気象表(津地方気象台)

月	旬	平均気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(h)	
		2016年	平年	2016年	平年	2016年	平年
1	上	8.6	5.7	0.0	10.3	61.2	52.7
	中	5.9	5.4	31.5	13.7	53.8	52.5
	下	5.4	4.8	34.0	19.9	58.4	58.0
2	上	5.7	4.9	0.0	12.7	66.8	56.0
	中	7.3	5.7	46.0	23.5	47.4	53.7
	下	6.8	6.2	2.5	22.9	53.3	47.2
3	上	9.8	7.2	36.0	28.8	50.4	58.0
	中	9.1	8.5	46.5	36.6	73.3	58.0
	下	10.6	9.8	0.0	44.6	100.0	59.9
4	上	14.9	12.1	114.0	47.0	27.5	60.1
	中	15.0	14.1	27.0	41.9	83.3	63.2
	下	16.8	15.7	82.5	38.9	58.1	65.8
5	上	18.5	17.5	61.5	55.9	58.7	60.0
	中	19.4	18.2	29.5	64.1	85.6	56.4
	下	22.1	19.8	51.5	57.2	65.9	74.6
6	上	20.8	21.3	21.5	44.9	72.6	62.2
	中	23.4	22.3	162.5	70.8	35.1	49.6
	下	23.5	23.6	121.0	84.8	31.1	38.4
7	上	27.0	25.1	72.0	60.0	74.0	48.8
	中	27.6	26.4	21.0	66.6	67.8	50.2
	下	26.0	27.4	26.0	56.2	71.7	75.8
8	上	29.2	27.7	6.0	44.5	110.4	71.4
	中	28.5	27.6	21.5	43.4	82.2	68.2
	下	27.5	27.1	212.5	49.1	77.1	71.0
9	上	26.6	26.0	51.0	67.9	72.4	61.1
	中	25.0	24.1	193.0	106.1	13.8	50.5
	下	23.2	22.0	79.0	99.1	24.0	44.6
10	上	22.7	20.2	31.5	71.9	24.9	47.7
	中	19.6	18.5	37.0	41.7	61.0	55.0
	下	16.8	16.3	18.0	37.1	51.0	62.1
11	上	13.2	14.7	15.0	24.8	66.4	53.7
	中	14.5	12.7	21.5	27.4	48.2	51.9
	下	11.4	10.9	34.0	31.4	31.4	54.5
12	上	10.8	9.1	11.5	14.4	66.6	56.6
	中	7.8	7.7	37.5	11.9	57.8	56.1
	下	8.0	6.7	30.0	12.3	60.4	60.3

※平年値は、1981年から2010年までの30年間による地上気象観測での値。

※気象庁発表「気象統計情報」より作成。

(3) 気象グラフ



平成28年 旬別気温と降水量(津地方気象台・地上気象観測)

平成 28 年度植物防疫年報

発行 2018 年 1 月 30 日
三重県病虫害防除所

〒515-2316

三重県松阪市嬉野川北町 530

Tel 0598-42-6365

Fax 0598-42-7568